

# 平安京左京四条三坊十二町跡

京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告  
二〇〇六―一六

平安京左京四条三坊十二町跡

2007 年

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

財団法人  
京都市埋蔵文化財研究所







# 平安京左京四條三坊十二町跡

2007 年

財団法人 京都市埋藏文化財研究所



# 序 文

京都には数多くの有形無形の文化財が今も生き続けています。それら各々の歴史は長く多岐にわたり、京都の文化の重厚さを物語っています。こうした中、地中に埋もれた文化財（遺跡）は今は失われた京都の姿を浮かび上がらせてくれます。それは、平安京建設以来 1200 年以上にわたる都市の営みやその周りに広がる姿をも再現してくれます。一つ一つの発掘調査からわかってくる事実もさることながら、その積み重ねによってより広範囲な地域の動向も理解できることにつながります。

財団法人京都市埋蔵文化財研究所は、こうした成果を現地説明会や写真展、考古資料館での展示、ホームページでの情報発信などを通じて広く公開することで市民の皆様へ京都の歴史像をより実態的に理解していただけるよう取り組んでいます。また、小学校などでの地域学習への成果の活用も、遺物の展示や体験授業を通じて実施しています。今後、さらに埋蔵文化財の発掘調査成果の活用をはかっていきたいと願っています。

研究所では、平成 13 年度より一つ一つの発掘調査について報告書を発刊し、その成果を公開しています。調査面積が十数平米から、数千平米におよぶ大規模調査までありますが、こうした報告書の積み重ねによって各地域の歴史がより広く深く理解できることとなります。

このたび（仮称）四条烏丸計画に伴います平安京跡の発掘調査成果を報告いたします。本報告書の内容につきましてお気づきのことがございましたら、ご教示たまわりますようお願い申し上げます。

末尾ではありますが、当調査に際して御協力と御支援をたまわりました多くの関係者各位に厚くお礼と感謝を申し上げる次第です。

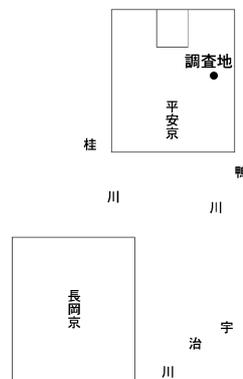
平成 19 年 3 月

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所  
所 長 川 上 貢

# 例 言

- 1 遺 跡 名 平安京左京四條三坊十二町跡
- 2 調査所在地 京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町他地内
- 3 委 託 者 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 常務取締役関西支店長 桑井常夫
- 4 調査期間 2006年8月28日～2007年1月30日
- 5 調査面積 690 m<sup>2</sup>
- 6 調査担当者 平尾政幸
- 7 使用地図 京都市発行の都市計画基本図（縮尺1：2,500）「壬生」「三条大橋」を参考にし、作成した。
- 8 使用測地系 世界測地系 平面直角座標系VI（ただし、単位（m）を省略した）
- 9 使用標高 T.P.：東京湾平均海面高度
- 10 使用基準点 京都市が設置した京都市遺跡測量基準点（一級基準点）を使用した。
- 11 使用土色名 農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版 標準土色帖』に準じた。
- 12 遺構番号 通し番号を付し、遺構の種類を前につけた。
- 13 遺物番号 土器類・瓦類・金属製品・石製品・骨製品ごとに通し番号を付し、写真番号も同一とした。
- 14 掲載写真 村井伸也・幸明綾子
- 15 遺物復元 村上 勉・出水みゆき
- 16 基準点測量 宮原健吾
- 17 本書作成 平尾政幸  
付章：北野信彦
- 18 編集・調整 児玉光世・近藤章子・山口 眞
- 19 調査・遺物整理にあたっては下記の方々から種々のご教示をいただいた。

赤沼多佳、尾野善裕、佐藤 隆、高橋康夫、富岡直人、西田宏子、西山良平、畑中英二、松井 章、丸山真史、吉川義彦、楽吉左衛門（敬称略）



（調査地点図）

# 目 次

1. 調査経過	1
2. 遺 構	2
(1) 基本層序	2
(2) 遺構の概要	7
(3) 弥生時代の遺構	7
(4) 古墳時代の遺構	9
(5) 平安時代の遺構	10
(6) 鎌倉・室町時代の遺構	11
(7) 桃山・江戸時代の遺構	15
3. 遺 物	19
(1) 遺物の概要	19
(2) 弥生時代の遺物	19
(3) 古墳時代の遺物	25
(4) 平安時代の遺物	25
(5) 鎌倉・室町時代の遺物	27
(6) 桃山・江戸時代前期の遺物	42
(7) 江戸時代後期の遺物	60
(8) 瓦類	72
(9) 金属製品	75
(10) 石製品	79
(11) 骨製品	82
(12) その他の遺物	82
4. ま と め	84
5. 付章 出土顔料の分析	85

# 図版目次

- 図版1 遺構 1 1区第1面全景(東から)  
2 1区第2面全景(東から)
- 図版2 遺構 1 1区第3面全景(東から)  
2 2区第1面全景(東から)
- 図版3 遺構 1 2区第2面全景(東から)  
2 2区第3面全景(東から)
- 図版4 遺構 1 3区全景(北から)  
2 1区・2区南壁(北西から)
- 図版5 遺構 1 竪穴住居SB500(北西から)  
2 竪穴住居SB500遺物出土状況(北西から)
- 図版6 遺構 1 方形周溝墓SX1250(東から)  
2 方形周溝墓SX1250断面(北から)
- 図版7 遺構 1 竪穴住居SB1290(東から)  
2 土壙SK505(南西から)
- 図版8 遺構 1 井戸SE435(南から)  
2 土壙SK345(東から)  
3 埋め甕SK141(南から)  
4 土壙SK145土器出土状況(北東から)  
5 土壙SK1378(東から)  
6 埋め甕SK634(南から)  
7 石組み遺構SX110(南から)  
8 井戸SE15(北から)
- 図版9 遺物 SX1250出土土器
- 図版10 遺物 SB500その他出土土器
- 図版11 遺物 SB1290出土土器1
- 図版12 遺物 SB1290出土土器2
- 図版13 遺物 SX1371・Pit511・SD1274・SK846出土土器、SK387出土土器1
- 図版14 遺物 SK387出土土器2、SK822出土土器
- 図版15 遺物 SK239出土土器
- 図版16 遺物 SK1390出土土器
- 図版17 遺物 SK250出土土器
- 図版18 遺物 SE435出土土器1

図版 19 遺物 SE435 出土土器 2  
図版 20 遺物 SE324 出土土器 1  
図版 21 遺物 SE324 出土土器 2、SK737 出土土器 1  
図版 22 遺物 SK737 出土土器 2、SK384 出土土器  
図版 23 遺物 SK769・SK145 出土土器  
図版 24 遺物 SK752 出土土器  
図版 25 遺物 SX747 出土土器、SK176 出土土器 1  
図版 26 遺物 SK176 出土土器 2  
図版 27 遺物 SK70 出土土器 1  
図版 28 遺物 SK70 出土土器 2  
図版 29 遺物 SK70 出土土器 3、SK80 出土土器 1  
図版 30 遺物 SK80 出土土器 2  
図版 31 遺物 SK146 出土土器 1  
図版 32 遺物 SK146 出土土器 2  
図版 33 遺物 SK1378 出土土器 1  
図版 34 遺物 SK1378 出土土器 2  
図版 35 遺物 SK1378 出土土器 3  
図版 36 遺物 SK83 出土土器 1  
図版 37 遺物 SK83 出土土器 2  
図版 38 遺物 SK83 出土土器 3  
図版 39 遺物 SK83 出土土器 4  
図版 40 遺物 SK83 出土土器 5  
図版 41 遺物 SK83 出土土器 6  
図版 42 遺物 SK23 出土土器 1  
図版 43 遺物 SK23 出土土器 2  
図版 44 遺物 SK23 出土土器 3  
図版 45 遺物 SK23 出土土器 4  
図版 46 遺物 SK23 出土土器 5、SE660 出土土器 1  
図版 47 遺物 SE660 出土土器 2  
図版 48 遺物 SE660 出土土器 3  
図版 49 遺物 SE660 出土土器 4  
図版 50 遺物 SK48 出土土器 1  
図版 51 遺物 SK48 出土土器 2  
図版 52 遺物 SK48 出土土器 3  
図版 53 遺物 SK48 出土土器 4

- 図版 54 遺物 SK48 出土土器 5  
 図版 55 遺物 SK48 出土土器 6  
 図版 56 遺物 弥生時代の石器  
 図版 57 遺物 金属製品  
 図版 58 遺物 金属製品、骨製品、絵の具溶き皿  
 図版 59 遺物 滑石製品、硯  
 図版 60 遺物 1 硯裏面線刻  
           2 ガラス製品

## 挿 図 目 次

図 1	調査位置図 (1 : 2,500)	1
図 2	調査区配置図 (1 : 1,000)	2
図 3	調査前全景 (南東から)	2
図 4	調査風景 (南から)	2
図 5- 1	南壁土層図 (1 : 200)	3
図 5- 2	南壁土層図 層名 1	4
図 5- 3	南壁土層図 層名 2	5
図 6	SX1250 実測図 (1 : 100)	7
図 7	SX1250 断面図 (1 : 20)	8
図 8	SB500 実測図 (1 : 100)	8
図 9	SB500 断面図 (1 : 50)	8
図 10	SB1290 実測図 (1 : 50)	9
図 11	調査区平面図 1 平安時代およびそれ以前の遺構 (1 : 200)	10
図 12	SK822 実測図 (1 : 50)	11
図 13	SK141 実測図 (1 : 50)	11
図 14	調査区平面図 2 鎌倉・室町時代の遺構 (1 : 200)	12
図 15	SE435 実測図 (1 : 50)	13
図 16	SK345 実測図 (1 : 50)	13
図 17	SE700 実測図 (1 : 50)	14
図 18	SX747 実測図 (1 : 50)	14
図 19	SK1378 実測図 (1 : 50)	15
図 20	調査区平面図 3 桃山・江戸時代の遺構 (1 : 200)	16

図 21 SK83 (南から)	17
図 22 SK23 (南から)	17
図 23 SE15 実測図 (1 : 50)	17
図 24 SX110 実測図 (1 : 50)	18
図 25 SK634 実測図 (1 : 50)	18
図 26 SX1250 出土土器実測図 (1 : 4)	20
図 27 SB500 出土土器実測図 (1 : 4)	21
図 28 SB1290 出土土器実測図 - 1 (1 : 4)	22
図 29 SB1290 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)	23
図 30 その他の弥生土器実測図 (1 : 4)	23
図 31 石器実測図 (1 : 2)	24
図 32 古墳時代の土器実測図 (1 : 4)	25
図 33 平安時代前半の土器実測図 (1 : 4)	25
図 34 SK846 出土土器実測図 (1 : 4)	26
図 35 SK387 出土土器実測図 (1 : 4)	27
図 36 SK822 出土土器実測図 (1 : 4)	28
図 37 SK239 出土土器実測図 (1 : 4)	28
図 38 SK141 出土土器実測図 (1 : 4、182 のみ 1 : 6)	30
図 39 SK1390 出土土器実測図 (1 : 4)	31
図 40 SK250 出土土器実測図 (1 : 4)	32
図 41 SE435 出土土器実測図 (1 : 4)	33
図 42 SE324 出土土器実測図 - 1 (1 : 4)	35
図 43 SE324 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)	36
図 44 SK737 出土土器実測図 (1 : 4)	37
図 45 SK384 出土土器実測図 (1 : 4)	38
図 46 SK769 出土土器実測図 (1 : 4)	39
図 47 SK145 出土土器実測図 (1 : 4)	39
図 48 SK752 出土土器実測図 (1 : 4)	40
図 49 SX747 出土土器実測図 (1 : 4)	41
図 50 SK176 出土土器実測図 (1 : 4)	43
図 51 SK70 出土土器実測図 - 1 (1 : 4)	44
図 52 SK70 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)	45
図 53 SK80 出土土器実測図 (1 : 4)	47
図 54 SK146 出土土器実測図 - 1 (1 : 4)	49
図 55 SK146 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)	50

図 56 SK1378 出土土器実測図 - 1 (1 : 4) .....	52
図 57 SK1378 出土土器実測図 - 2 (1 : 4) .....	53
図 58 SK83 出土土器実測図 - 1 (1 : 4) .....	55
図 59 SK83 出土土器実測図 - 2 (1 : 4) .....	56
図 60 SK83 出土土器実測図 - 3 (1 : 4) .....	57
図 61 SK83 出土土器実測図 - 4 (1 : 4) .....	58
図 62 SK83 出土土器実測図 - 5 (1 : 4) .....	59
図 63 SK23 出土土器実測図 - 1 (1 : 4) .....	61
図 64 SK23 出土土器実測図 - 2 (1 : 4) .....	62
図 65 SK23 出土土器実測図 - 3 (1 : 4) .....	63
図 66 SE660 出土土器実測図 - 1 (1 : 4) .....	65
図 67 SK660 出土土器実測図 - 2 (1 : 4) .....	66
図 68 SK634 出土土器実測図 (1 : 4) .....	67
図 69 1312 (左) ・ 1313 (右) の印銘 .....	68
図 70 SK48 出土土器実測図 - 1 (1 : 4) .....	69
図 71 SK48 出土土器実測図 - 2 (1 : 4) .....	70
図 72 SK48 出土土器実測図 - 3 (1 : 4) .....	71
図 73 SK48 出土菱馬水指 .....	72
図 74 瓦類拓影・実測図 (1 : 4) .....	74
図 75 銭貨拓影 (1 : 2) .....	75
図 76 金属製品実測図 (1 : 2) .....	77
図 77 煙管実測図 (1 : 2) .....	79
図 78 滑石製品実測図 (1 : 4) .....	80
図 79 硯実測図 (1 : 4) .....	80
図 80 骨製品実測図 (1 : 2) .....	82
図 81 絵の具皿実測図 (1 : 4) .....	82

## 表 目 次

表 1 遺構概要表 .....	6
表 2 平安時代以降の遺構 .....	7
表 3 土器・陶磁器類の時期と破片数 .....	19

表 4	SK846 出土土器の構成 (破片数)	26
表 5	SK387 出土土器の構成 (破片数)	26
表 6	SK822 出土土器の構成 (破片数)	29
表 7	SK239 出土土器の構成 (破片数)	29
表 8	SK1390 出土土器の構成 (破片数)	31
表 9	SK250 出土土器の構成 (破片数)	31
表 10	SK435 出土土器の構成 (破片数)	34
表 11	SE324 出土土器の構成 (破片数)	34
表 12	SK737 出土土器の構成 (破片数)	38
表 13	SK384 出土土器の構成 (破片数)	38
表 14	SK769 出土土器の構成 (破片数)	39
表 15	SK145 出土土器の構成 (破片数)	39
表 16	SK752 出土土器の構成 (破片数)	41
表 17	SX747 出土土器の構成 (破片数)	41
表 18	SK176 出土土器の構成 (破片数)	42
表 19	SK70 出土土器の構成 (破片数)	46
表 20	SK80 出土土器の構成 (破片数)	46
表 21	SK146 出土土器の構成 (破片数)	48
表 22	SK1378 出土土器の構成 (破片数)	51
表 23	SK83 出土土器の構成 (破片数)	54
表 24	SK23 出土土器の構成 (破片数)	60
表 25	SE660 出土土器の構成 (破片数)	64
表 26	SK48 出土土器の構成 (破片数)	68
表 27	出土銭貨一覧表	76
表 28	遺物概要表	83

## 付 表 目 次

付表 1	出土土器類一覧表	92
------	----------	----



# 平安京左京四条三坊十二町跡

## 1. 調査経過

調査予定地は下京区四条通室町東入函谷鉾町他地内に所在する。当地は平安京の条坊では左京四条三坊十二町の東辺南北中央南寄りに該当し、また中世・近世を通じて下京の中心として繁栄した地域の一部である。また、弥生時代から古墳時代の烏丸綾小路遺跡の一部にも該当する複合遺跡である。

発掘調査に先立って実施された京都市文化財保護課による敷地北端部での試掘調査の結果、現表土下約1.2～1.5mで地山とみられる褐色砂泥の面を含め2面の遺構面が確認されており、これまでの周辺の調査結果から、さらに遺構面が重層することが予想された。また、烏丸通を挟む東側の三井銀行敷地およびその北部での調査などでは、この周辺に弥生時代の集落が想定できる結果が得られており、今回の調査地でも、その関連遺構が検出される可能性も見込まれた。しかしながら、調査期間と対象面積を考慮すれば、これら各時代の遺構群について十分な調査を行うことは困難と言わざるを得ないため、今回の調査では予想される遺構群を大きく3群（近世初頭以降、鎌倉・室町時代、平安時代およびそれ以前）に分け調査を実施した。

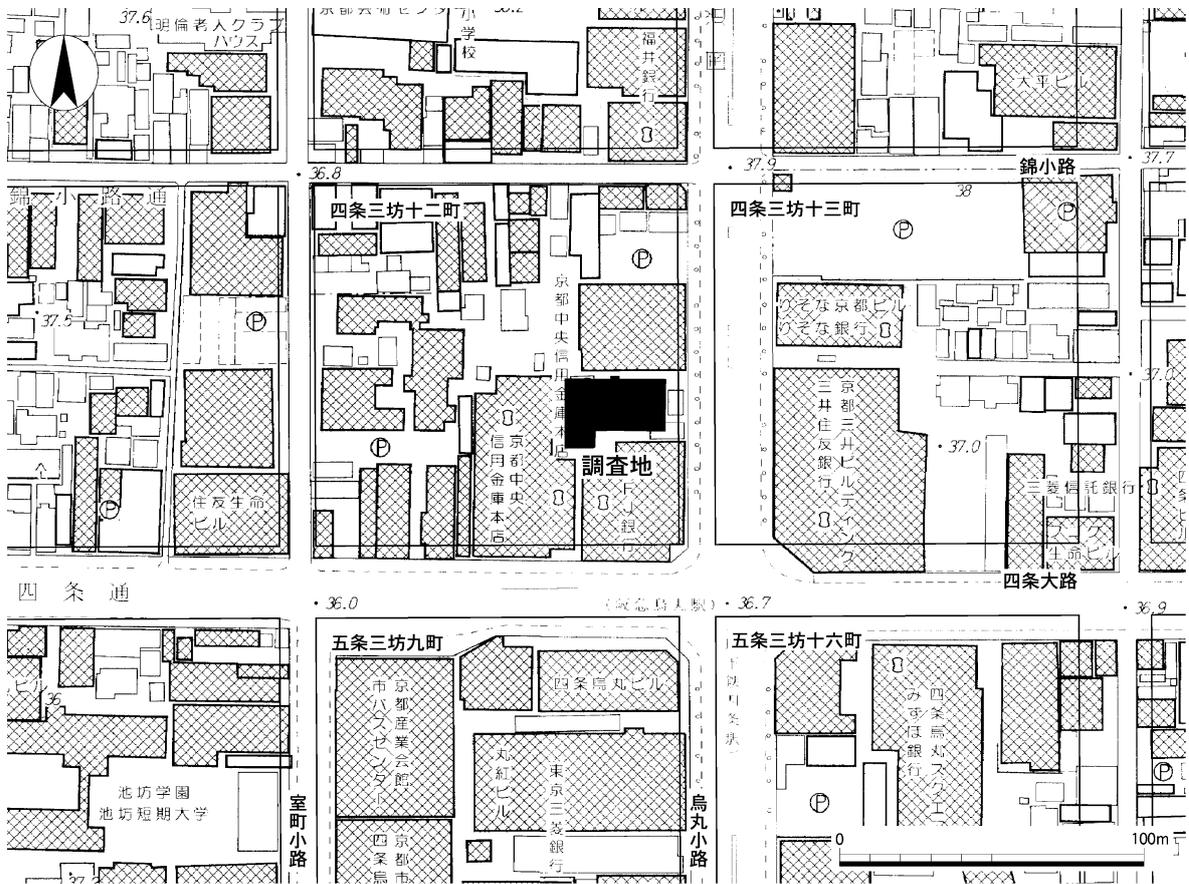


図1 調査位置図 (1:2,500)

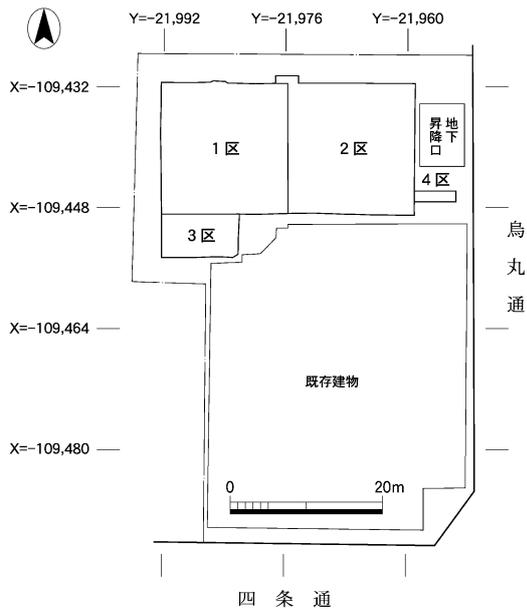


図2 調査区配置図 (1 : 1,000)

当初東西 33.2 m・南北 17.5 mの調査区を設定したが、残土搬出が不可能なため、この調査区を東西ほぼ中央で2分し、西側の1区から調査を進めた。その後、2区の調査進行中に開発対象地域の一部変更(拡張)が明らかとなり、1区南側に接して3区、また烏丸小路西側溝の確認のため2区南東部に4区を設定した。

4区は旧建物の基礎跡により地表下3 m以上にわたって破壊され、側溝は確認できなかったが、1～3区では弥生時代の竪穴住居・方形周溝墓、古墳時代の土壇、平安時代の柱穴や土壇のほか鎌倉時代から近世に至る井戸・土壇・柱穴・石室など 1400 基あまりの遺構を検出した。

## 2. 遺 構

### (1) 基本層序

調査地の現地表面は標高 37.4 m前後(駐車場時の舗装面)で、舗装のアスファルト以下 36.5 m程までが近・現代の盛土層である。その下が江戸時代後期の遺構面になり、そこから地山面は比較的浅く、標高 36.0 m前後で平安時代や弥生時代の遺構を検出した。調査区のほぼ全域に土取りや井戸などの深く掘り込まれた遺構が重層して分布していたため、土層の堆積状況を調査区全域にわたって面的に把握することは困難であったが、部分的に鎌倉時代や室町時代の遺物包含層あるいはその上部に江戸時代前期の整地層が残存していた所もある。また、1区東部や2区北部などでは地山の窪みに整地したと思われる平安時代後期の遺物を含む淡黄灰色の土層を確認している。



図3 調査前全景 (南東から)



図4 調査風景 (南から)

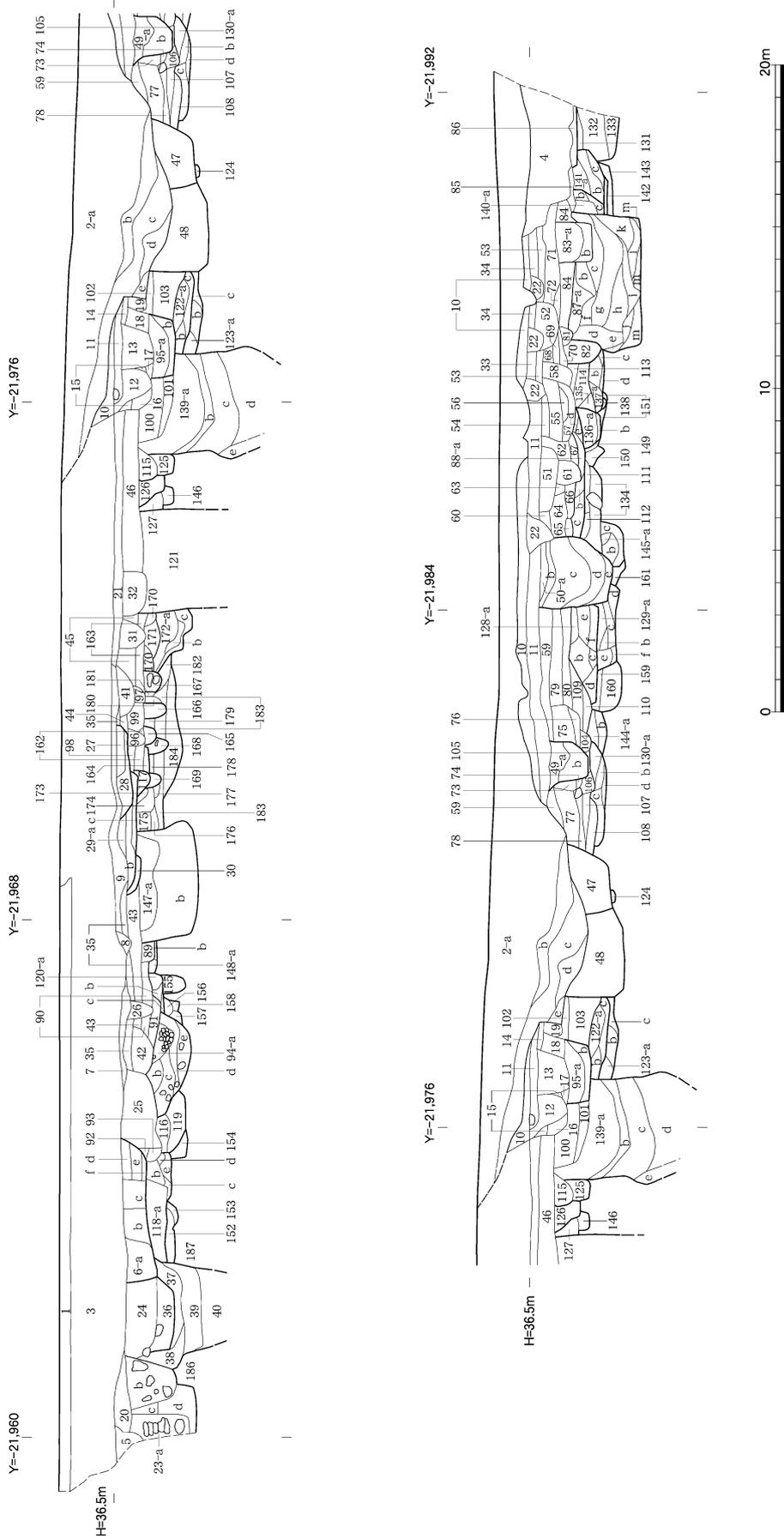


图 5-1 南壁土層圖 (1 : 200)

- 1 アスファルト
- 2 a 砂礫・アスファルト混
- b 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 焼土・径1~10cm礫含む
- c 砂礫
- d 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・土師器・漆喰含む
- e 2.5Y3/2 黒褐色泥砂
- 3 盛土
- 4 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 瓦・径5~20cm礫含む
- 5 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- 6 a~f 【SK617】
  - a 7.5YR3/2 黒褐色砂泥
  - b 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・瓦・漆喰・焼土・径5~20cm礫含む
  - c 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
  - d 10YR3/2 黒褐色砂泥 瓦・焼土含む
  - e 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 締まる
  - f 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 瓦・焼土含む
- 7 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 漆喰含む
- 8 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 漆喰・径3cm礫含む
- 9 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 炭・土師器・漆喰・焼土多量含む
- 10 10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥砂 漆喰混
- 11 10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥砂 炭・漆喰・煉瓦混
- 12 10YR3/3 暗褐色砂泥
- 13 10YR3/4 褐色砂泥 瓦・漆喰含む
- 14 10YR3/3 暗褐色砂泥 炭・漆喰含む
- 15 10YR3/3 黒褐色砂泥 2.5Y3/4 オリーブ粘質土ブロック混
- 16 10YR3/3 黒褐色砂泥 炭・焼土含む
- 17 10YR3/3 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- 18 10YR3/4 褐色砂泥 炭・少量混
- 19 10YR3/4 褐色砂泥 炭・少量混
- 20 10YR3/4 暗灰黄色砂泥 瓦・漆喰・径3~5cm礫含む
- 21 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 炭・焼土・漆喰含む
- 22 10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥砂 漆喰7と混
- 23a~d 【SK592】
- 23-a 10YR3/3 暗褐色砂泥 径2~15cm礫混
- b 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 土器片・径2~20cm礫含む
- c 10YR3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土多量含む
- d 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・焼土少量含む
- 24 7.5YR3/2 黒褐色砂泥 炭・瓦・漆喰・焼土・径2~10cm礫含む
- 25 10YR3/2 黒褐色砂泥 径2~15cm礫含む
- 26 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・瓦少量含む
- 27 10YR3/2 黒褐色砂泥 【SK581】
- 28 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや締まる 【SK662】
- 29a~c 【SK680】
- 29-a 10YR3/2 黒褐色砂泥
- b 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 やや締まる
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや締まる
- 30 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 よく締まる 【SK682】
- 31 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 均質
- 32 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・焼土少量含む
- 33 10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥砂 漆喰混
- 34 10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥砂
- 35 10YR3/2 黒褐色砂泥 瓦・焼土含む
- 36 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・漆喰多量含む 【SK824】
- 37 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや粘質 炭・瓦・貝殻多量含む
- 38 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや締まる 径2~10cm礫含む
- 39 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 炭・漆喰含む
- 40 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・漆喰少量含む
- 41 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 よく締まる 炭・土師器少量含む
- 42 10YR3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土少量含む
- 43 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 よく締まる
- 44 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・焼土少量含む
- 45 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・漆喰少量含む
- 46 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 土師器少量含む
- 47 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 【SK34】
- 48 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・瓦・漆喰多量含む 【SK29】
- 49a~b 【SK103】
- 49-a 10YR2/4 灰黄褐色泥砂 やや砂質 土器片含む
- b 10YR2/4 灰黄褐色泥砂 やや砂質 瓦・漆喰含む
- 50a~e 【SK40】
- 50-a 2.5Y3/3 オリーブ褐色砂泥 砂混
- b 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- d 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- e 2.5Y3/3 暗褐色砂泥
- 51 10YR3/3 暗褐色砂泥
- 52 10YR3/4 褐色砂泥 瓦・漆喰含む
- 53 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 54 10YR3/5 にぶい黄褐色砂泥
- 55 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 径3~5cm礫含む
- 56 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- 57 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- 58 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- 59 10YR3/5 にぶい黄褐色砂泥
- 60 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 61 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器・漆喰含む
- 62 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 瓦・漆喰・径10~20cm礫含む
- 63 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 64 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器・瓦含む
- 65 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 やや粘質 礫混
- 66 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 やや粘質
- 67 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭混
- 68 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 69 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 締まる
- 70 10YR3/2 黒褐色砂泥
- 71 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 72 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 締まる
- 73 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器・漆喰含む
- 74 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- 75 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 砂・土師器・焼土含む
- 76 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 砂・土師器・焼土含む
- 77 2.5Y3/2 黒褐色砂泥+2.5Y4/4 オリーブ褐色粘質土 まだらに混じる 炭・土師器含む
- 78 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 炭混
- 79 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・土師器・焼土(多量)含む
- 80 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 やや粘質
- 81 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭・土師器・焼土含む
- 82 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 83a~b 【SK71】
- 83-a 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- 84 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 85 2.5Y4/1 黄灰色砂泥
- 86 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 87a~m 【SK146】
- 87-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- c 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 やや粘質
- d 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- e 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 粘質 炭混
- f 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 粘質 炭多量含む
- g 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 炭多量含む
- h 2.5Y3/1 黒褐色砂泥+10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥Mix 炭多量含む
- i 2.5Y3/1 黒褐色砂泥+10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥Mix 炭多量含む
- j 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- k 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭混
- l 5Y2/1 黒色粘質土
- m 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥+2.5Y3/2 黒褐色粘質土 88a~e 【SK257】
- 88-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 土師器含む
- b 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- d 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- e 2.5Y3/2 黒褐色砂泥+2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土
- 89 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 焼土少量含む
- 90 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 瓦・焼土含む
- 91 10YR3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 炭・瓦・焼土少量含む
- 92 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土少量含む
- 93 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 炭・焼土少量含む
- 94a~e 【SE660】
- 94-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 径1~15cm礫多量含む
- b 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭少量含む
- c 10YR4/3 にぶい黄褐色砂泥 土師器・径3~10cm礫含む
- d 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 均質 径5~10cm礫含む
- e 10YR4/2 灰黄褐色砂泥 土師器・径15cm礫含む
- 95a~b 【SK80】
- 95-a 10YR3/3 暗褐色砂泥 炭・土師器含む
- b 10YR3/3 暗褐色砂泥 やや粘質 炭・土師器含む
- 96 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 97 2.5Y3/2~3/3 黒褐色砂泥 土師器少量含む
- 98 10YR3/2 黒褐色砂泥
- 99 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 100 10YR3/3 暗褐色砂泥 10YR4/5 にぶい黄褐色砂泥混
- 101 10YR3/3 暗褐色砂泥 やや粘質

図 5 - 2 耐摩土層図 層名 1

- 102 10YR3/3 暗褐色泥砂 炭混
- 103 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 104 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- 105 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 106 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 107 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 108 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 109 10YR3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土多量含む
- 110 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土含む
- 111 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- 112 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- 113 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- 114 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 砂混
- 115 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- 116 2.5Y3/1.5 黒褐色砂泥
- 117 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥地山ブロック混 炭 土師器少量含む
- 118a~c [SK906]
- 118-a 2.5Y3/2~3/3 暗オリーブ褐色砂泥焼土混
- b 10YR3/2 黒褐色砂泥 炭・瓦・焼土含む
- c 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや粘まる
- d 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 粘質
- e 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 よく粘まる
- 119 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 やや粘質 炭 土師器少量含む
- 120a~c [SK910]
- 120-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・径3~5cm礫少量含む
- b 10YR4/2 暗灰褐色砂泥 やや粘質
- c 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 粘質
- 121 [SE700]
- 122a~c [SK309]
- 122-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土含む
- b 2.5Y3/1 黒褐色砂泥
- 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土ブロック混
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 123a~c [SK325]
- 123-a 2.5Y3/2 黒褐色泥砂
- b 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥+2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土
- まだらに混じる
- 124 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 [Pt1532]
- 125 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 炭・土師器少量含む [SK1311]
- 126 土器片・径1~5cm礫含む [SK640]
- 127 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 2.5Y4/4 オリーブ褐色砂泥土ブロック混 [SK1312]
- 128a~f [SK218]
- 128-a 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- b 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭多量を含む
- d 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- e 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- f 10YR3/2 黒褐色砂泥 炭・焼土多量を含む
- 129a~f [SK241]
- 129-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- b 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・多量含む
- c 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- d 2.5Y3/1 黒褐色砂泥+2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土Mix 炭混
- e 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- f 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや粘質
- 130a~d [SK150]
- 130-a 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- b 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや粘質
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 砂多量含む
- d 2.5Y3/2 黒褐色砂泥+2.5Y4/4 オリーブ褐色粘質土 まだらに混じる
- 131 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器・焼土含む [SK397]
- 132 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器・焼土含む [SK419]
- 133 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器・焼土含む [SK1428]
- 134 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 砂多量含む [SK395]
- 135 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭混 [SK297]
- 136a~b [Pt292]
- 136-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- 137-a 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 やや粘質
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- d 2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土 [Pt303]
- 139a~e [SE324]
- 139-a 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 炭・土師器含む
- b 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 aより炭多量含む
- c 2.5Y3/2 黒褐色泥砂 炭・土師器含む
- d 2.5Y2/1 黒色泥砂 炭多量を含む
- e 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 砂多量を含む
- 140a~c [SK396]
- 140-a 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- b 2.5Y3/2 黒褐色泥砂 炭・土師器含む
- c 2.5Y3/1 黒褐色泥砂 炭・土師器含む
- 141a~c [SK401]
- 141-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥+2.5Y5/4 黄褐色粘質土Mix
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥+2.5Y3/2 黒褐色砂泥Mix
- c 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- 142 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 [SK410]
- 143 2.5Y3/2 黒褐色砂泥+2.5Y5/2 黄褐色粘質土 [SK418]
- 144a~b [SK195]
- 144-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- 145a~c [SK399]
- 145-a 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- c 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥+2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土
- 146 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 [SK1312]
- 147a~b [SK778]
- 147-a 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 2.5Y4/4 オリーブ褐色砂泥 よく粘まる ブロック混
- b 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 土師器・径3~10cm礫少量含む
- 148a~b [SK790]
- 148-a 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 焼土少量含む
- b 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 やや粘まる
- 149 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- 150 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 砂・土師器含む [Pt1495]
- 151 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥+2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土Mix
- 152 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 やや粘質
- 153 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 やや粘まる
- 154 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 やや粘質
- 155 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 粘質 やや粘まる
- 156 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 瓦・土器片含む
- 157 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 径2~4cm礫含む
- 158 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 やや粘質
- 159 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 径3~10cm礫含む
- 160 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥
- 161 2.5Y3/1 黒褐色砂泥+2.5Y4/3 オリーブ褐色粘質土
- 162 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 砂混
- 163 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 土師器少量含む
- 164 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 よく粘まる 土師器少量含む [Pt1095]
- 165 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 よく粘まる 土器片少量含む [Pt1093]
- 166 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 径2~5cm礫少量含む [Pt1091]
- 167 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 よく粘まる 礎石有り [Pt1251]
- 168 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 よく粘まる 炭混 [Pt1186]
- 169 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 [Pt1280]
- 170 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥土ブロック混 径2~5cm礫含む
- 171 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 よく粘まる 瓦・土師器少量含む
- 172a~c [SD1250]
- 172-a 10YR3/2 黒褐色砂泥 よく粘まる 弥生土器・鉄分少量含む
- b 10YR3/2 黒褐色砂泥 均質・よく粘まる
- c 10YR4/2 暗灰褐色砂泥 均質・よく粘まる
- 173 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 砂少量混 土師器少量含む
- 174 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 土師器多量を含む
- 175 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 炭・土師器少量含む
- 176 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 よく粘まる 地山ブロック少量混
- 177 10YR3/1 黒褐色粘質土
- 178 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥
- 179 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 180 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 均質
- 181 2.5Y4/1 黄灰色砂泥 均質
- 182 2.5Y3/1 黒褐色砂泥 よく粘まる+2.5Y5/3 黄褐色砂泥 よく粘まる 弥生土器含む
- 183 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 よく粘まる+2.5Y5/3 黄褐色砂泥 よく粘まる
- 184 7.5YR4/2 灰褐色粘質土 弥生土器含む
- 185 10YR4/4 褐色砂泥 やや粘まる [地山]
- 186 2.5Y4/3 オリーブ褐色砂泥 よく粘まる [地山]

図 5-3 南緯土層図 函谷 2

表1 遺構概要表

時代区分	土器の区分と略年代		主な遺構 (*印は遺物掲載遺構)					
			Pit	土 壙	井 戸	溝	その他	
弥生時代							SX1250* SB500* SB1290*	
古墳時代				SK505*				
平安時代	1	C	810					
		A	840					SX1371*
		B	870					
	2	C	900					
		A	930	Pit511*				SD1274*
		B	960	Pit518				
	3	C	990	Pit1027				
		A	1020	Pit1435				
		B	1050	Pit1002	SK1048			
	4	C	1080	Pit1317	SK519			
		A	1110					
		B	1140	Pit815	SK759 SK846*			
	5	A	1170		SK387*			
		B	1200			SE373		
		C	1230		SK822*			
	鎌倉時代	A	1260		SK307		SE126	
		B	1290		SK239*			
		C	1320		SK1390* SK141(埋め糞)* SK250*		SE435*	
南北朝	A	1350				SE324*		
	B	1380		SK737*				
	C	1410		SK811				
室町時代	A	1440		SK384*				
	B	1470		SK145* SK769*				
	C	1500		SK730				
	A	1530		SK752*				
	B	1560		SX747*				
	C	1590						
安土桃山	A	1620		SK176* SK70* SK80* SK146* SK83*	SK1378*			
江戸時代	B	1650		SK616 SK624				
	C	1680		SK23*				
	A	1710				SE15 SE660*	SX110	
	B	1740		SK634*				
	A	1770		SK48*				
	B	1800						

## (2) 遺構の概要

今回の調査の結果、弥生時代から江戸時代までの多数の遺構を検出した。平安時代以前の遺構には弥生時代の竪穴住居・方形周溝墓・土壙、古墳時代の土壙などがある。平安時代以降の遺構については、遺物などから時期の判明しているものが1040基あり、その種類と時代ごとの遺構数を表2に示した。

表2 平安時代以降の遺構

	ピット	土壙	溝	井戸	その他	小計
平安時代前半	7	1	1	0	1	10
平安時代後半	73	21	1	0	1	96
鎌倉時代	92	109	1	4	9	215
室町時代前半	79	297	1	4	7	388
室町時代後半	42	148	1	4	9	204
桃山・江戸時代前期	6	113	0	15	3	137
江戸時代中期以降	292	688	4	27	29	1040

平安時代の遺構は多数の柱穴のほか少数の土壙を除いて明確なものは少ない。これはこの時代の遺構面が中世後期の土取りや近世の規模の大きな土壙群のためほとんど残っていなかったことによるもので、遺構面の残存している箇所では小規模な柱穴を高い密度で検出している。鎌倉時代および室町時代前期の遺構は井戸や土壙などを比較的良好な状態で検出でき、出土遺物も多い。室町時代後期の遺構は大半が土取り穴である。特に1区では土取りが広汎に分布していた。桃山時代以降の遺構にはゴミ廃棄土壙が多くみられた。規模の大きなものも多く、多量の遺物が出土している。出土遺物に基づき時期区分した主要な遺構は表1のとおりである。以下に各時代の主な遺構について概説する。

## (3) 弥生時代の遺構 (図11)

SX1250 (図6・7、図版6) 2区の西部に位置する弥生時代中期の方形周溝墓。周溝の北辺と東辺を検出した。1区中央やや東寄りに弥生土器の集中した浅い窪み(SX522)があり、これが周溝西辺の一部である可能性がある。規模は一辺が9~10m前後と推定できる。方位は大きく東に振れている。溝幅は最も良く遺存している箇所で約1.2m、深さ0.5m。周溝内には暗オリーブ褐色から黒褐色のやや粘性を帯びた砂泥が4~6層堆積し、各層には土器片が多数含まれていた。土器類はいずれも破片となり1個体がまとまって出土したものはない。出土した土器類の特徴は畿内第Ⅲ~Ⅳ様式の時期幅を持ち、周溝が埋没する過程で周

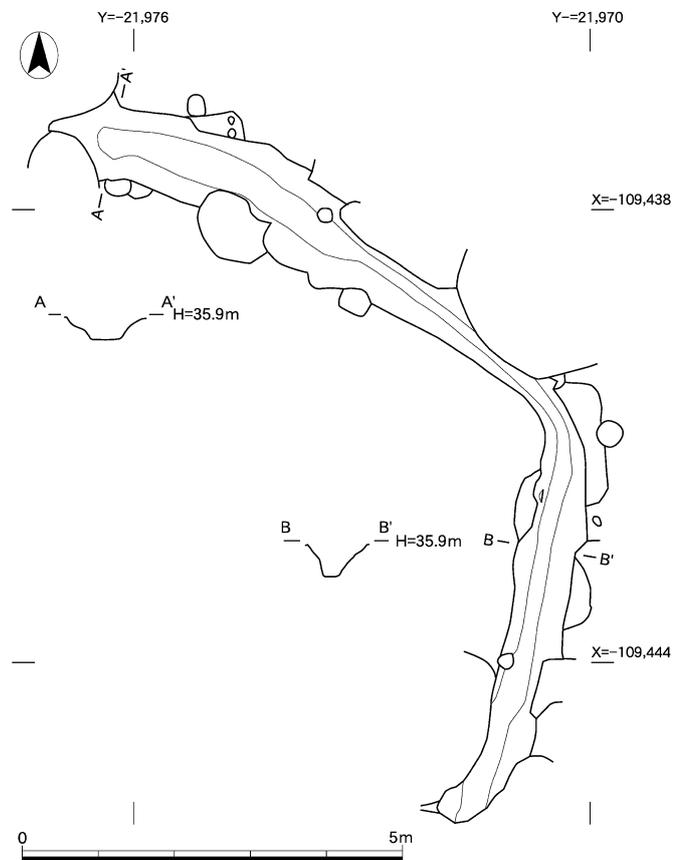
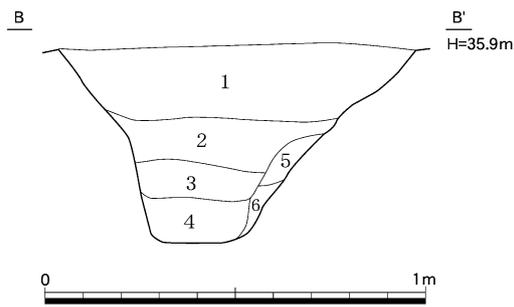


図6 SX1250 実測図 (1:100)



- 1 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥 炭片混
- 2 2.5Y3/2 黒褐色砂泥 やや粘質 炭片混
- 3 2.5Y4/2 暗灰黄色砂泥 粘質
- 4 2.5Y3/2 黒褐色粘質土
- 5 2.5Y3/2~3/3 黒褐色砂泥
- 6 2.5Y4/4 オリーブ褐色砂泥 やや粘質

図7 SX1250 断面図 (1:20)

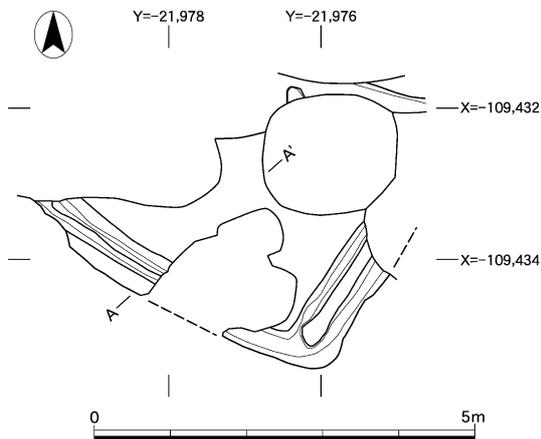
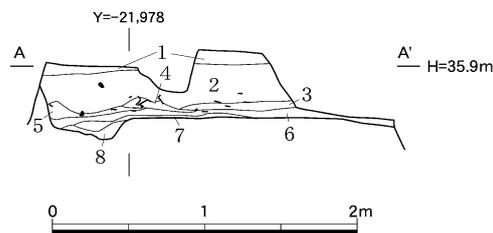


図8 SB500 実測図 (1:100)



- 1 2.5Y3/2 黒褐色砂泥
- 2 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色+2.5Y4/4オリーブ褐色砂泥 土器片少量混
- 3 10YR3/2 黒褐色砂泥 土器・焼土混
- 4 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色 土器・焼土混
- 5 10YR4/2~3/2 灰黄褐色~黒褐色砂泥 土器・焼土混
- 6 2.5Y3/2 黒褐色砂泥に2.5Y4/4オリーブ褐色シルトブロック 土器・焼土混
- 7 2.5Y4/3 オリーブ褐色シルト+黒褐色砂泥
- 8 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色砂泥+2.5Y4/4オリーブ褐色シルトブロック

図9 SB500 断面図 (1:50)

辺の遺構や包含層からもたらされた可能性が高い。

SB500 (図8・9、図版5) 1区北東隅から2区北西に位置する弥生時代中期末から後期初頭の竪穴住居。南側の一部を検出したにとどまったが、残存部の遺存状況は良好で、壁高が約0.4 m残存していた。北辺の壁溝は明確に検出できなかったが、床面の位置から地山が約0.3 m立ち上がっており、これを北壁とすれば南北長が約4.0 m、東西長は4.6 m以上の長方形を呈する平面形態をもつものと思われる。方位はSX1250と同様に大きく東に振れている。壁溝や床面の状況から少なくとも2時期あることが確認できる。最終床面上の堆積土には焼土や炭化木片が多く含まれており、焼失したものと推測できる。出土遺物は少ないが、この床面直上から畿内第IV様式の壺(24)が出土した。

SB1290 (図10、図版7) 2区北東部に位置する弥生時代後期の竪穴住居。北辺と東西辺の一部を検出した。東西長が約4.3 m、南北残長約3.0 mである。SX1250やSB500と異なり、やや西に振れているが、ほぼ方位に沿う。壁溝は明瞭に残り、柱穴は北東のものを1基検出した。柱穴は径0.3 m、深さ0.5 m。床面は非常に堅く締まっていたが、貼り土などは施されず、地山を平坦に掘りくぼめただけであった。床面中央やや北寄りに炉とみられる灰と焼土が薄く堆積した径0.7 m、深さ0.1 m程の被熱した皿状の窪みを検出している。残存部の状態は壁、床面ともに良好で、壁高は約0.5 m。出土遺物の量は多いが床面上の遺物は少なく、北西部で白色の良質な粘土塊が認められたほか、大半の遺物はそれより上層の埋土中から出土している。土器類は畿内第V様式に属するもののほか、埋没過程で混入した中期に属する土器も多い。

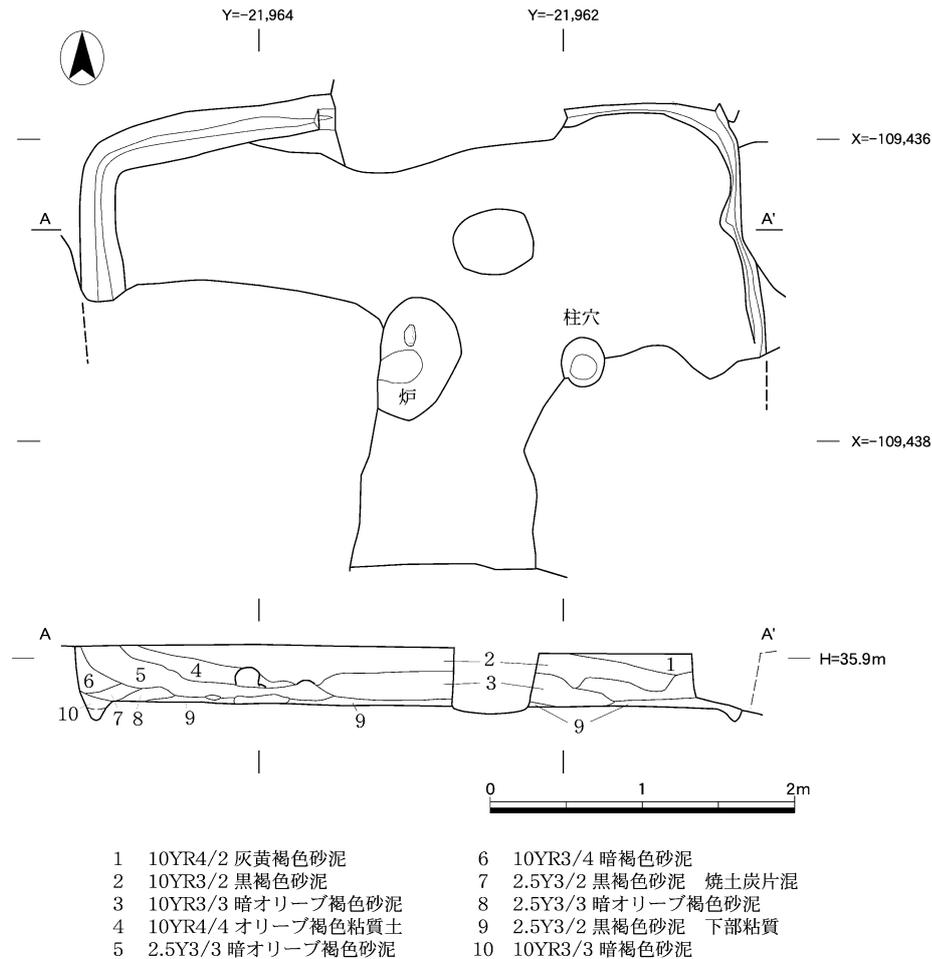


図 10 SB1290 実測図 (1 : 50)

SB1270 2区北端に検出した竪穴住居。南東隅の壁溝および柱穴を1基を確認したが、規模は不明である。弥生時代中期と思われる土器片が出土している。量が少なく厳密に時期を特定できないが、方位がSB500と同様に大きく東に振れていることから同時期に存在した可能性もある。

SD400 1区南西部に位置する斜方向の溝。北東から南西へ調査区西壁までの約5.0mを検出したが、さらに延長しているようである。幅は少なくとも0.6m、深さ0.3m。少量の弥生土器片が出土した。

このほか調査区各所で弥生土器が出土した箇所があるが、少数のピットを除き後世の遺構によって破壊され形状が不明なものが多く、遺構として認定できるものはなかった。

#### (4) 古墳時代の遺構 (図 11)

SK505 (図版 7) 1区北東隅、SB500と重複する土壌。南西部を近世の土壌により破壊されているが、東西長約0.8m、南北0.6mで、平面長方形を呈する。壁はほぼ垂直に掘り込まれており、底部は平坦である。深さは0.7m。少量の古墳時代土器や製塩土器のほか、SB500に由来すると思われる弥生土器が出土している。

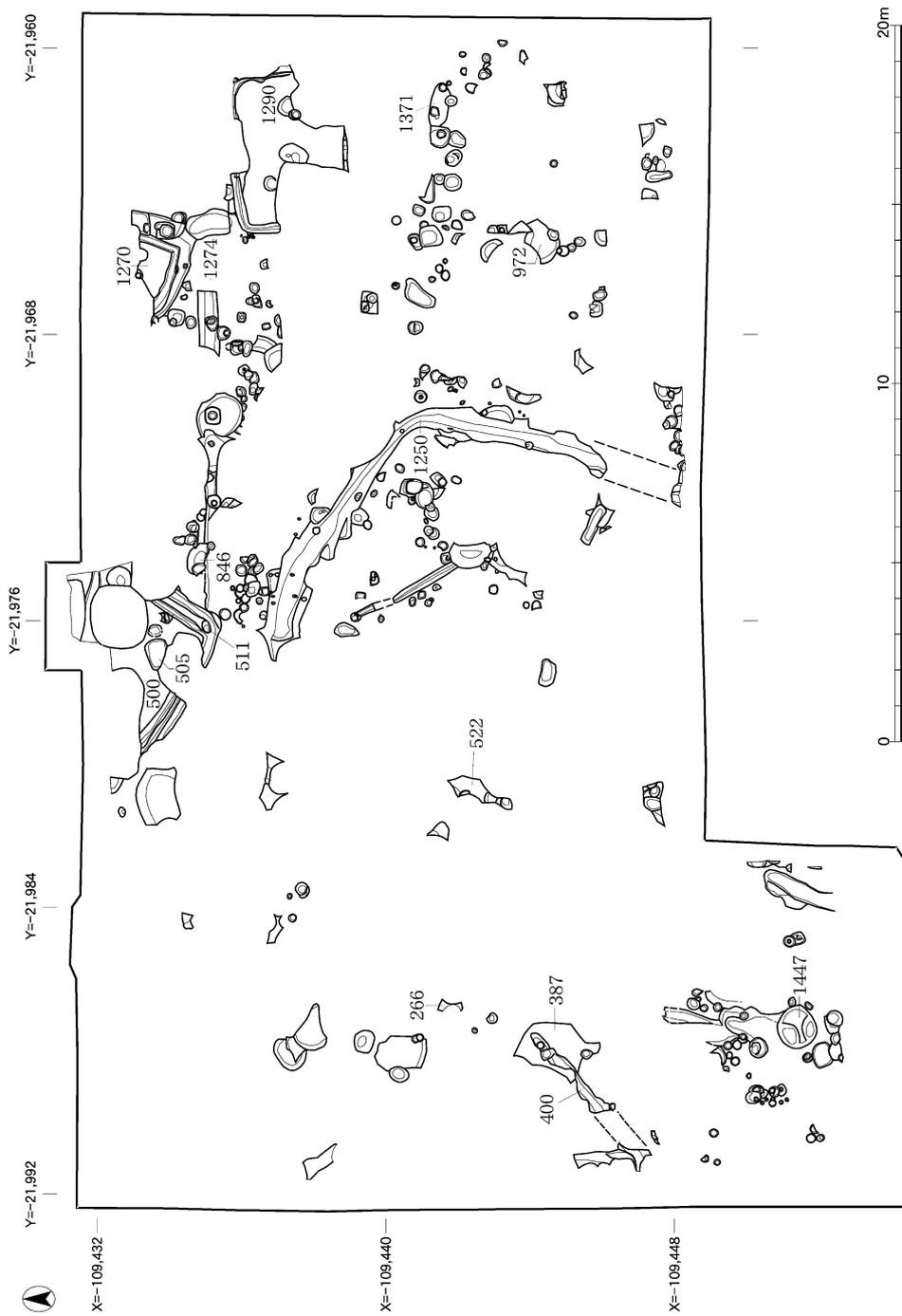


図 11 調査区平面図 1 平安時代およびそれ以前の遺構 (1 : 200)

### (5) 平安時代の遺構 (図 11)

時期の判明した平安時代の遺構のうち 9～10 世紀に属するものはわずか 10 遺構で、その大半が小規模なピットである。11～12 世紀の遺構は比較的遺構面の残っていた 2 区で多数検出されているが、やはり主体は小規模なピットである。

SX1371 2 区東壁寄りに位置する東西 1.2 m の土壇。北側を近世の土壇に削られ南北規模は不

明。深さは0.1 mと非常に浅く、暗茶褐色の均一な粘質土が堆積していた。遺物は少量だが9世紀前半（1-C）の土器類が出土した。9世紀代の遺構はこの土壌のみである。

Pit511 1区北東隅、SB500南東隅に重複する0.2 m×0.3 m、深さ0.2 mの小ピット。周辺に関連するピットはないが、ほぼ同時期の溝SD1274の延長上に位置する。緑釉陶器の皿（83）が出土している。

SD1274 2区北部に位置する東西方向の溝。両肩部を検出できたのは、東から1.6 mのみだが、北肩はそれよりさらに7.0 mのPit511付近までを確認している。幅0.5 m、深さ0.2 mで、溝内の堆積は均一な暗褐色砂泥。少量だが、3-Aに属する土師器が出土した。

SK846 2区北西部で検出した東西0.9 m、南北0.6 mの土壌。平面楕円形を呈する。炭片の混じる暗茶灰色の堆積土には5-Bに属する土師器皿が多く含まれていた。

SK387 1区西部、SD400に重複する浅い皿状の土壌。南北2.4 m、東西は1.7 m前後か。薄く炭や土器片を多量に含む土層が重層しており、5-B～6-Aに位置付けられる土師器や白色土器の高杯などが出土している。

## （6）鎌倉・室町時代の遺構（図14）

SK822(図12) 2区北西部に位置する東西2.2 m、南北1.0 mの長方形を呈する土壌。深さは0.4 mで断面逆台形を呈する。底部は平坦である。土壌内の堆積は3層に分かれ、中層から6-Bに属する土師器皿や須恵器鉢、青磁、青白磁などが出土した。北肩の一部をSK737やピットによって壊されているが、ほぼ完全な形で残存していた。

SK239 1区南西隅に位置する径約1.3 m程の円形の土壌。深さ0.2 mで断面は浅い皿形を呈する。多量の土師器のほか須恵器、青磁、白磁、砥石など、7-Aに属する遺物が出土した。

SK141(図13、図版8) 1区東部、南北中央付近に位置する埋め糞遺構。径0.75 mの掘形に口径50.4 cm、高さ87.1 cm、最大径89.9 cmの常滑大甕を埋設している。掘形底部から0.5 m以上は削平を受けているが、甕の上半はそれ以前に破損していたらしく、肩部から口縁部の破片が甕

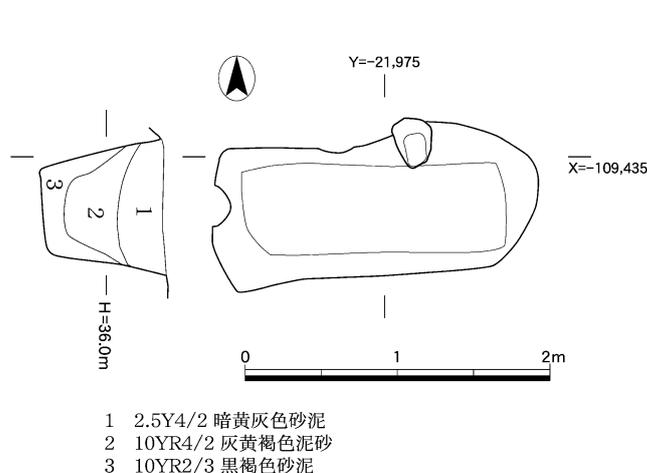


図12 SK822 実測図（1：50）

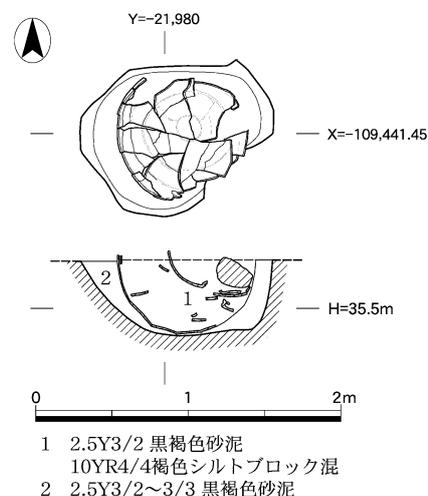


図13 SK141 実測図（1：50）

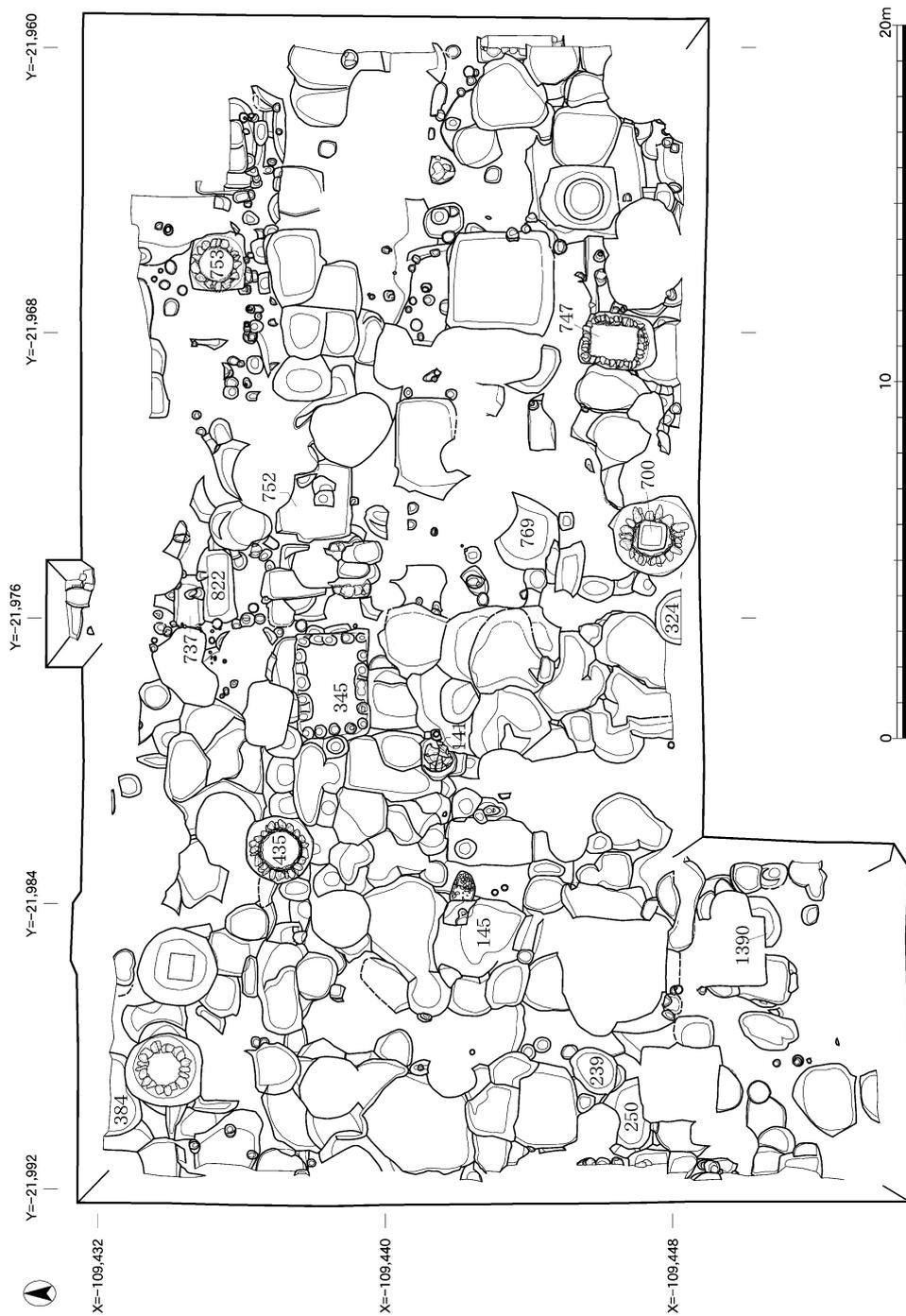


図 14 調査区平面図2 鎌倉・室町時代の遺構 (1 : 200)

の体部中程から底部にかけて落ち込んでいた。甕内部にはそれ以外の遺物はないが、掘形から 7-A の土師器が少量出土した。

SK1390 3区東部で検出した土壇。東西約 1.5 m、北側を近世の土壇 SK1378 に切られ、南北規模は不明である。肩部からなだらかに下がり、深さは約 0.2 m。堆積土は炭片を含んだ暗灰色の粘質土。肩部からの傾斜に沿って多量の 7-B の土器類が重なって出土した。

SK250 1区南西隅 SK239 の南西部に接する東西約 2.0 m、南北 1.5 m の楕円形を呈する土壇。

出土遺物からみた時期はSK1390に近いが、瓦器の椀や鍋比率が高い。

SE435（図15、図版8）1区東西中央北寄りに位置する円形石組み井戸。掘形は径約1.9mの円形。深さは検出面から約3.2m、底部の標高は32.6mである。石組み径は上部で1.3m、最下段では1.1mの円形。高さ2.2mで16段が残存していた。石組みの石材には最大長18～46cmの自然石が使用されていたが、最も多いのは25～30cmの石材である。石種は残存していた個数310のうち8割以上が砂岩で、そのほかチャートや花崗岩が少量ある。井戸底部には幅25cmの板を一辺0.8mの方形に組み合わせた木枠が据えられていた。井戸内の堆積は腐植土の混じる暗褐色砂泥で、多量の土師器のほか白磁や青磁が出土している。土器類は7-Bに属する。

SE324 調査区南壁、1区から2区にかけて検出した井戸。南半は南壁にかかる。石組みなどの痕跡はなく構造は不明。掘形は東西1.5m、深さは検出面から2.3m、底部の標高は33.7m。炭や焼土の

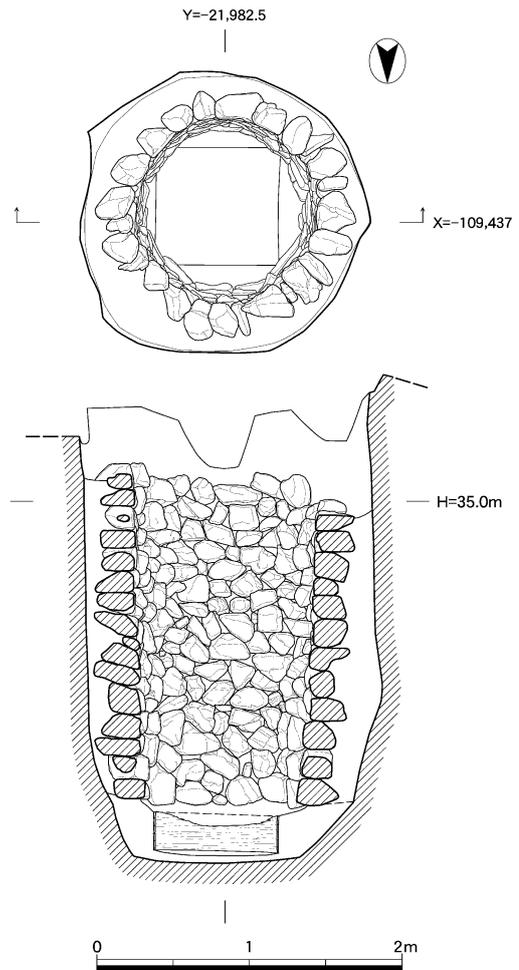


図15 SE435 実測図（1：50）

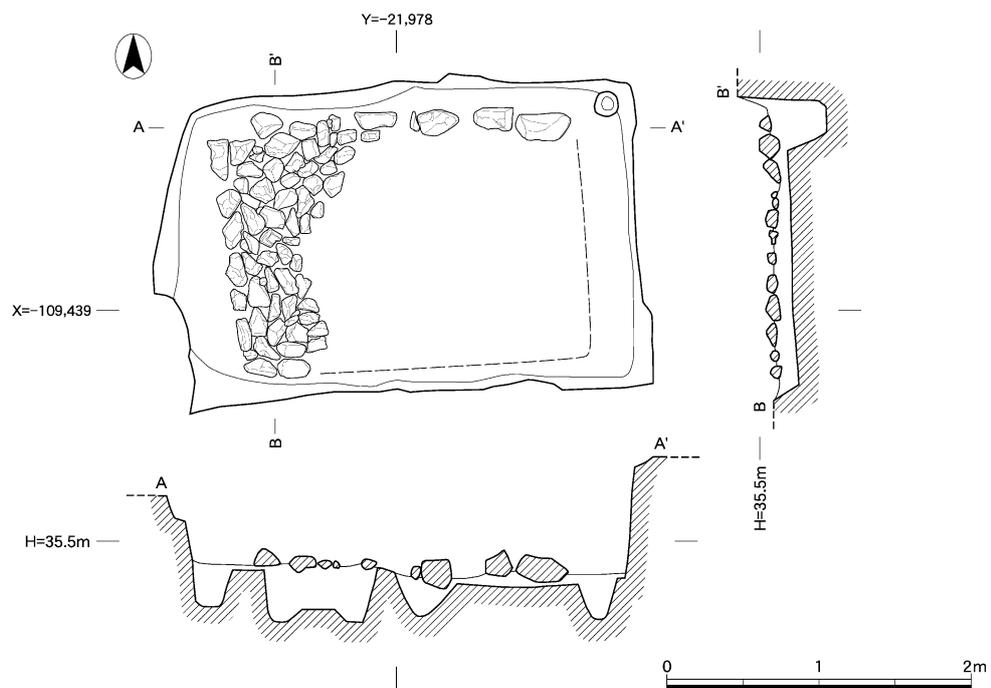


図16 SK345 実測図（1：50）

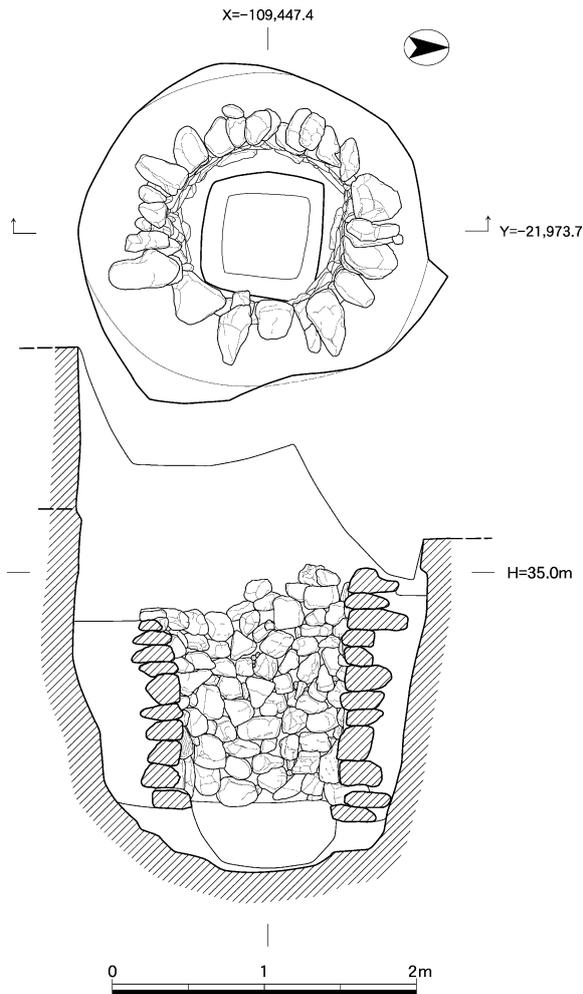


図 17 SE700 実測図 (1 : 50)

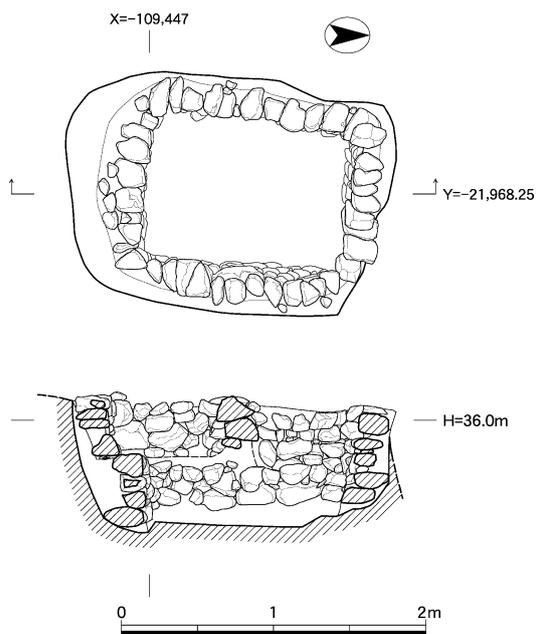


図 18 SX747 実測図 (1 : 50)

細片を含む黒褐色砂泥が堆積し、7-Cに属する多量の土器類が出土している。

SK345 (図 16、図版 8) 1区東端、南北中央やや北寄りに位置する東西 3.2 m、南北 2.1 m、深さ 0.75 mの地下室と思われる土壇。底部に拳大の礫が敷かれ、北壁に沿って 20 ~ 30 cmの石を 6 個検出した。さらに礫敷きや石の下部の壁沿いに径 0.3 ~ 0.5 mのピットが密に並ぶ。7-Cに属する土器類が出土している。

SK737 2区北西部、SK822の北に接する土壇。南北 0.8 m、西側を近代の土壇に破壊されているが東西約 1.5 mを検出した。深さは 0.3 mで、断面は緩い「U」字形を呈する。土師器・古瀬戸など 8-Aの土器類が出土している。

SK384 1区西端付近の北壁沿いに位置する土壇。東西 2.4 m、南北は南半約 1.0 mを検出したが、さらに北に延びる。深さ 0.6 m。8-B ~ 9-Aの特徴を持つ土器類が出土しているが量は少ない。

SK769 2区西部の南寄りに位置する土壇。東西 2.0 m、南北 1.8 m。深さは周囲を後世の遺構に削り取られているため 0.2 m程しか残存しておらず不明である。底部は平坦である。9-Bに属する土師器のほか古瀬戸や青磁が出土している。

SK145 (図版 8) 1区中央部のやや南西寄りに位置する土壇。東西 2.2 m、南北 2.4 m、深さ 0.4 m。断面皿形を呈する。土壇内の堆積は炭の細片をわずかに含んだ茶灰色の均一な砂泥。南東部から 9-Bに属する土師器皿が集中して出土した。

SE700 (図 17) 2区西部南壁沿いに位置する円形石組み井戸。掘形は径約 2.4 mの円

形。深さは検出面から 1.9 m、底部の標高は 33.1 m である。石組みは上部が失われていたが、残存部最上段で径 1.2 m、最下段で 1.1 m。石積みは 11 段、高さ約 1.6 m 残存していた。9- C に属する土器類が出土しているが量は多くない。

SK752 2区北西部に位置する土壇。南北 2.1 m、東西 2.2 m の方形を呈する。底部は平坦で、立ち上がりも垂直に近く整った形状である。深さは 0.5 m。上層に土器類を多く含んだ灰褐色砂泥、下層には暗褐色粘質土が堆積していた。土器類は 10- A に属するが、下層出土のものはやや古い特徴を持つ。

SX747 (図 18) 2区南部に位置する石室。3段階の石組みが重複しており、内寸で南北 1.3 m、東西 1.0 m の石組みが最終的に南北 0.65 m、東西 0.8 m に縮小されている。改修は最古段階の石組みを破壊せず、順次底部を底上げして構築されている。10- B の土器類が出土している。

このほか 1 区東部では室町時代後期の土取と思われる不整形な土壇を多数検出した。いずれも地山の茶褐色砂泥を下層の礫層まで掘り採っている。

## (7) 桃山・江戸時代の遺構 (図 20)

SK176 1区北部に位置する土壇。東西は後世の井戸や土壇に破壊され不明だが、2 m 以上。南北 2.4 m、深さ 0.6 m。北肩はなだらかに下がるが南肩は急に落ち込む。炭・焼土片を含む灰褐色の泥土が堆積し、多量の土師器とともに取鍋や轆羽口などが出土した。土器類は 11- A に属する。

SK70 1区北西部で検出した東西 2.8 m、南北 2.0 m、深さ 0.5 m の楕円形を呈する土壇。土壇内の堆積は暗オリーブ褐色の砂泥だが、一部に黒色の灰層が厚く堆積していた。遺物は豊富で、多量の土師器のほか美濃・唐津・軟質施釉陶器などの国産陶器あるいは染付や蕎麦茶碗などの輸入陶磁器がある。土器類は 11- A (新相) に位置づけられる。

SK80 1区南東隅に位置する土壇。東西 1.1 m、南半は南壁にかかり南北 1.0 m を確認した。深さ 0.4 m、断面は逆台形を呈する。堆積土は炭や土器片を多く含む暗褐色砂泥。出土土器類は 11- B (古相) に属する。

SK146 1区南西部から 3区にかけて検出した土壇。平面形は一辺 2.2 m の正方形を呈する。深さは約 1.0 m で、土壇内には炭や腐植土が混入した土層が重層し、11- B に属する土器類を主とする遺物が多量に出土した。ゴミ廃棄土壇と思われる。

SK1378 (図 19、図版 8) 3区北東部に位置する

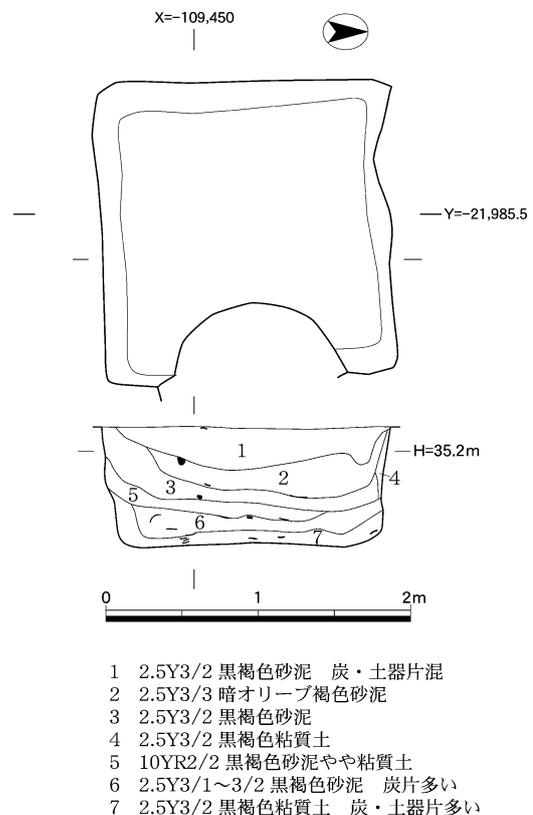


図 19 SK1378 実測図 (1 : 50)

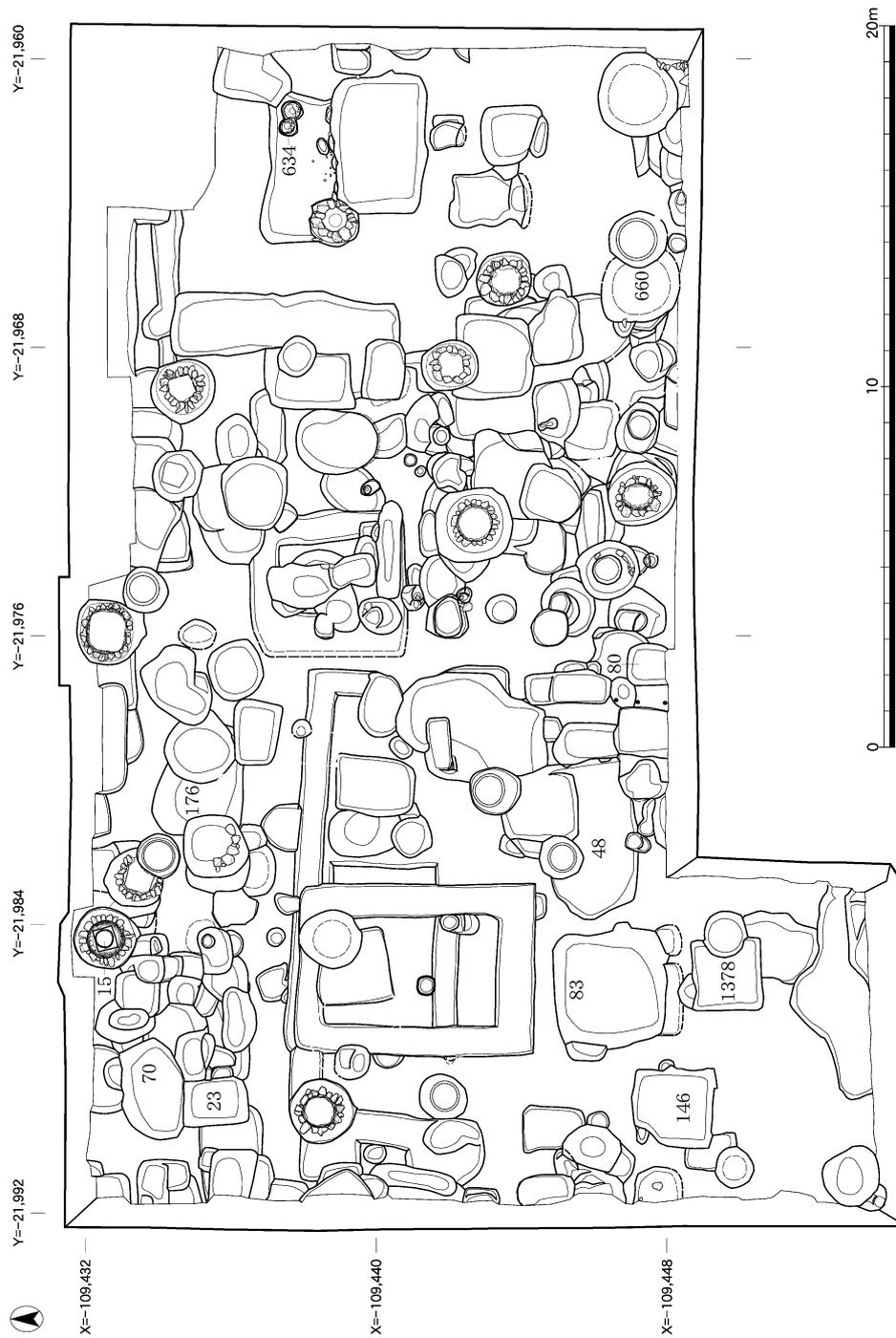


図20 調査区平面図3 桃山・江戸時代の遺構 (1 : 200)

土壇。東辺を井戸によって破壊されているが、平面形は約2.0 m四方の正方形を呈する。四周とも肩部から底部にほぼ垂直に掘り込まれ整った形状で、SK146に類似する土壇である。遺物の出土状況もSK146と同様で、この遺構もゴミ廃棄土壇と考えられる。土器類は11-Bに属する。

SK83 (図21) 1区南部で検出した土壇。東西3.2 m、南北3.0 m、深さ1.4 m。多量の遺物が出土し、腐植土層と炭片を含む土層が重層した堆積状況から見ても、SK146やSK1378と同様にゴミ廃棄土壇と思われるが、前2者に比べ規模が大きい。出土遺物は11-B (新相) に属し、SK

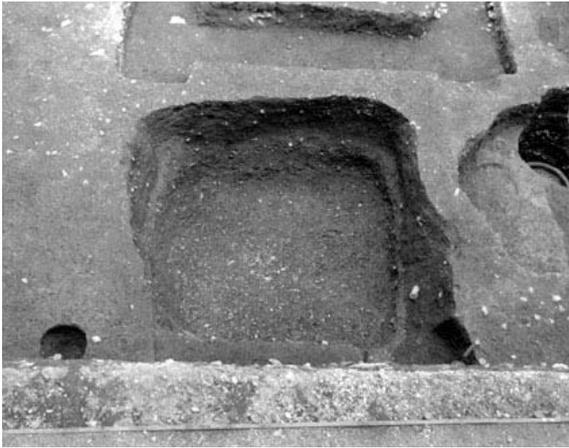


図 21 SK83 (南から)

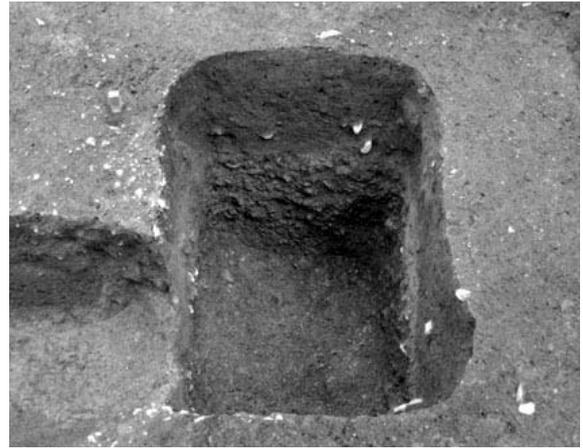


図 22 SK23 (南から)

146 や SK1378 よりは明らかに後まで利用されている。SK146・SK1378 とこの SK83 は非常に近接した位置に掘られているが、出土遺物から推定できる時期差もほとんど無い。しかしこのような性格を同じくする遺構が同時期に接近して存在した可能性は低く、比較的短期間にゴミ廃棄土壌を順次作り替えていった結果と考えられる。

SK23 (図 22) 1 区北西部に位置する土壌。東西 1.2 m、南北 1.8 m、深さ 1.6 m。土壌内には灰や炭片を多く含む灰褐色泥砂と腐植土混じりの粘質土が重層し、多量の遺物が出土した。この遺構もゴミ廃棄土壌であろう。土器類は 12- A に属する。

SE15 (図 23、図版 8) 1 区北壁沿いで検出した円形石組み井戸。掘形は径 1.7 m の円形で深さは 3.3 m。石組みは上部で径 1.05 m、最下段で 0.8 m。最下段の石組みは縦長の石材を桶状に組む。石組みは検出面から残存しており、高さ約 2.5 m、22 段分確認した。残存していた石材は 370 個で、約半数が花崗岩の切石、4 割弱が砂岩である。石材の大きさは 20 ~ 25 cm のものが最も多く、最下段以外では比較的小振りの石も多い。底部に径 0.7 m、高さ 0.65 m の木桶の痕跡と、さらに中央に径 0.5 m、深さ 0.1 m の窪みが確認できた。出土した土器類は 12- B に属する。

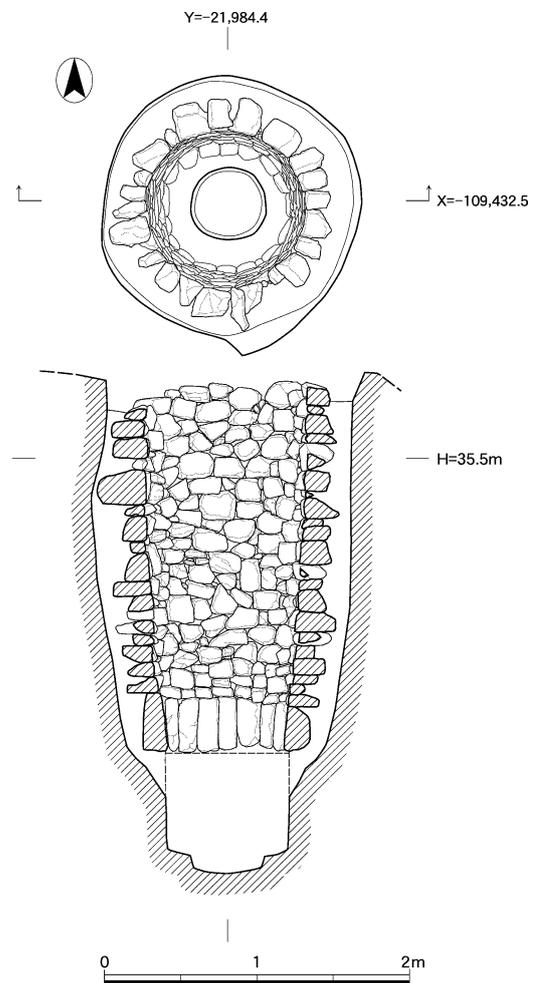


図 23 SE15 実測図 (1 : 50)

SX110 (図 24、図版 8) 調査区北壁沿い、1 区と 2 区にまたがる石組み遺構。掘形は東西 1.8

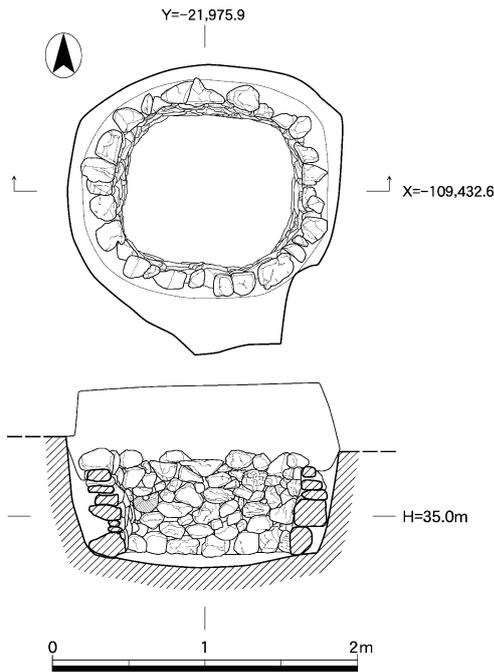


図 24 SX110 実測図 (1 : 50)

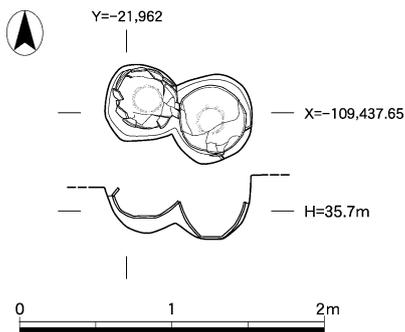


図 25 SK634 実測図 (1 : 50)

m、南北 1.9 m、深さ 1.2 m。石組みの残存高は 0.7 mで東西 1.2 m、南北 1.0 mの隅丸方形に組まれている。石材は砂岩とチャートが主体で、20 cm未満の石も多く使用されており、石積みはやや粗雑である。底部は中央がやや窪むが、ほぼ平坦で、地山の砂礫面で掘り止めている。形状や構造から井戸や石室ではなく便所遺構と推定している。

SK634 (図 25、図版 8) 2区北東部に位置する埋め糞遺構。丹波産と思われる糞を東西に2つ併置している。掘形は糞の形状に合わせた「8」字形で東西 1.0 m、南北 0.6 m。糞はほぼ同型だが、大きさは東側に設置されていたものの方がやや大きい。破棄される際に上半部が内側に割り落とされており、両者ともほぼ完全な形に復元できた。糞内から少量の 12- Bに属する土師器皿が出土している。

SE660 2区南壁沿いに位置する井戸。構造は不明であるが、埋土中に石組みの一部と思われる石材や漆喰片が多く含まれており、その両者を併用した井戸であったかと思われる。掘形は径約 2.0 mの歪んだ円形。深さは検出面から 2.2 mまで確認したが、調査区壁際で崩落の可能性があったため完掘できず不明である。13- Aに属する土器類が多量に出土した。

SK48 1区南部に位置する東西 4.6 m、南北 2.3 m、深さ 0.5 mの土壇。土壇内の堆積は黒色の炭化物と焼土片を多量に含む土層。焼けこげた木片や火を受けた痕跡を示す陶磁器も多く、火災の整理のために掘られた土壇と思われる。出土遺物中には特注品と思われる意匠の統一された多量の伊万里染付磁器や楽(長入・得入)向付、ガラス器あるいは古染付や伊賀水指など伝世品と思われる茶陶類、また金蒔絵を施した漆器片など的高级品が多く含まれていた。土器類は 13- A(新相)に属する。

### 3. 遺物

#### (1) 遺物の概要

今回の調査で出土した遺物は整理箱にして 405 箱である。その大半は土器・陶磁器類で、その他に瓦類、金属製品、木製品・漆器、石器・石製品、骨製品などがある。これらの遺物は弥生時代・古墳時代および平安時代から近世までの幅広い時期に属し、種類も多彩である。以下では土器・陶磁器類に限っても総破片数 174,620 片に及ぶ多量の出土遺物のうち主要なものについて時期を追って記述する。

表3 土器・陶磁器類の時期と破片数

時 期	破片数	比率
弥生時代	6,180	3.5%
古墳時代	12	0.0%
平安時代前半	51	0.0%
平安時代後期	10,090	5.8%
鎌倉時代	23,790	13.6%
室町時代前半	15,704	9.0%
室町時代後半	43,496	24.9%
桃山時代・江戸時代前期	40,133	23.0%
江戸時代中期以降	35,164	20.1%
総計	174,620	100.0%

#### (2) 弥生時代の遺物

弥生時代の遺物は竪穴住居や方形周溝墓など弥生時代の遺構から出土したもののほか、数片ずつではあるが、多数の中・近世の遺構からも出土しており、総量は比較的多い。弥生時代中期および後期のものがある。これらのなかでは土器が大半を占めるが、石斧や石包丁などの石器も少量出土している。

SX1250 出土遺物 (図 26、図版 9) 壺 (1～7・13・14・19・20)・甕 (8・9・15～18・21・22)・鉢 (11・12)・高杯 (10) がある。1 は内傾する口縁外端面に斜格子文、口縁部上面に櫛描扇形文を施す。2 は肩部上端に斜方向の細かい刻目を施す。3 は上方に開く口縁部を外方に張り出し、直下に凸帯を巡らせる。口縁端部と凸帯には刻目を施す。4 は大型の有段口縁の広口壺である。頸部に刻目を持つ凸帯が巡る。5 も大型の壺で、頸部に横方向の櫛描直線文を施す。外面肩部に斜方向の、内面は横方向のハケメ調整。6 はほぼ垂直の面をなす口縁外端面に凹線と刻目を施す。7 は垂下する口縁外端面に簾状文を施している。8 は口縁端部は受け口状に立ち上がり、頸部外面に縦方向、内面には横方向のハケメ調整。9 は口縁外端面下方に刻目、頸部にはハケメがかすかに残る。10 は口縁部を水平に外方に広げ、屈曲部内面に凸帯を巡らせる高杯である。器面はヘラミガキ調整されているようだが、磨滅してミガキの単位は不明瞭である。11 は内湾する体部外面に櫛描文を 5 段施文している。12 は粗製の小型鉢。外面ナデ調整。13 は細頸壺あるいは水差し形土器の口縁部か。外面口縁部直下から下方へかけて 5 条の凹線が施されている。14 は口縁端部をナデ調整。それ以下は斜方向のハケメ調整。15 は肩部から外方に「く」字形に開く口縁端に刻目を施す。外面肩部にタタキメが残る。16 は「く」字形に開く口縁端部をわずかに上方につまみ上げる。外面は丁寧なナデ調整。17～19 の外面は縦方向のハケメ調整。19 の底部には小孔があげられている。20 の外面はナデ調整。外面は磨滅して不明である。21・22 はいずれも小型の甕と思われる。22 の外面にはかすかにハケメが残る。

SB500 出土遺物 (図 27、図版 10) 壺 (23～25)・甕 (26・27)・高杯 (29)・脚台 (28・30・31) がある。23 と 24 は床面直上、他は埋土からの出土である。23 は胴部中程に張りのある壺。

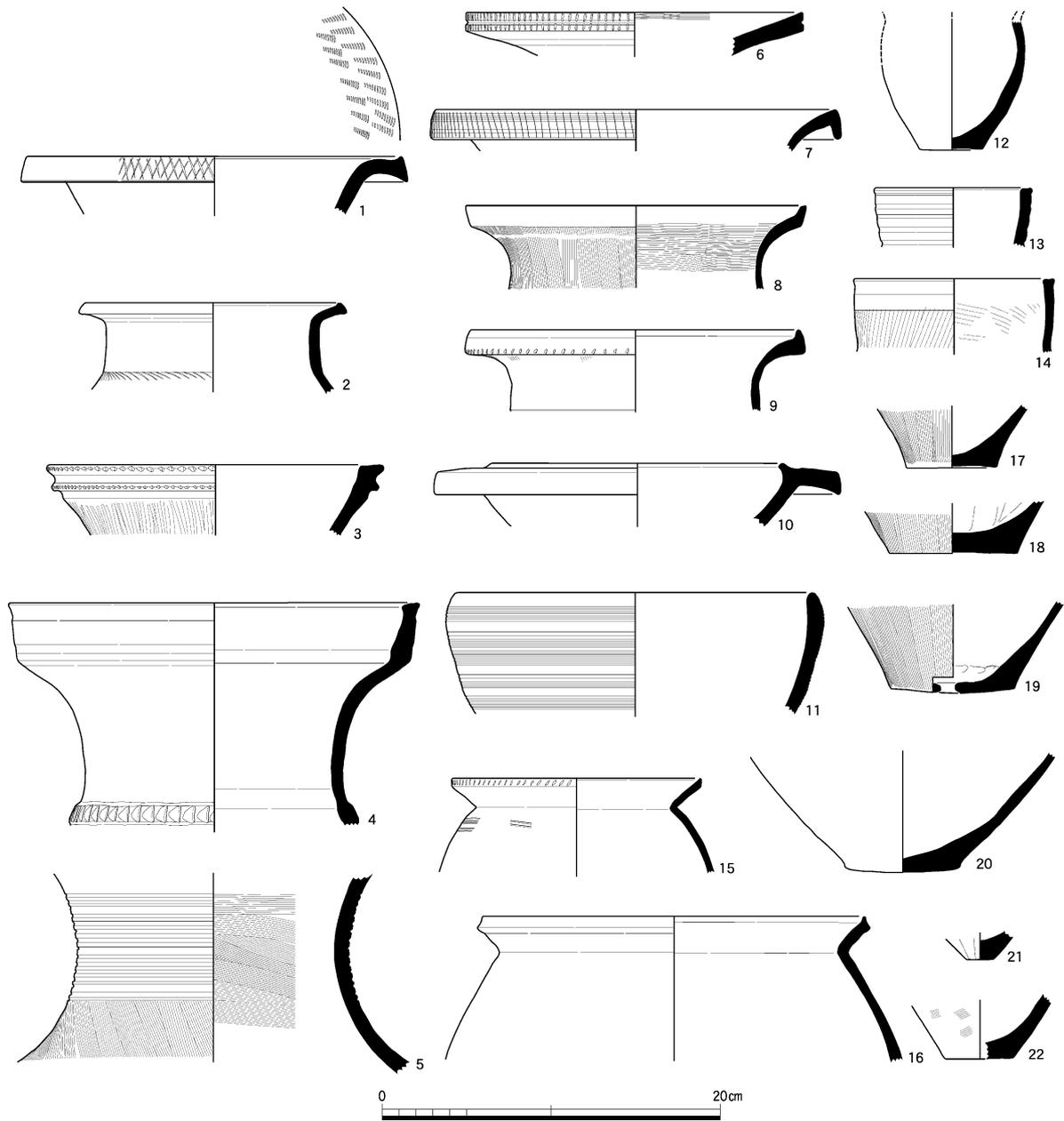


図 26 SX1250 出土土器実測図（1：4）

器表は磨滅しているが、外面にはミガキ調整が施されているようである。24 の口縁部はやや内方に受け口状に立ち上がる。外面はハケメ調整。内面は磨滅しているが、頸部付近にハケメが残る。25 は上方に外反し開く壺の口縁部。内外面ともにナデ調整。26 は受け口状の口縁部外面に列点文、肩部に櫛描直線文と列点文を施す。27 は外面下方タタキ調整、上部および内面はハケメ調整。28 は粗製でおそらく台付鉢の脚台部。器表にオサエ痕を残す。29 は 2 段の櫛描直線文が施された高杯の脚部。下段の櫛描文の下方に円形の透かしを開ける。30・31 はともに脚台部の裾部である。31 には円形の透かしが確認でき、器台の可能性はある。

SB1290 出土遺物（図 28・29、図版 11・12）出土量が多いが、ほぼすべてが埋土中からのもので、床面で検出したものはない。甕（32～35・40・41・47）・壺（36～39・49～53）・鉢（42～46・48・54）・高杯（55～61）・器台（62・63）がある。32 は外面ハケメ調整。33～34 は受

け口状の口縁部外面に列点文を配する。肩部から胴部にかけて33は櫛描直線文・列点文・直線文、34は櫛描直線文・列点文・直線文・列点文、35は櫛描直線文・列点文・直線文・波縄文を施す。36は外面を縦方向ミガキ、内面にハケメ痕跡。37は磨滅し調整は不明である。38の外面はハケメ調整。39の外面は丁寧なナデ調整、内面は不明。40は口縁外端部に凹線が巡り、体部外面はハケメの後ナデ調整。41は外面と口縁部内面をハケメ

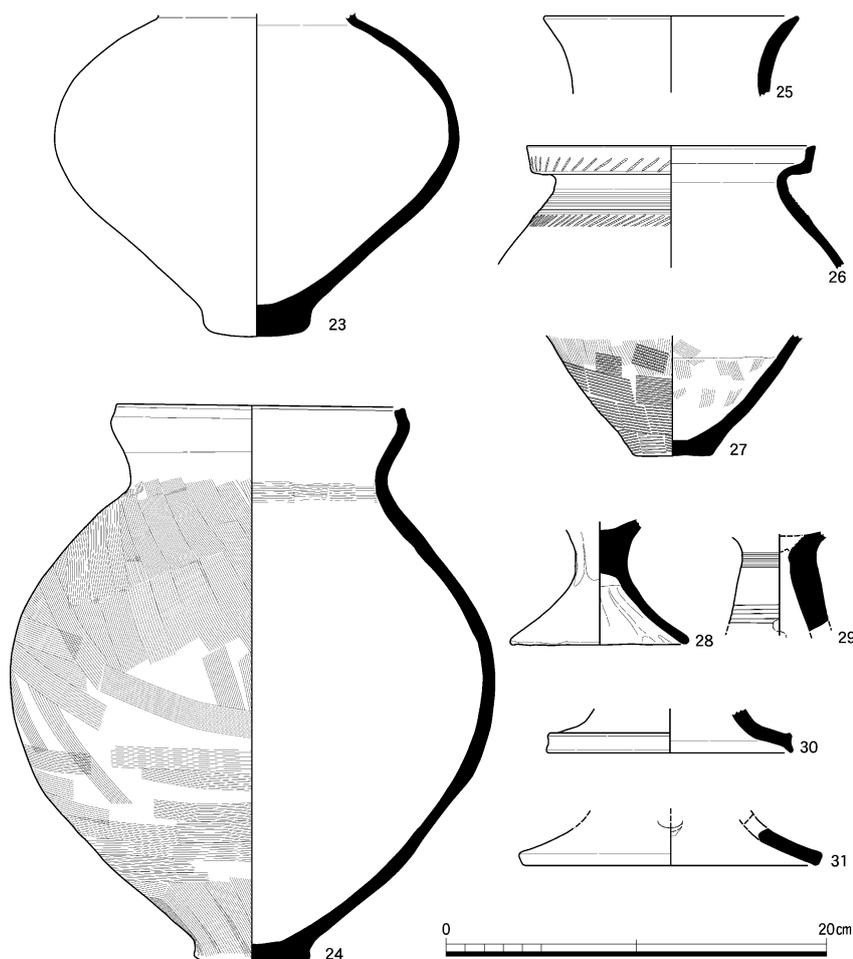


図 27 SB500 出土土器実測図 (1 : 4)

調整している。42はゆるく屈曲する受け口状の口縁部をもつ小型の鉢。全体に磨滅しており器面調整は不明。43～45は有孔鉢。43は焼成後、44・45は焼成前の穿孔である。46は受け口状の口縁部外面と肩部に列点文、体部最大径辺りに連弧状文を施す。下半はハケメ調整。47は粗製の甕。口縁部外面には指痕が残る。外面は粗いハケメ調整で粘土の接合痕を残す。48は外面ハケメ調整。49は外面に縦方向のミガキが密に施されている。50は長頸壺の口頸部で、外面はハケメの後縦方向のミガキ調整。51は外面ハケメ調整だが、体部下半はなで消されている。内面の調整は粗く、粘土の接合痕が残る。52は口縁部ナデ調整、体部は磨滅し不明だが、外面にハケメがかすかに残る。53は口縁部ハケメ後ナデ調整、体部はハケメ調整の下にタタキ痕跡を残す。54は台付きの鉢か。外面のミガキ調整は密で、単位は不明。55は脚部を縦方向のミガキ調整。裾部の8方に円形の透かしを配する。56～58は大きく開く体部から上方に外反する口縁を持つ高杯。56は内外面とも縦方向のミガキ調整。57は口縁部外面に波状文を施す。58は杯部内面上半を横方向、下半を縦方向のミガキ調整、外面は杯部下半から脚部にかけて縦方向のミガキ調整。脚の3方に円形の透かしを開ける。59は杯部が椀形を呈する高杯。杯部内面はナデ、外面はハケメとナデ調整。脚部は縦方向の粗いナデ。60は脚部の外面上半を縦方向にハケメ調整、3方に円形の透かしを開ける。61は小型の粗製高杯。内外面ともナデ調整。62は口縁端面と筒部以下縦方向

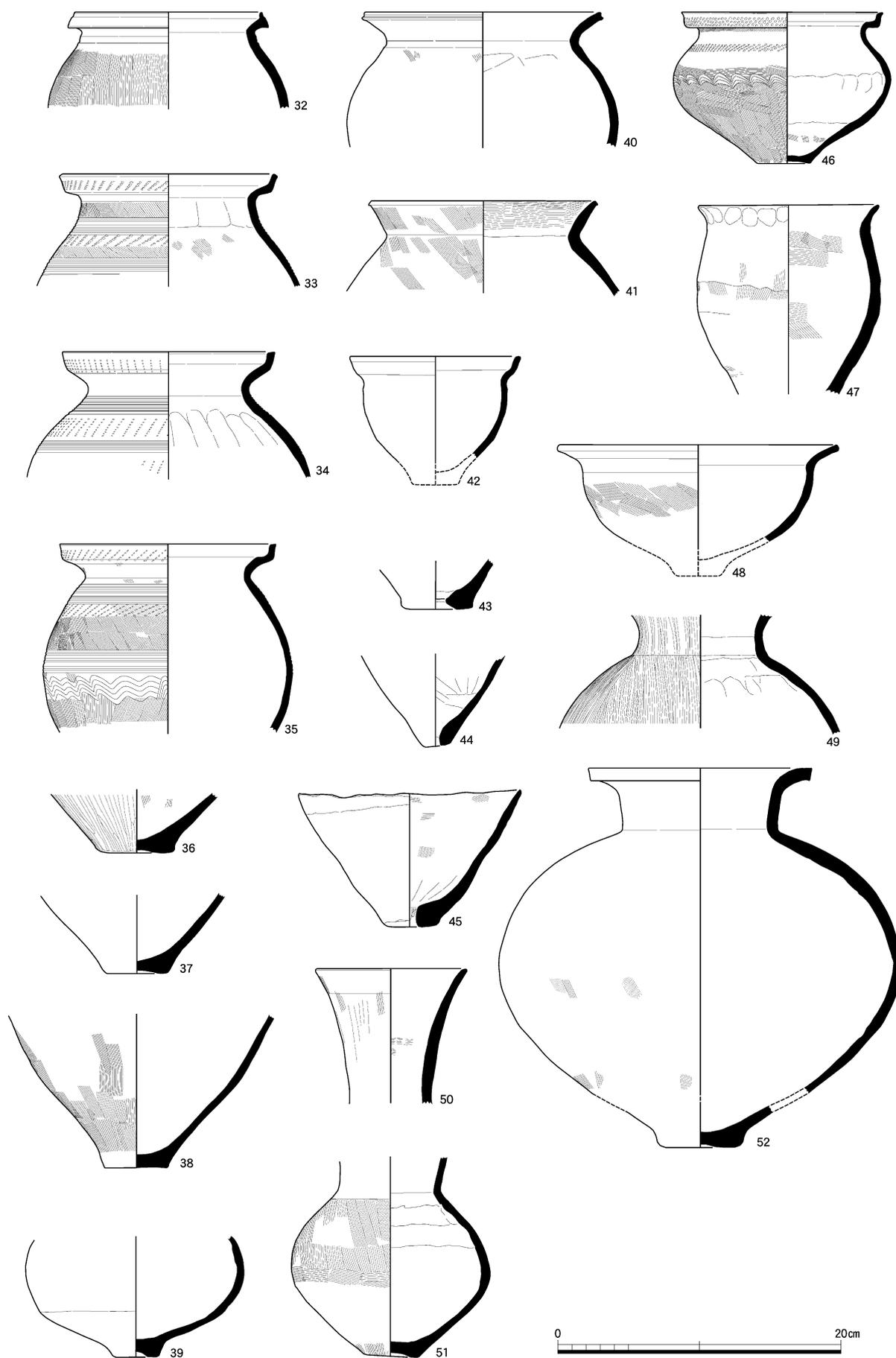


图 28 SB1290 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

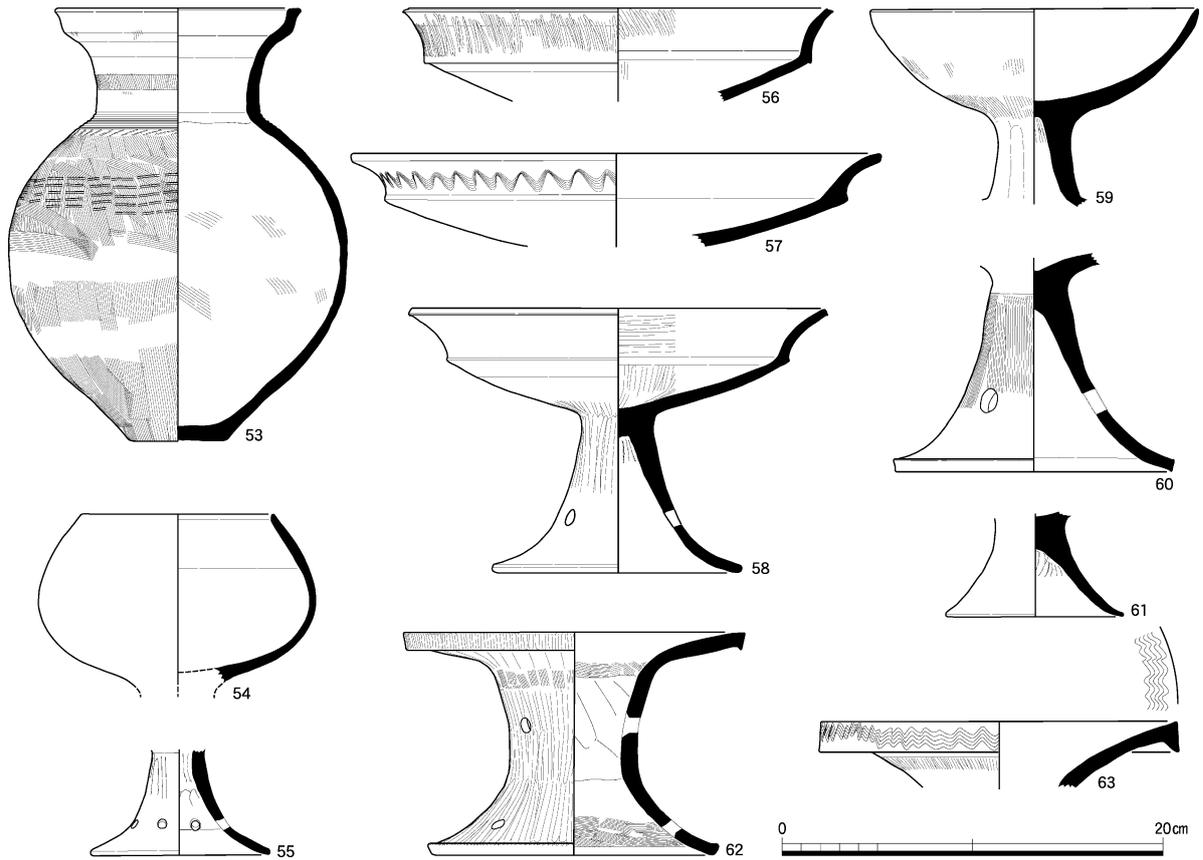


図 29 SB1290 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)

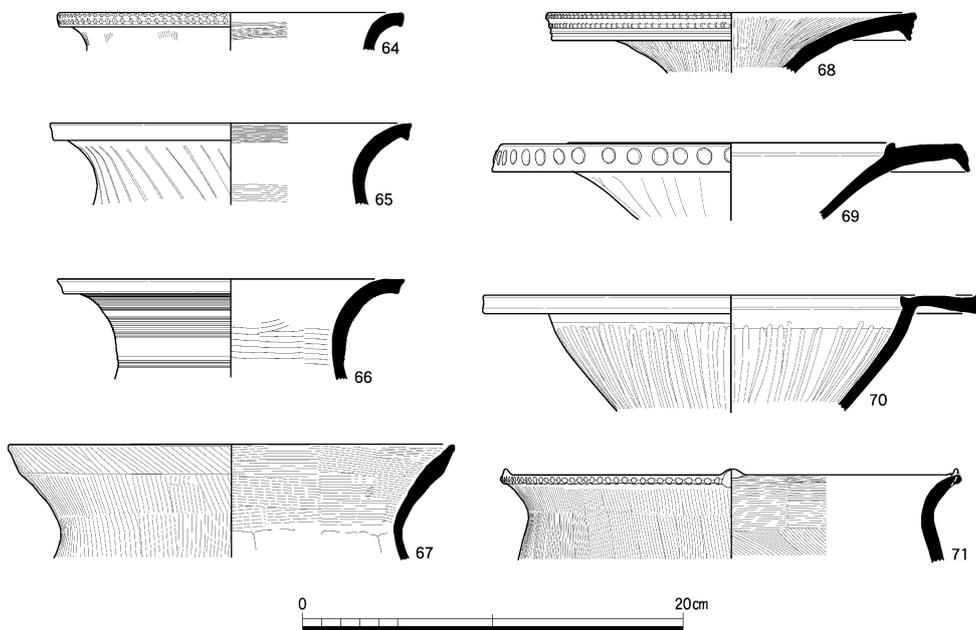


図 30 その他の弥生土器実測図 (1 : 4)

のミガキ調整を施す。受け部下方にハケメが残る。裾端部に刻目を施し、筒部および裾部の3方に円形の透かしを配する。63は口縁部上面と外端面に櫛描波状文を施す。受け部外面は縦方向のミガキ調整されている。

その他の弥生土器（図 30、図版 10）以上 3 遺構から出土したもの以外に、中近世の土取穴や包含層からも相当数の弥生土器が出土している。そのうち特徴的な 8 点（64～71）について掲載しておく。64～66 は広口壺の口頸部。64 は口縁端部の上下に刻目を巡らせる。65 は頸部外面に斜方向の線状の工具痕が残る。66 は頸部外面に 3 段の櫛描直線文を配する。67 は頸部から斜め上方に開く口縁部を持つ甕である。外面の口縁端部を斜方向、それ以下は縦方向、内面は横方向のハケメ調整。ハケメは粗く、胎土に砂粒を多く含む。68 の器台は内外面ともに丁寧なミガキ調整を施し、口縁端面に 2 条の凹線と半裁竹管文を交互に配する。69・70 は口縁部を水平に外方に広げ、屈曲部内面に凸帯を巡らせる高杯。69 は下方に縁帯状に垂下した口縁端部外端に円形浮文を貼り付ける。杯部外面に縦方向のケズリ痕を残す。70 の杯部は深く、内外面に縦方向のミガキを施す。71 の甕は外面を縦方向、内面は横ないしは斜方向のハケメ調整。口縁部に刻目を施し一部（おそらく 4 箇所）を上方に突出させる。

石器（図 31、図版 56）石 1 は砂岩製の太型蛤刃石斧。刃部には使用痕があり、基部は欠損している。残長 8.3 cm。江戸時代の土取穴 SK147 から出土。石 2 は黒色片岩製の扁平片刃石斧。刃部および基部が欠失し、片面も大部分が剥離している。研磨は丁寧である。残長 9.3 cm。江戸時代の遺物包含層から出土。石 3 は柱状片刃石斧で、石材の種類は不明だが、淡緑灰色を呈し硬質である。上面に長軸に直交する窪みを作る。長 7.6 cm、幅 2.9 cm。SB1290 出土。石 4 は泥質頁岩製の小型鑿状石器。広端部を片刃にする。刃部の半分は欠損している。長 3.0 cm、1.8 cm。SB500

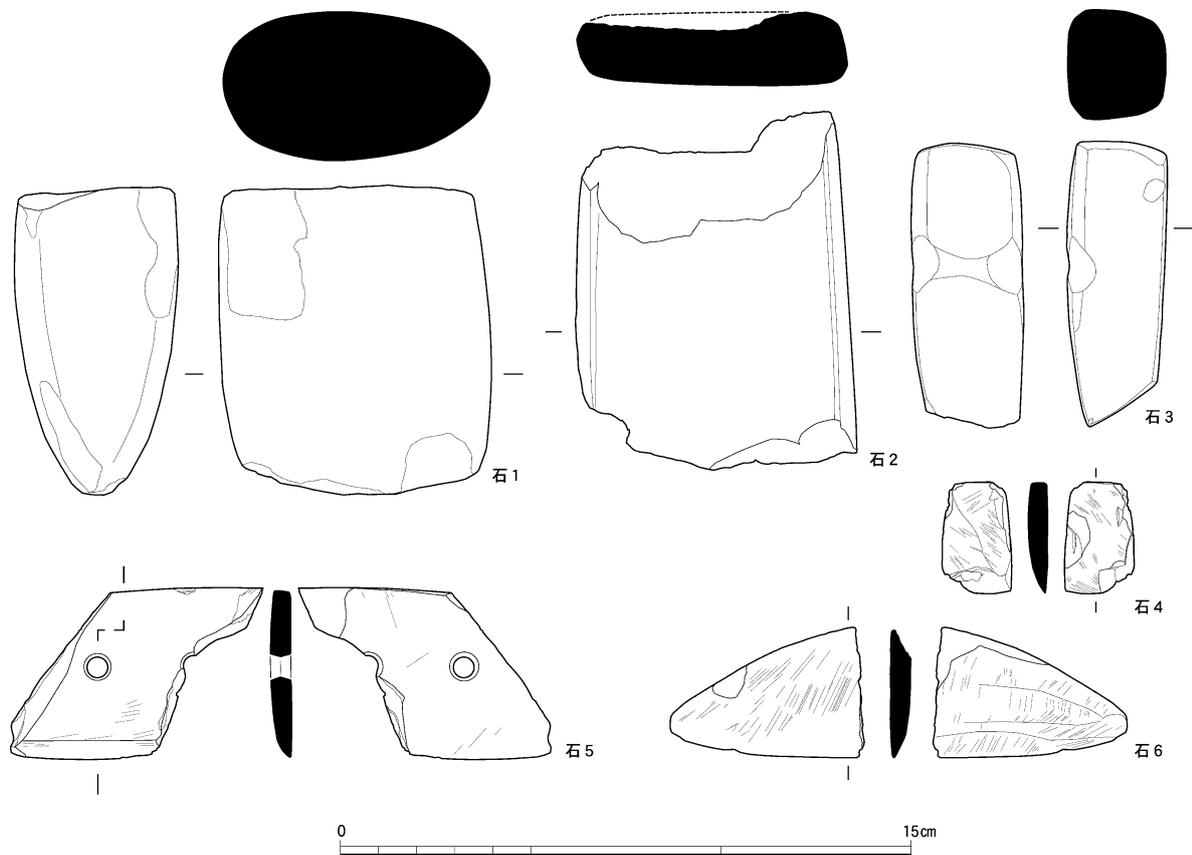


図 31 石器実測図（1：2）

出土。石5・石6は粘板岩製の石包丁。いずれも片刃で、刃部はゆるく湾曲する。石5には紐穴が2箇所確認できる。残長6.2 cm、幅4.5 cm。石6は残長5.1 cm、幅3.5 cm。

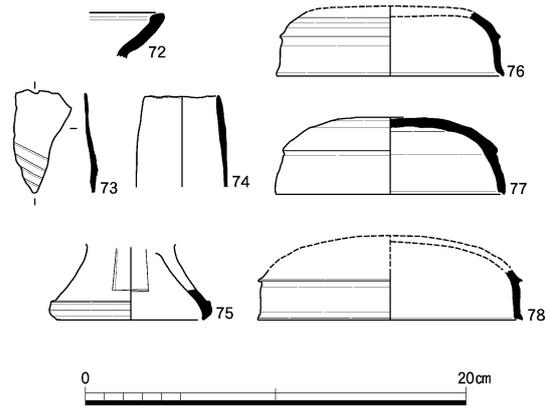


図 32 古墳時代の土器実測図（1：4）

### （3）古墳時代の遺物

土壙 SK505 や包含層から古墳時代の土器類が出土しているが、出土量は弥生時代や平安時代以降のものに比べ極めて少ない。

土壙 SK505 出土土器（図 32）総量はわずかで小破片となっているものが多いが、土師器甕の口縁部（72）・製塩土器と思われる小口径で薄い器壁の土器（73・74）がある。73の外周下方にはタタキメが残る。いずれも二次被熱を受け赤灰色から赤色を呈し、一部が硬質になっている。

その他の古墳時代の土器（図 32）中世から近世の包含層からの出土であるが、須恵器が4点（75～78）出土している。75は短脚一段透高杯の脚部である。76～78は杯蓋だが、天井部まで残る77以外は細片で口径に関する信頼度は低い。

これらの古墳時代の土器類については、いずれも5世紀末～6世紀初め頃に位置づけられる。

### （4）平安時代の遺物

平安時代の遺物は多くが小規模な土壙や柱穴からの出土で、1箇所からまとまって出土したものはほとんどない。大半が土器類で、あと少量の瓦や金属製品がある。このうち平安時代前期および中期に属するものは極めて少なく大部分が後期に属し、特に12世紀代以降の遺物が大半を占めている。

平安時代前半の土器類としては、SX1371から出土した土師器皿A（81）・須恵器瓶（82）、Pit511出土の緑釉陶器皿（83）、SD1274出土の土師器皿A（79）・椀A（80）などがある（図33、図版13）。

平安時代後半の遺物についてもまとまった出土例は少なく、ここではSK846とSK387の土器類について記述する。

SK846 出土土器類（図 34、図版 13、表 4）総数 173 片と出土量は少なく、須恵器の鉢と焼締陶器甕の小片が1点ずつあるほかは、すべて土師器である。土師器には皿 N（84～92）・皿 Ac（93）・皿 X（94）がある。皿 N には口径 14.4 cm 前後（84～87）と口径 9.6 cm 前後（88～92）の2群がある。

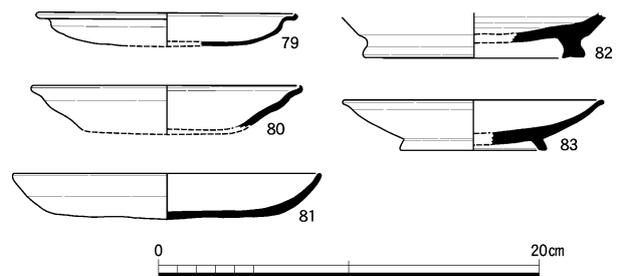


図 33 平安時代前半の土器実測図（1：4）

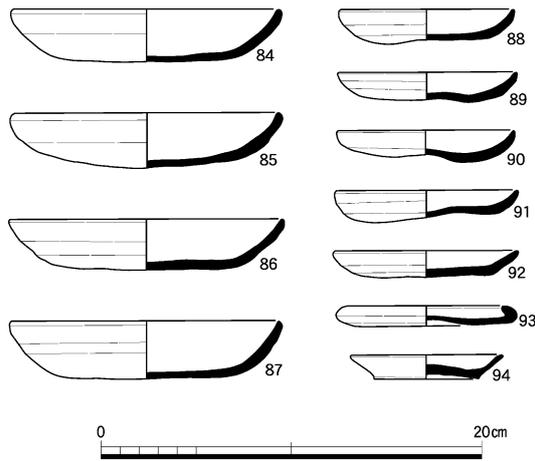


図34 SK846 出土土器実測図（1：4）

皿 N の口縁部外面には 2 段のナデが明瞭なものが多く、5-B（新相）の特徴を持つ。94 はロクロ成形で底部外面はヘラ切り未調整。他地域からの搬入品であろう。

SK387 出土土器類（図 35、図版 13・14、表 5）土師器・瓦器・須恵器・白色土器・輸入陶磁器など総数 851 片の土器類が出土した。白色土器の比率がやや高い点が注目される。土師器には皿 N (95～107)・皿 Ac (108・109) がある。皿 N は口径 9.1 cm・高さ 1.7 cm 前後 (95～99)、口径 14.1 cm・高さ 2.6 cm 前後 (104～107) と、口径 9.8 cm・高さ 2.3 cm 前後 (100・101)、口径 14.1 cm・高さ 3.2 cm 前後 (102・103) の高/径比が大きいもの（皿 Nd とする）の 4 群が認められる。口縁部外面のナデは 1 段のものが大半である。皿 Ac には口径 7.3 cm (108) と 9.6 cm のもの (109) がある。瓦器には椀 (110・111) と大型の火鉢 (119) がある。椀は内面をヘラミガキ調整、火鉢も内面に粗いヘラミガキを施す。須恵器には盤 (116) と壺 (117) がある。白色土器は形態が確認できるものについては全て高杯 (112～115) である。杯部の口径は 11.4～13.0 cm のものがある。輸入陶磁器には図示した龍泉窯系青磁椀 (118) のほか白磁椀や壺の小片がある。土器類の特徴は 5-B～6-A の特徴を示している。

表 4 SK846 出土土器の構成（破片数）

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	171	100.0%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	171	100.0%	98.8%
瓦器	椀・皿	0	-	
	鍋・釜	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	火舎・火鉢	0	-	
	他・不明	0	-	
小計	0	-	0.0%	
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	0.0%	
	鉢	1	100.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	1	100.0%	0.6%	
白色土器	杯・椀・皿	0	-	
	高杯	0	-	
	盤	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	他・不明	0	-	
小計	0	-	0.0%	
焼締陶器	甕	1	100.0%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	1	100.0%	0.6%	
輸入陶磁器	椀・皿	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	0.0%
総数	総数	173	-	100.0%

表 5 SK387 出土土器の構成（破片数）

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	775	100.0%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	775	100.0%	91.1%
瓦器	椀・皿	8	26.7%	
	鍋・釜	1	3.3%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	21	70.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	30	100.0%	3.5%	
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	0.0%	
	鉢	0	0.0%	
	壺・瓶	1	100.0%	
	甕	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	1	100.0%	0.1%	
白色土器	杯・椀・皿	0	0.0%	
	高杯	26	100.0%	
	盤	0	0.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	26	100.0%	3.1%	
焼締陶器	甕	0	0.0%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	1	100.0%	
小計	1	100.0%	0.1%	
輸入陶磁器	椀・皿	15	83.3%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	3	16.7%	
	小計	18	100.0%	2.1%
総数	総数	851	-	100.0%

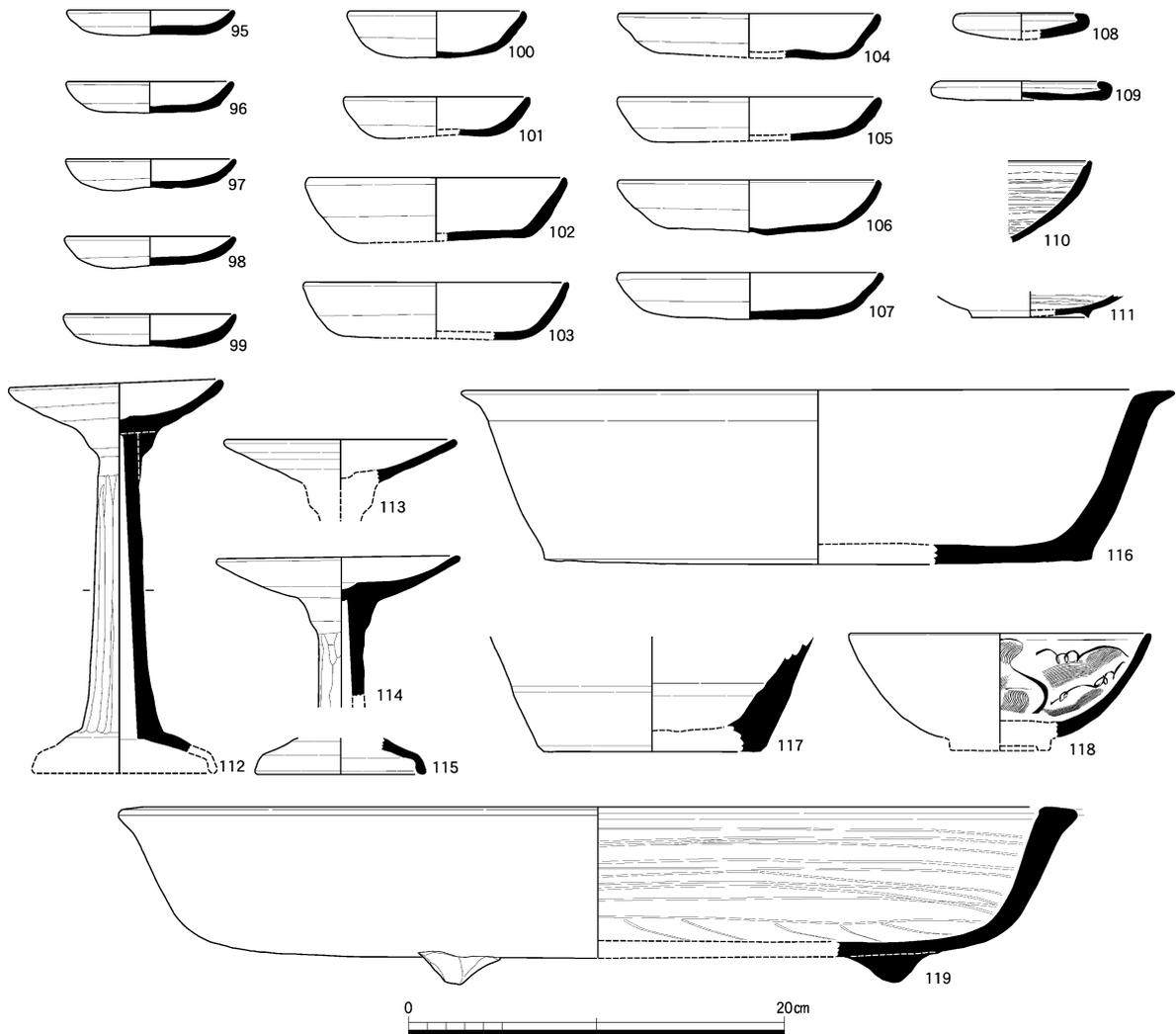


図 35 SK387 出土土器実測図 (1 : 4)

### (5) 鎌倉・室町時代の遺物

この時期の遺物は総量も多く、またひとつの遺構からまとまって出土した例も多い。

SK822 出土土器類 (図 36、図版 14、表 6) 土師器・須恵器・輸入陶磁器のほか少量の瓦器・古瀬戸・焼締陶器など総数 664 片の土器類が出土した。6-B に属する土器群で、輸入陶磁器の比率がやや高い。土師器には皿 N (120 ~ 135)・皿 S (136) があり、皿 N は口径 8.8 cm 前後 (121 ~ 125) と 12.0 cm 前後 (126 ~ 131) および 13 cm 台 (132 ~ 135) の 3 群のほか、口径 8.1 cm で形態もやや異質な小型のもの (120) が 1 点ある。瓦器には椀や鍋・釜があるが、いずれも小片である。須恵器には図示した東播系の鉢 (137) のほか皿や甕の小片がある。焼締陶器は全て甕の胴部片で常滑産と思われる。輸入陶磁器には白磁壺 (138)・青白磁合子蓋 (139)・同安窯系の青磁皿 (140・141) などがある。

SK239 出土土器類 (図 37、図版 15、表 7) 土師器・瓦器・須恵器・白色土器・焼締陶器・輸入陶磁器など総数 2,309 片の 7-A に属する土器類が出土している。土師器には皿 Sc (142・143)・皿 S (144 ~ 165)・皿 N (166 ~ 173) がある。皿 S は口径 7.7 cm 前後 (144 ~ 147)・

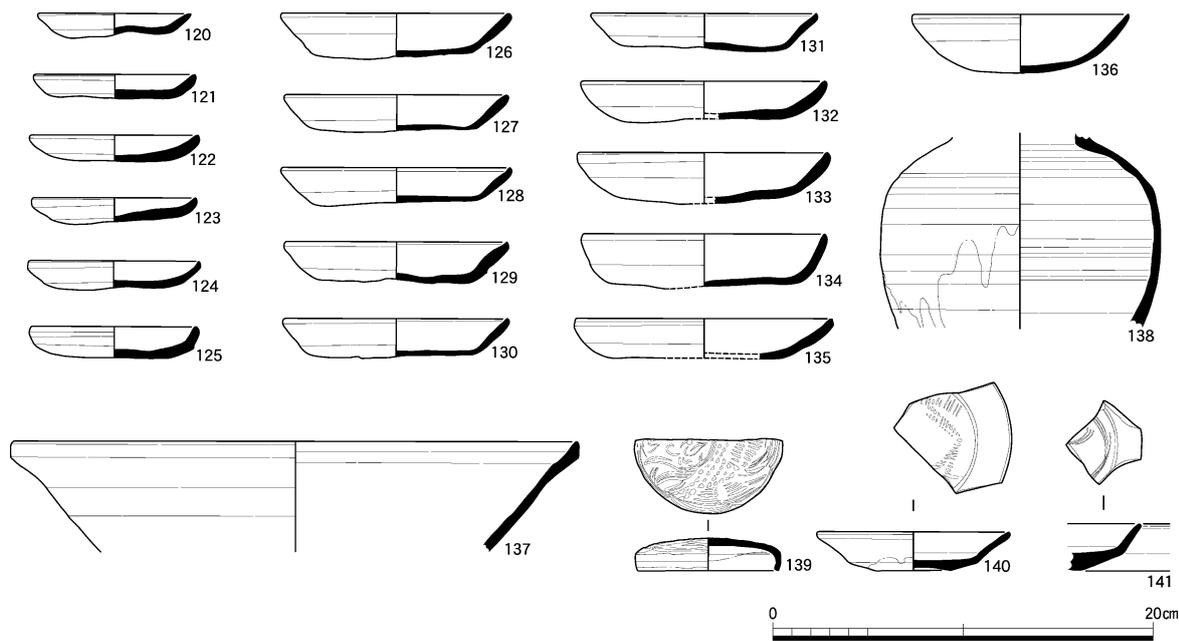


图 36 SK822 出土土器实测图 (1 : 4)

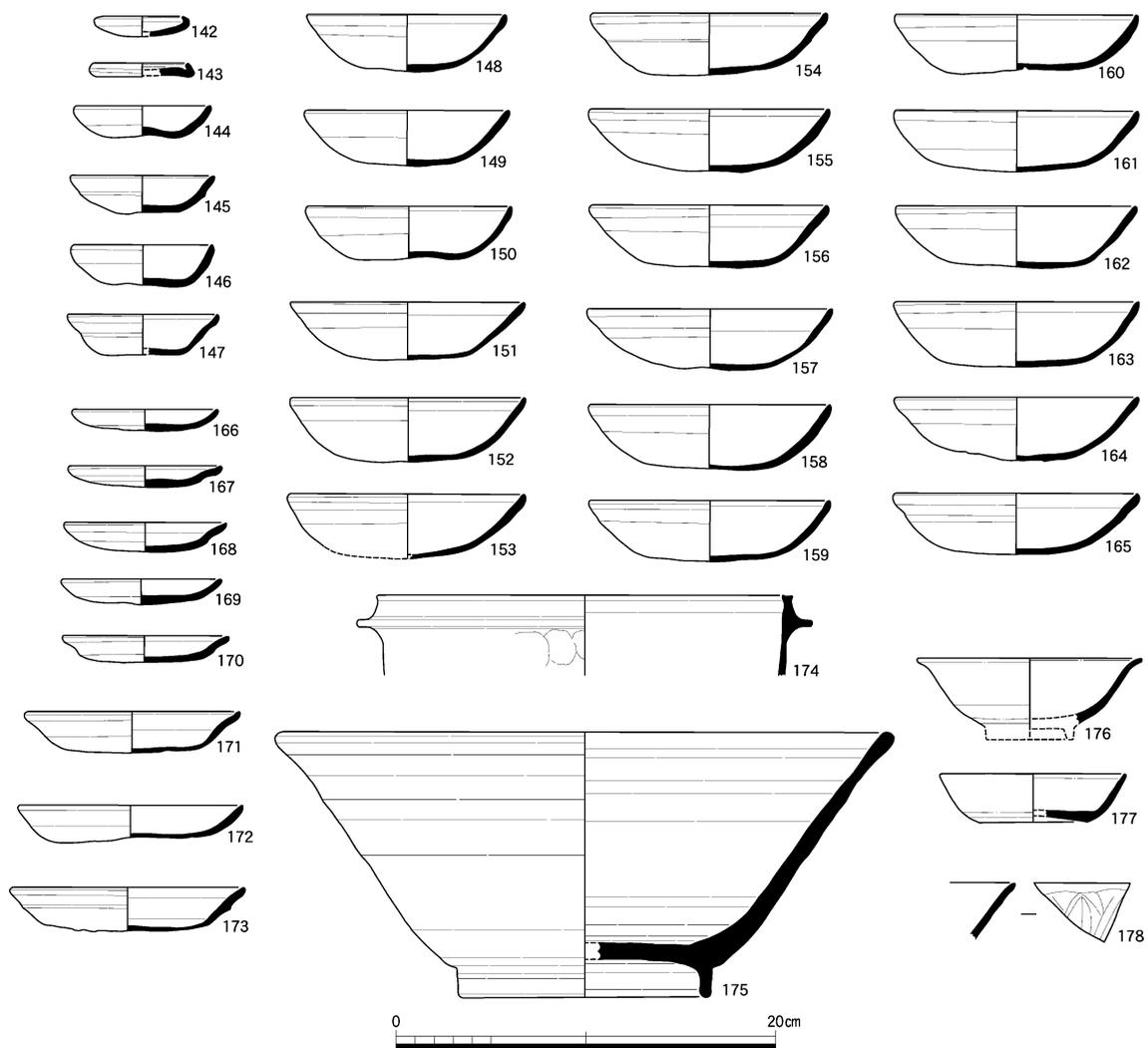


图 37 SK239 出土土器实测图 (1 : 4)

表6 SK822 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	574	99.8%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	1	0.2%	
	小計	575	100.0%	86.6%
瓦器	椀・皿	1	6.7%	
	鍋・釜	6	40.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	8	53.3%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	15	100.0%	2.3%
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	1	3.7%	
	鉢	13	48.1%	
	壺・瓶	1	3.7%	
	甕	10	37.0%	
	他・不明	2	7.4%	
	小計	27	100.0%	4.1%
白色土器	杯・椀・皿	0	-	
	高杯	0	-	
	盤	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	0.0%
瀬戸・美濃	椀・皿	1	100.0%	
	鉢	0	0.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	1	100.0%	0.2%
焼締陶器	甕	21	100.0%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	21	100.0%	3.2%
輸入陶磁器	椀・皿	20	80.0%	
	壺・瓶	4	16.0%	
	他・不明	1	4.0%	
	小計	25	100.0%	3.8%
総数	総数	664	-	100.0%

表7 SK239 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	2221	100.0%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	1	0.0%	
	小計	2222	100.0%	96.2%
瓦器	椀・皿	0	0.0%	
	鍋・釜	5	38.5%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	8	61.5%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	13	100.0%	0.6%
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	3	10.3%	
	鉢	18	62.1%	
	壺・瓶	2	6.9%	
	甕	6	20.7%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	29	100.0%	1.3%
白色土器	杯・椀・皿	0	0.0%	
	高杯	1	100.0%	
	盤	0	0.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	1	100.0%	0.0%
瀬戸・美濃	椀・皿	0	-	
	鉢	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	0.0%
焼締陶器	甕	7	87.5%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	1	12.5%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	8	100.0%	0.3%
輸入陶磁器	椀・皿	31	86.1%	
	壺・瓶	4	11.1%	
	他・不明	1	2.8%	
	小計	36	100.0%	1.6%
総数	総数	2309	-	100.0%

10.8 cm前後 (148 ~ 150)・12.8 cm前後 (151 ~ 165) の3群に、皿 N は口径 8.3 cm前後 (166 ~ 170) と 11.9 cm前後 (171 ~ 173) の2群に分けることができる。瓦器には羽釜 (174) のほか火鉢の小片がある。須恵器には底部に高台の付く山茶椀系の鉢 (175) や皿・甕などがある。焼締陶器には甕や鉢があるが、いずれも小片である。輸入陶磁器には白磁椀 (176)・皿 (177)・青磁椀 (178) のほか褐釉の壺などがある。

SK141 出土土器類 (図 38) 埋め甕本体の常滑大甕 (182) と掘形から出土した土師器皿 (179 ~ 181) がある。甕の内部には小片の土師器が含まれていたが、形態のわかる資料はない。182 は口径 50.4 cm、最大径 89.9 cm、高さ 87.1 cm の大型品である。体部中程で破損し上半部の破片は内側に崩落していた。土師器には口径 10.2 cm の皿 S (179) と口径 12.1 cm 前後の皿 N (180・181) がある。7-B に属する。

SK1390 出土土器類 (図 39、図版 16、表 8) 土師器・瓦器・須恵器・古瀬戸・焼締陶器・輸入陶磁器など 1,673 片の 7-B に属する土器類が出土したが、大半は土師器である。土師器には皿 S (183 ~ 198・205)・皿 N (199 ~ 204・206 ~ 214)・火鉢 (219) がある。皿 S には口径 7.4 cm 前後 (183 ~ 188)・10.6 cm 前後 (189)・11.9 cm 前後 (190 ~ 198) の3群のほか口径 11.8 cm・高さ 2.2 cm で通常の皿 S に比べ器高の低いもの (205) が 1 点ある。また、口径 7.4 cm 前後の小型品の中には 183 や 186 など底部がわずかに上方に上がる皿 Sh 的なものがあるが、形態差はあまり明瞭ではない。皿 N には口径 8.3 cm 前後 (199 ~ 204)・11.5 cm 前後 (206 ~ 214) の 2

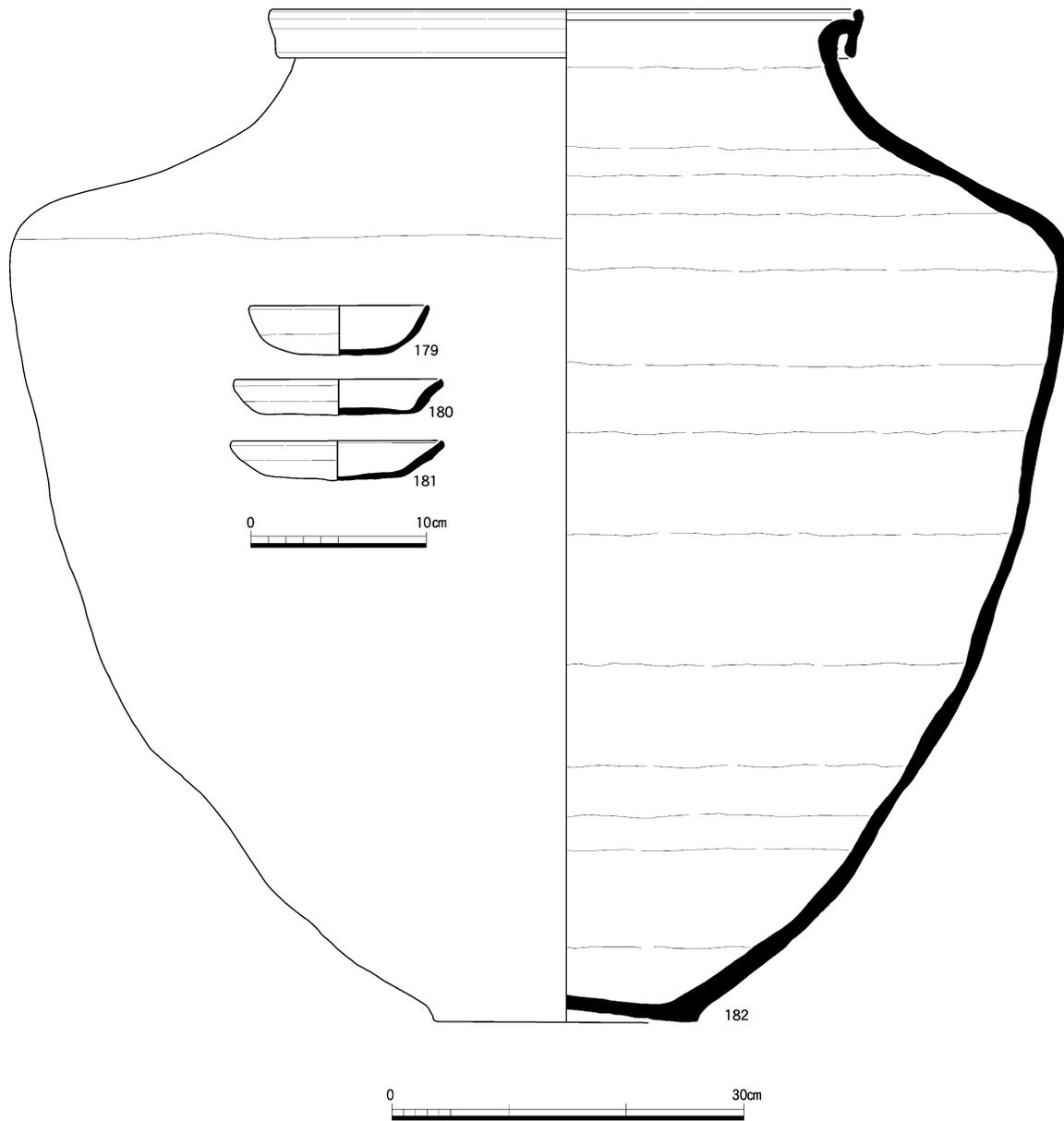


図 38 SK141 出土土器実測図（1：4、182のみ1：6）

群がある。219は口径不明だが、かなり大型である。瓦器には羽釜（215）・鍋（216）のほか椀の小片がある。須恵器には東播系の鉢（218）のほか壺や甕の小片がある。古瀬戸は皿が2片出土しているがいずれも小片で図示できない。焼締陶器は図示した常滑産甕（217）以外は産地不明の壺や甕の胴部破片がある。輸入陶磁器には白磁皿（220）・壺（222）と青磁椀（221）がある。222は型成形。体部の中程で接合している。

SK250 出土土器類（図 40、図版 17、表 9）土師器・瓦器・須恵器・白色土器・輸入陶磁器など 495 片の土器類が出土している。全体の中に占める瓦器の比率が 26.5% と高く、京中心部の資料としては特異である。土師器には皿 N（224・225・227・228）・皿 Sc（229）・皿 S（223・226・230～232）のほかミニチュアの羽釜（233）がある。皿 N には口径 8.2 cm 前後（223～225）と 12.1 cm（227）・13.5 cm のもの（228）がある。皿 S には口径 10.9 cm 前後（230・231）

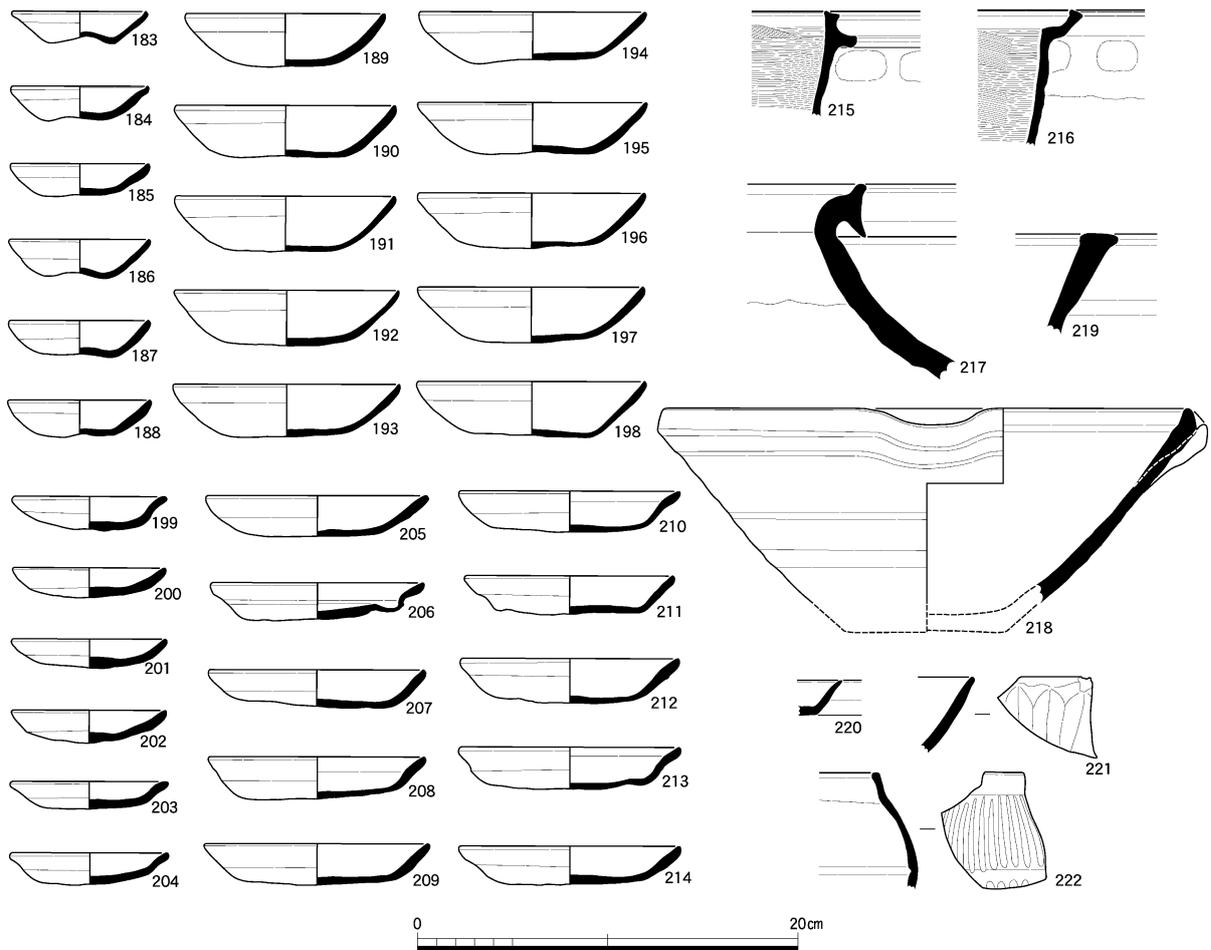


図 39 SK1390 出土土器実測図 (1 : 4)

表 8 SK1390 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	碗・皿	1572	99.9%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	2	0.1%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	1574	100.0%	94.1%
瓦器	碗・皿	2	15.4%	
	鍋・釜	10	76.9%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	1	7.7%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	13	100.0%	0.8%	
須恵器・山茶碗	杯・碗・皿	0	0.0%	
	鉢	21	87.5%	
	壺・瓶	2	8.3%	
	甕	1	4.2%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	24	100.0%	1.4%	
瀬戸・美濃	碗・皿	2	100.0%	
	鉢	0	0.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	2	100.0%	0.1%
焼締陶器	壺	1	10.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	1	100.0%	0.6%
輸入陶磁器	碗・皿	10	71.4%	
	壺・瓶	2	14.3%	
	他・不明	2	14.3%	
	小計	14	100.0%	0.8%
総数	総数	1673	-	100.0%

表 9 SK250 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	碗・皿	318	100.0%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	318	100.0%	64.5%
瓦器	碗・皿	49	37.4%	
	鍋・釜	76	58.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	6	4.6%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	131	100.0%	26.5%	
須恵器・山茶碗	杯・碗・皿	0	0.0%	
	鉢	13	92.9%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	1	7.1%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	14	100.0%	2.8%	
白色土器	杯・碗・皿	1	100.0%	
	高杯	0	0.0%	
	盤	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	1	100.0%	0.0%
焼締陶器	甕	14	100.0%	0.0%
	壺	0	0.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	14	100.0%	2.8%	
輸入陶磁器	碗・皿	12	70.6%	
	壺・瓶	4	23.5%	
	他・不明	1	5.9%	
	小計	17	100.0%	3.4%
総数	総数	495	-	100.0%

と15.0 cm (232)・口径11.5 cmで器高の低いもの(226)などがある。白色土器には皿(234)がある。瓦器には平底で底部内面に花形の暗文を施す椀(235)・小さな高台の付く椀(236～241)・羽釜(242・243・245)・鍋(244)のほか火鉢片がある。須恵器は東播系の鉢(246)のほかに、やはり東播系の甕胴部片が1点出土している。輸入陶磁器には青磁椀(247)や褐釉の壺片などがある。

SE435出土土器類(図41、図版18・19、表10)土師器・瓦器・須恵器・白色土器・焼締陶器・輸入陶磁器など総数7,010片の7-Cに属する土器類が出土した。土師器には皿Sc(248～252)・皿S(253～267)・皿N(268～284)・鉢(285)・ミニチュア羽釜(286)がある。皿Sは口径7.5 cm前後(253～259)・10.6 cm前後(261・262)・12.0 cm前後(263・264)・13.0 cm前後(265～267)と口径10.0 cmで器高の低いもの(260)に分類できる。254は底部中央が欠損しているため明らかではないが、皿Sh(へそ皿)の可能性もある。また259は底部に小孔が開けられている。皿Nは口径8.3 cm前後(268～279)と口径11.9 cm前後(280～284)の2群に分かれる。285の鉢は外面に粘土接合痕を残す。瓦器には図示した鍋(288・289)・鉢(287)

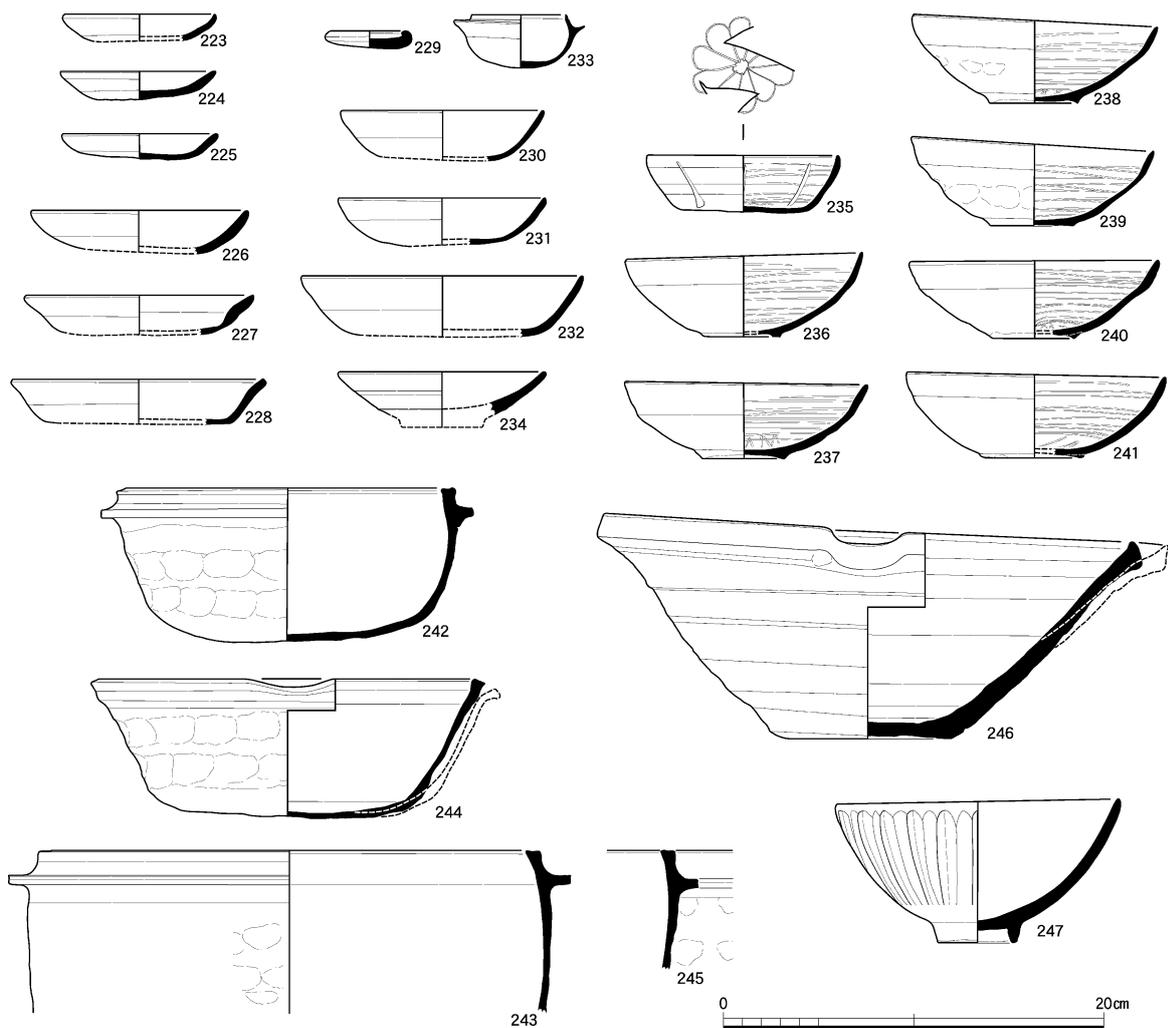


図40 SK250出土土器実測図(1:4)

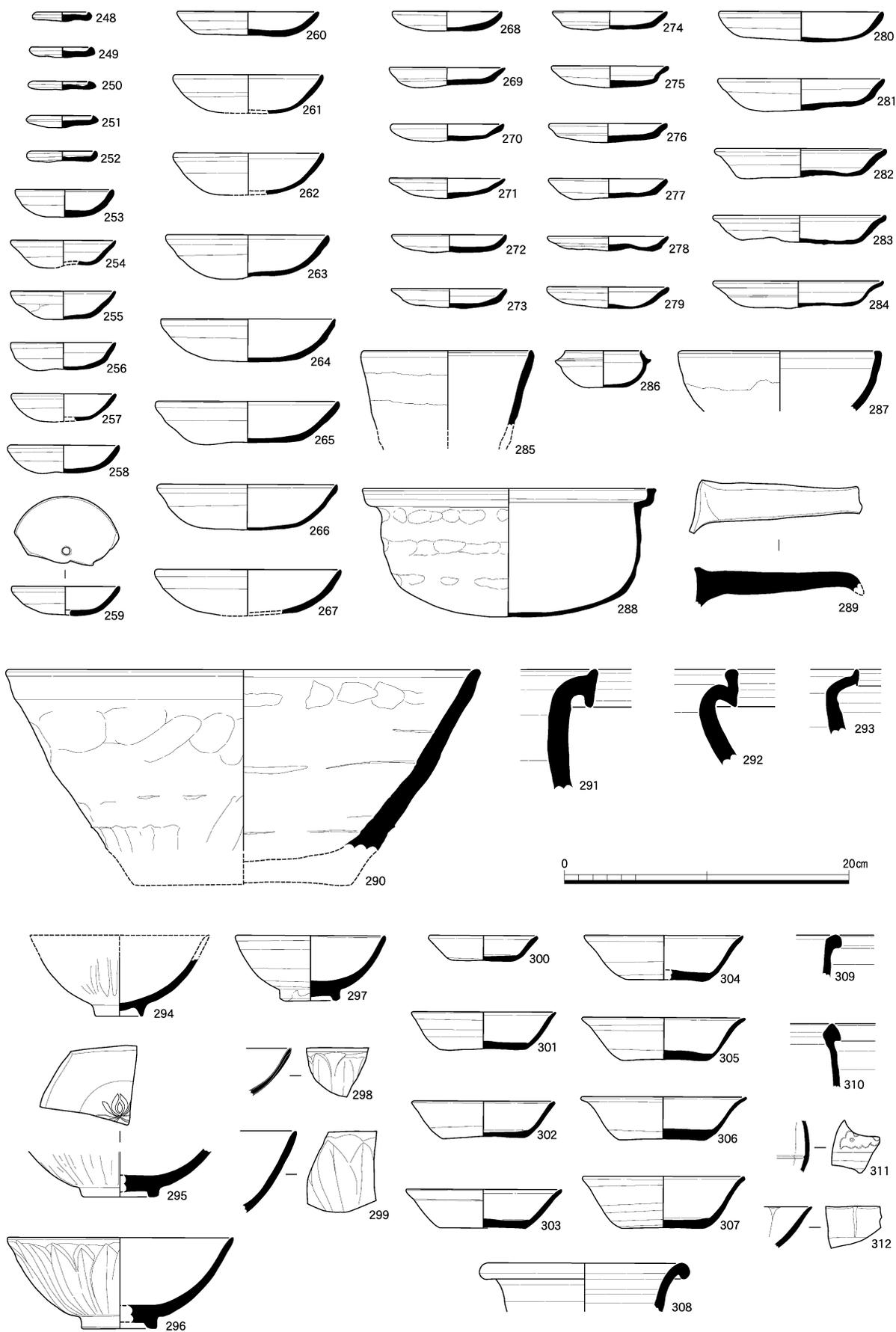


图 41 SE435 出土土器实测图 (1 : 4)

表 10 SK435 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	6626	99.9%	
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	4	0.1%	
	小計	6630	100.0%	94.6%
瓦器	椀・皿	7	11.5%	
	鍋・釜	38	62.3%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	15	24.6%	
	他・不明	1	1.6%	
	小計	61	100.0%	0.9%
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	3	6.5%	
	鉢	23	50.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	20	43.5%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	46	100.0%	0.7%
白色土器	杯・椀・皿	2	40.0%	
	高杯	3	60.0%	
	盤	0	0.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	5	100.0%	0.1%
瀬戸・美濃	椀・皿	0	-	
	鉢	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	0.0%
焼締陶器	甕	108	97.3%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	3	2.7%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	111	100.0%	1.5%
輸入陶磁器	椀・皿	126	80.3%	
	壺・瓶	23	14.6%	
	他・不明	8	5.1%	
	小計	157	100.0%	2.2%
総数	総数	7010	-	100.0%

表 11 SE324 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	6921	99.9%	
	鍋・釜	1	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	3	0.1%	
	小計	6925	100.0%	96.6%
瓦器	椀・皿	10	14.7%	
	鍋・釜	41	60.3%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	14	20.6%	
	他・不明	3	4.4%	
	小計	68	100.0%	0.9%
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	1	5.3%	
	鉢	9	47.4%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	9	47.4%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	19	100.0%	0.3%
白色土器	杯・椀・皿	5	100.0%	
	高杯	0	0.0%	
	盤	0	0.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	5	100.0%	0.1%
瀬戸・美濃	椀・皿	5	83.3%	
	鉢	0	0.0%	
	壺・瓶	1	16.7%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	6	100.0%	0.1%
	焼締陶器	甕	83	96.5%
壺		1	1.2%	
播鉢		2	2.3%	
盤・大皿		0	0.0%	
他・不明		0	0.0%	
小計		86	100.0%	1.2%
輸入陶磁器	椀・皿	39	67.2%	
	壺・瓶	11	19.0%	
	他・不明	8	13.8%	
	小計	58	100.0%	0.8%
総数	総数	7167	-	100.0%

以外に椀や火鉢があるが、いずれも小片である。焼締陶器には常滑産の鉢 (290)・甕 (291～293) のほか産地不明の甕胴部片が多数出土している。輸入陶磁器には青磁椀 (294～299)・白磁皿 (300～307・312)・壺 (308)・青白磁壺 (311)・緑釉盤 (309)・褐釉盤 (310) などがある。青磁椀は無文の 297 以外外面に蓮弁文を施す。白磁皿は 312 の輪花皿以外すべて無高台の口禿皿で、口径 7.7 cm (300)・10.2 cm (301・302)・11.5 cm 前後のもの (303～307) がある。このほか白色土器の皿・高杯、須恵器の皿や東播系の鉢・甕などがあるが、小片ばかりで図示できなかった。

SE324 出土土器類 (図 42・43、図版 20・21、表 11) 土師器・瓦器・須恵器・白色土器・古瀬戸・焼締陶器・輸入陶磁器など総数 7,167 片の土器類が出土した。土師器には皿 Sh (313～318)・皿 Sn (325～330)・皿 S (319～324・331～343)・皿 N (344～361)・ミニチュア鍋 (362～364) と羽釜 (365～369) がある。皿 Sh は底部を上方に突き上げるいわゆるヘソ皿で口径は 7.3 cm 前後。325～330 は口径 9.4 cm 前後で器高が 2.0 cm と一般的な皿 S と比べかなり低い。この形態の皿を含む資料は他にもあるが、通常数量的にはわずかで、この土器群のようにまとまって出土することは希である。ここでは仮に皿 Sn として報告しておく。皿 S には口径 7.4 cm 前後 (319～324)・10.5 cm 前後 (331・332)・12.2 cm 前後 (333～342) の 3 群のほか 17.6 cm の大型品 (343) が 1 点ある。皿 N は口径 8.2 cm 前後 (344～351) と 11.4 cm 前後 (352～360)・12.0 cm (361) の 3 群に分かれる。瓦器には椀 (376・377)・鉢 (378・379)・鍋 (373)・羽釜 (374・375)・火鉢 (380・381)・ミニチュア三足付き羽釜 (372) などがある。椀の内面には粗いヘラミガキが

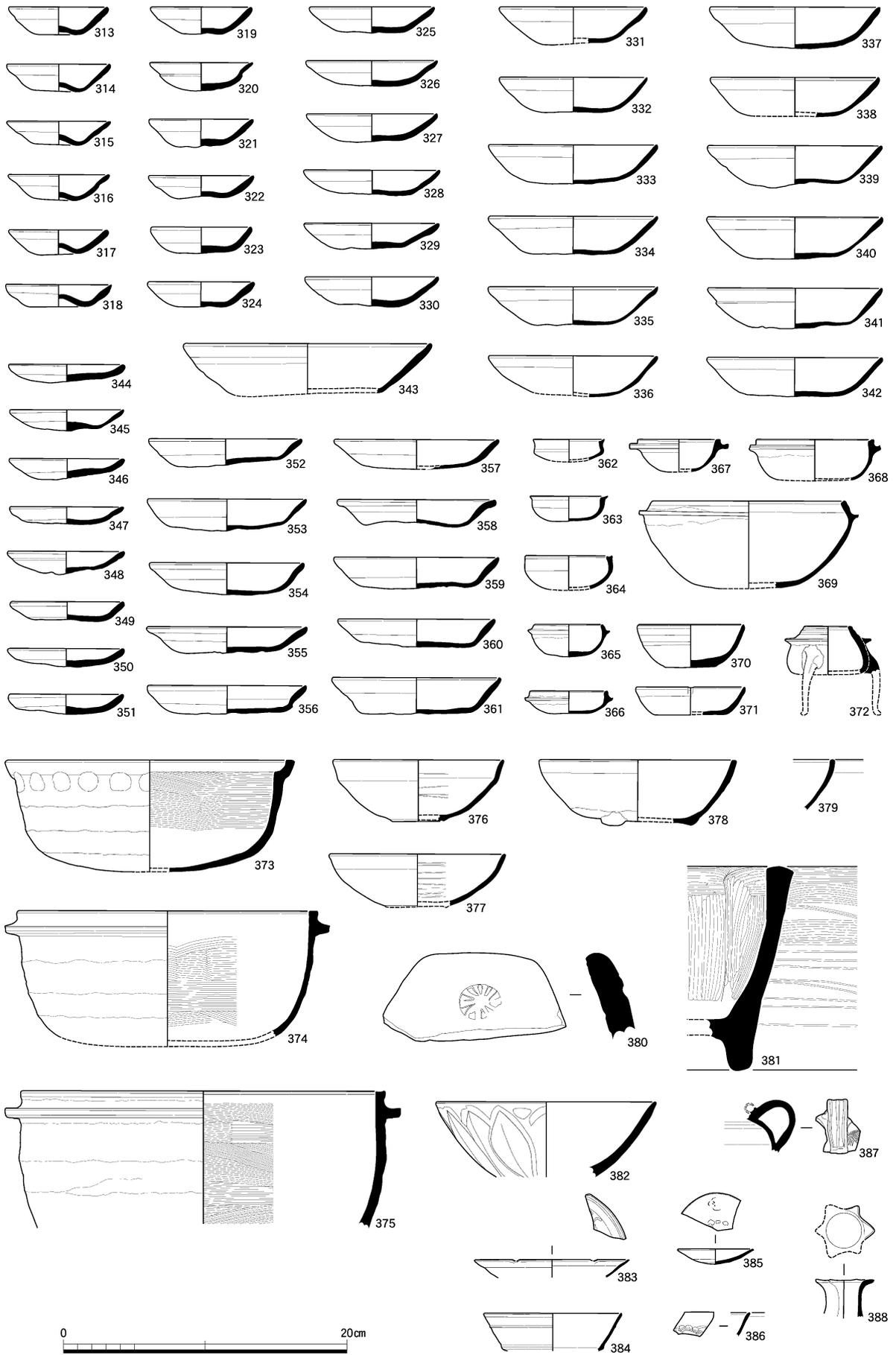


图 42 SE324 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

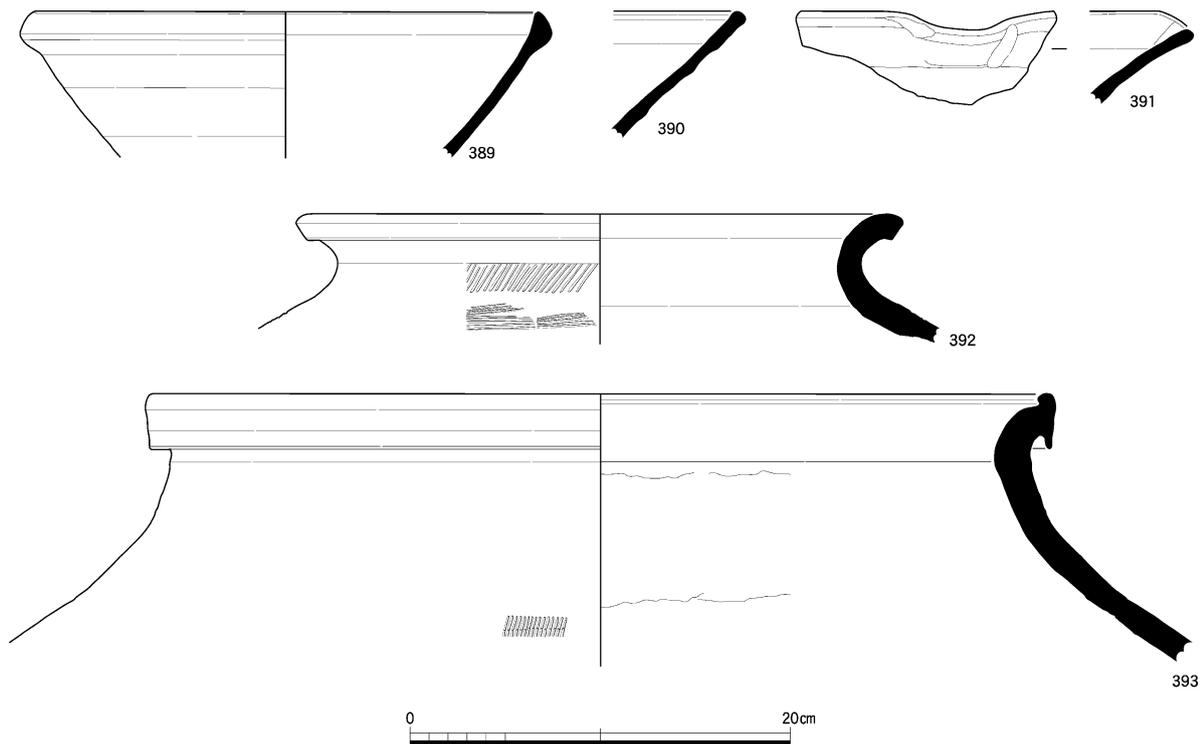


図 43 SE324 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)

施されている。鉢 (378) の底部には低い三足が付く。須恵器には東播系の鉢 (389) や甕 (392) がある。古瀬戸は小型の皿 (370・371) が出土している。いずれも無釉で、371 は口縁部を輪花にする。焼締陶器は常滑産の甕 (393)・鉢 (390・391) がある。390・391 はおそらく同一個体で、391 と同様の片口部がもう 1 片出土しており、2 箇所片口の付く鉢と思われる。輸入陶磁器には青磁碗 (382)・青白磁皿 (383～386)・水注 (387)・壺 (388) がある。内面に文様のある 383・385・386 は型による成形である。387 も型作りで取手上部に蓋を止める管の痕跡が残る。

SK737 出土土器類 (図 44、図版 21・22、表 12) 土師器・瓦器・須恵器・古瀬戸・焼締陶器・輸入陶磁器など 8-A に属する 802 片の土器類がある。土師器はすべて皿類で、皿 Sh (394～407)・皿 S (408～428)・皿 N (429～441)・皿 X (442・443)・ミニチュア羽釜 (444) がある。皿 Sh は口径 7.2 cm 前後。皿 S は口径 7.7 cm 前後 (408～410)・11.4 cm 前後 (411～422)・13.4 cm 前後 (423～428) の 3 群に、皿 N も口径 8.0 cm 前後 (429)・10.1 cm 前後 (430～439) とやや深みのある口径 11.1 cm (440・441) の 3 群に分けられる。皿 X はロクロ成形の皿で、赤みの強い胎土には砂粒を多く含む。底部は 442 がヘラ切り、443 は糸切り痕を残す。他地域からの搬入品であろう。瓦器には碗・皿などの食器類はなく、鍋・釜の体部片および図示した火鉢 (450) などがある。450 はおそらく方形の大型品で、内外面を粗くヘラミガキ、外面に菊花文を押印する。須恵器には東播系の甕 (447)・鉢 (448) があるが、破片が小さく口径などは不明である。古瀬戸の製品には灰釉が施された小皿 (445)・卸目の鉢 (446) などがある。焼締陶器には常滑産と思われる甕の胴部片や備前産の播鉢 (449) がある。

SK384 出土土器類 (図 45、図版 22、表 13) 土師器・瓦器・須恵器・古瀬戸・焼締陶器・輸入

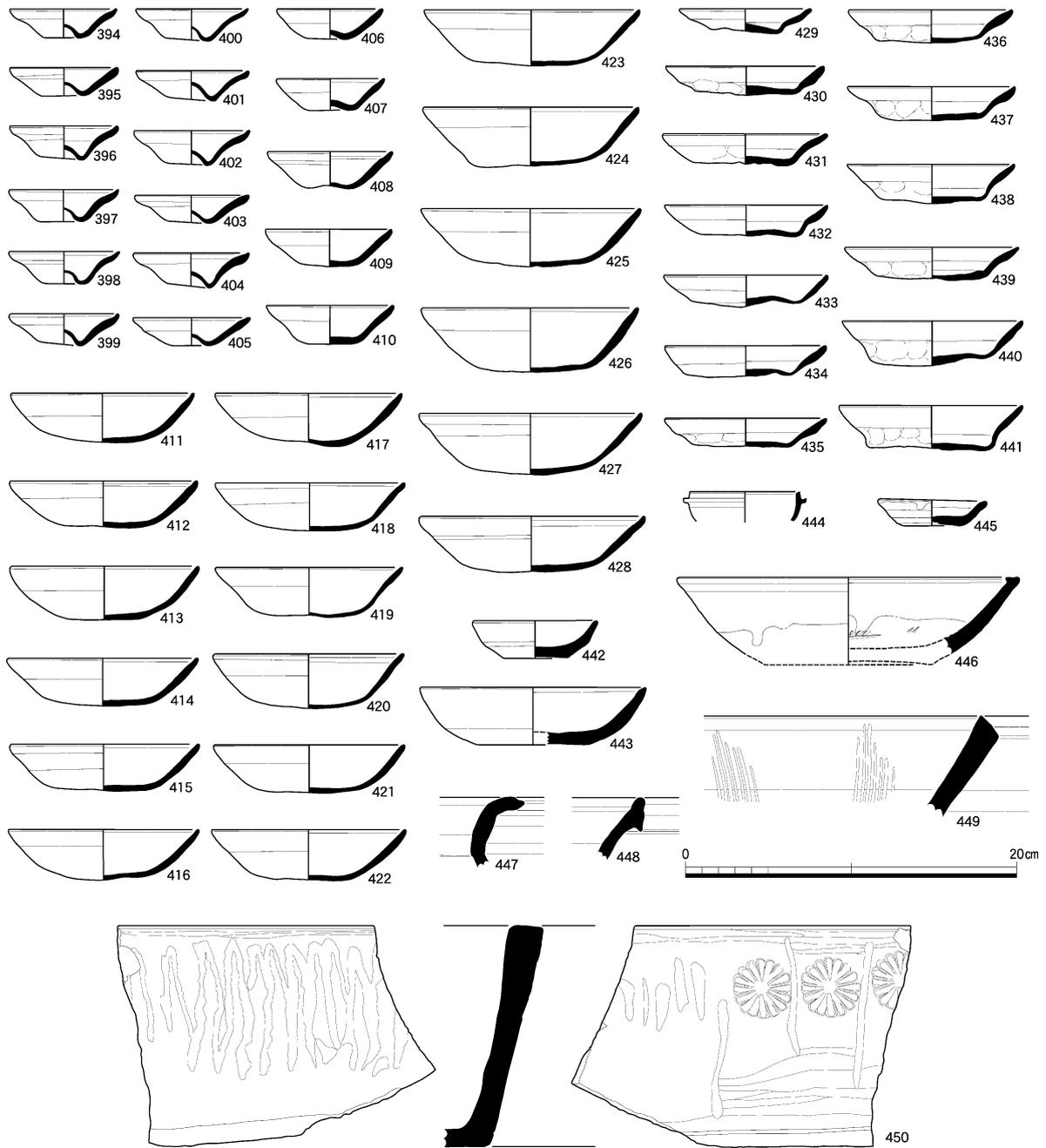


図44 SK737 出土土器実測図（1：4）

陶磁器など 1,489 片の土器類が出土したが、形状が明らかなものは大半が土師器皿類である。土師器には皿 N（451～456）・皿 Sh（457～459）・皿 S（460～465）があり、皿 N は口径 7.7 cm 前後（451～454）・9.2 cm 前後（455・456）の 2 群、皿 S は口径 8.5 cm 前後（460・461）・口径 13.0 cm 前後（462・463）の 2 群と口径 14.5 cm（464）および 16.2 cm のもの（465）が 1 点ずつある。皿 Sh は口径 7.5 cm 前後である。466 は古瀬戸の鉢で、底部 3 方に足を付け灰釉が施されている。

SK769 出土土器類（図 46、図版 23、表 14）総数 333 片と出土量は多くないが、9-B に属するまとまった資料である。土師器・瓦器・須恵器・古瀬戸・焼締陶器・輸入陶磁器がある。土師

表 12 SK737 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	755	100.0%	94.1%
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	755	100.0%	
瓦器	椀・皿	0	0.0%	1.5%
	鍋・釜	6	50.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	6	50.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	12	100.0%		
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	0.0%	0.4%
	鉢	3	100.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	3	100.0%		
瀬戸・美濃	椀・皿	1	11.1%	1.1%
	鉢	8	88.9%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	9	100.0%	
焼締陶器	甕	20	95.2%	2.6%
	壺	0	0.0%	
	播鉢	1	4.8%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	21	100.0%		
輸入陶磁器	椀・皿	2	100.0%	0.2%
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	2	100.0%	
総数	総数	802	-	100.0%

表 13 SK384 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	1430	99.9%	96.1%
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	1	0.1%	
	小計	1431	100.0%	
瓦器	椀・皿	0	0.0%	0.6%
	鍋・釜	3	30.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	7	70.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	10	100.0%		
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	0.0%	0.3%
	鉢	4	80.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	1	20.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	5	100.0%		
瀬戸・美濃	椀・皿	3	33.3%	0.6%
	鉢	4	44.4%	
	壺・瓶	2	22.2%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	9	100.0%	
焼締陶器	甕	33	100.0%	2.2%
	壺	0	0.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	33	100.0%		
輸入陶磁器	椀・皿	0	0.0%	0.1%
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	1	100.0%	
	小計	1	100.0%	
総数	総数	1489	-	100.0%

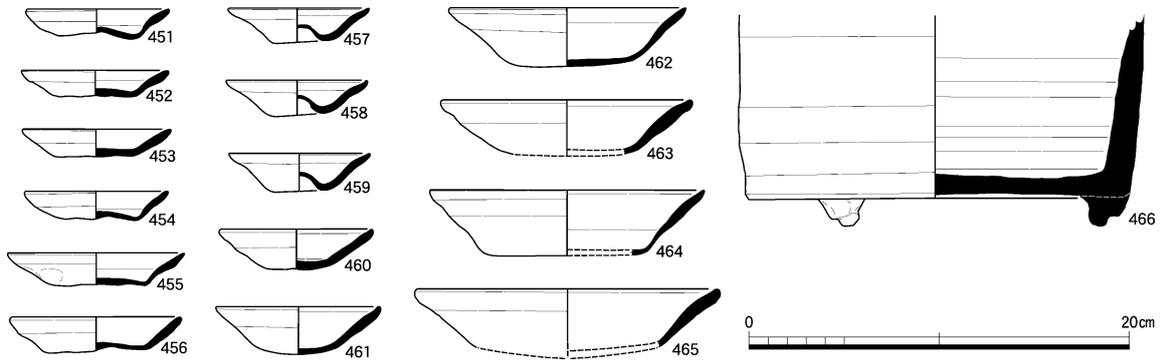


図 45 SK384 出土土器実測図 (1 : 4)

器には皿 Sh (467・468)・皿 S (470～477)・皿 N (469・478～480) がある。皿 Sh は口径 7.4 cm 前後。皿 S には小型のものではなく、口径 14.1 cm 前後 (470～472)・15.9 cm 前後 (473～476) とやや大きな 16.5 cm のもの (477) がある。古瀬戸には口縁部に鉄釉の施された鉢 (481) のほか壺の小片がある。輸入陶磁器には青磁椀 (482・483) や青磁壺の小片がある。瓦器・須恵器・焼締陶器には細片のみで計測できるものはなかった。

SK145 出土土器類(図 47、図版 23、表 15) 総数 2,379 片の土器類があるが、大半が土師器である。土師器には皿 Sh (484～489)・皿 S (490～507)・皿 N (508) があるが、ほとんどが皿 S で皿 N は図示した 1 点の他数片しかない。皿 S には口径 8.4 cm 前後 (490～495)・12.0 cm 前後 (496～500)・13.9 cm 前後 (501～504)・15.1 cm 前後 (505～507) がある。土師器皿には完形品が多く、重なって出土しており一括性の高い土器群である。SK769 出土のものと同様に 9 - B に属

表 14 SK769 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	275	100.0%	82.6%
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	275	100.0%	
瓦器	椀・皿	0	0.0%	3.6%
	鍋・釜	2	16.7%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	10	83.3%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	12	100.0%	
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	0.0%	1.2%
	鉢	4	100.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	4	100.0%	
瀬戸・美濃	椀・皿	0	0.0%	2.4%
	鉢	6	75.0%	
	壺・瓶	2	25.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	8	100.0%	
焼締陶器	甕	23	82.1%	8.4%
	壺	3	10.7%	
	搦鉢	2	7.1%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	28	100.0%	
輸入陶磁器	椀・皿	5	83.3%	1.8%
	壺・瓶	1	16.7%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	6	100.0%	
総数	総数	333	-	100.0%

表 15 SK145 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	2301	100.0%	96.8%
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	1	0.0%	
	小計	2302	100.0%	
瓦器	椀・皿	0	0.0%	0.8%
	鍋・釜	7	36.8%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	11	57.9%	
	他・不明	1	5.3%	
	小計	19	100.0%	
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	-	0.0%
	鉢	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	甕	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	
瀬戸・美濃	椀・皿	3	42.9%	0.3%
	鉢	0	0.0%	
	壺・瓶	1	14.3%	
	他・不明	3	42.9%	
	小計	7	100.0%	
焼締陶器	甕	47	92.2%	2.1%
	壺	1	2.0%	
	搦鉢	1	2.0%	
	盤・大皿	2	3.9%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	51	100.0%	
輸入陶磁器	椀・皿	0	-	0.0%
	壺・瓶	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	
総数	総数	2379	-	100.0%

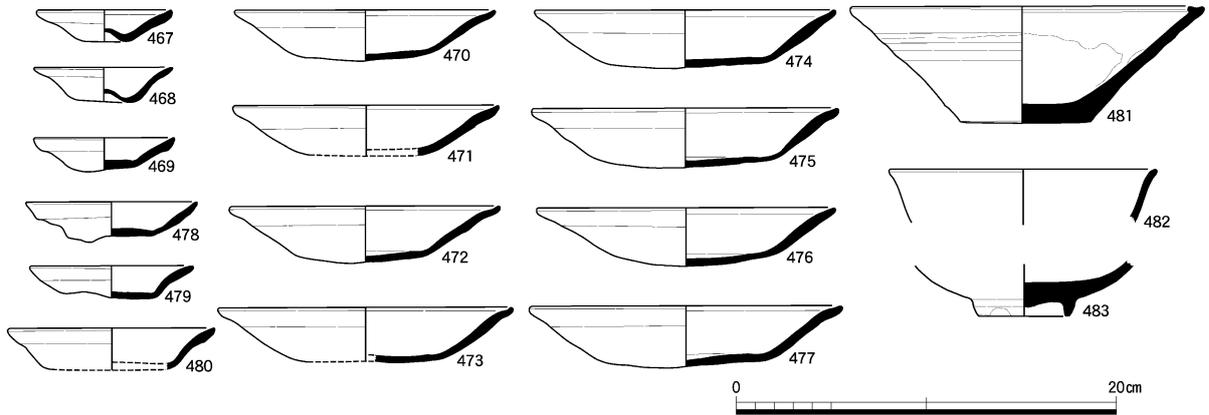


図 46 SK769 出土土器実測図 (1 : 4)

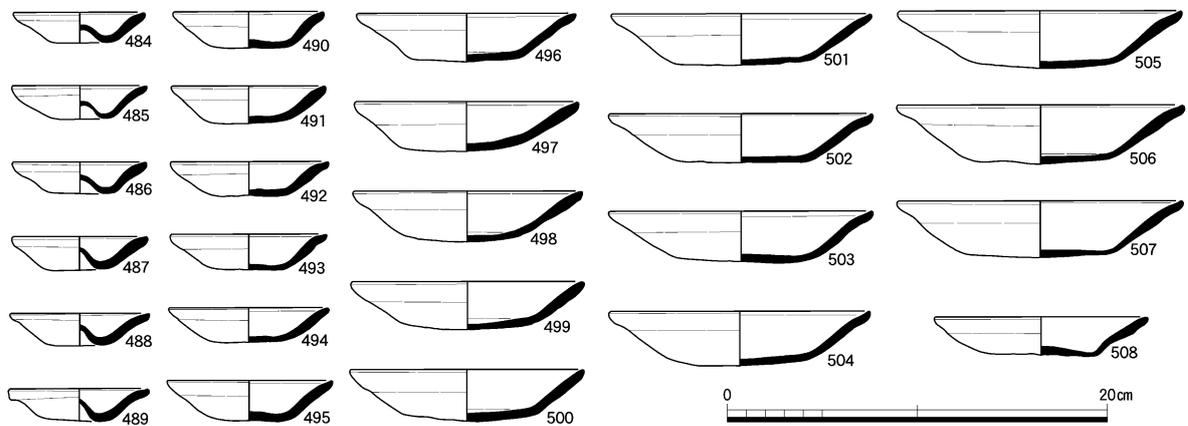


図 47 SK145 出土土器実測図 (1 : 4)

する土器群であるが、それと比較して口径や器高の縮小傾向が認められ新相を示している。

SK752 出土土器類 (図 48、図版 24、表 16) 堆積状況から上下 2 層に分け遺物を採り上げた。上層土器群は 10- A に属すが、下層土器群にはやや古い様相 (9- C 的) が認められる。上層・下層併せて総数 1,939 片の土器類がある。上層の土師器には皿 Sh (509 ~ 514)・皿 Sb (515)・皿 S (516 ~ 531)・皿 N (532 ~ 538) がある。皿 Sh は口径 6.9 cm 前後。皿 Sb は口径 8.8 cm。皿 S には口径 10.3 cm (516)・11.8 cm 前後 (517 ~ 520)・13.0 cm (521)・14.5 cm 前後 (522 ~ 530)・16.7 cm (531) の 5 群、皿 N には口径 7.0 cm 前後 (532 ~ 535)・8.1 cm 前後 (536・537)・9.5 cm (538) の 3 群がある。下層の土師器 (550 ~ 557) は出土点数が少なく法量分布を指摘しがたいが、対応する器形に関してやや大きい傾向にある。瓦器には羽釜 (539)・鍋 (540) のほか火鉢などがある。古瀬戸あるいは美濃大窯の製品は、上層では天目椀 (541)、下層では灰釉盤 (558)・平椀 (559)・

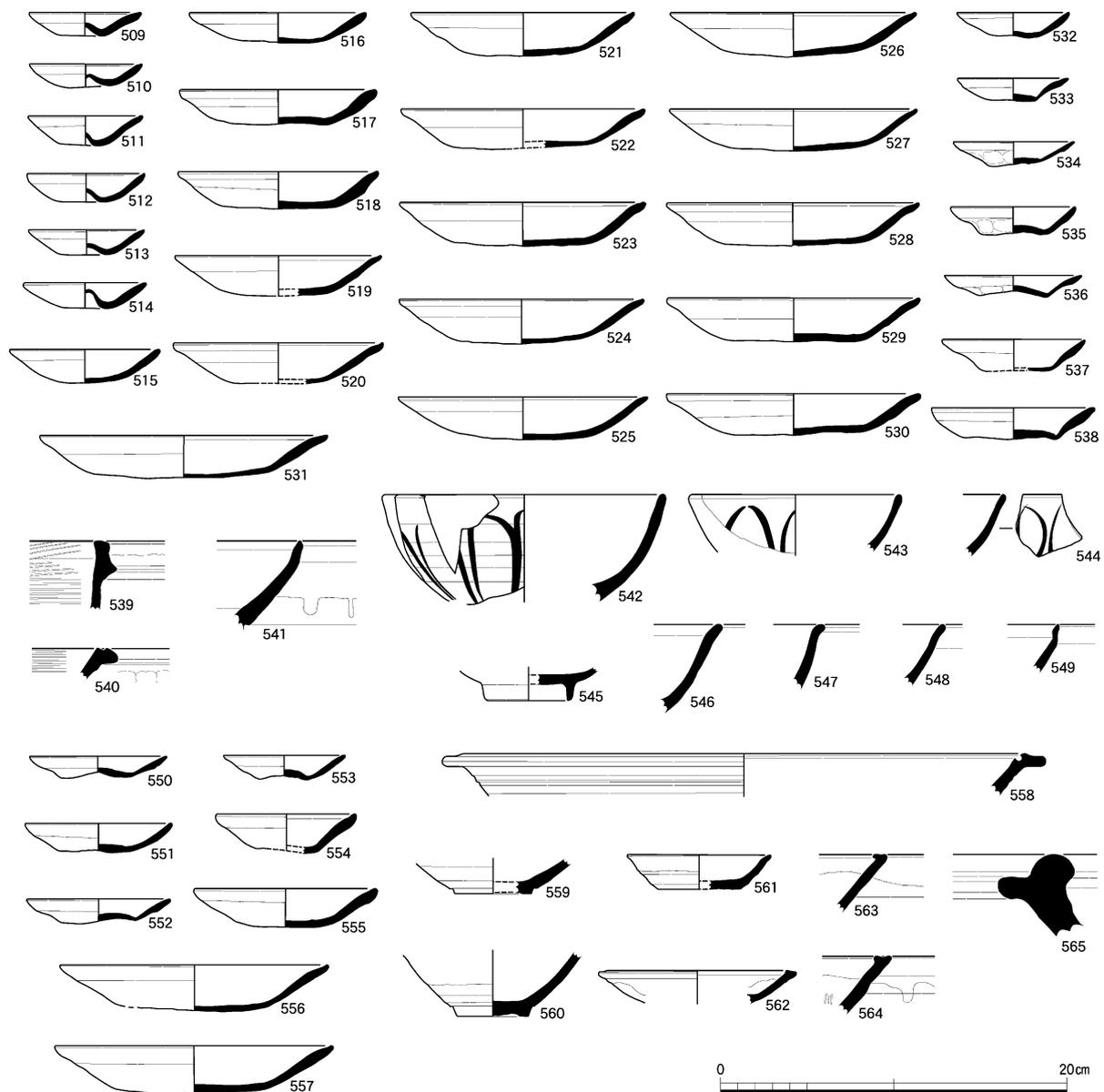


図 48 SK752 出土土器実測図 (1 : 4)

表 16 SK752 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	1635	99.8%	84.5%
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	3	0.2%	
	小計	1638	100.0%	
瓦器	椀・皿	0	0.0%	6.2%
	鍋・釜	66	55.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	54	45.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	120	100.0%	
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	0.0%	0.1%
	鉢	1	100.0%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	甕	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	1	100.0%	
瀬戸・美濃	椀・皿	19	57.6%	1.7%
	鉢	7	21.2%	
	壺・瓶	3	9.1%	
	他・不明	4	12.1%	
	小計	33	100.0%	
焼締陶器	甕	111	95.7%	6.0%
	壺	1	0.9%	
	播鉢	4	3.4%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	116	100.0%	
輸入陶磁器	椀・皿	30	96.8%	1.6%
	壺・瓶	0	0.0%	
	他・不明	1	3.2%	
	小計	31	100.0%	
総数	総数	1939	-	100.0%

表 17 SX747 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	121	99.2%	61.0%
	鍋・釜	0	0.0%	
	炉・火鉢	0	0.0%	
	他・不明	1	0.8%	
	小計	122	100.0%	
瓦器	椀・皿	0	0.0%	4.5%
	鍋・釜	4	44.4%	
	壺・瓶	0	0.0%	
	火舎・火鉢	5	55.6%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	9	100.0%	
須恵器・山茶椀	杯・椀・皿	0	-	0.0%
	鉢	0	-	
	壺・瓶	0	-	
	甕	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	
瀬戸・美濃	椀・皿	2	40.0%	2.5%
	鉢	2	40.0%	
	壺・瓶	1	20.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	5	100.0%	
焼締陶器	甕	44	71.0%	31.0%
	壺	8	12.9%	
	播鉢	10	16.1%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	62	100.0%	
輸入陶磁器	椀・皿	1	50.0%	1.0%
	壺・瓶	1	50.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	2	100.0%	
総数	総数	200	-	100.0%

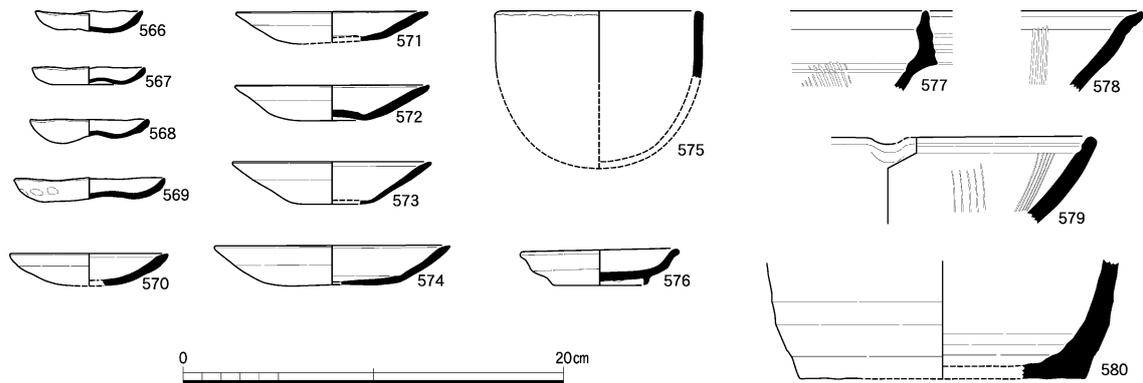


図 49 SX747 出土土器実測図 (1 : 4)

小皿 (561)・卸目皿 (562・564)・天目椀 (560)・鉄釉卸目皿 (563) などがある。輸入陶磁器には上層から出土した青磁椀 (542 ~ 544・546 ~ 548)・染付椀 (545)・天目椀 (549) や下層出土の褐釉壺 (565) がある

SX747 出土土器類 (図 49、図版 25、表 17) この遺構には石組みの改修により古・中・新の段階が認められるが、各段階とも遺物量が少ないことや特徴差があまり明瞭ではなく、ここではまとめて記述する。土器類の総破片数は 200 片で小片になったものが多い。土師器には皿 N (566 ~ 569)・皿 Sb (570)・皿 S (571 ~ 574)・丸底鉢 (575) などがある。瀬戸・美濃産の製品には灰釉の皿 (576) のほか鉢や壺の小片がある。焼締陶器には備前播鉢 (577)・壺 (580)・信楽播鉢 (578)・丹波播鉢 (579) などがある。輸入陶磁器は青磁椀と壺が出土したが、小片で計測できない。

## (6) 桃山・江戸時代前期の遺物

出土量・種類ともに多く、まとまった資料が多数ある。ここではゴミ廃棄土壙から出土した一括資料を中心に記述する。

SK176 出土土器類 (図 50、図版 25・26、表 18) 11-A に属する総数 2,317 片の土器類がある。完形品やそれに近い大きな破片が多い。また、多量の銅の付着した取鍋や鞆羽口などが含まれている。土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器があり、土師器には皿 Sb (581～598)・皿 S (599～624)・皿 N (625～629)・塩壺蓋 (630)・塩壺 (631)・焙烙鍋 (632) などがある。

表 18 SK176 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	椀・皿	2149	96.8%	95.8%	
	鍋・釜	49	2.2%		
	炉・火鉢	0	0.0%		
	他・不明	21	0.9%		
	小計	2219	100.0%		
瓦器	炉・火鉢	0	0.0%	0.8%	
	鉢	13	72.2%		
	他・不明	5	27.8%		
	小計	18	100.0%		
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	椀・皿	16	84.2%	100.0%
		鉢・向付	2	10.5%	
		壺	1	5.3%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
	唐津	椀・皿	0	-	0.0%
		鉢・向付	0	-	
		大皿・鉢	0	-	
		壺 (德利)	0	-	
		他・不明	0	-	
	伊万里	椀・皿	0	-	0.0%
		鉢	0	-	
		壺	0	-	
		他・不明	0	-	
		小計	0	-	
	京焼・他	椀・皿	0	-	0.0%
		鉢	0	-	
		壺	0	-	
		他・不明	0	-	
小計		0	-		
国産施釉陶磁器計		19	100.0%	0.8%	
焼締陶器	備前	甕	6	100.0%	14.0%
		壺	0	0.0%	
		播鉢	0	0.0%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
		小計	6	100.0%	
	信楽 (伊賀)	甕	1	3.3%	69.8%
		壺	0	0.0%	
		播鉢	29	96.7%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
		小計	30	100.0%	
	丹波	甕	0	0.0%	14.0%
壺		3	50.0%		
播鉢		2	33.3%		
盤・大皿		1	16.7%		
他・不明		0	0.0%		
小計		6	100.0%		
他・不明	甕	0	0.0%	2.3%	
	壺	1	100.0%		
	播鉢	0	0.0%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
焼締陶器計		43	100.0%	1.9%	
輸入陶磁器	椀・皿	18	100.0%	0.8%	
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	18	100.0%		
総数		2317		100.0%	

皿 Sb には通常の形態のもの (581～588) と底部中央を上方に上げたもの (皿 Sb' と仮称する) がある。皿 Sb は口径 9.2 cm 前後。589 は皿 Sb の口縁部の 2 方をヘラで直線的に切り欠いたものである。皿 Sb' には皿 Sb よりやや小振りな 8.9 cm 前後 (590・591) とやや大きな 9.6 cm 前後 (592～598) の 2 群がある。皿 S には口径 10.5 cm 前後で内面の圈線径が小さなもの (599～607)・口径 11.1 cm 前後 (608・609)・12.4 cm 前後 (610～616)・14.8 cm 前後 (617・618)・16.2 cm 前後 (619～622)・20.2 cm (624)・23.1 cm (623) など多様な法量がある。皿 N は口径 6.7 cm 前後のものだけである。瓦器には内面にヘラミガキを施した大型の鉢などがあるが、図示できるものはなかった。施釉陶器はすべて美濃大窯の製品で、灰釉皿 (644～647)・鉄釉半筒椀 (648)・天目椀 (649) などがある。焼締陶器には信楽産播鉢 (651)・壺 (650)・丹波産壺 (652) のほか備前産甕の胴部片などがある。輸入陶磁器には明染付皿 (653) や白磁皿片がある。取鍋には口径 6.6 cm 前後 (633～636)・8.0 cm 前後 (637～640)・9.4 cm 前後 (641・642) の 3 群がある。強く被熱し内外面に銅滓が著しく付着したものが多く、ほとんど付着のみられないものもある。これらの資料は付近に銅製品の工房が存在していたことを示唆しているが、出土した取鍋の量に対して鞆羽口 (643) はこれ 1 点しか確認できず、生産規模はあまり大きなものではなかったと考えられる。

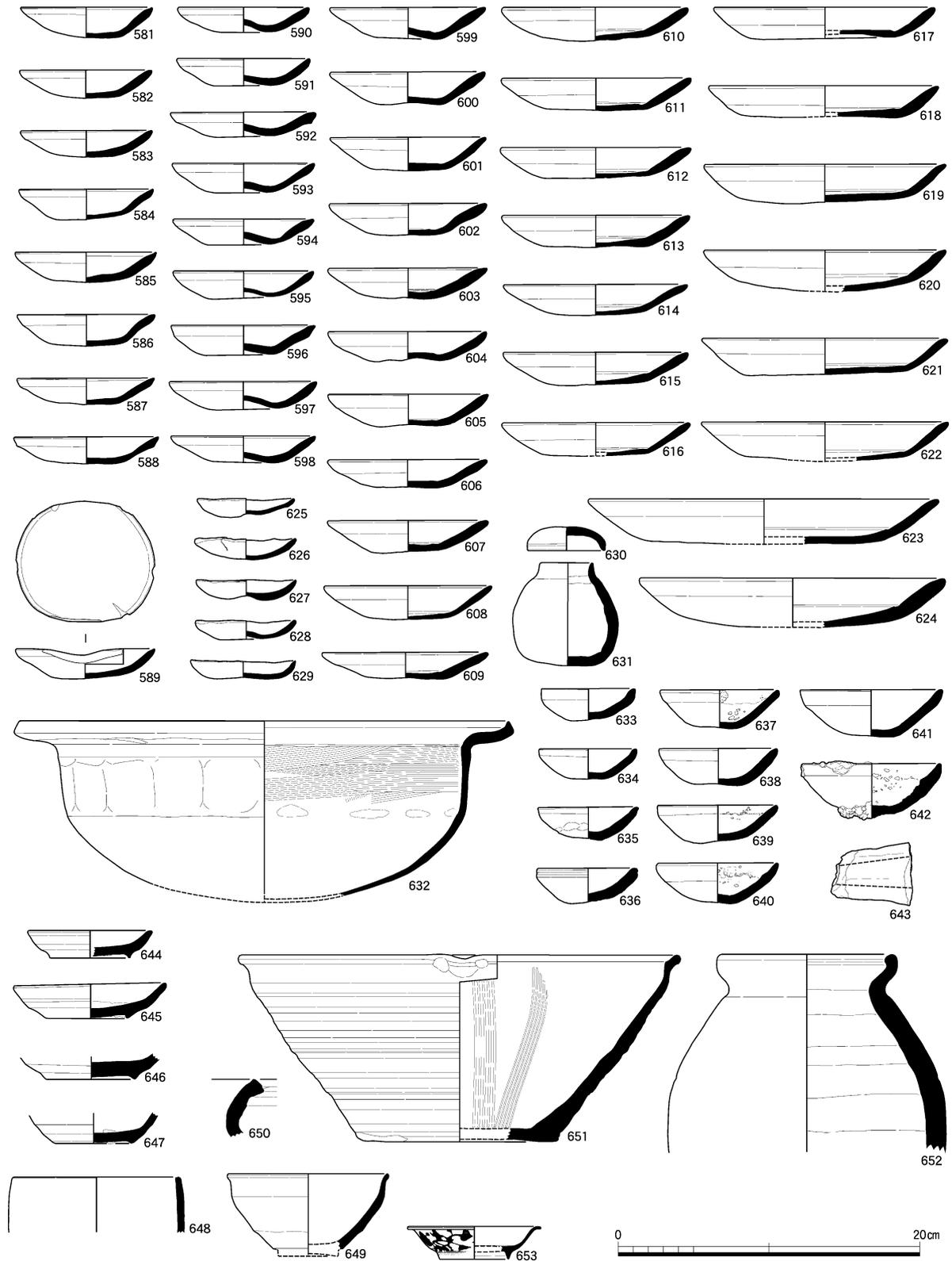


図 50 SK176 出土土器実測図 (1 : 4)

SK70 出土土器類 (図 51・52、図版 27～29、表 19) 土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など総数 2,093 片の 11-A (新相) に属す土器類が出土した。土師器には皿 Sb' (654・655)・皿 Sb (656～659)・皿 S (660～671)・皿 N (672～675)・小壺 (676・677)・塩壺蓋 (678)・

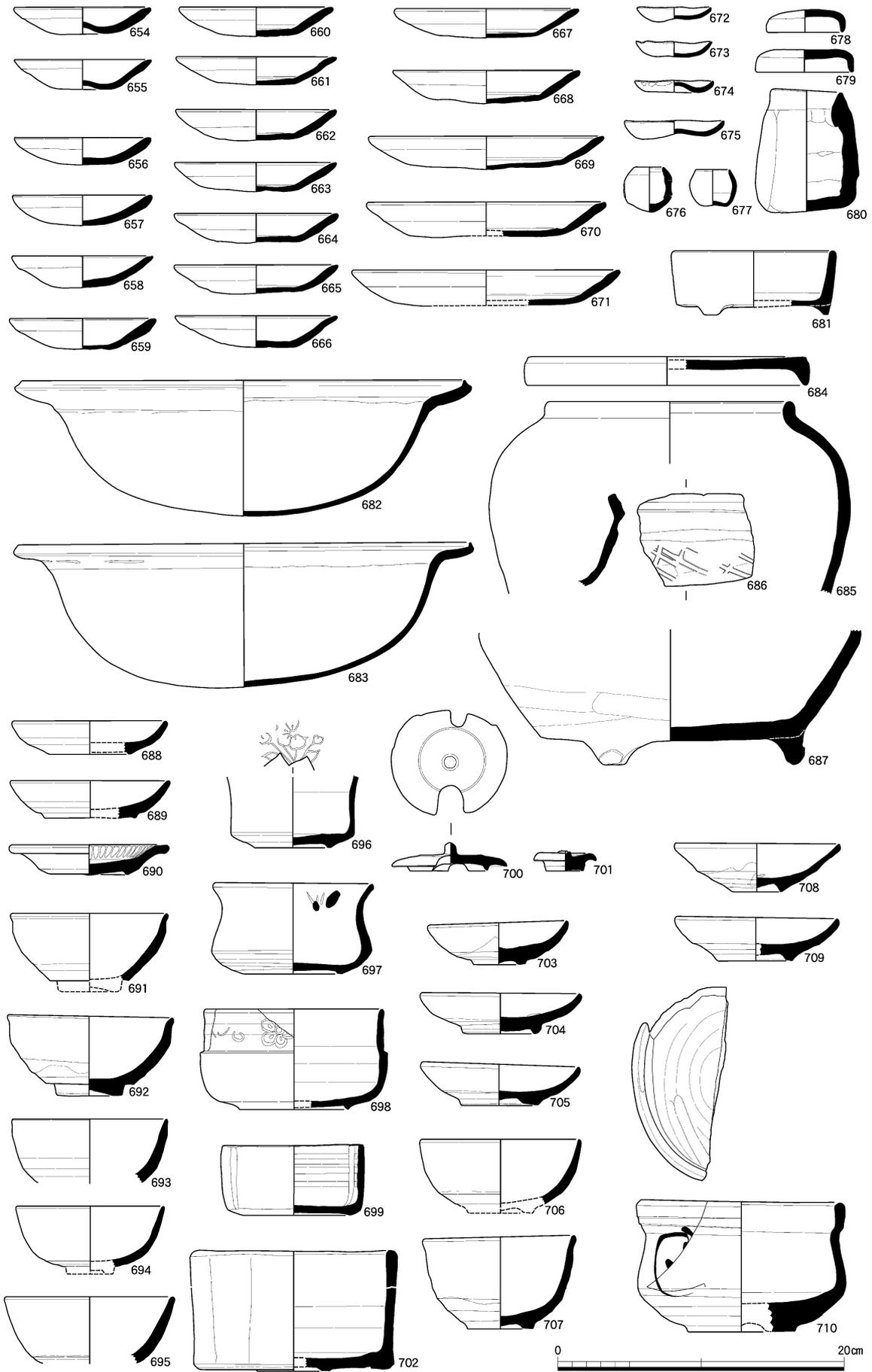


图 51 SK70 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

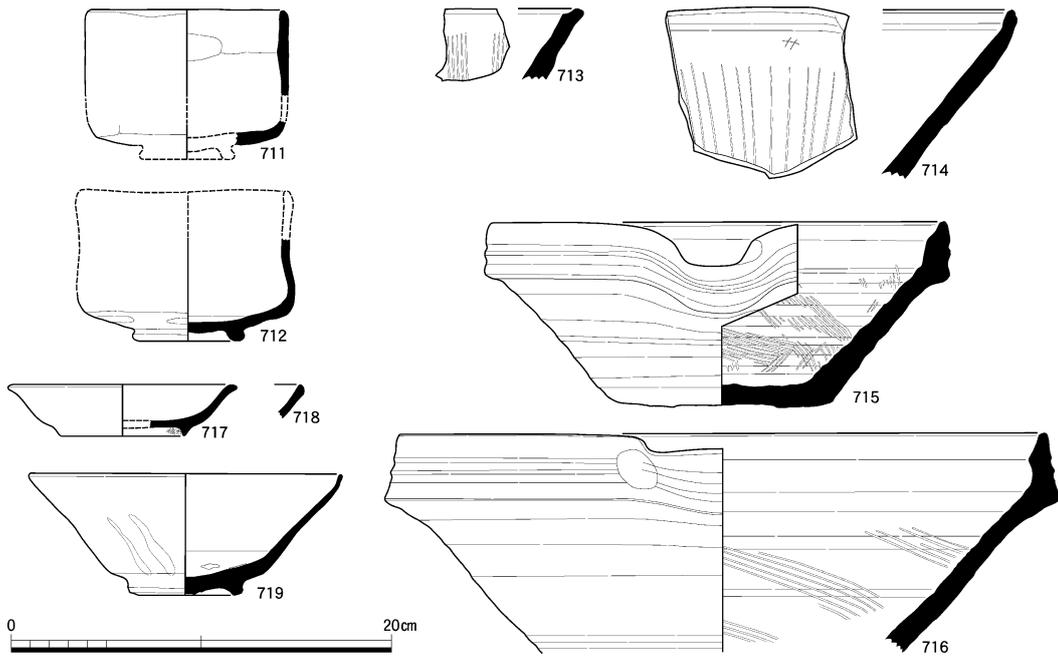


図 52 SK70 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)

679)・塩壺 (680)・焙烙鍋 (682・683)・鉢 (686)・炉 (687) などがある。皿 Sb' は口径 9.6 cm 前後、皿 Sb は口径 9.9 cm 前後である。皿 S には口径 10.8 cm 前後で内面の圏線径が小さなもの(660)・口径 11.1 cm 前後 (661 ~ 666)・13.0 cm 前後 (667・668)・16.6 cm 前後 (669・670)・18.8 cm (671) の 5 群に分かれる。皿 N には口径 5.4 cm 前後 (672 ~ 674) と 7.0 cm (675) の 2 群がある。小壺 (676) は対向する体部の 2 方に円孔を開け、その部分に白色の粘土を充填し焼成している。円孔は焼成前に開けられている。本体と白色粘土の間には隙間が生じており、白色粘土の充填は本体の乾燥あるいは焼成後に行われたようである。焙烙鍋は図示した 2 点以外にも出土しているがいずれも口径 32.0 cm 前後の大きさである。686 は体部外面に斜格子のタタキ目を付ける鉢。灰器と思われる。687 は体部外面の下方をヘラケズリし、底部の 3 方に足を付ける。瓦器には香炉 (681)・壺蓋 (684)・壺 (685) のほか鉢や火鉢などがある。施釉陶器には美濃や唐津の製品のほか軟質施釉陶器がある。美濃の製品には灰釉皿 (688・690)・椀 (695)・長石釉皿 (689)・椀 (693・694)・天目椀 (691・692)・黄瀬戸向付 (696 ~ 698)・志野向付 (699)・灯火器蓋 (700)・茶入蓋 (701)・瀬戸黒茶椀 (702) がある。唐津産の陶器には灰釉皿 (703 ~ 705・708・709)・椀 (706・707)・絵唐津沓茶椀 (710) などがある。軟質施釉陶器は非ロクロ成形の黒釉茶椀 (711・712) である。2 個体分の破片があるがどちらも黒楽茶椀に類似する形態である。焼締陶器には信楽産播鉢 (713)・丹波産播鉢 (714)・備前産播鉢 (715・716) のほか備前産や産地不明の甕胴部片がある。輸入陶磁器には明の白磁皿 (717) や染付椀のほか李朝陶器の椀 (718・719) がある。719 はいわゆる蕎麦茶椀で底部内面と高台下端面にメアトが残る。718 には鉄釉が施されている。

SK80 出土土器類 (図 53、図版 29・30、表 20) 土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など 11-B (古相) を示す土器類が出土している。総数は 393 片と多くないが、まとまりのある資料である。土師器には皿 N (720 ~ 722)・皿 Sb (723 ~ 726)・皿 S (727 ~ 733)・小壺 (734)・

表 19 SK70 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	碗・皿	1587	89.5%		
	鍋・釜	128	7.2%		
	炉・火鉢	13	0.7%		
	他・不明	45	2.5%		
	小計	1773	100.0%	84.7%	
瓦器	炉・火鉢	17	25.4%		
	鉢	1	1.5%		
	他・不明	49	73.1%		
	小計	67	100.0%	3.2%	
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	碗・皿	45	54.2%	
		鉢・向付	32	38.6%	
		壺	0	0.0%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	6	7.2%	
	小計	83	100.0%	61.0%	
	唐津	碗・皿	38	86.4%	
		鉢・向付	2	4.5%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		壺(徳利)	2	4.5%	
		他・不明	2	4.5%	
	小計	44	100.0%	32.4%	
	伊万里	碗・皿	0	-	
		鉢	0	-	
		壺	0	-	
		他・不明	0	-	
		小計	0	-	0.0%
	京焼・他	碗・皿	8	88.9%	
		鉢	0	0.0%	
		壺	0	0.0%	
他・不明		1	11.1%		
小計		9	100.0%	6.6%	
国産施釉陶磁器計		136	-	100.0%	6.5%
焼締陶器	備前	甗	6	75.0%	
		壺	0	0.0%	
		播鉢	2	25.0%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
	小計	8	100.0%	8.2%	
	信楽(伊賀)	甗	0	0.0%	
		壺	1	7.7%	
		播鉢	11	84.6%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	1	7.7%	
	小計	13	100.0%	13.4%	
	丹波	甗	0	0.0%	
		壺	0	0.0%	
		播鉢	7	100.0%	
盤・大皿		0	0.0%		
他・不明		0	0.0%		
小計	7	100.0%	7.2%		
他・不明	甗	51	73.9%		
	壺	1	1.4%		
	播鉢	2	2.9%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	15	21.7%		
小計	69	100.0%	71.1%		
焼締陶器計		97	-	100.0%	4.6%
輸入陶磁器	碗・皿	19	95.0%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	1	5.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	20	100.0%	1.0%	
総数		2093		100.0%	

表 20 SK80 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	碗・皿	258	87.8%		
	鍋・釜	0	0.0%		
	炉・火鉢	0	0.0%		
	他・不明	36	0.8%		
	小計	294	100.0%	74.9%	
瓦器	炉・火鉢	1	100.0%		
	鉢	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	1	100.0%	0.2%	
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	碗・皿	34	70.8%	
		鉢・向付	4	8.3%	
		壺	0	0.0%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	10	20.8%	
	小計	48	100.0%	62.3%	
	唐津	碗・皿	28	96.6%	
		鉢・向付	0	0.0%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		壺(徳利)	1	3.4%	
		他・不明	0	0.0%	
	小計	29	100.0%	37.7%	
	伊万里	碗・皿	0	-	
		鉢	0	-	
		壺	0	-	
		他・不明	0	-	
		小計	0	-	0.0%
	京焼・他	碗・皿	0	-	
		鉢	0	-	
		壺	0	-	
他・不明		0	-		
小計		0	-	0.0%	
国産施釉陶磁器計		77	-	100.0%	19.6%
焼締陶器	備前	甗	0	0.0%	
		壺	0	0.0%	
		播鉢	0	0.0%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	1	100.0%	
	小計	1	100.0%	25.0%	
	信楽(伊賀)	甗	0	0.0%	
		壺	0	0.0%	
		播鉢	2	100.0%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
	小計	2	100.0%	50.0%	
	丹波	甗	0	0.0%	
		壺	0	0.0%	
		播鉢	1	100.0%	
盤・大皿		0	0.0%		
他・不明		0	0.0%		
小計	1	100.0%	25.0%		
他・不明	甗	0	-		
	壺	0	-		
	播鉢	0	-		
	盤・大皿	0	-		
	他・不明	0	-		
小計	0	-	0.0%		
焼締陶器計		4	-	100.0%	1.0%
輸入陶磁器	碗・皿	15	88.2%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	2	11.8%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	17	100.0%	4.3%	
総数		393		100.0%	

塩壺蓋 (735・737)・塩壺 (736・738) がある。皿 N には口径 5.2 cm 前後 (720・721) と 6.5 cm のもの (722) がある。皿 Sb は口径 9.8 cm 前後。皿 S には口径 10.5 cm で圏線径の小さなもの (727)・口径 11.1 cm 前後 (728 ~ 732)・15.3 cm のもの (733) がある。塩壺は体部に丸みを持つもの (736) と筒状のもの (738) がある。瓦器はミニチュアの風炉 (739) が 1 点あるのみである。施釉陶器には美濃産と唐津産がある。美濃の製品には灰釉皿 (742・743)・長石釉小杯 (740)・鉄釉小杯 (741)・天目碗 (749)・灯火器 (746)・鉢 (759)・香炉 (747)・絵志野皿 (745)・志野向付 (744)・織部碗 (748)・瀬戸黒茶碗 (750) などがある。741 は天目碗形の 小杯で底部外面に「法尊」と墨書

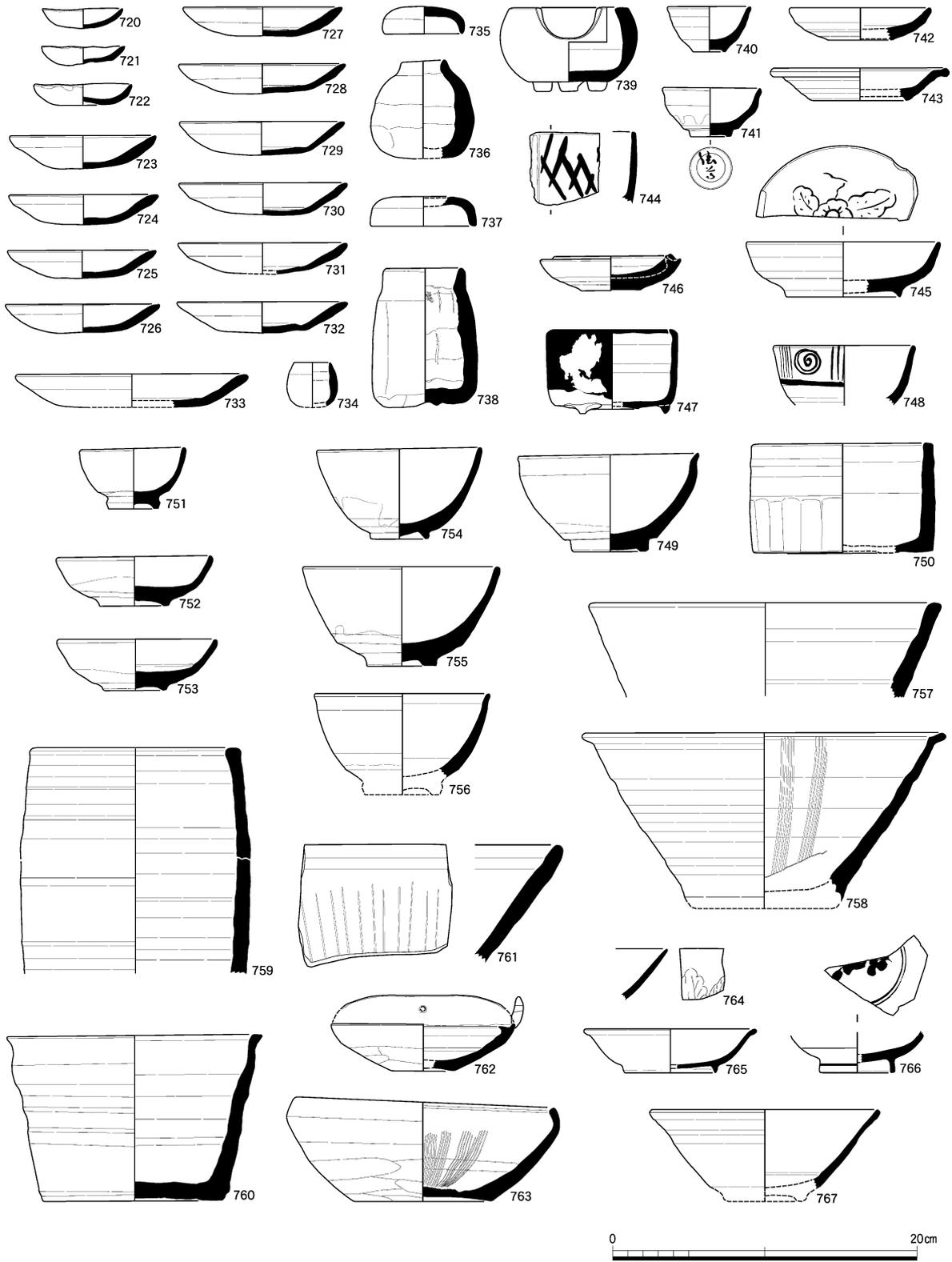


図 53 SK80 出土土器実測図 (1 : 4)

されている。759は筒状の体部を持ち花生の可能性もある。唐津の製品には小杯(751)・皿(752・753)・椀(754～756)などがある。いずれも灰釉が施されている。焼締陶器には信楽産の甕(757)・播鉢(758)・鉢(760)・丹波産播鉢(761)・備前産灯火器(762)・播鉢(763)などがある。輸

入陶磁器には明青磁椀（764）・白磁皿（765）・染付椀（766）のほか李朝の蕎麦茶椀（767）が1点ある。

SK146 出土土器類（図 54・55、図版 31・32、表 21）土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など総数 3,738 片の土器類がある。土師器には皿 N（768～772）・皿 Sb（773～777）・皿 Sb'（778～782）・皿 S（783～798）・塩壺蓋（799）・塩壺（800）・羽釜（803）・焙烙鍋（801・802）・壺蓋（805）がある。皿 N は口径 5.9 cm 前後（768～770）と 7.1 cm 前後（771・772）の 2 群に分かれる。皿 Sb は口径 10.1 cm 前後、皿 Sb' は 10.0 cm 前後である。皿 S には口径

表 21 SK146 出土土器の構成（破片数）

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	椀・皿	3293	98.2%		
	鍋・釜	48	1.4%		
	炉・火鉢	1	0.0%		
	他・不明	10	0.3%		
	小計	3352	100.0%	89.7%	
瓦器	炉・火鉢	41	56.9%		
	鉢	17	23.6%		
	他・不明	14	19.4%		
	小計	72	100.0%	1.9%	
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	椀・皿	77	91.7%	
		鉢・向付	3	3.6%	
		壺	2	2.4%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	2	2.4%	
	小計	84	100.0%	43.3%	
	唐津	椀・皿	93	93.0%	
		鉢・向付	4	4.0%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		壺（德利）	3	3.0%	
他・不明		0	0.0%		
小計	100	100.0%	51.5%		
伊万里	椀・皿	6	100.0%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	6	100.0%	3.1%	
京焼・他	椀・皿	2	50.0%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	2	50.0%		
	小計	4	100.0%	2.1%	
国産施釉陶磁器計	194		100.0%	5.2%	
焼締陶器	備前	甕	9	60.0%	
		壺	4	26.7%	
		播鉢	2	13.3%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
		小計	15	100.0%	26.3%
信楽（伊賀）	甕	3	15.0%		
	壺	5	25.0%		
	播鉢	9	45.0%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	3	15.0%		
	小計	20	100.0%	35.1%	
丹波	甕	0	0.0%		
	壺	1	5.9%		
	播鉢	16	94.1%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	17	100.0%	29.8%	
他・不明	甕	4	80.0%		
	壺	0	0.0%		
	播鉢	1	20.0%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	5	100.0%	8.8%	
焼締陶器計	57		100.0%	1.5%	
輸入陶磁器	椀・皿	63	100.0%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	63	100.0%	1.7%	
総数	3738		100.0%		

10.6 cm で圏線径の小さなもの（783）・口径 11.2 cm 前後（784～790）・12.5 cm 前後（791～796）・15.0 cm（797）・21.0 cm のもの（798）がある。焙烙鍋には口径 34.0 cm（801）とやや小振りな 30.5 cm のもの（802）がある。瓦器には香炉（804）・火桶（806・807）・鉢（808）などがある。804 は周縁が土手状の円盤形で、下面の数箇所に足を付け、上面の周縁寄りに中央に小孔を持つ突起を作る。丁寧なヘラミガキ調整を施す。806・807 は SK1378 出土の 898 のような半球形の蓋と組み合う火桶の体部と底部で、おそらく同一個体である。体部外面には非常に丁寧にミガキを施す。808 の内面には幅広のヘラミガキが施されている。国産の施釉陶器類には美濃産や唐津産の陶器のほか軟質施釉陶器や伊万里の白磁がある。美濃の製品には長石釉皿（810・811・819）・椀（812・815）・黄瀬戸鉢（813）・天目椀（816）・絵志野皿（814）・志野皿（820）・織部皿（817）・鉄釉香炉（818）などがある。唐津の製品には灰釉皿（821～823）・小杯（826）・椀（827・828・830・831）・絵唐津向付（824・825）・鉢（829・832）などがある。809 は軟質施釉陶器の椀。胎土は暗褐色を呈し、体部外面には円形に塗った白土をヘラ先で放射状に掻き取って花文を描く。外面に透明釉、内面には黒釉を施す。833 は伊万里白磁皿である。体部下方に稜を付ける。焼締陶器には信楽壺（842）・播鉢（843・844・848）・甕（849）・伊賀水指（845～847）・丹波播鉢（850・851）のほか備前甕などがある。輸入陶

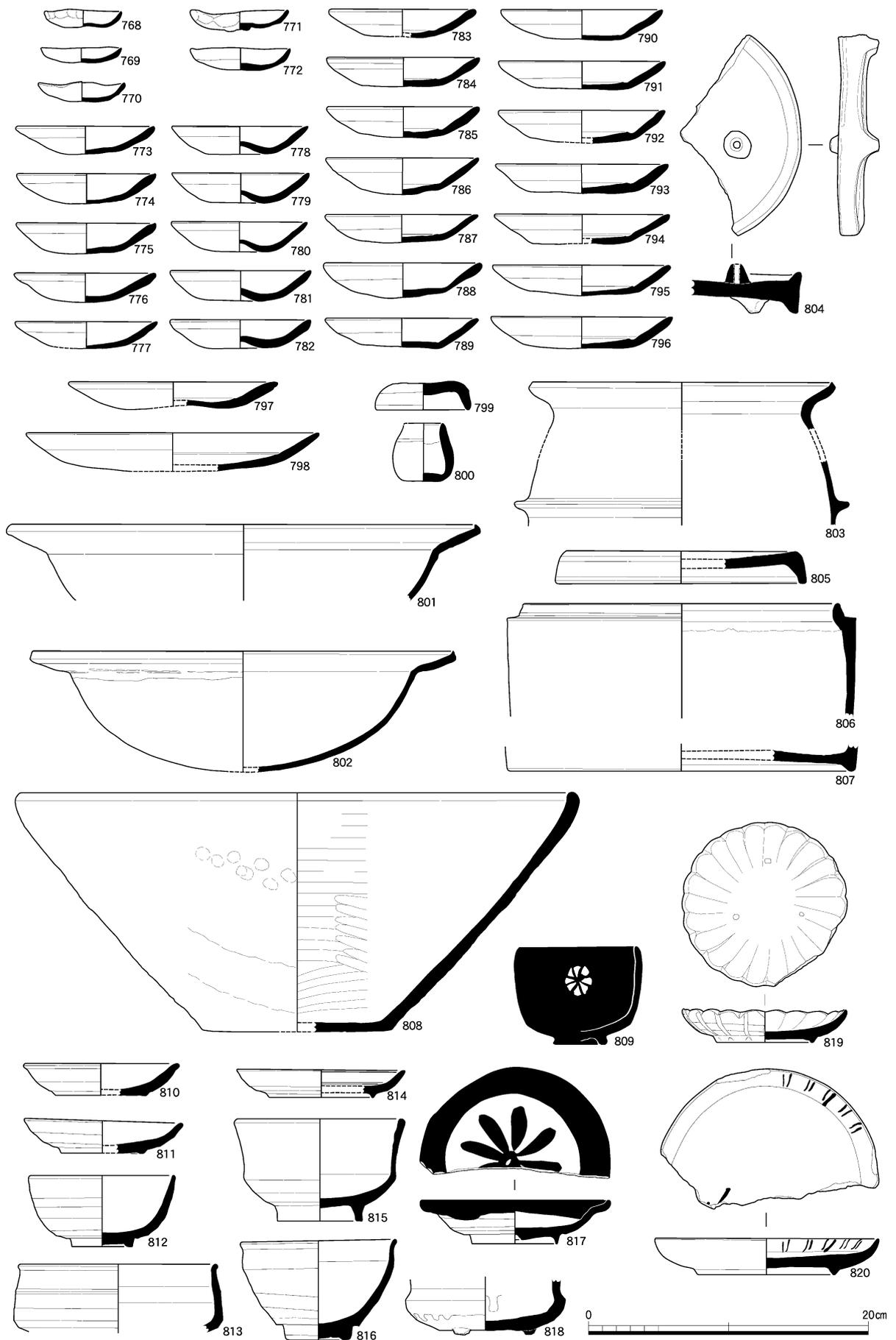


图 54 SK146 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

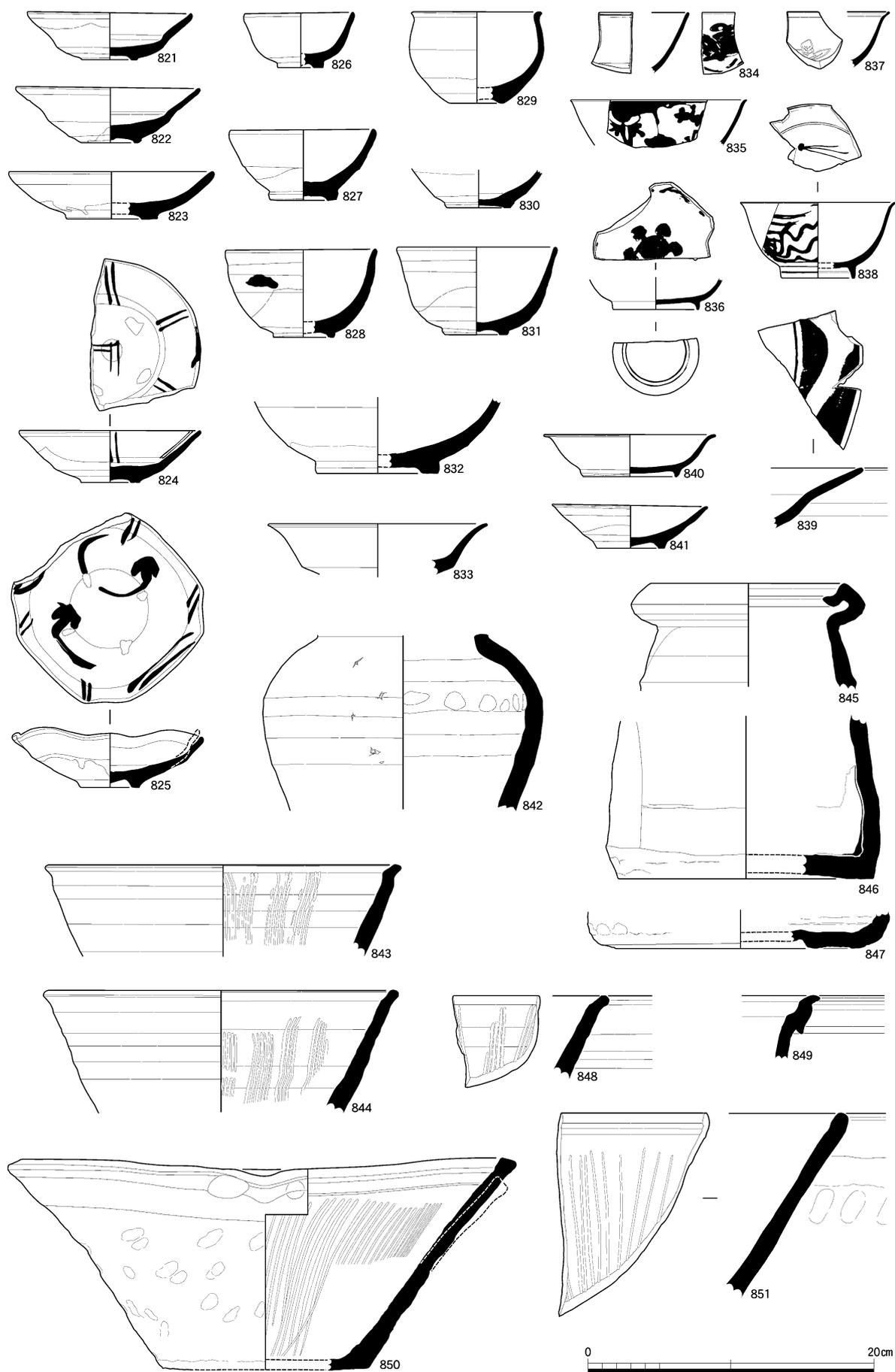


图 55 SK146 出土土器实测图 - 2 (1 : 4)

磁器には明染付椀（834～836・838）・大皿（839）・白磁椀（837）・皿（840）・李朝刷毛目皿（841）がある。この皿と同型のものが、SK83からも出土している。

SK1378 出土土器類（図 56・57、図版 33～35、表 22）土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など 11-B に属する総数 2,862 片の土器類が出土した。土器類の特徴や組成は SK146 に近い。土師器には皿 S（852～871）・皿 Sb（872～883）・皿 N（884～887）・小壺（888）・塩壺蓋（889・890）・塩壺（891・892）・鉢（893）・焙烙鍋（894～897）などがある。皿 S には口径 10.6 cm で圏線径の小さなもの（852・853）・口径 11.0 cm 前後（854～869）・12.0 cm 前後（870・871）の 3 群がある。皿 Sb は口径 9.8 cm 前後である。

皿 N は口径で 5.5 cm 前後（884～886）と 7.3 cm 前後（887）に分かれる。塩壺は体部が筒状のものばかりである。鉢は 893 以外に口径の大きなものもあるが、小片のため図示できなかつた。焙烙鍋は口径 30.5 cm 前後で内面にハケメを残すもの（894・896）とナデ調整を施すもの（895・897）がある。瓦器には火桶の蓋（898）がある。国産施釉陶器類には美濃および唐津の製品がある。美濃の製品には長石釉椀（899）・皿（901）・鉢（903）・鉄釉椀（900）・壺（904）・黒織部茶椀（902）・白天目椀（905）・黄瀬戸水滴（906）がある。唐津には灰釉皿（907～912）・椀（914・915）・大皿（920）・鉢（919）・絵唐津向付（913）・盤（922）・鉄釉椀（917）・天目椀（918）・藁灰釉茶椀（916）・朝鮮唐津壺（921）などがある。焼締陶器には丹波灯火器（923）・盤（925）・播鉢（926）・信楽甕（924）がある。輸入陶磁器には明染付椀（928～930）・皿（931）・鉢（933・934）・小杯（935）・白磁鉢（932）・華南三彩魚形水滴（927）・李朝灰釉壺（936）・白磁椀（937）などがある。928 の底部外面には「成化年製」の銘がある。927 は左右を型により成形し接合している。焼成は硬質である。936 の壺はロクロ成形であるが、体部中程で上下を接合している。化粧土は確認できない。

SK83 出土土器類（図 58～62、図版 36～41、表 23）土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など単一遺構から出土した土器類として最

表 22 SK1378 出土土器の構成（破片数）

器種	器形	破片数	比率 (%)	
土師器	椀・皿	2348	91.6%	
	鍋・釜	115	4.5%	
	炉・火鉢	7	0.3%	
	他・不明	94	3.7%	
	小計	2564	100.0%	89.6%
瓦器	炉・火鉢	8	72.7%	
	鉢	0	0.0%	
	他・不明	3	27.3%	
	小計	11	100.0%	0.4%
瀬戸・美濃	椀・皿	18	25.0%	
	鉢・向付	41	56.9%	
	壺	12	16.7%	
	大皿・鉢	0	0.0%	
	他・不明	1	1.4%	
	小計	72	100.0%	45.6%
	国産施釉陶器	椀・皿	68	79.1%
鉢・向付		0	0.0%	
大皿・鉢		6	7.0%	
壺（徳利）		1	1.2%	
他・不明		11	12.8%	
小計		86	100.0%	54.4%
伊万里	椀・皿	0	-	
	鉢	0	-	
	壺	0	-	
	他・不明	0	-	
	小計	0	-	0.0%
京焼・他	椀・皿	0	-	
	鉢	0	-	
	壺	0	-	
	他・不明	0	-	
小計	0	-	0.0%	
国産施釉陶磁器計		158	100.0%	5.5%
備前	甕	0	0.0%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	2	100.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
	小計	2	100.0%	5.7%
信楽（伊賀）	甕	1	12.5%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	7	87.5%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	8	100.0%	22.9%	
丹波	甕	0	0.0%	
	壺	0	0.0%	
	播鉢	19	79.2%	
	盤・大皿	1	4.2%	
	他・不明	4	16.7%	
小計	24	100.0%	68.6%	
他・不明	甕	0	0.0%	
	壺	1	100.0%	
	播鉢	0	0.0%	
	盤・大皿	0	0.0%	
	他・不明	0	0.0%	
小計	1	100.0%	2.9%	
焼締陶器計		35	100.0%	1.2%
輸入陶磁器	椀・皿	89	94.7%	
	鉢	0	0.0%	
	壺	1	1.1%	
	他・不明	4	4.3%	
	小計	94	100.0%	3.3%
総数		2862	100.0%	100.0%

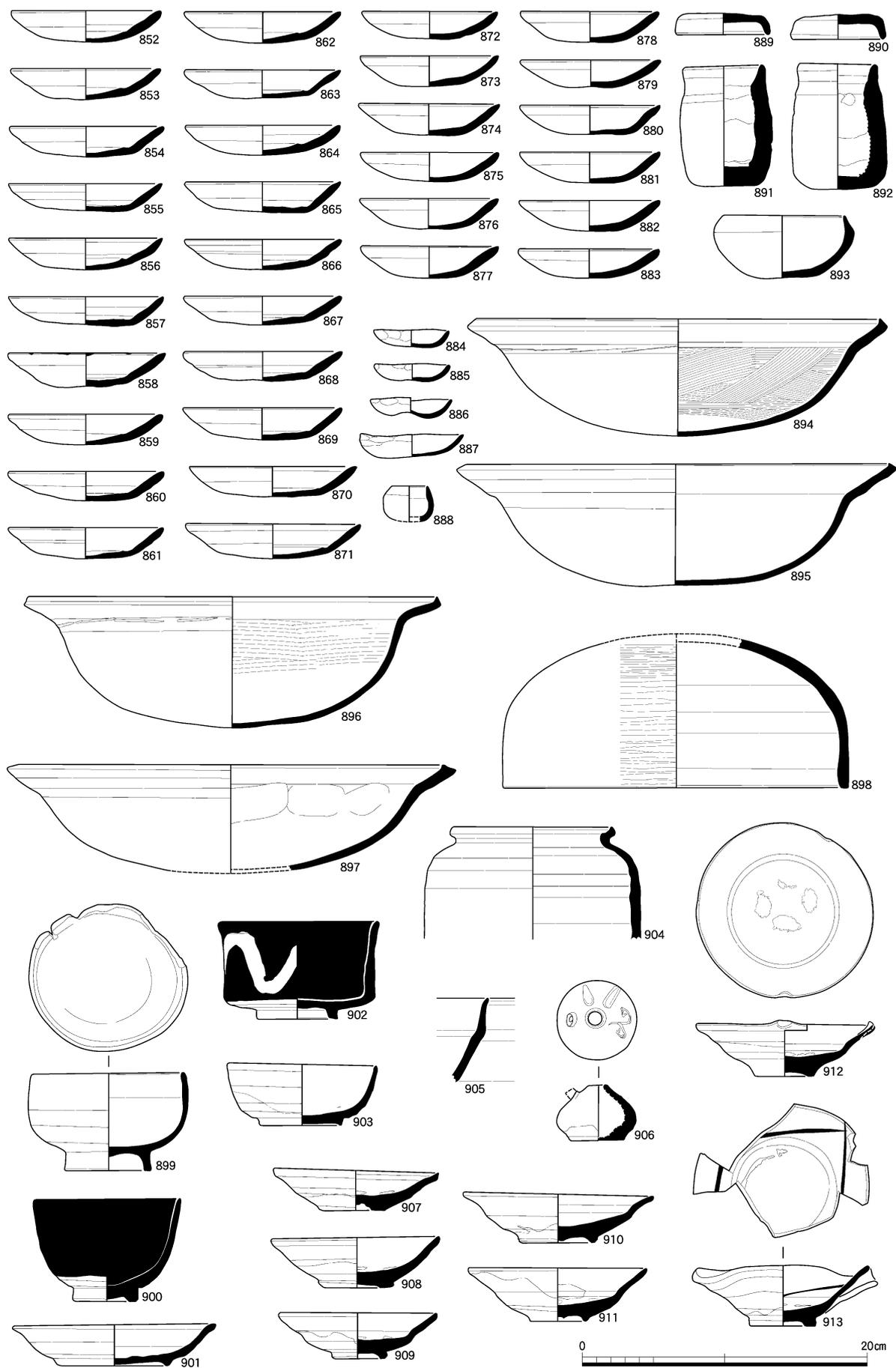


图 56 SK1378 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

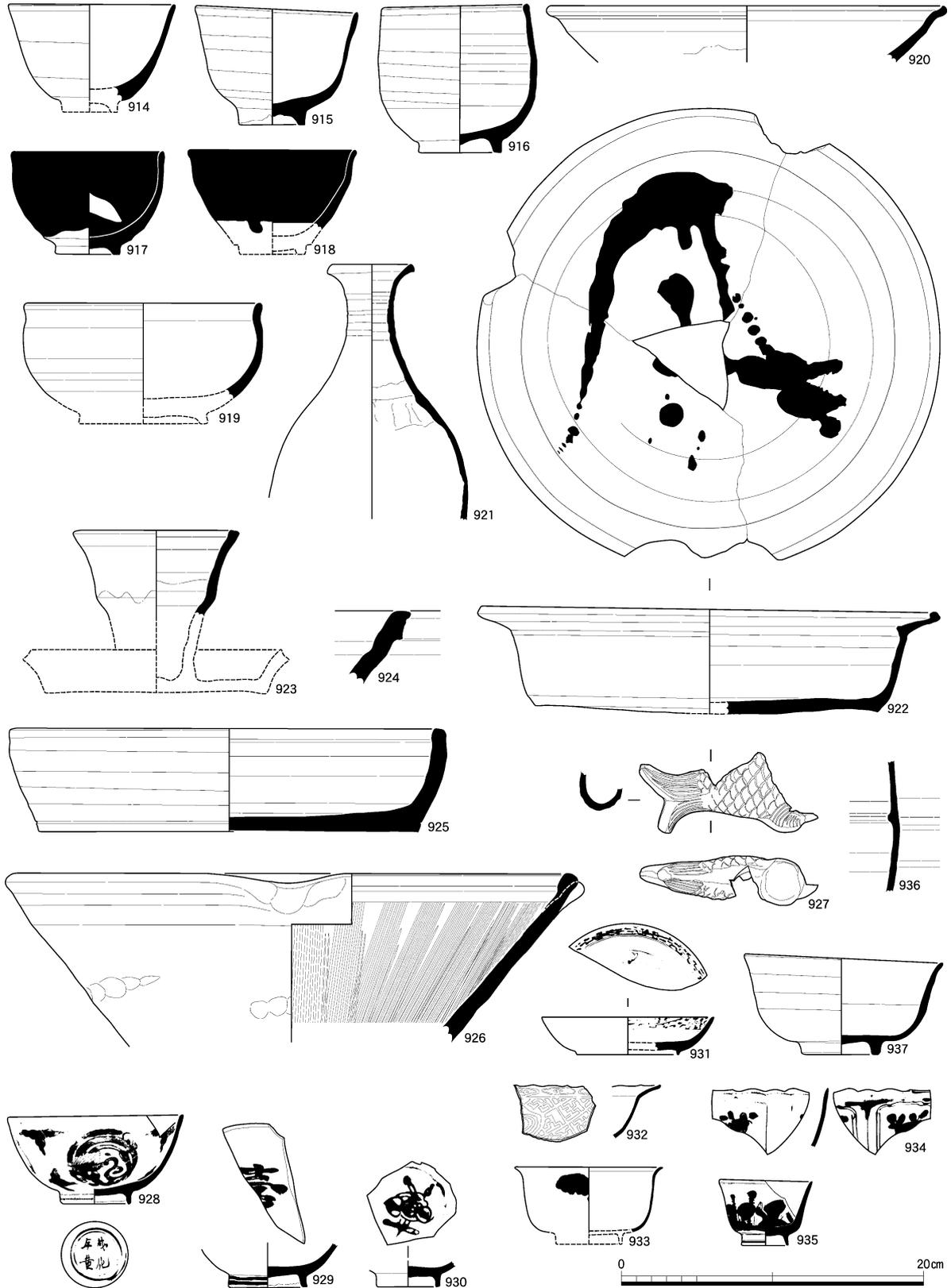


図 57 SK1378 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)

も多い総数 11,571 片が出土している。土師器には皿 N(938 ~ 944)・皿 Sb(945 ~ 956)・皿 S(957 ~ 970)・鉢 (971・972)・小壺 (973・974)・塩壺蓋 (975 ~ 977)・塩壺 (978・979)・羽釜 (980)・

焙烙鍋 (981～985)・土鈴 (986)・ミニチュア播鉢 (987) などがある。皿 N は口径 5.8 cm 前後 (938～940) と 7.0 cm 前後 (941～944) の 2 群に分かれる。皿 Sb には口径 7.7 cm 前後 (945～948) と 9.8 cm 前後のもの (949～956) があるが、通常この時期に伴う皿 Sb の口径は後者で、前者はあまり一般的ではない大きさである。945 は底部中央に小孔を開ける。皿 S には口径 11.1 cm 前後 (957～964)・12.0 cm 前後 (965～967)・14.3 cm 前後 (968・969)・16.2 cm (970) の 4 群がある。鉢には口径 5.4 cm (971) と 9.4 cm (972) の 2 種がある。塩壺 (978) の内面には一部布目痕が残る。焙烙鍋は口縁を玉縁状に作り、外面をヘラケズリするもの (981) と口縁

表 23 SK83 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	椀・皿	9335	95.4%		
	鍋・釜	319	3.3%		
	炉・火鉢	10	0.1%		
	他・不明	118	1.2%		
	小計	9782	100.0%	84.5%	
瓦器	炉・火鉢	140	67.3%		
	鉢	28	13.5%		
	他・不明	40	19.2%		
	小計	208	100.0%	1.8%	
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	椀・皿	159	76.1%	
		鉢・向付	23	11.0%	
		壺	19	9.1%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	8	3.8%	
	小計	209	100.0%	19.1%	
	唐津	椀・皿	287	69.7%	
		鉢・向付	16	3.9%	
		大皿・鉢	68	16.5%	
		壺 (德利)	27	6.6%	
		他・不明	14	3.4%	
	小計	412	100.0%	37.7%	
伊万里	椀・皿	405	92.0%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	19	4.3%		
	他・不明	16	3.6%		
小計	440	100.0%	40.3%		
京焼・他	椀・皿	25	89.3%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	3	10.7%		
小計	28	100.0%	2.6%		
国産施釉陶磁器計	1092	-	100.0%	9.4%	
備前	壺	76	84.4%		
	壺	7	7.8%		
	播鉢	2	2.2%		
	盤・大皿	2	2.2%		
	他・不明	3	3.3%		
小計	90	100.0%	22.5%		
信楽 (伊賀)	壺	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	播鉢	42	85.7%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	7	14.3%		
小計	49	100.0%	12.3%		
丹波	壺	0	0.0%		
	壺	2	0.8%		
	播鉢	209	87.4%		
	盤・大皿	11	4.6%		
	他・不明	17	7.1%		
小計	239	100.0%	59.8%		
他・不明	壺	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	播鉢	9	40.9%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	13	59.1%		
小計	22	100.0%	5.5%		
焼締陶器計	400	-	100.0%	3.5%	
輸入陶磁器	椀・皿	81	91.0%		
	鉢	4	4.5%		
	壺	4	4.5%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	89	100.0%	0.8%	
総数	11571	-	100.0%		

部を外方へ折れ曲げるもの (982～985) がある。後者には口縁端部を上方につまみ上げるもの (983・984 A 類と仮称) とつまみ上げずにナデ調整するもの (982・985 B 類と仮称) がある。この口縁端部の形状差は成形段階での台型使用範囲と関連しており、A 類が体部を台型で成形した後に口縁部を接合するのに対して、B 類は口縁部までの全体を台型で成形している。土鈴 (986) には上半部に朱と墨で交互に花卉状の文様が描かれている。瓦器には香炉 (990)・火鉢 (991)・火桶の蓋 (988) と身 (989)・瓦灯 (992・993) などがある。988 と 989 の外面は密にヘラミガキ調整されている。国産施釉陶磁器類には唐津・伊万里・美濃・京焼などがある。唐津の製品には灰釉皿 (994～996・999～1008)・椀 (1011～1018・1020)・小杯 (1021)・香炉 (1022)・鉢 (1026～1028)・壺 (1029・1031・1032)・水指蓋 (1030)・絵唐津皿 (997・998)・向付 (1009・1010・1024)・鉢 (1025)・大皿 (1033・1035)・天目椀 (1019)・刷毛目香炉 (1023)・銅緑釉大鉢 (1034) などがある。伊万里には染付椀 (1047～1056)・皿 (1046)・壺 (1036・1037)・小杯 (1044・1045)・蓋 (1043)・白磁皿 (1057)・青磁仏飯器 (1039)・香炉 (1040)・皿 (1041・1042) のほか古九谷様式の色絵皿 (1038) などがある。美濃の製品には天目椀 (1058～1060)・白天目椀 (1061)・鉄釉小杯 (1062)・椀 (1063)・茶入 (1067・1068)・壺 (1072)・灯火器蓋 (1075)・長石釉椀 (1064)・皿 (1066)・黄瀬戸向付 (1071)・

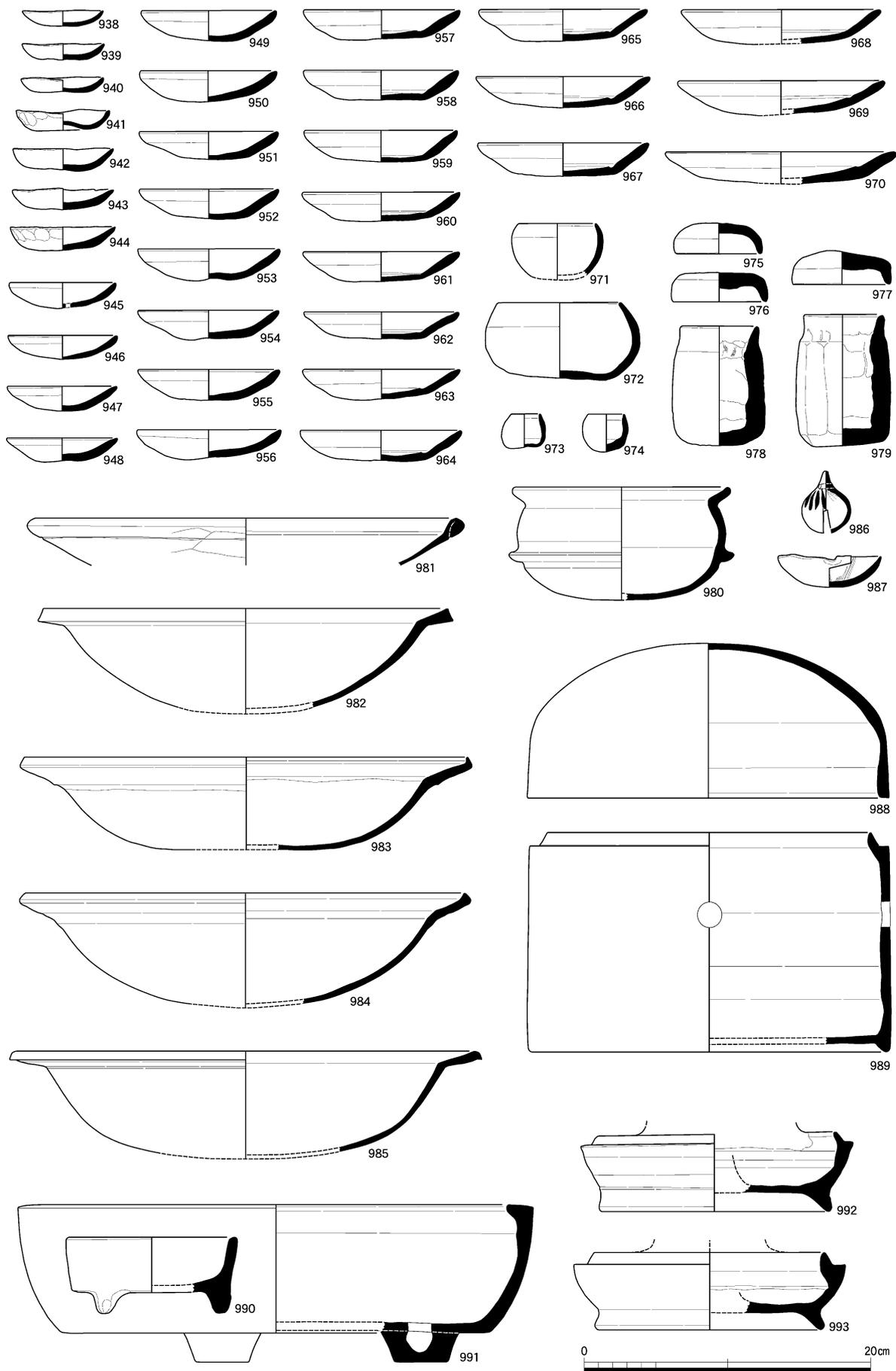


图 58 SK83 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

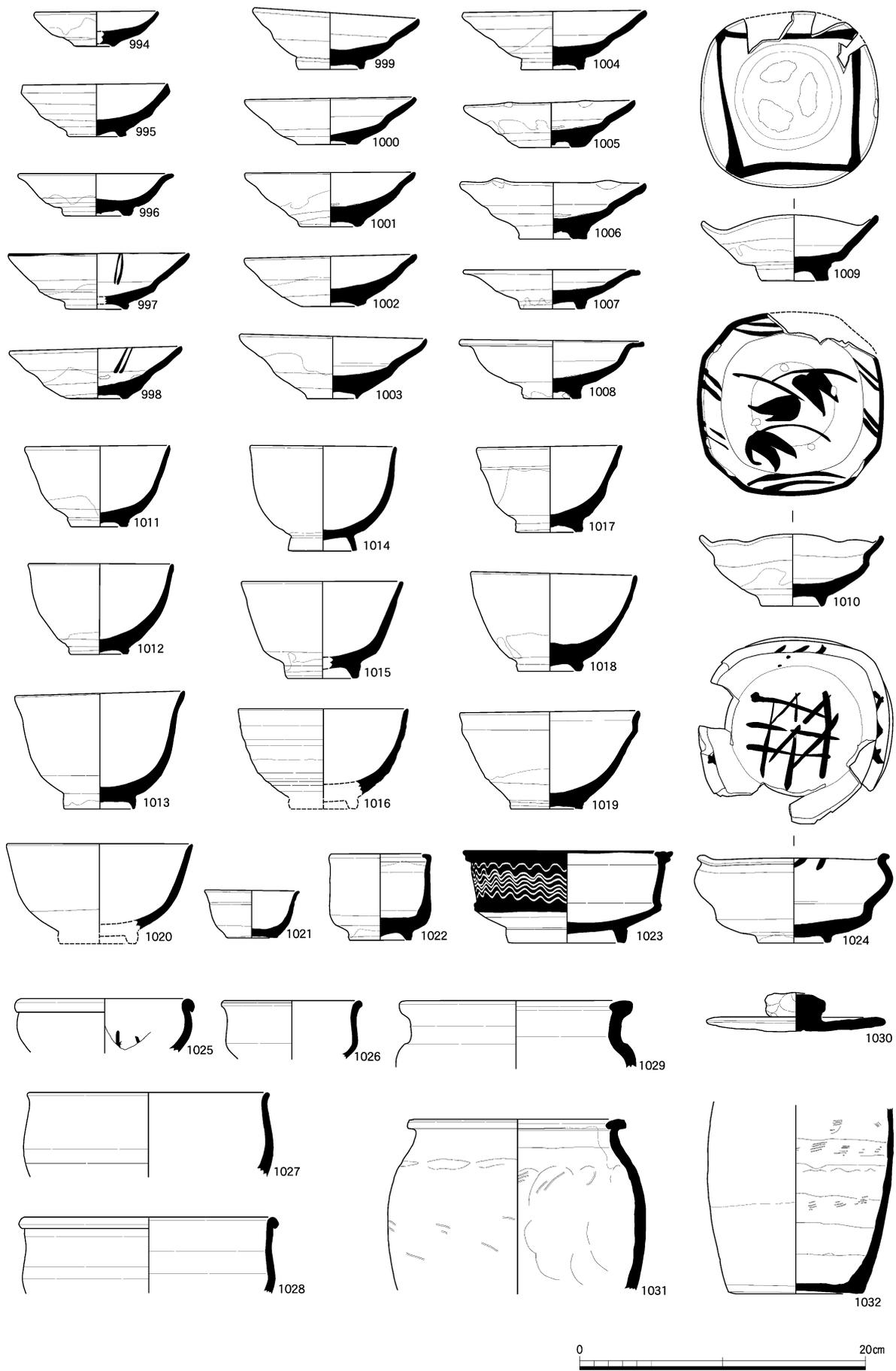


图 59 SK83 出土土器实测图 - 2 (1 : 4)

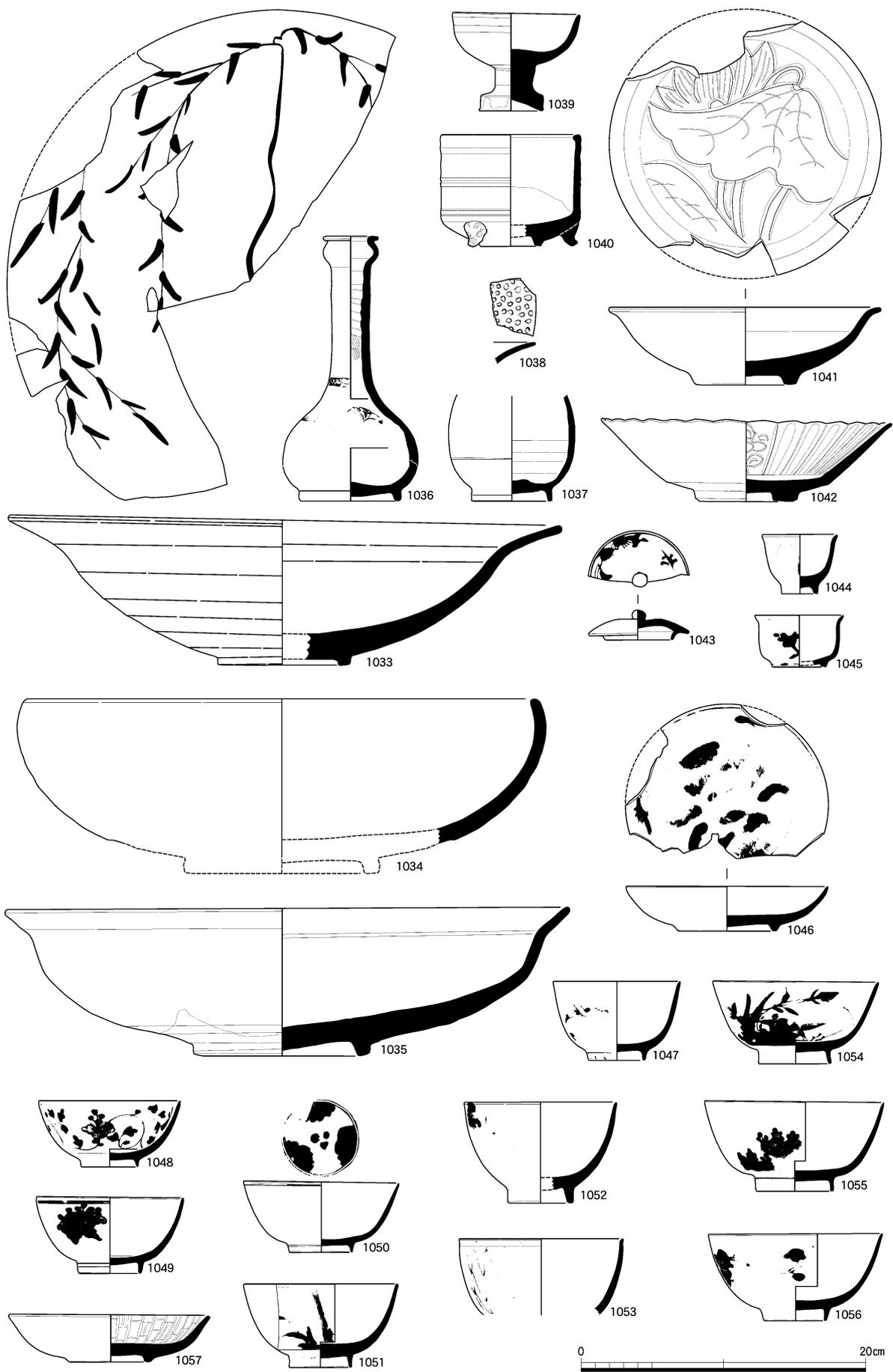


图 60 SK83 出土土器实测图 - 3 (1 : 4)

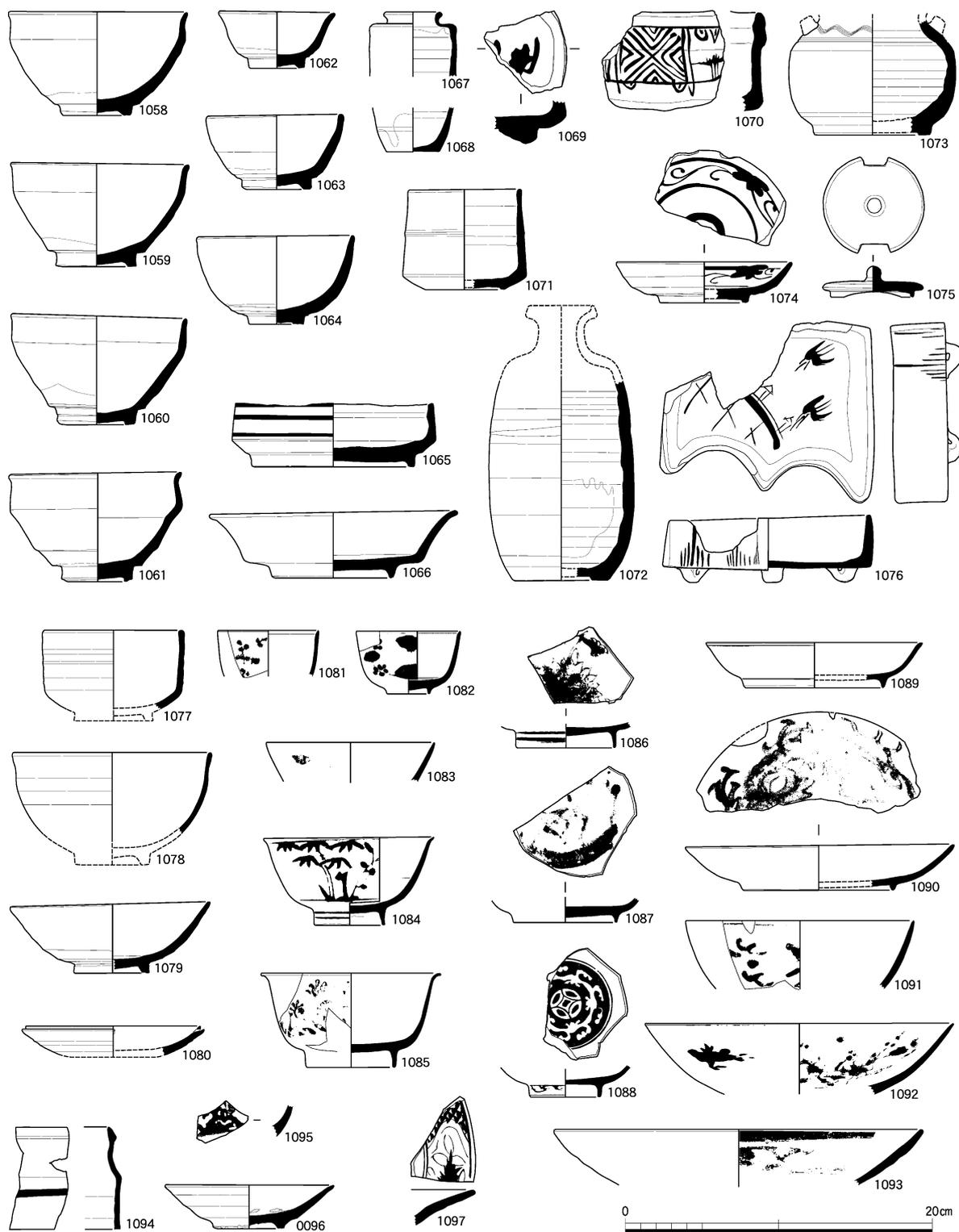


図 61 SK83 出土土器実測図 - 4 (1 : 4)

絵志野皿 (1074)・志野向付 (1069・1070)・織部水注 (1065)・壺 (1073)・向付 (1076) などがあ。京焼には硬質の鉄釉椀 (1077)・灰釉椀 (1078)・伊羅保風の鉄釉が施された椀 (1079) や軟質施釉陶器の灯明皿 (1080) がある。焼締陶器には備前播鉢 (1098・1099)・灯明皿 (1100)・建水 (1109)・丹波灯火器 (1104～1106)・盤 (1101～1103)・播鉢 (1107・1111)・信楽播鉢 (1108)・火入れ? (1110) などがあ。1098・1099 は通常の備前播鉢とは異なる形態であ

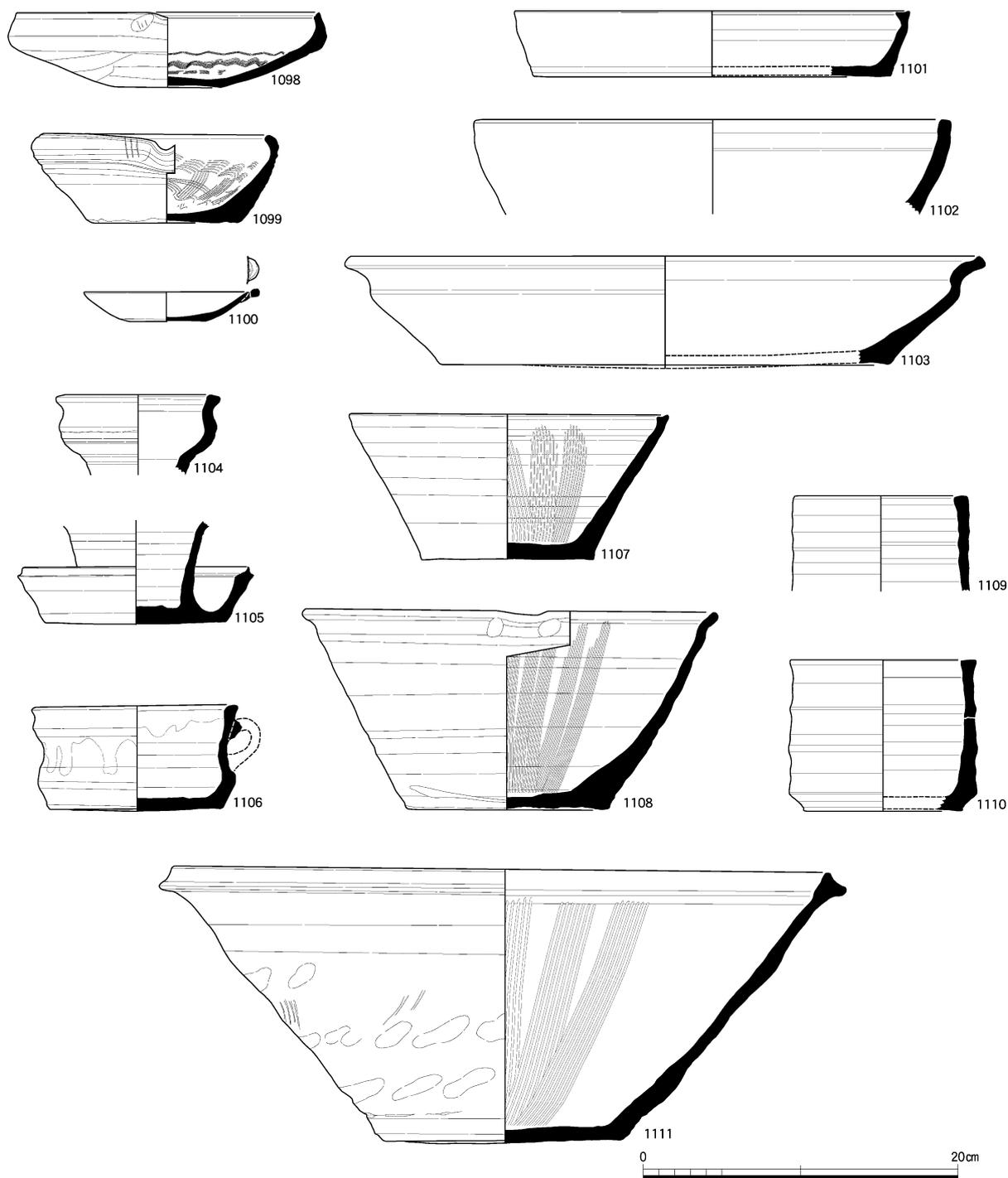


図 62 SK83 出土土器実測図 - 5 (1 : 4)

る。どちらにも片口脇に三本線のヘラ記号を有する。輸入陶磁器には明染付碗 (1083 ~ 1088・1091)・小杯 (1081・1082)・皿 (1089・1090・1093)・鉢 (1092)・赤絵皿 (1097) などの中国陶磁器のほか安南染付碗 (1095)・李朝刷毛目皿 (1096)・ヨーロッパ色絵陶器 (1094) がある。1094 はいわゆる阿蘭陀色絵壺 (アルバレロ) で、破損した下端部を水平に研磨している。蓋置きなどに転用したものか。1096 は同形品がSK146 から出土している。この遺構の土師器皿類はSK146 やSK1378 と類似した特徴を示しておりそれら近い時期に属すると考えられるが、他に

新の陶磁器類に後出的な要素も多く含まれており 11- B の新相に位置づけられる土器群である。

## (7) 江戸時代後期の遺物

江戸時代前期の遺物と同様に出土量・種類ともに多く、まとまった資料が多い。ゴミ廃棄土壌や井戸から出土した一括資料を中心に記述する。

SK23 出土土器類 (図 63 ~ 65、図版 42 ~ 46、表 24) 土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など 12- A に属する総数 4,111 片の土器類が出土した。土師器には皿 Sb (1112

表 24 SK23 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	椀・皿	3446	93.4%		
	鍋・釜	96	2.6%		
	炉・火鉢	93	2.5%		
	他・不明	53	0.6%		
	小計	3688	100.0%	89.7%	
瓦器	炉・火鉢	5	62.5%		
	鉢	0	0.0%		
	他・不明	3	12.5%		
	小計	8	100.0%	0.2%	
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	椀・皿	0	0.0%	
		鉢・向付	0	0.0%	
		壺	1	100.0%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
	小計	1	100.0%	0.3%	
	唐津	椀・皿	6	31.6%	
		鉢・向付	3	15.8%	
		大皿・鉢	6	31.6%	
		壺 (徳利)	1	5.3%	
		他・不明	3	15.8%	
	小計	19	100.0%	6.0%	
	伊万里	椀・皿	217	96.9%	
鉢		2	0.9%		
壺		3	1.3%		
他・不明		2	0.9%		
小計		224	100.0%	70.7%	
京焼・他	椀・皿	42	57.5%		
	鉢	10	13.7%		
	壺	8	11.0%		
	他・不明	13	17.8%		
	小計	73	100.0%	23.0%	
国産施釉陶磁器計		317	-	100.0%	7.7%
備前	壺	1	6.7%		
	掃鉢	7	46.7%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	6	40.0%		
	小計	15	100.0%	19.0%	
信楽 (伊賀)	壺	2	3.1%		
	掃鉢	62	96.9%		
	盤・大皿	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	64	100.0%	81.0%	
丹波	壺	0	-		
	掃鉢	0	-		
	盤・大皿	0	-		
	他・不明	0	-		
	小計	0	-	0.0%	
他・不明	壺	0	-		
	掃鉢	0	-		
	盤・大皿	0	-		
	他・不明	0	-		
	小計	0	-	0.0%	
焼締陶器計		79	-	100.0%	1.9%
輸入陶磁器	椀・皿	19	100.0%		
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	19	100.0%	0.5%	
総数		4111		100.0%	

~ 1120)・皿 S (1121 ~ 1137)・皿 N (1138 ~ 1141)・鉢 (1142・1143・1165)・焙烙鍋 (1145・1146)・塩壺蓋 (1147・1148・1152 ~ 1155)・塩壺 (1149 ~ 1151・1156 ~ 1159)・壺蓋 (1161・1162)・壺 (1163)・炉 (1144・1160)・瓦灯 (1164) などがある。皿 Sb は口径 9.0 cm 前後のもの (1113 ~ 1120) が主体だが、口径 7.8 cm のもの (1112) が 1 点ある。皿 S には口径 10.4 cm 前後 (1121 ~ 1132) と 12.3 cm 前後 (1133 ~ 1137) の 2 種がある。皿 N は口径 5.8 cm 前後である。鉢には口径 8.0 cm (1142) とやや大型の 13.5 cm のもの (1143) がある。焙烙鍋には浅鉢形のもの (1145) と口縁が外方に広がるものの (1146) 2 形態が併存している。後者には SK83 で分類した A 類はなく B 類のみである。塩壺には型芯に粘土を巻き付けて筒状に成形したもの (1150・1151) と無頸壺型のもの (1157・1158)・扁平で厚みのあるもの (1156・1159)・皿形のもの (1149) の 4 種がある。蓋は前 3 種に対応したのものがあるが、1149 の蓋は不明である。1150・1151 は体部外面に「泉州麻生」の刻印が押されている。1157 と 1158 は高さが異なるが、ほぼ同型で天井部に丸みを持つ円盤状の蓋 (1153・1154) と組み合う。この 2 点の蓋には「深草砂川藤左右衛門」の刻印が押されているが、書体や文字の大きさの異なる別印である。1156・1159 に伴う蓋 (1152・1155) は丸みがなく扁平な円盤状を呈する。1152 には「なんばん七度 本やき志不」、1155 には「なんばん里う 七度やき志不

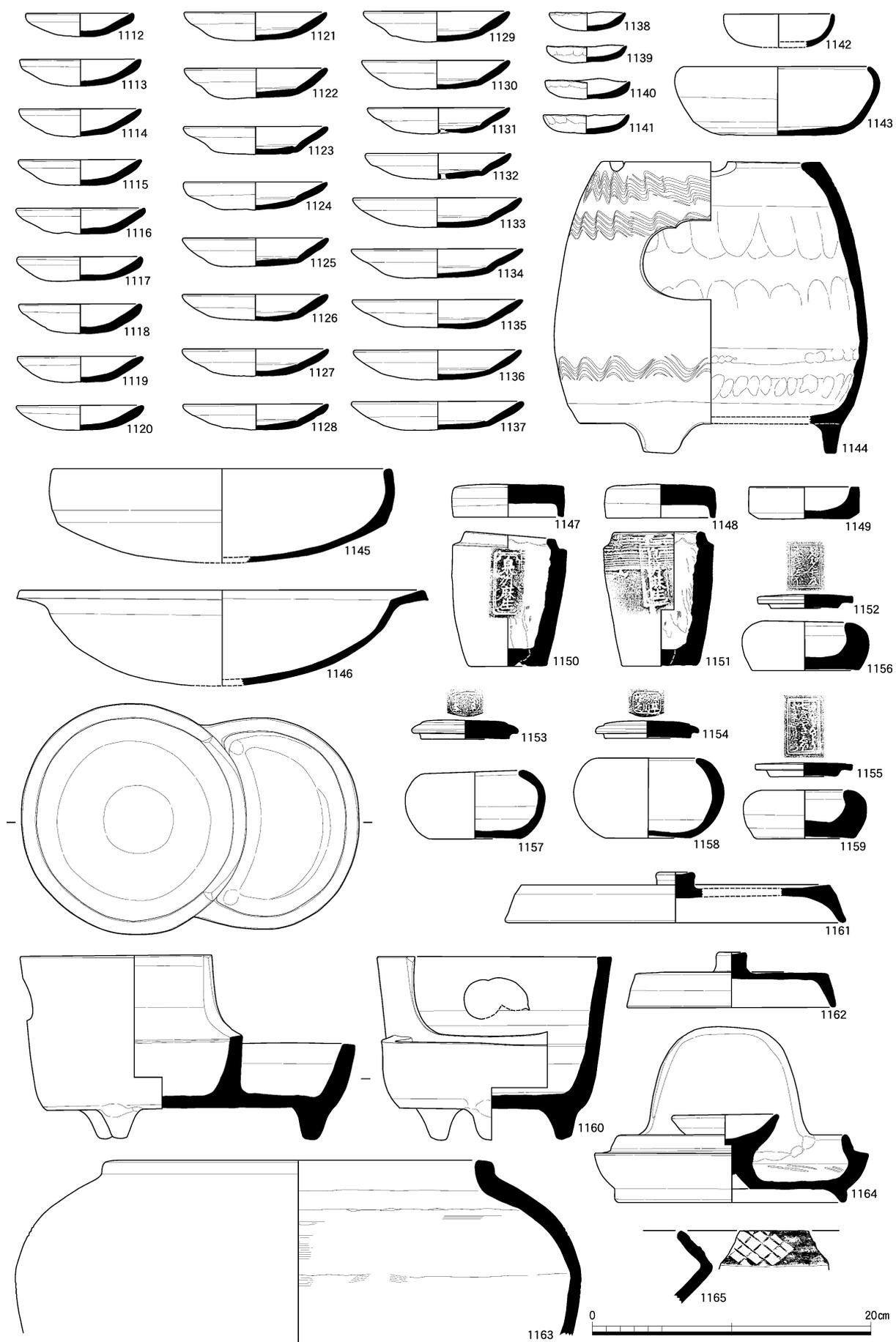


图 63 SK23 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

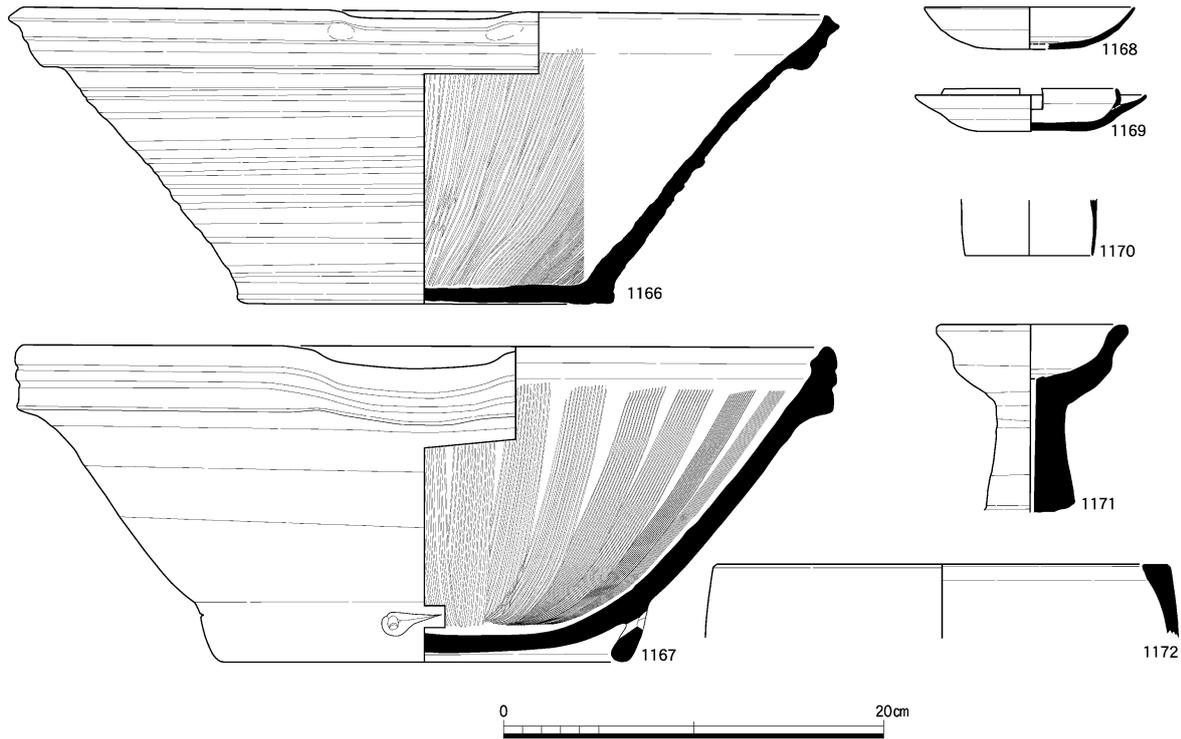


図 64 SK23 出土土器実測図 - 2 (1 : 4)

ふか草四良左右衛門」の刻印が押されている。壺蓋は口径 15.0 cm (1162) と 24.6 cm のもの (1161) を図示したが、この中間の口径のものもある。これらは 1163 のような壺と組み合う蓋であるが、1163 は口径 28.0 cm とさらに大型で、これに対応する蓋の存在がうかがえる。炉 (1144) は口縁部上端の 3 方に半円形の抉りを入れ、波状文を施した体部上位に透かしを作る。底部の 3 方には足が付く。1160 は円筒形の本体の片側を口縁部から大きく抉る。抉りに対応する箇所半月型の浅鉢を接合しており平面形が「8」字形を呈する。下面の 3 方に足を付け背面に瓢箪形の透かしを付ける。鉢 (1165) は体部から「く」字形に屈曲する口縁部外面の一部に斜格子のタタキメを付ける。灰器と思われる。瓦灯 (1164) は瓦器のものと基本的に同一の形態である。瓦器には火鉢 (1172) や瓦灯 (1171) があるが、出土量はわずかである。これは従来瓦器の製品であった火鉢や瓦灯などの多くが土師器によって代替されたことによるものだろう。国産施釉陶磁器には京焼・唐津系陶器や伊万里染付磁器など肥前の製品がある。京焼には錆絵染付椀 (1173)・灰釉椀 (1174)・三足鉢 (1175)・錆絵染付鉢 (1176)・錆絵染付脚付き杯 (1177) や軟質施釉陶器の鬚盥 (1178) がある。肥前の製品には銅緑釉皿 (1179)・京焼風陶器椀 (1180・1181)・色絵壺 (1182)・椀 (1183・1184)・白磁小杯 (1185 ~ 1187)・染付小杯 (1188・1189)・仏飯器 (1191)・椀 (1190・1192 ~ 1200・1203)・蕎麦猪口 (1201・1202)・皿 (1204・1205) などがある。焼締陶器には信楽播鉢 (1166)・備前播鉢 (1167)・灯明皿 (1168・1169) のほか、蓋の一部と思われる筒状の製品 (1170) がある。輸入陶磁器には明末から清初の白磁皿 (1206)・染付皿 (1207)・椀 (1208) などがある。

SE660 出土土器類 (図 66・67、図版 46 ~ 49、表 25) 土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶

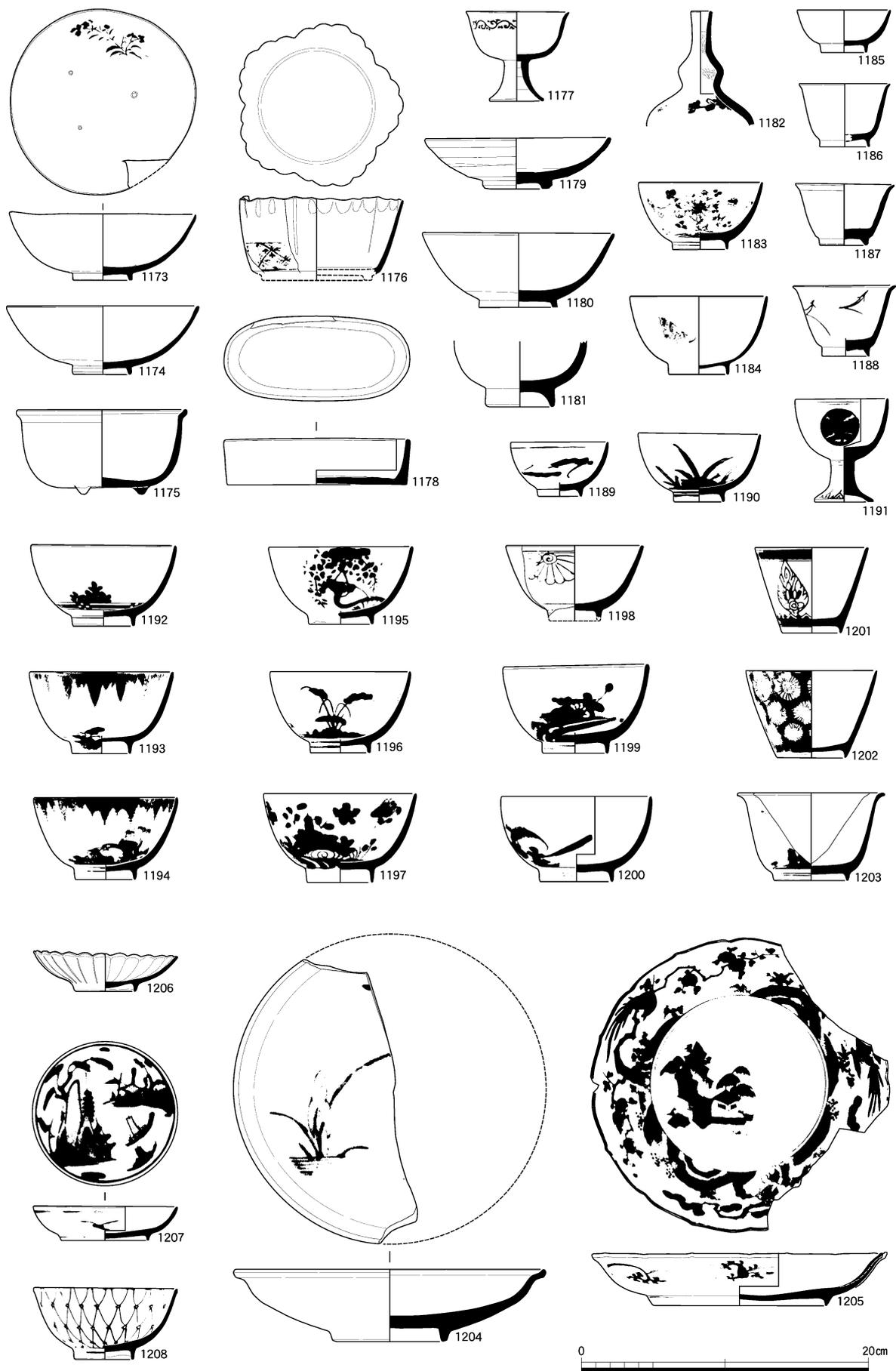


图 65 SK23 出土土器实测图 - 3 (1 : 4)

器・輸入陶磁器など 12-B に属する 2,450 片の土器類が出土した。土師器には皿 Sb (1209～1211)・皿 S (1212～1218)・皿 N (1219～1221)・小壺 (1222・1223)・鉢 (1224・1225)・焙烙鍋 (1226)・壺蓋 (1227～1229)・壺 (1230・1231)・火鉢 (1232) などがある。皿 Sb は口径 8.5 cm 前後。皿 S は口径 10.2 cm 前後 (1212～1216) と 12.5 cm 前後 (1217・1218) の 2 種がある。鉢は図示したものは口径 6.2 cm (1224)・9.0 cm (1225) と小振りだが、やや大型の破片もある。焙烙鍋 (1226) は口縁部が外に広がる形態の B 類である。ここでは浅鉢形のもの出土していない。壺蓋には 21.0 cm (1227)・15.6 cm (1228)・14.0 cm (1229) の 3 種の口径が

表 25 SE660 出土土器の構成 (破片数)

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	碗・皿	932	83.2%	45.7%	
	鍋・釜	32	2.9%		
	炉・火鉢	39	3.5%		
	他・不明	117	10.4%		
	小計	1120	100.0%		
瓦器	炉・火鉢	32	88.9%	1.5%	
	鉢	0	0.0%		
	他・不明	4	11.1%		
	小計	36	100.0%		
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	碗・皿	8	30.8%	2.3%
		鉢・向付	4	15.4%	
		壺	11	42.3%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	3	11.5%	
	唐津	碗・皿	54	50.0%	9.5%
		鉢・向付	0	0.0%	
		大皿・鉢	40	37.0%	
		壺 (德利)	3	2.8%	
	伊万里	他・不明	11	10.2%	60.7%
		小計	108	100.0%	
		碗・皿	651	94.8%	
鉢		2	0.3%		
京焼・他	壺	15	2.2%	24.3%	
	他・不明	19	2.8%		
	小計	687	100.0%		
	碗・皿	248	80.0%		
国産施釉陶磁器計	鉢	2	0.6%	46.2%	
	壺	34	11.0%		
	他・不明	26	8.4%		
	小計	310	100.0%		
備前	国産施釉陶磁器計	1131	-	100.0%	
	壺	0	0.0%	7.6%	
	壺	4	33.3%		
	播鉢	3	25.0%		
	盤・大皿	0	0.0%		
他・不明	5	41.7%			
信楽 (伊賀)	小計	9	100.0%	62.4%	
	壺	24	24.5%		
	壺	6	6.1%		
	播鉢	63	64.3%		
	盤・大皿	0	0.0%		
丹波	他・不明	5	5.1%	8.3%	
	小計	98	100.0%		
	壺	2	15.4%		
	壺	7	53.8%		
	播鉢	3	23.1%		
他・不明	盤・大皿	0	0.0%	21.0%	
	他・不明	1	7.7%		
	小計	13	100.0%		
	壺	1	3.0%		
	播鉢	0	0.0%		
焼締陶器	盤・大皿	0	0.0%	6.4%	
	他・不明	0	0.0%		
	小計	33	100.0%		
	壺	0	0.0%		
	播鉢	32	97.0%		
輸入陶磁器	焼締陶器計	157	-	100.0%	
	碗・皿	7	100.0%	0.3%	
	鉢	0	0.0%		
	壺	0	0.0%		
	他・不明	0	0.0%		
小計	7	100.0%			
総数		2450		100.0%	

ある。壺には器高の高いもの (1130) と扁平なもの (1131) がある。火鉢 (1232) には底部 3 方に中空の足が付く。瓦器には角形の火鉢 (1233) などがあるが、SK23 と同様に出土量はわずかである。国産施釉陶磁器には美濃や肥前系の陶磁器・京焼などがあるが、陶器類は少なく、伊万里染付など磁器類が主体である。美濃の製品には銀杏葉形の灰釉三足小皿 (1234)・鉄釉茶入 (1235)・碗 (1236) がある。肥前系の製品には刷毛目皿 (1238)・香炉 (1240)・碗 (1241)・灰釉皿 (1239)・三島手の鉢 (1242)・京焼風碗 (1286～1290)・伊万里染付碗 (1249～1261)・皿 (1263・1264)・小杯 (1265～1270)・仏飯器 (1262)・合子蓋 (1271)・合子身 (1272・1273)・鉢 (1274)・白磁蓋 (1275・1276)・小杯 (1277)・皿 (1278)・碗 (1279・1280)・色絵碗 (1281・1282)・蓋 (1283)・合子 (1284・1285) などがある。染付合子 (1272) の藤文は型刷り、碗 (1250・1253・1257・1260)・合子 (1273) は印判で施文されている。1281 は柿右衛門様式の色絵碗である。1286・1287 の内面底部には鎊絵山水文が描かれている。京焼には灰釉皿 (1291)・碗 (1292～1295)・鎊絵染付碗 (1296)・鎊絵と白土で菊文を描いた碗 (1297) や軟質施釉陶器灯明皿 (1245・1246) がある。灯明皿 (1248) は無釉だが土師器と異なりロクロ成形で胎土も精良で、無釉である点を除けば軟質施釉陶器と共通する特徴を持つ。焼締陶器には図示した備前の播鉢 2 点 (1243・1244)・灯明皿 (1247)・信楽火入れ (1237)

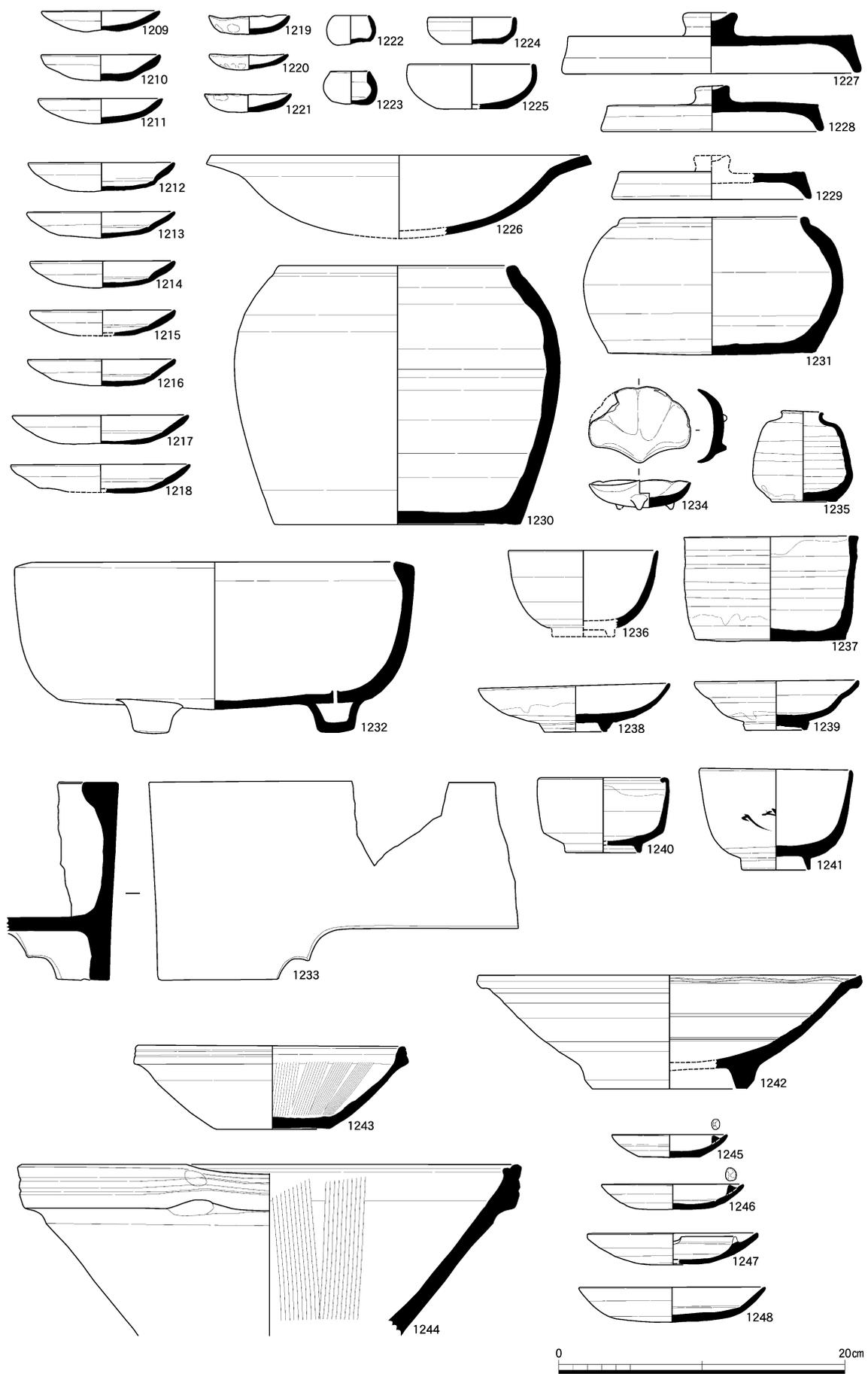


图 66 SE660 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

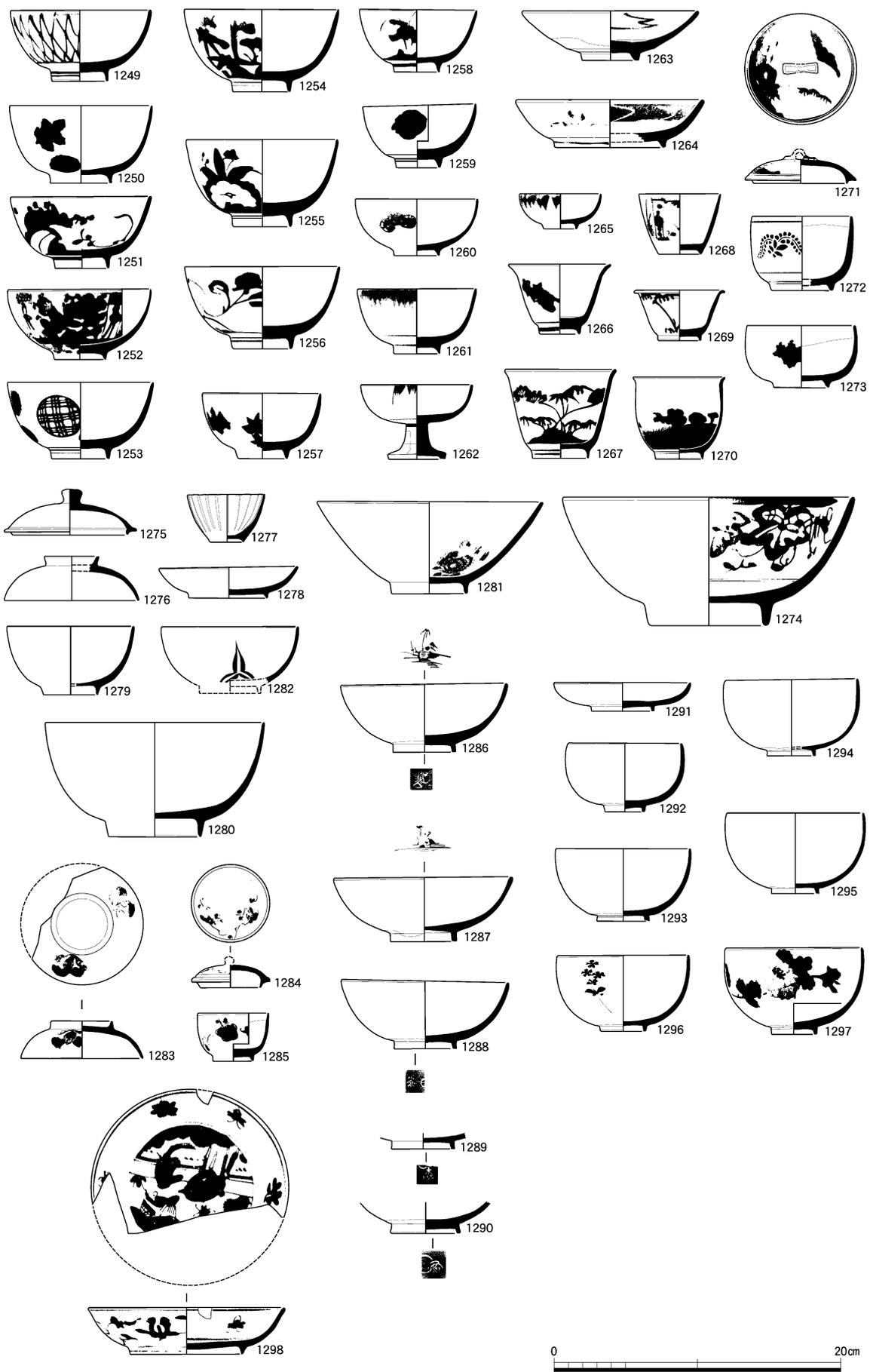


图 67 SK660 出土土器实测图 - 2 (1 : 4)

のほか信楽や丹波あるいは産地不明の甕や播鉢片がある。輸入陶磁器は明染付の皿（1298）が1点ある。

SK634 出土土器類（図 68） 東西に並べて設置されていた埋め甕（1299・1300）である。1299 がやや小型であることと耳の形態が異なるほかは類似した特徴を持つ。丹波の製品と思われる

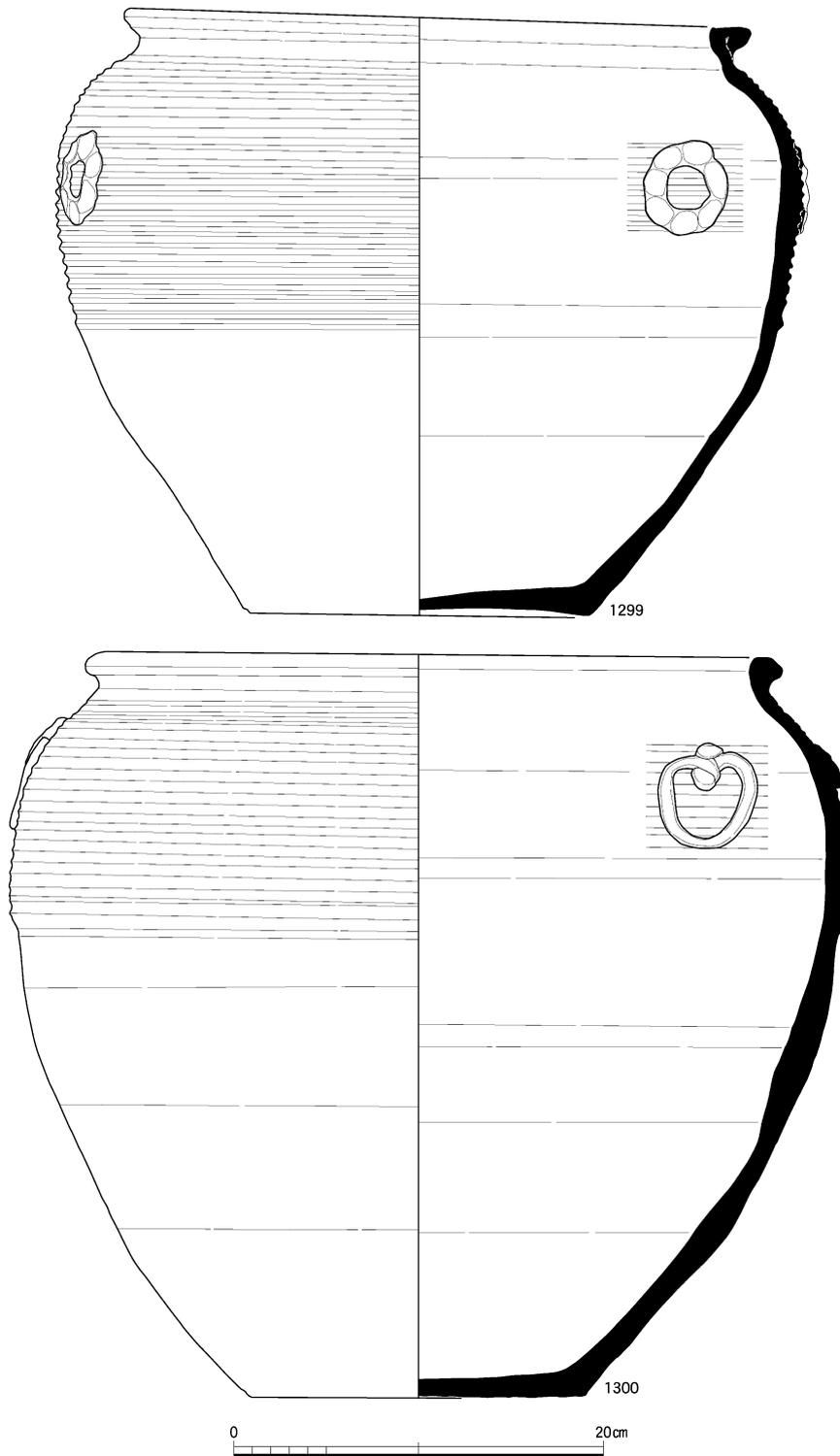


図 68 SK634 出土土器実測図（1：4）

る。掘形からは少量ではあるが、12- B（新相）とみられる土師器皿が出土している。

SK48 出土土器類（図 69～73、図版 50～55、表 26）土師器・瓦器・施釉陶器・焼締陶器・輸入陶磁器など 13- A に属する。出土総数は 1,741 片であるが、大半が陶磁器類である。土師器には皿 N（1301・1302）・皿 S（1303～1305）や鉢類（1307・1309）のほか火鉢などの破片があるが、いずれも少量である。皿 N には口径 4.8 cm（1301）と 6.1 cm のもの（1302）がある。皿 S には口径 9.8 cm（1303・1304）と 18.2 cm の大型品（1305）がある。鉢（1307）の体部外面には格子タタキ目を施し、鉢（1309）の表面は黒灰色を呈するが、瓦器のように炭素を吸着させたものと異なり、刷毛目様の色むらがあり、樹液などを塗布して焼成されたものかもしれない。外面は口縁部直下に波状に、体部の一部に斜方向のヘラ刻を施す。いずれも灰器と思われる。瓦器は火鉢あるいは炉（1308）・鉢の小片が 1 点ずつ出土しただけである。外面は屈曲部以下はヘラケズリ、上部はヘラミガキ調整する。国産の施釉陶磁器には京焼・伊万里磁器などがある。京焼には灰釉碗（1320・1321）・内面に呉須で絵付けした角鉢（1319）・色絵鉢（1318）など硬質のものと軟質施釉陶器（1310～1317）がある。1318 は形態や絵柄から乾山の色絵吉野山図透鉢と思われる。軟質施釉陶器には向付（1310～1312）・香炉（1313）・角鉢（1314）・灯明皿（1315）・菊皿（1316）・大鉢（1317）がある。1310～1312 は百合形の赤楽向付で、高台内に「楽（八代長入印）」ら認められる。型成形で高台は貼り付け、赤の化粧土と透明釉が施されている。図示した以外にも破片が多数あり、底部片からみて少なくとも 3 個体が確認できる。1313 は白楽の香炉で白化粧に白釉が掛けられる。底部外面に「楽（九代得入印）」が押されている。1314 も白楽

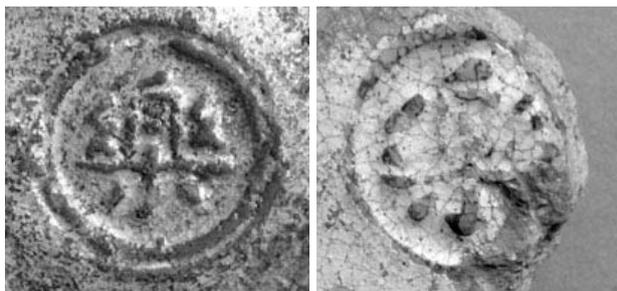


図 69 1312（左）・1313（右）の印銘

表 26 SK48 出土土器の構成（破片数）

器種	器形	破片数	比率 (%)		
土師器	碗・皿	10	31.3%		
	鍋・釜	3	9.4%		
	炉・火鉢	7	21.9%		
	他・不明	12	37.5%		
	小計	32	100.0%	1.8%	
瓦器	炉・火鉢	1	50.0%		
	鉢	1	50.0%		
	他・不明	0	0.0%		
	小計	2	100.0%	0.1%	
国産施釉陶磁器	瀬戸・美濃	碗・皿	3	7.7%	
		鉢・向付	36	92.3%	
		壺	0	0.0%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		他・不明	0	0.0%	
	小計	39	100.0%	3.2%	
	唐津	碗・皿	2	11.1%	
		鉢・向付	1	5.6%	
		大皿・鉢	0	0.0%	
		壺（徳利）	10	55.6%	
	他・不明	5	27.8%		
	小計	18	100.0%		
	伊万里	碗・皿	815	76.0%	
鉢		249	23.2%		
壺		7	0.7%		
他・不明		2	0.2%		
小計		1073	100.0%	87.3%	
京焼・他	碗・皿	38	38.4%		
	鉢	26	26.3%		
	壺	8	8.1%		
	他・不明	27	27.3%		
小計	99	100.0%	8.1%		
国産施釉陶磁器計		1229	100.0%	70.6%	
焼締陶器	備前	甕	0	0.0%	
		壺	0	0.0%	
		掃鉢	0	0.0%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	7	100.0%	
	小計	7	100.0%	23.3%	
	信楽（伊賀）	甕	6	35.3%	
		壺	0	0.0%	
		掃鉢	0	0.0%	
		盤・大皿	0	0.0%	
		他・不明	11	64.7%	
	小計	17	100.0%	56.7%	
	丹波	甕	2	33.3%	
壺		0	0.0%		
掃鉢		4	66.7%		
盤・大皿		0	0.0%		
他・不明		0	0.0%		
小計	6	100.0%	20.0%		
他・不明	甕	0	-		
	壺	0	-		
	掃鉢	0	-		
	盤・大皿	0	-		
	他・不明	0	-		
小計	0	-	0.0%		
焼締陶器計		30	100.0%	1.7%	
輸入陶磁器	碗・皿	333	74.3%		
	鉢	19	4.2%		
	壺	70	15.6%		
	他・不明	26	5.8%		
	小計	448	100.0%	25.7%	
総数		1741		100.0%	

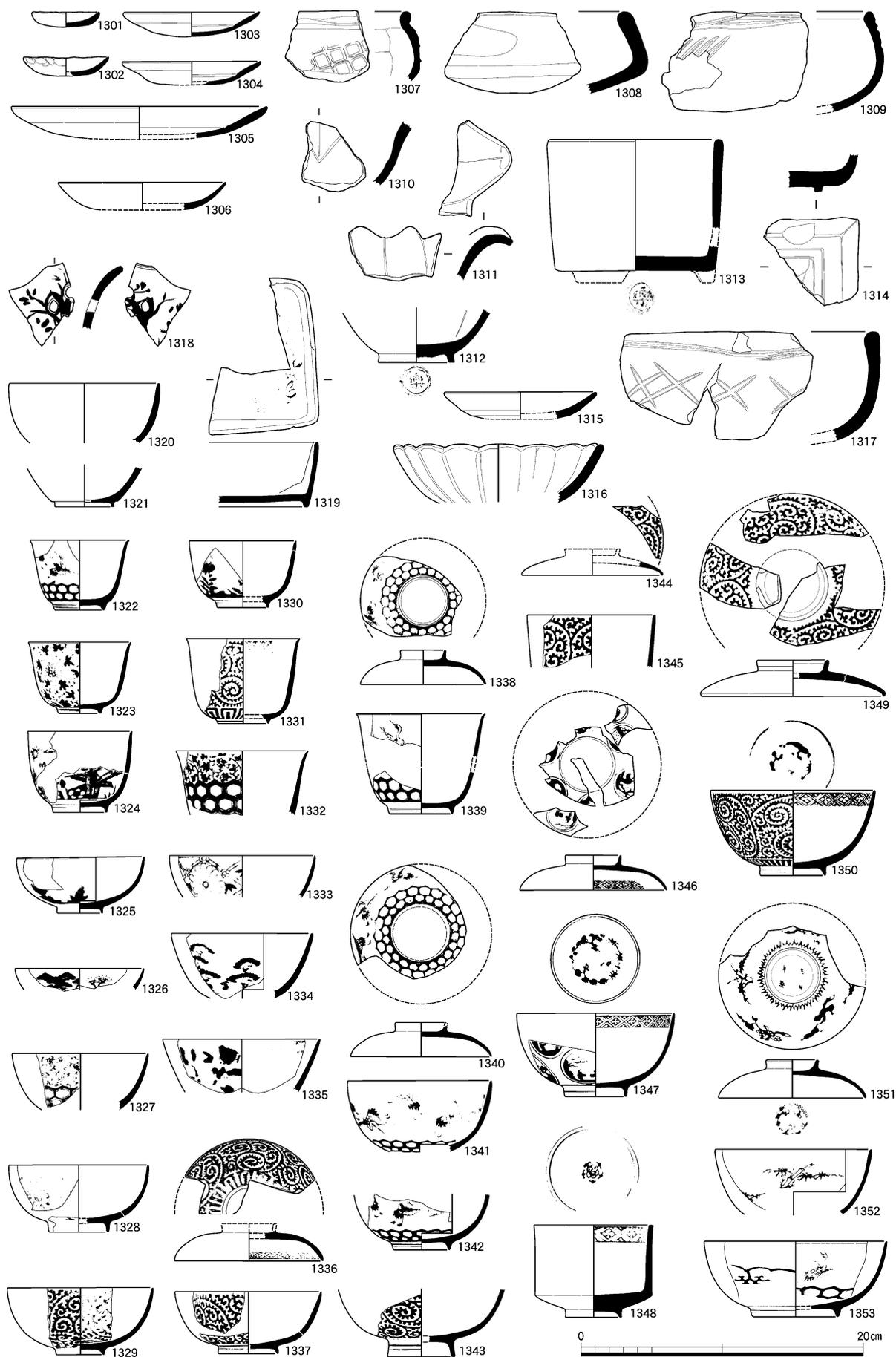


图 70 SK48 出土土器实测图 - 1 (1 : 4)

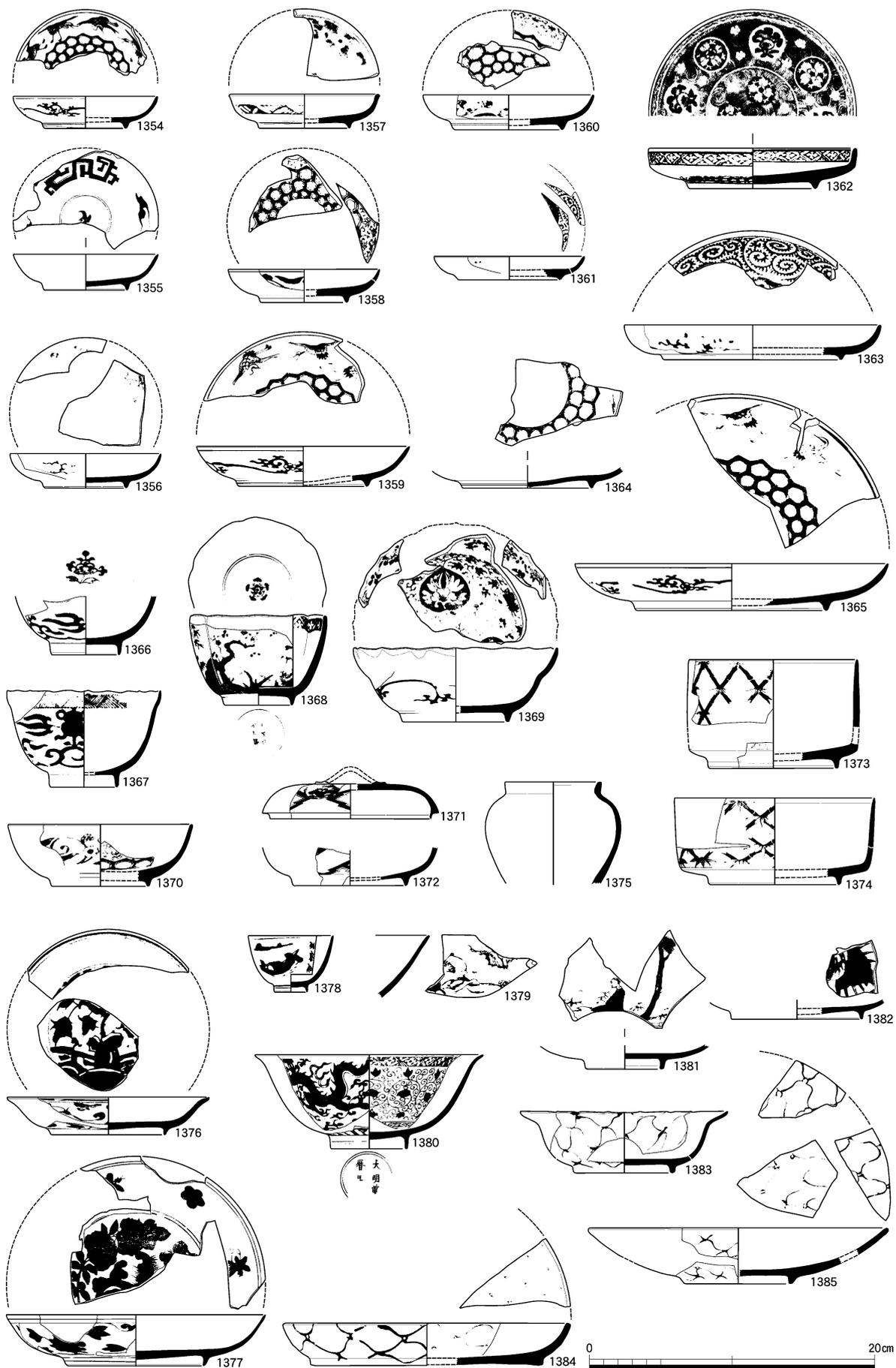


图 71 SK48 出土土器实测图 - 2 (1 : 4)

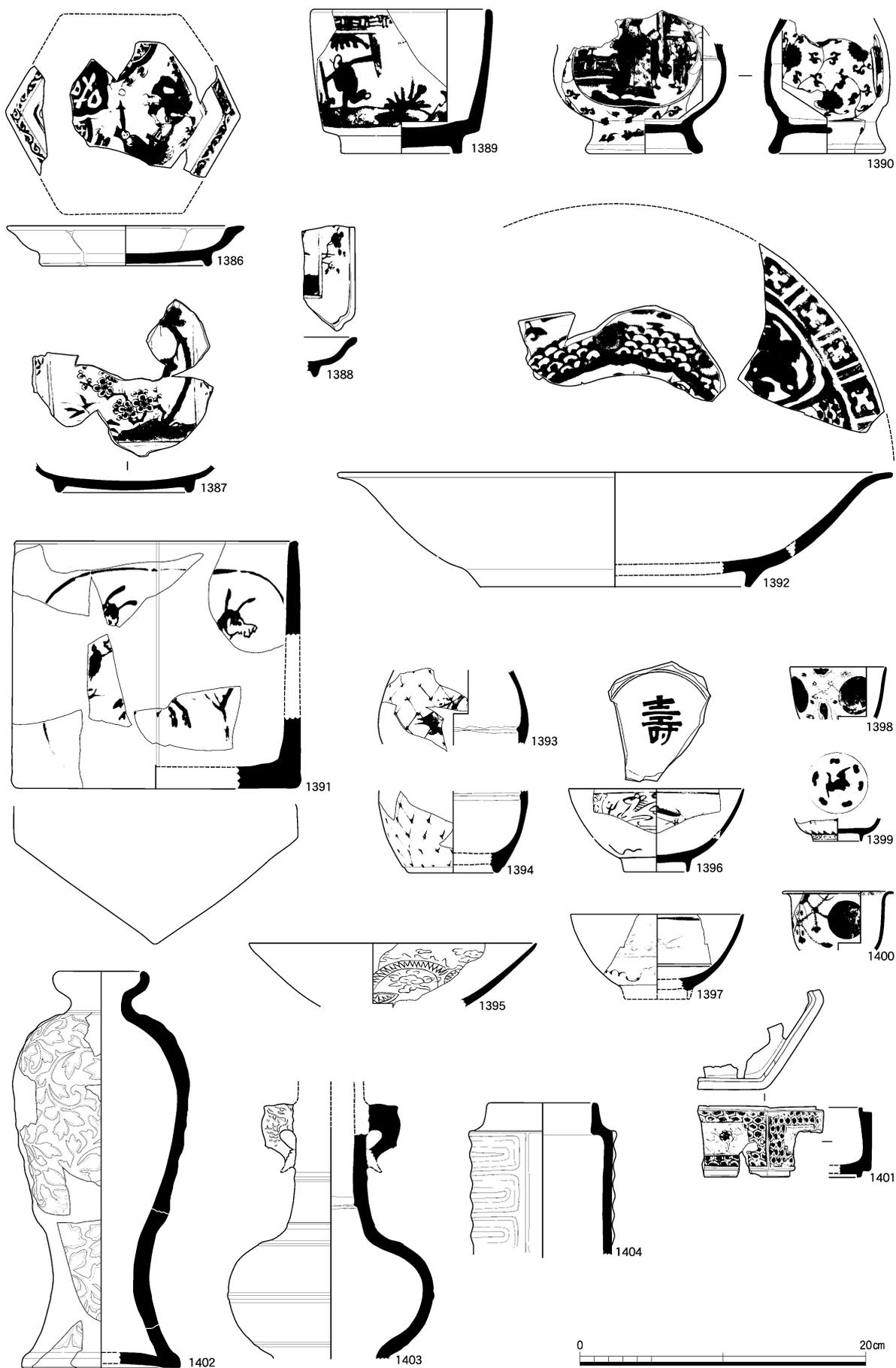


图 72 SK48 出土土器实测图 - 3 (1 : 4)



図 73 SK48 出土菱馬水指

の鉢である。型に成形で外面をヘラケズリ調整し、白化粧と白釉が掛けられる。1316の菊皿と1317の大鉢は赤楽である。ともに非ロクロの製品で、赤の化粧土と透明釉が施されている。1317の外面にはヘラ刻が施されている。皿(1306)は施釉されていないが、SE660の1248と同様にロクロ成形で精良な胎土を用いており、軟質施釉陶器系の製品と思われる。伊万里の製品には染付椀(1322～1335・1337・1339・1341～1343・1345・1347・1348・1350・1352・1353)・蓋(1336・1338・1340・1344・1346・1349・1351・

1371)・皿(1354～1365)・鉢(1366～1370)・蓋付き鉢(1372～1374)・白磁壺(1375)などがある。染付には亀甲文と飛鶴文(1322・1340～1342・1353・1354・1359・1364・1365)・亀甲文と唐草文(1327・1332・1358)・それと共通する唐草文(1323・1369)・蛸唐草文(1329・1331・1336・1337・1343・1349・1350・1361・1363)のような大小の組み物と思われる椀・皿類や、竹垣文の鉢類(1371～1374)など絵柄の意匠が統一された器物が多数あり、その多くが数点ずつ出土している。中国陶磁には明から清初の染付皿(1376・1377・1382・1384～1388)・大皿(1392)・小杯(1378)・椀(1379～1381)・鉢(1383・1389)・水注(1390)・壺(1393・1394)・水指(1391)・赤絵椀(1396・1397)・小杯(1398～1400)・六角重ね鉢(1401)・藍釉鉢(1395)・青磁壺(1402)や、おそらく伝世品と思われる宋代の青磁壺類(1403・1404)など多彩なものがある。1403は筍形瓶と呼称されている壺の類品で通常有耳の製品は少ないが、これには鱗形の双耳が付けられている。1404はいわゆる琮形瓶である。この2点には漆で補修した痕跡が認められる。中国陶磁の中にも網目文の皿(1384・1385)・鉢(1383)・壺(1393・1394)など意匠をそろえたものがあるほか、染付小杯(1378)・赤絵椀(1396・1397)・小杯(1398・1399)などの小型器形には同型品が数点から10数点が出土しているものがある。また、1点だけが出土した器物のなかには仙餐瓶と呼称される水注(1390)や呉須手菱馬水指(1391)のような、これまでにあまり出土例のない特殊なものなどが含まれている。

## (8) 瓦類 (図 74)

土器類に対して瓦類の出土量は少量で、また少数の軒瓦を除けば大半が丸瓦・平瓦の破片である。ここでは瓦当文様の明らかな軒平瓦・軒丸瓦について記述する。

瓦1 唐草文軒平瓦 同中心文は欠損する。唐草文は細く巻きが強い。凸面縦方向に、顎下面横方向にヘラケズリ。表面黒灰色、胎土は暗灰色で砂粒を含む。木村161と同範で柴本瓦窯の製品と思われる。京内では淳和院などに出土例がある。SE753 出土。

瓦2 唐草文軒平瓦 唐草文は中心文上方から下がり2転する。顎下面から凸面に縄目タタキ、側面はヘラケズリ。表面・断面ともに淡褐色を呈し、大粒の石英粒を含む。SK355 出土。

瓦3 斜格子軒平瓦 顎部は半折り曲げ。凹面前端と顎下面を横方向にヘラケズリする。胎土は細粒で淡灰褐色を呈する。左半がSK317、右半が6-Aの土壙SK387 出土。

瓦4 剣頭文軒平瓦 剣頭文の単位は単弁の蓮弁状。顎部は半折り曲げで下端面を横方向にヘラケズリ。凸面はナデ調整。表面は黒灰色、胎土は灰白色でわずかに砂粒を含む。SK1447 出土。

瓦5 巴文軒平瓦 単位のひとつが逆に巻き込む変則的な巴文。顎部は半折り曲げ、下端面と側面をヘラケズリする。凸面はナデ調整。胎土は淡黄灰色で砂粒を含む。SX690 出土。

瓦6 唐草文軒平瓦 顎部は折り曲げで端面はナデ調整。凸面は縄目タタキ。瓦当面上端はヘラケズリする。表面・断面とも灰色で砂粒を含む。SK149 出土。

瓦7 剣頭文軒平瓦 顎部は折り曲げで下端面と瓦当面上端をヘラケズリ。凸面はナデ調整。ヘラ記号がある。表面淡褐色、胎土は淡灰褐色で砂粒を多く含む。SK254 出土。

瓦8 巴文軒丸瓦 巴文は右巻き。珠文は大きい。裏面はナデ調整。胎土は淡赤灰色で砂粒を含む。第2層出土。

瓦9 巴文軒丸瓦 巴文は左巻き。珠文は大きく密に配する。瓦当周縁や裏面はナデ調整。胎土は淡灰褐色で砂粒含む。9-Bの土壙SK320 出土。

瓦10 巴文軒丸瓦 巴文は左巻き。珠文は大きく密に配する。瓦当周縁や裏面はナデ調整。胎土は淡灰褐色で砂粒を多く含む。6-Aの土壙SK927 出土。

瓦11 蓮華文軒丸瓦 中房は平坦で蓮子は小さい。蓮弁は幅広の単弁で子葉は凸線。外区に珠文を配する。凸面は縄目タタキ。表面は淡褐色で胎土は灰色を呈し細粒である。法成寺に出土例がある。丹波産。9-Aの土壙SK268 出土。

瓦12 巴文軒丸瓦 右巻きの巴文は太く、珠文は無い。凸面をヘラ調整、裏面はナデ調整表面は暗灰色で胎土は淡灰色で砂粒をほとんど含まない。9-Bの土壙SK320 出土。

瓦13 蓮華文軒丸瓦 単弁で間弁は凸線状。蓮子は1+5。瓦当周縁や裏面はナデ調整。表面・胎土とも灰褐色で緻密である。5-Bの土壙SK266 出土。

瓦14 蓮華文軒丸瓦 単弁8葉。蓮子は1+4。瓦当周縁はナデ、裏面はオサエ調整。胎土は淡灰褐色で細粒。9-Cの土壙SK728 出土。

瓦15 唐草文軒平瓦 中央に5弁の花文を配する。唐草は太く、強く巻き込む。瓦当下面と裏面はナデ調整。二次被熱のため淡赤褐色を呈する。胎土は砂粒を含む。SK562 出土。

瓦16 唐草文軒平瓦 瓦当周縁および裏面はナデ調整。凹面はヘラ調整。表面は暗灰色、胎土は明灰色で砂粒を含む。11-Bの土壙SK83 出土。

瓦17 巴文軒丸瓦 巴文は左巻きで珠文は大きい。周縁をヘラミガキ調整する。瓦当裏面は丁寧なナデ調整。灰色を呈する。胎土は細粒で、わずかに砂粒を含む。13-Aの土壙SK48 出土。

瓦18 巴文軒丸瓦 巴文は左巻きで頭部が太く肉厚である。珠文は大きい。瓦当側面と裏面はナデ調整。表面は暗灰色、胎土は明灰色で砂粒を含む。11-Cの土壙SK616 出土。

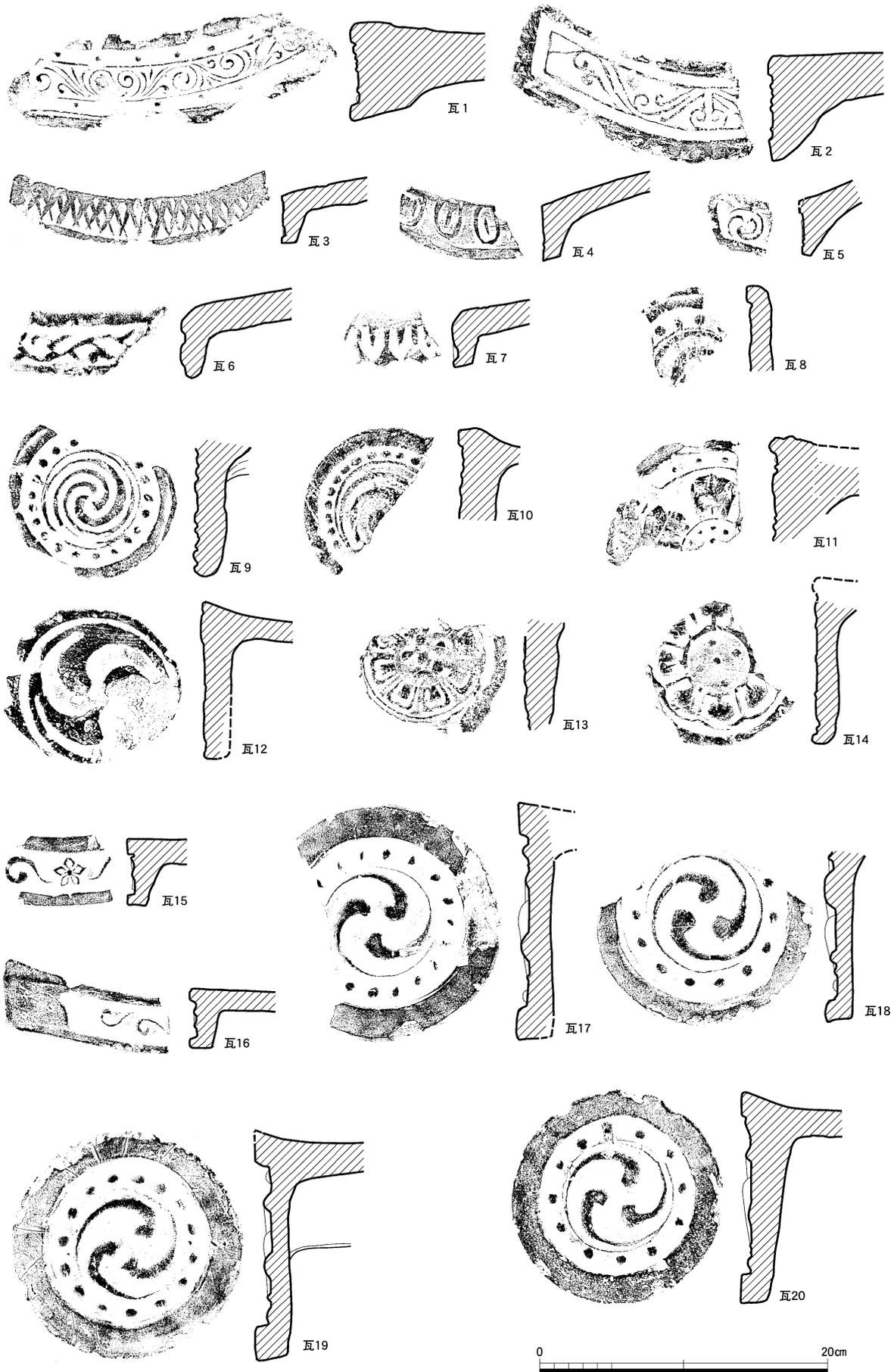


图 74 瓦類拓影・実測図 (1 : 4)

瓦 19 巴文軒丸瓦 巴文は左巻きで頭部が太い。瓦当周縁・側面・裏面とも丁寧なナデ調整。灰色を呈する。胎土に砂粒をわずかに含む。12- A の土壙 SK28 出土。

瓦 20 巴文軒丸瓦 巴文は左巻きで頭部が太い。巴の尾部が互いに接し界線状になる。珠文は大きく間隔が広い。瓦当周縁・側面・裏面ともにナデ調整。表面は黒灰色、胎土は灰白色で砂粒を含む。11- B の土壙 SK1378 出土。

### (9) 金属製品 (図 75 ~ 77、図版 57・58)

各期の遺構や包含層から銅銭・飾り金具・煙管などが出土している。主要なものについて記述しておく。

#### 銭貨 (金 1 ~ 金 26)

中近世の土壙や井戸・包含層から 26 種、99 点の銅銭がある。単一の遺構からまとめて出土したものはない。銭種や主な出土遺構とその時期および各種ごとの出土点数を表 27 にまとめた。寛永通寶が 32 点で、最も多く出土しており、皇宋通寶 (金 10)・元豊通寶 (金 14)・政和通寶 (金 20) がそれに次ぐ。また江戸時代の遺構からではあるが、五銖 (金 1) が 1 点出土している。

#### 金具類その他 (金 27 ~ 金 52)

金 27 銅製火箸 断面は円形で細く、先端部は尖る。上部は欠損している。12- B の井戸 SE15 出土。

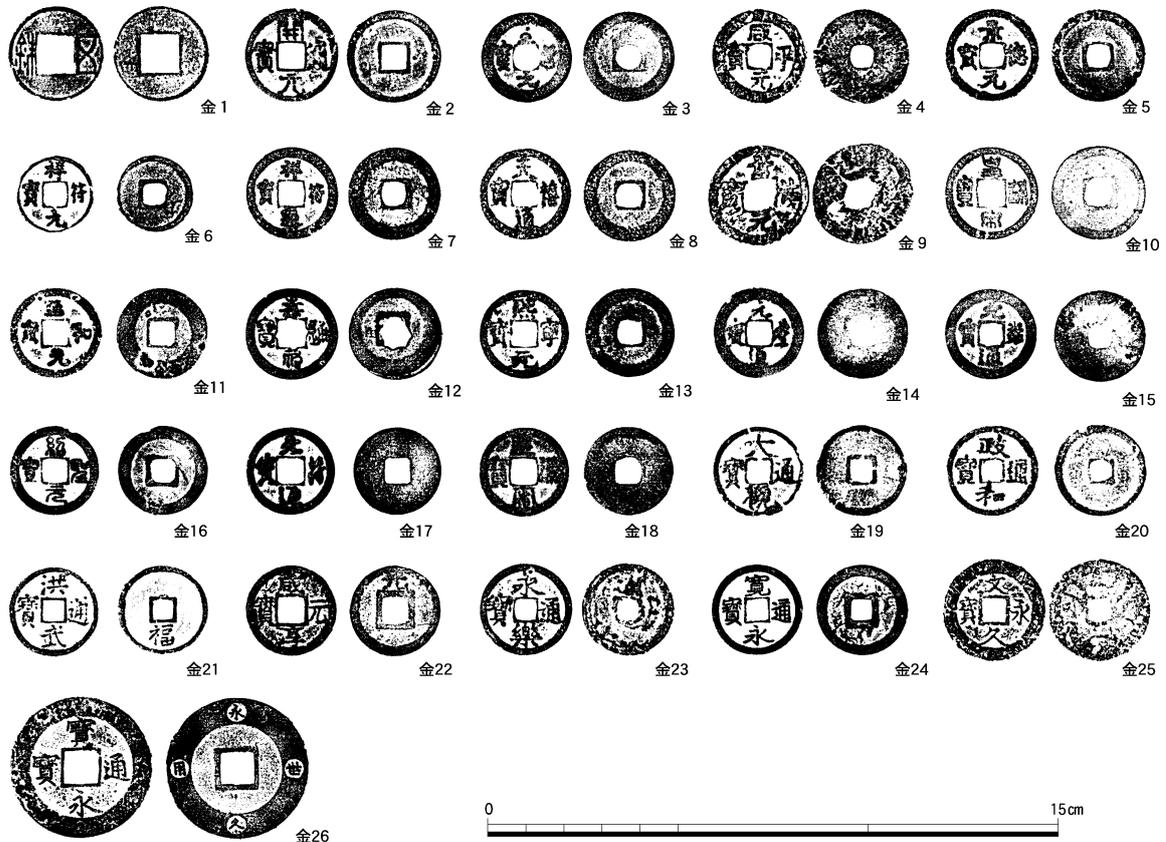


図 75 銭貨拓影 (1 : 2)

表 27 出土銭貨一覧表

番号	銭種	主要遺構	遺構の時期	出土数	備考
金 1	五銖	SX550	12-A	1	
金 2	開元通寶	SK823	9-	2	
金 3	至道元寶	SK47	11-B	2	
金 4	咸平元寶	SK89	11-C	3	
金 5	景德元寶	東壁整備	12-	1	
金 6	紹符元寶	SK823	9-	2	
金 7	祥符通寶	SK83	11-B	2	
金 8	天禧通寶	SK149	9-	2	
金 9	景祐元寶	SK786	10-	1	
金10	皇宋通寶	SK823	9-	9	
金11	至和元寶	SE715	10-A	1	
金12	嘉祐通寶	SK320	9-	1	
金13	熙寧元寶	SK70	11-B	4	
金14	元豐通寶	SK143	11-B	7	
金15	元祐通寶	SK64	11-B	4	
金16	紹聖元寶	SK70	11-B	3	
金17	元符通寶	SK1378	11-B	3	
金18	聖宋通寶	SK83	11-B	3	
金19	大觀通寶	第1層	12-	1	
金20	政和通寶	SK239	7-A	6	
金21	洪武通寶	SK653	9-	4	背面に「福」字
金22	咸淳元寶	SE753	9-A	1	
金23	永樂通寶	SE96	11-B	2	
金24	寛永通寶	SK337	11-C	32	
金25	文久永寶	西壁整備	13-	1	背面波文
金26	寶永通寶	SK571	13-B	1	十文銭 背面周縁に「永久世用」

金 28 銅製火箸 断面は円形で、上端部を卵形に作る。先端部は尖る。11- C の土壌 SK616 出土。

金 29 銅製火箸 断面は方形で、上端部を球に作る。先端部は尖る。13- A の土壌 SK588 出土。

金 30 銅製火箸 断面は円形で、卵形の上端部上方に刻みを付ける。12- A の井戸 SE577 出土。

金 31 銅製火箸 卵形の上端部下方に段を付ける。断面は円形を呈し先端部は尖る。13- A の土壌 SK588 出土。

金 32 環頭棒状銅製品 上端は環状で、断面は上部で長方形、下部では円形を呈する。先端部は欠損している。火箸と思われる。12- B の井戸 SE15 出土。

金 33 環頭棒状銅製品 断面は円形。

頭部を環状にし、先端部は耳かき状に薄く屈曲する。11- A の土壌 SK70 出土。

金 34 ピンセット状銅製品 1枚の板金を折り曲げピンセット状に作る。上端に環を通す。13- A の土壌 SK588 出土。

金 35 銅匙 薄い板状の素材から切り出している。広がった先端部をわずかに曲げ窪ませる。12- B の井戸 SE660 出土。

金 36 簪 上部円形の部分の表裏に桜花文を彫金する。二股の脚部の断面は円形を呈する。頭頂部は欠損している。13- A の井戸 SK573 出土。

金 37 金銅環頭釘 頭部を環状にし、断面が方形の軸部の先端は尖る。頭部のみ鍍金する。鍛造品か。9- B の土壌 SK659 出土。

金 38 銅釘 わずかに上方に膨らむ円形の頭部と軸部から成る。軸部の断面は頭部側では円形下方は方形で先端を尖らせる。12- B の井戸 SE660 出土。

金 39 銅製鎖 二重の「8」字形にして中央を絞めた細い銅線を順次つなげて鎖にしている。11- A の土壌 SK70 出土。

金 40 銅鈴 肉厚で铸造品と思われるが腐植が激しく細部は不明である。第2層出土。9- B ～ 10- A の土器類が共伴している。

金 41 銅製灯明具 円環状の基部から灯心を支える部分が上方にのび、先端を小さく曲げる。12- B の井戸 SE660 出土。

金 42 銅製灯火具 薄い円盤の中心部に芯を固定する筒状の部品が接合する。片側に豆形の透

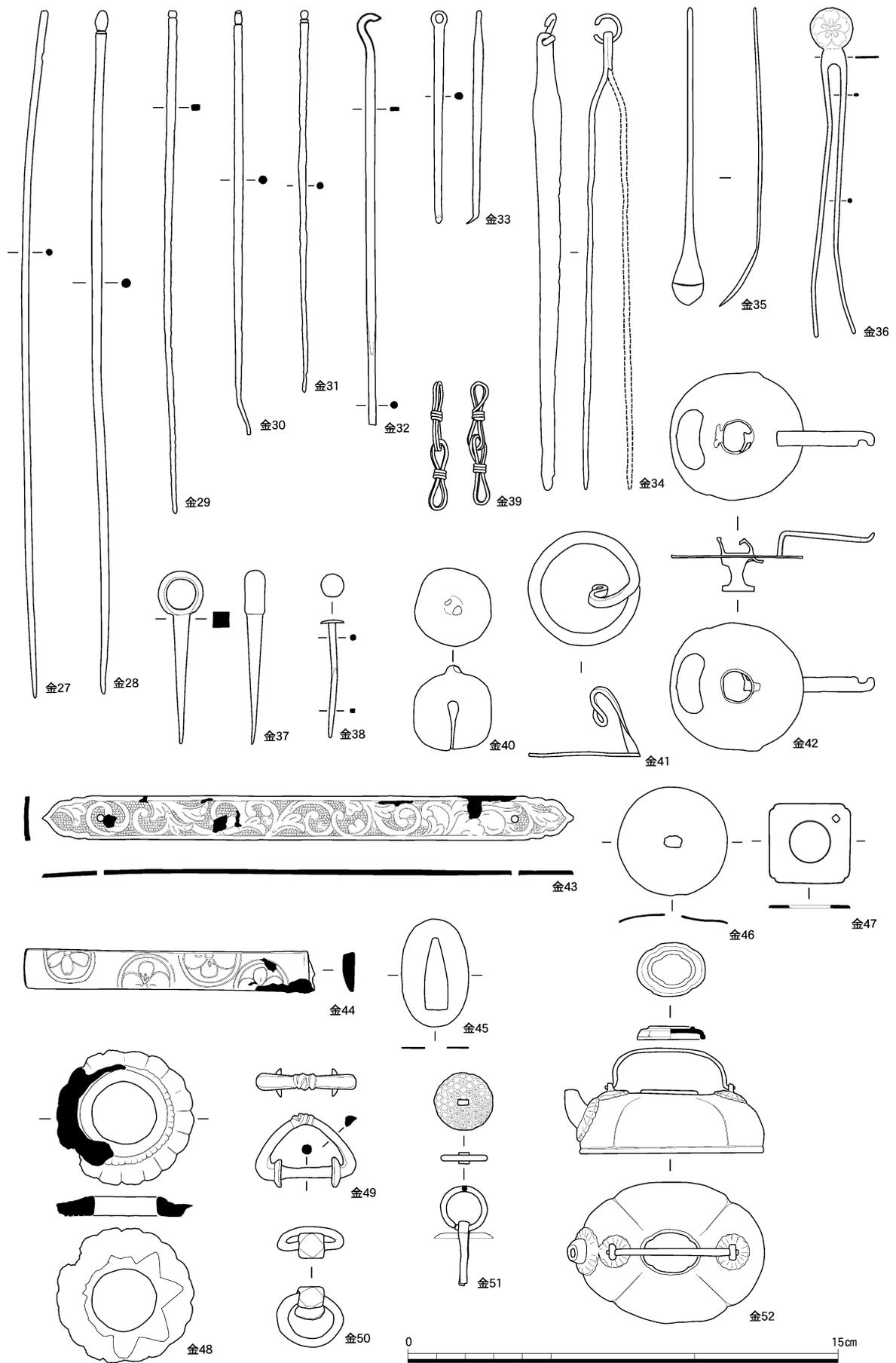


图 76 金属製品実測図 (1 : 2)

かし、反対側には小さな取手を付ける。単独ではなく他の部品と組み合わせて使用するものだろう。

11- Bの土壙 SK146 出土。

金 43 金銅製飾金具 唐草文とその隙間に魚子を彫金し金鍍金を施す。両端付近に釘穴を開ける。12- Bの井戸 SE660 出土。

金 44 銅製小柄 1枚の素材を折り曲げ接合部を銀鑑付けする。魚子地に半裁花文を4箇所配する。文様はやや粗雑である。11- Bの土壙 SK83 出土。

金 45 銅製切羽 薄い楕円形の板金中央部を刀身断面形に削り抜く。鍛造品か。11- Bの土壙 SK257 出土。

金 46 金銅製金具 わずかに反りのある薄い円盤の中央に長方形の穴を開ける。片面に鍍金が施されている。12- Bの井戸 SE660 出土。

金 47 銅製金具 四方入り隅にした方形の板金中央を円形に抜き、一隅に方形の小孔を開ける。12- Bの井戸 SE660 出土。

金 48 環状金銅製品 複弁の蓮華をかたどった板状の中央を大きく円形に抜き、その部分に短い円筒を接合する。着装する部材を挟むため、円筒下端を鋸歯状に切り欠き外側に放射状に折り返している。板状の部材に開けた円孔を飾る部品と思われるが、詳細は不明である。表面は金鍍金する。6- Aの土壙 SK2971 出土。

金 49 銅製吊り金具 10- Aの土壙 SK741 出土。

金 50 銅製紐金具 面取りを施した直方体の環座に環が付く。さらに環座の下部に円形の座金が認められるが、腐蝕が激しく詳細は不明である。7- Aの土壙 SK276 出土。

金 51 銅製紐金具 環と割ピン状の環台および座金かの組み合わせ。座金には亀甲文が打ち出されている。13- Bの土壙 SK617 出土。

金 52 金銅製水滴 平面形が横長四弁の花形を呈し、口や共蓋の形もそれに合わせている。長径側の一方に注口、肩部に弦が付く。注口や弦の取り付け部には菊花形の台を付ける。外面には細かく彫金が施され鍍金されているが、腐蝕が激しく文様は不明である。6- Aの土壙 SK1431 出土。

#### 煙管（金 53～金 66）

煙管は雁首と吸い口を合わせて総数 30 点以上が出土しているが、腐蝕し破損しているものが多く、形状がわかるものは約半数の 14 点（金 53～66）である。雁首の火皿は椀形を呈するものばかりで、ある。首部が短いもの（金 53～56）と長いもの（金 57～66）があり、前者には肩の付くもの（金 54～56）がある。金 55 は肩から小口が非常に短く断面外形が六角形を呈する。金 57 は大型品で腐蝕が激しいが、表面に黒漆が塗布された形跡がある。吸い口にも肩の付くもの（金 63）が 1 点ある。金 66 は他と比較してかなり大型で肉厚である。それぞれの出土遺構は、金 57 が 11- A の土壙 SK98、金 54・55・59・61・65 が 11- B の土壙 SK83、金 66 が土壙 SK86、金 56・60 が 11- C の土壙 SK72、金 58・64 が 12- A の土壙 SK23、金 62 が 12- B の井戸 SE660、金 63 が土壙 SK622、金 53 が 13- B の土壙 SK617 で、桃山時代から江戸時代後期の

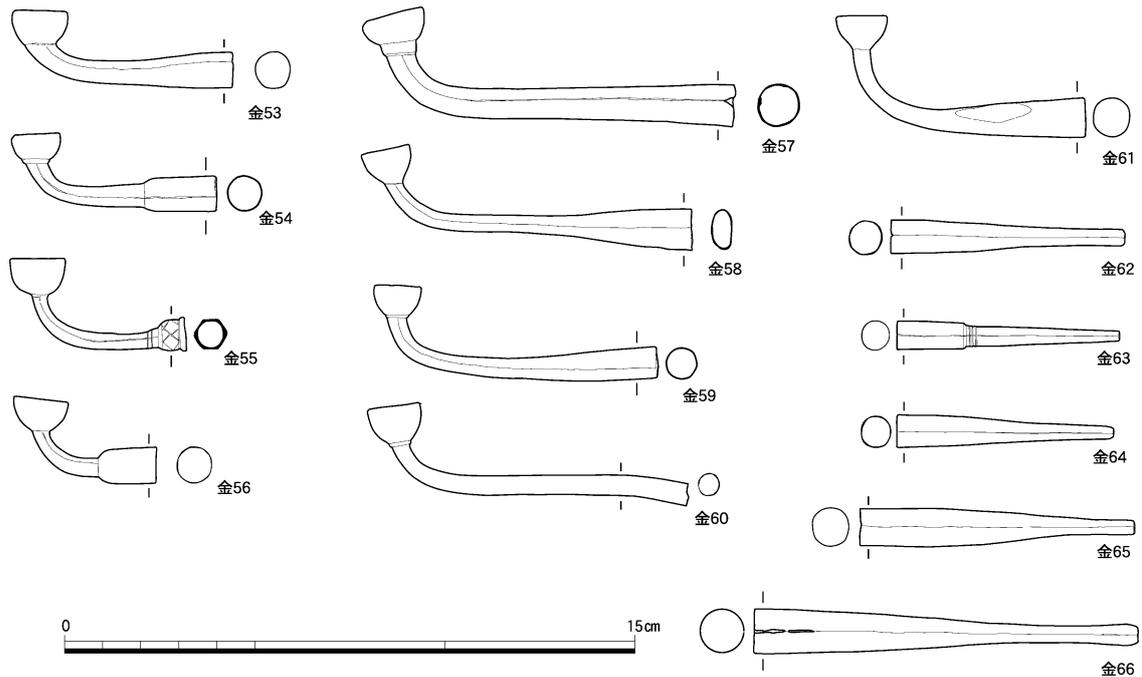


図 77 煙管実測図 (1 : 2)

ものがある。

#### (10) 石製品 (図 78・79、図版 59・60)

石製品には滑石製鍋釜 (石 7～11)・温石 (石 12～14)・石硯 (石 15～25) がある。

##### 滑石製鍋釜 (石 7～11)

石 7 わずかに内湾する体部上方に断面上辺が下がる台形の鏝を削り出す。外面には工具痕が残り、鏝以下に煤が付着している。石材は淡青灰色を呈する。11- C の土壌 SK95 出土。

石 8 体部の湾曲が強く、口縁部は内側に入る。体部上方にほぼ水平に断面台形の鏝を削り出す。外面の調整は丁寧でケズリ痕はほとんど見えないが、内面下方には工具痕が強く残る。外面には煤が著しく付着している。石材は淡赤灰色で肌理が粗い。11- A の土壌 SK176 出土。

石 9 小型の羽釜である。口縁はやや内傾し、体部上方に断面三角形の鏝を削り出す。外面の鏝以下に工具痕が残る。内面は平滑である。石材は淡緑灰色を呈し、緻密でやや硬質である。12- A の土壌 SK85 出土。

石 10 体部は緩く内湾し外面上方に断面が歪んだ台形の鏝を削り出す。外面のケズリの単位は粗い。外面には薄く煤が付く。石材は淡灰色を呈する。5- C の溝 SD1083 と 13- A の井戸 SE660 から出土接合する破片が 1 点ずつ出土している。

石 11 無顎の鍋である。体部の湾曲は緩く、ほぼ垂直に口縁部に連続する。外面には工具痕が明瞭に残り、煤が付着している。石材は灰白色を呈しやや軟質である。9- B の土壌 SK295 出土。

##### 温石 (石 12～14)

石 12 滑石を板状に加工している。3 辺は確認できるが、他の 1 辺は破損しており本来の大き

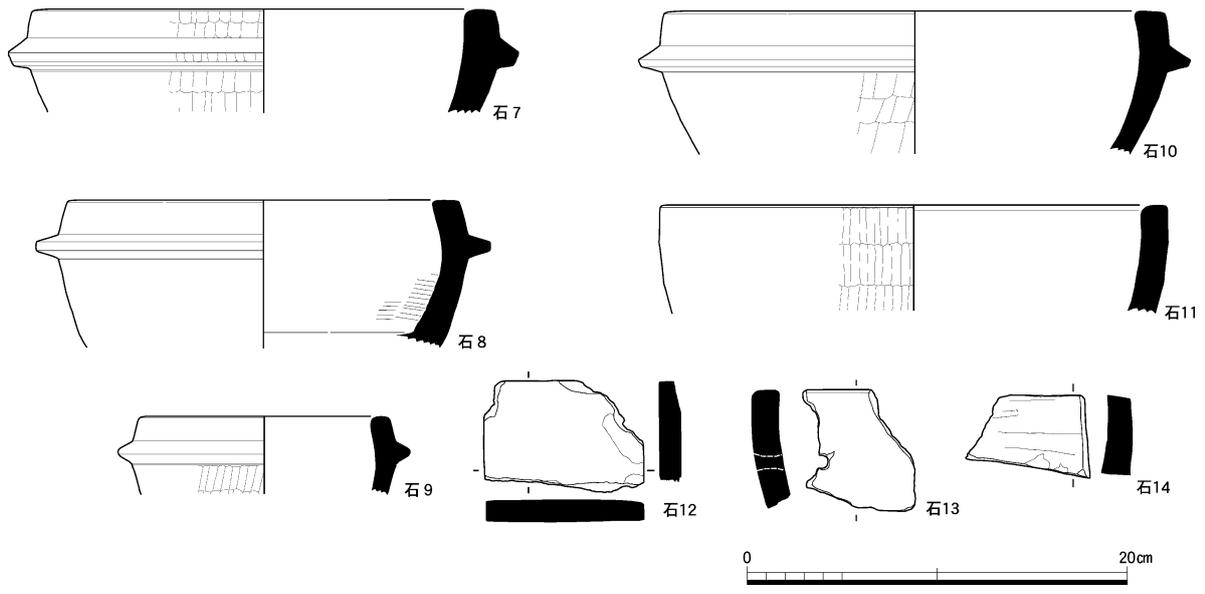


图78 滑石製品実測図 (1:4)

(11) 骨製品 (图80、图版58)

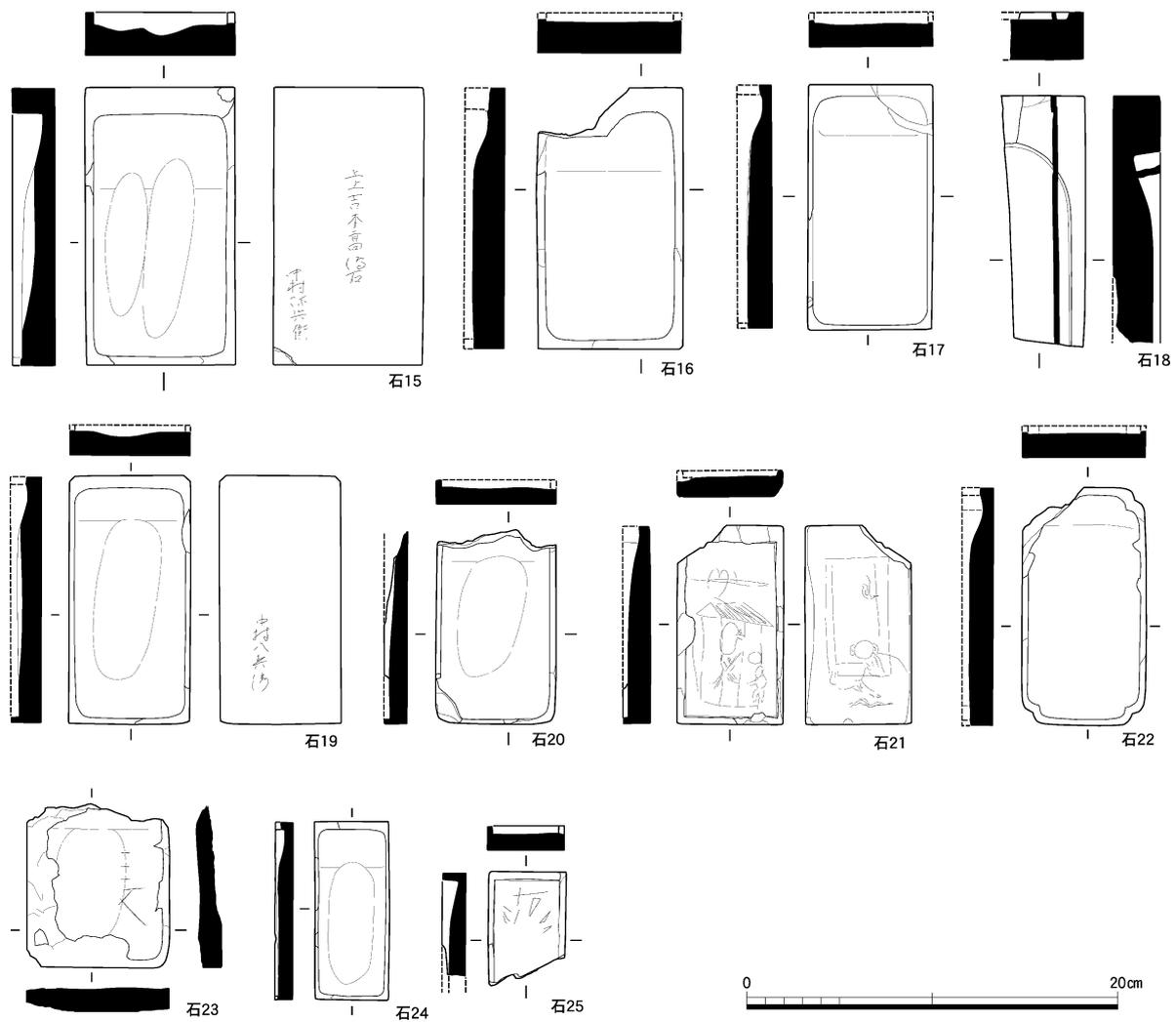


图79 碗実測図 (1:4)

さは不明である。ケズリの痕跡は見え表面を研磨しているようである。表裏とも平面的で羽釜などの転用ではなく温石として製作されたものである。石材は淡い赤灰色で軟質である。9- Bの土壙 SK166 出土。

石 13 石鍋の口縁部付近を転用した温石。鏝の痕跡は確認できない。径7 mm程の円孔が開けられている。石材は淡緑灰色を呈する。11- Bの土壙 SK65 出土。

石 14 三方に切断痕跡が残るが形態は不整形である。断面が湾曲し凸面に細かな工具痕があることからこれも滑石製の鍋あるいは羽釜を転用したものだらう。凸面の一部に煤が残る。石材は緑灰色、緻密で滑石としては硬質である。6- Bの土壙 SK376 出土。

#### 石硯 (石 15 ~ 25)

石 15 陸部の中央とその左側が著しく磨滅している。裏面に「上上吉本高嶋石 中村弥兵衛」と線刻されている。石材は淡緑灰色で暗灰色の斑が斜方向に入る。13- Aの井戸 SE660 出土。

石 16 海部の周縁のほとんどが欠失している。硯面には墨が残るが、ほとんど磨滅していない。石材は暗灰色、硬質である。第1層出土で、共伴する土器類は 13- A。

石 17 海部周縁の幅は狭い。陸部中央やや左寄りが少し磨滅している。石材は石 16 に類似し暗灰色、硬質である。11- Cの土壙 SK616 出土。

石 18 残存部から推定してかなり大型の硯と思われる。丁寧な作りで仕上げの研磨も良好である。縦方向に破断した右辺側を漆と漆喰様のもので補修している。石材は均一な黒灰色を呈し緻密で硬質である。13- Aの土壙 SK48 出土。

石 19 海側の周縁はやや狭い。陸部中央が大きく磨滅し線状の傷が付く。裏面に「中村八兵衛」の線刻が認められる。石材は黒灰色を呈し硬質である。13- Bの土壙 SK595 出土。

石 20 海部の大半が欠失し、陸部中央がわずかに磨滅している。側面や裏面の研磨はやや粗い。石材は黒灰色で硬質である。12- Aの土壙 SK68 出土。

石 21 海部の彫り込みは浅く陸部との境界が不明瞭である。陸部はほとんど磨滅していない。硯面に建物と人物、裏面にも長方形の枠と人物文と思われる線刻がある。石材は淡黄灰色に淡緑灰色の斑が入りやや軟質である。11- Bの土壙 SK75 出土。

石 22 外郭・周縁ともに入り隅に作る。硯面には墨が残るが、ほとんど磨滅していない。石材は黒灰色で硬質である。13- Bの土壙 SK595 出土。

石 23 海部の大半と周縁が欠失し裏面もほとんど層状に剥離している。陸部は磨滅して窪みその右側に鋭い刃先状のもので付けた短く直線的な線刻がある。石材は暗灰色で硬質。13- Aの井戸 SE660 出土。

石 24 小型の硯である。陸部が磨滅しており、墨と赤色の顔料が残る。石材は暗灰色で硬質。13- Bの土壙 SK598 出土。

石 25 陸部から後端にかけて欠失。陸部はやや磨滅している。海部に線刻がある。石材は石 21 に類似し、淡緑灰色に淡黄灰色の斑が入りやや軟質である。11- Bの土壙 SK83 出土。

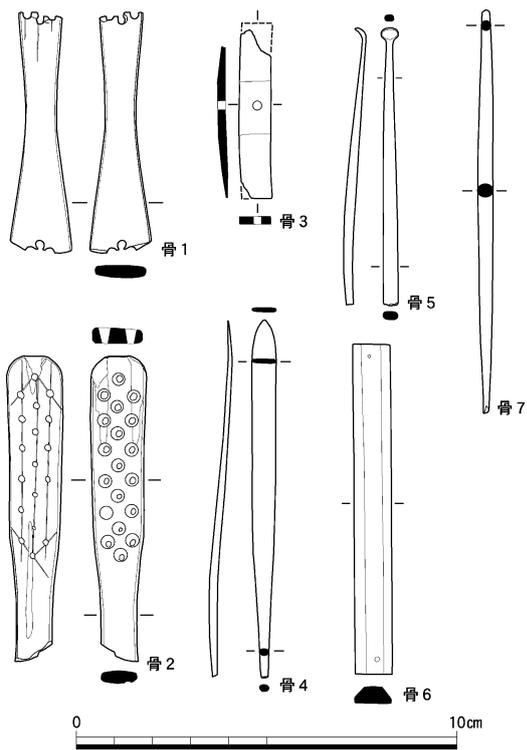


図 80 骨製品実測図 (1 : 2)

骨 1 櫛払い 中央がくびれ上下端が欠損している。それぞれの破断部には小孔が確認できる。12- Aの土壌 SK554 出土。

骨 2 櫛払い 下半部が欠損している。片面に小円孔が千鳥状に 3 列穿たれ、裏面には円孔列に沿って線刻が施されている。SK59 出土。

骨 3 不明骨製品 板状の製品で中央に小円孔が穿たれている。片面は両端に向かって薄く削がれている。11- Cの土壌 SK72 出土。

骨 4 ヘラ状骨製品 尾端が欠損している。柄部の断面は円形で先端に向かって扁平になる。先端は薄く尖る。SK69 出土。

骨 5 耳かき柄部後端が欠損している。柄はゆるく湾曲し、断面は楕円形で先に向かって細くなる。先端部を耳かき状に加工する。12- B井戸 SE660 出土。

骨 6 不明骨製品 断面が長方形の 2 角を斜めに切り取った 5 辺形を呈する。両端近くに細い鉄線が残る。12- Aの土壌 SK68 出土。

骨 7 棒状骨製品 断面は円形で中央部から両端に向かって細くなる。上端は下端に比べやや太く先端部を丸くおさめる。下方の先端は欠損している。SK553 出土。

## (12) その他の遺物 (図 81、図版 58・60)

### 絵の具皿 (1405 ~ 1407)

絵の具と思われる顔料が付着した陶器が 3 点出土している。1405 は美濃灰釉皿で、内面に青色の顔料 (群青) が付着している。1406 は美濃天目椀で底部内面に緑色の顔料 (緑青) が厚く残っていた。1407 も美濃天目椀で内面に赤色の顔料 (弁殻) が付着する。これら 3 点の器に残留していた顔料の分析結果は付章にまとめた。1405 は SK96、1406・1407 は SK83、ともに 11- B に属する土壌からの出土である。

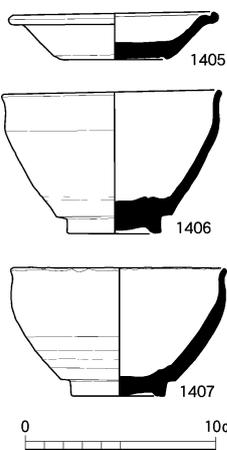


図 81 絵の具皿実測図 (1 : 4)

### ガラス製鉢 (1408)

SK48 から蓋を伴うガラス鉢が出土している。蓋と身併せて数個体分あるが、すべて腐食し小片になっており個体識別が困難なためここでは 1408 として一括して報告する。蓋・身ともに体部には鱗状に重なり合った花卉を配する。破片 7 片の分析結果によると、比重は 3.45 前後でソーダガラスと判明した。神戸市立博物館所蔵の「型吹き八重

菊文ガラス蓋物」とほぼ同型の製品である。

表 28 遺物概要表

時 代	内 容	コンテナ 箱数	Aランク点数	Bランク 箱数	Cランク 箱数
弥生時代	弥生土器、石器	16箱	弥生土器71点、石器6点：計77点	5箱	6箱
古墳時代	土師器、須恵器、製塩土器		土師器1点、須恵器4点、製塩土器2点：計7点		
平安時代	土師器、黒色土器、瓦器、須恵器、緑釉陶器、白色土器、輸入陶磁器、瓦、金属製品、石製品	42箱	土師器29点、須恵器3点、瓦器3点、白色土器4点、緑釉陶器1点、輸入陶磁器1点、軒丸瓦7点、軒平瓦7点、金属製品2点：計57点	3箱	37箱
鎌倉時代 ～室町時代	土師器、瓦器、白色土器、須恵器、焼締陶器、施釉陶器、輸入陶磁器、銭貨、金属製品、石製品	153箱	土師器345点、須恵器8点、瓦器30点、白色土器1点、焼締陶器14点、施釉陶器15点、輸入陶磁器48点、銭貨10点、金属製品3点、石製品3点：計477点	25箱	114箱
桃山時代 ～江戸時代	土師器、瓦器、焼締陶器、国産陶磁器、輸入陶磁器、土製品、銭貨、金属製品、石製品、貝・骨製品、ガラス製品	232箱	土師器321点、瓦器18点、焼締陶器51点、国産陶磁器346点、輸入陶磁器77点、土製品11点、軒瓦6点、銭貨16点、金属製品35点、硯11点、石製品5点、骨製品7点、絵の具皿3点、ガラス製品一括：計908点	60箱	147箱
合 計		443箱	1526点 (46箱)	93箱	304箱

※ コンテナ箱数の合計は、整理後、Aランクの遺物を抽出したため、出土時より38箱多くなっている。

## 4. ま と め

調査の結果、弥生時代から近世にわたる多数の遺構・遺物を検出した。整理を通じて判明した事柄や問題点を簡単にまとめておきたい。

まず方形周溝墓や竪穴住居跡など弥生時代の集落の一部を明確に検出できたことは大きな成果である。烏丸綾小路遺跡に関してはこれまでに周辺で実施されてきた調査によりおおよその範囲が推定されていたが、その範囲内での遺構の分布状況や時期的変遷などについてはまだ不明な点も多く、今回検出した弥生時代中期から後期にかけての遺構・遺物はこの遺跡の具体的な様相をうかがう好資料といえよう。弥生時代中期の方形周溝墓 SX1250 と後期前半の住居跡 SB500 や SB1290 は近接した位置で検出しているが、出土土器の時期差からみて今回の調査地付近が墓域から居住区域に変化したことを示している。

平安時代の遺構については、後世の遺構群による破壊のため面的な関連を把握しきれなかったが、後期以降を主とする多数の小規模な柱穴や土壇を検出し、遺構密度はかなり高い。ただ、調査範囲内では平安時代に属する井戸が全く検出されなかったことからすれば、比較的広い区画で利用されていたことも想定できる。鎌倉時代以降も平安時代同様に柱穴・土壇・井戸などが高い密度で遺構が検出されたが、室町時代後期には遺構数がやや減少し、様相が変化する。また、室町時代後期の遺構に土取跡が多いことは注目され、この時期にはそうした比較的広範囲の採土が許される状況にあったものと推測できる。桃山時代から江戸時代にかけて遺構数はそれほど増加しないが、井戸数は急増し、土器陶磁器類をはじめとする豊富な遺物を含むゴミ廃棄土壇などが目立ってくる。遺物に関しては各期の資料が通時代的に出土したが、なかでは弥生時代の遺構から出土した土器類・石器類や SK83 など江戸時代の複数のゴミ廃棄土壇から出土した一括資料が注目される。特に SK48 から出土した遺物群は、土器類の特徴や共伴した楽家の製品から 1770 年前後の年代を推定できる資料である。その内容は第 2 章で述べたとおりであるが、注作品と思われる伊万里の食器類や伝世品を含む中国陶磁器や茶陶類など多量に含み、これらを所有していたおそらく有力な町衆の嗜好の一端をうかがう貴重な資料である。

## 5. 付章 出土顔料の分析

北野信彦

### 1 はじめに

平安京左京四条三坊十二町の四条烏丸筍町に所在する町屋跡からは、近世の有力京都町衆関連の遺物が多数出土している。このなかには、赤色系顔料や緑色系顔料、さらには青色系顔料が内面に付着残存した磁器碗や皿類が3点含まれていた。年代観がある程度明確な国産陶磁器の存在は、付着した顔料自体の使用年代を考える上でも貴重で有効な指標となる。今回、この赤色系顔料や緑色系顔料、さらには青色系顔料について各種分析によるキャラクタリゼーションを行ったので、その結果を報告する。

### 2 分析対象試料

今回分析の対象となった顔料試料は、赤色系顔料と緑色系顔料、青色系顔料の三種類の色材としての顔料試料である。試料No.1は鮮赤色の細かい微粒子の赤色系顔料であり、SK83土壙から出土した江戸時代前期（17世紀前葉：元和～寛永期頃）頃に年代観が比定される美濃系天目茶碗の内底部の凹部分に微量ではあるが付着残存していた（写真1-1,2-1,2-2,2-3）。試料No.2はやや薄く白味を帯びた微細粒子の緑色系顔料であり、これも赤色系顔料と同じSK83土壙から出土した同じタイプ的美濃系天目茶碗の内底部に付着残存していた（写真1-2）。試料No.3はやや荒い粒子の紺色を呈する青色系顔料であり、SK85土壙から試料No.2とほぼ同じ時期に年代観が比定される美濃系灰釉約ソギ皿の内面に付着残存していた（写真1-3）。なお、この試料No.3顔料の下層には、陶胎に密着した部分に試料No.2と同系統の緑色系顔料が観察された。そのため、この皿には少なくとも二種類の顔料が混在した状態で存在していることがわかる。

### 3 分析方法

本調査では、この赤色系と緑色系、青色系の三種類の色材としての顔料の基本的な性状を理解するために、蛍光X線分析装置やX線回折分析装置を用いた無機元素と原材料鉱物の特定、マイクロスコープ顕微鏡観察による個々の粒子の形状や色相に関する検証を行った。各試料の分析方法は、以下の通りである。

#### 3-1 無機元素の定性分析

各試料の定性分析は、分析用カーボンテープに固定した試料を、くらしき作陽大学の北野研究室設置（現在 東京文化財研究所・保存修復科学センター・伝統技術研究室設置）の（株）堀場製作所製 MESA-500M 型蛍光X線分析装置に設置して、特性X線を検出した。設定条件は、分析設定時間：300秒、試料室内：真空状態、X線管電圧：15kV および 50kV、電流：300  $\mu$  A および 20  $\mu$  A、検出強度：200.000～250.000cps、定量補正法：スタンダードレス、などである。さらに、この検出データをクロスチェックする目的で（財）元興寺文化財研究所 保存科学センター設置の（株）リガク SEA-5230 型の微小領域測定用蛍光X線分析装置を用いて、無機元素の定性分

析を行った。分析設定時間：300 秒、試料室内：真空状態。コリメータは顔料粒子の測定面積の範囲に応じて 0.1 mm と 1.8 mm 径を使い分け、励起電圧は重金属検出を目的として 45kV とした。なお、管電流は 12 ～ 100  $\mu$  A の設定条件である。

### 3-2 顔料の鉍物結晶相（化合物）の同定分析

各試料の結晶鉍物相（化合物）の同定を行なうため、東京文化財研究所・保存修復科学センター・分析化学研究室設置の X 線回析分析装置（リガク製 RINT-2500 型）の分析を行った。測定条件は、対陰極：Cu-K アルファ、X 線管電圧：50kV、X 線管電流：30mA、検出器：シンチレーションカウンタ、走査速度：1 度 / 1 分、走査範囲：5-90 度、散乱スリット：1 deg. で受光スリット：0.15 mm、モノクロメーター：使用である。

### 3-3 顔料の個々の粒子形態の観察

個々の顔料の粒子形態の観察には、まず各試料を（株）オリンパス社製の金属顕微鏡（BH2-UMA 型）に設置して、100 ～ 400 倍の倍率で粒子形態や色調を微小部観察した。引き続き、（株）島津製作所 STZ-40TBIT 型デジタルマイクロスコープを使用して 100 倍の拡大観察を行い、必要箇所は対象スケールを入れた上で同機器接続の（株）ミノルタ製デジタルカメラで撮影記録した。

## 4 調査結果

各試料の分析調査を行った結果、以下のような基礎的データの蓄積を得た。

まず、出土天目茶碗の内底部にごく微量が付着残存していた試料 No. 1 の赤色系顔料の構成無機元素を蛍光 X 線分析装置で分析した結果、鉄 (Fe) の特定 X 線が顕著に検出されたが、水銀 (Hg) や鉛 (Pb) の元素は検出されなかった。そのため試料 No. 1 の赤色顔料は、水銀系の赤色硫化水銀 (HgS) を主成分とした水銀朱もしくは辰砂である「朱顔料」、鉛系の四酸化三鉛 (Pb<sub>3</sub>O<sub>4</sub>) を主成分とした「鉛丹顔料」ではなく、酸化鉄系の酸化第二鉄 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) を主成分とした「ベンガラ顔料」であることがわかった (図 1-1,2-1)。

筆者によるこれまでの各種ベンガラ顔料の調査結果では、同じ酸化第二鉄の赤い色相を主成分としたベンガラ顔料でも、原材料や製法の違いにより、赤色顔料としての赤い色相、さらには個々のベンガラ顔料の粒子形態や集合状態はそれぞれ異なることが理解されている (北野・肥塚:1996,1998、北野:2005,2006,2007)。すなわち、(1) 文献史料が「赤土」もしくは「代赦」と記し、天然赤鉄鉍を磨り潰して微細粉末して赤色顔料とする、もしくは赤味が強い粘土系の風化生成土壌や赤鉄鉍の鉍石が風化して脆弱粉碎化された細粉集積土壌を精製して作成する天然鉍物系の「赤土ベンガラ」、(2) 鉄分を多く含む黄土もしくは水酸化鉄や針鉄鉍系の風化土壌を原材料とし、加熱～粉碎～水簸して作成するが、本来が土壌であるために夾雑物が多く、赤い色相は劣るものの廉価で量産可能な「丹土ベンガラ」、(3) 文献史料は「鉄丹もしくは鉄屑の弁柄」と記し、鉄サビに酸化促進剤を添加して加熱して作成する。後述するローハベンガラに比較して赤い色相はやや劣るが、中世以降の木造建造物のベンガラ塗装には多用されたと考えられる人造顔料系の「鉄丹ベンガラ」、(4) 文献史料は「礬紅もしくは弁柄」と記し、硫化鉄鉍の風化生成物であ

る緑礬（ローハ）を原材料として、これを加熱～水簸して作成する。赤い色相は極めて良好なため赤色漆や陶磁器の絵柄色材などに使用されたことが知れる人造顔料系の「ローハベンガラ」、(5) 鉄分の純度が高い *Leptothrix Ochraceae* 種などの黄褐色浮遊沈殿物の鉄バクテリアを原材料としているため、赤い色相は比較的良好な外径  $1 \mu\text{m}$  程度の中空円筒状で定型化した形態を有する「パイプ状ベンガラ」、(6) 『豊後風土記』が「赤湯泉（あかゆ）」の赤泥を建造物の柱に塗装したと記すように温泉沈殿物の肌理の細かい赤泥を原材料とし、これを加熱～水簸して作成する「赤泥ベンガラ」、および、(7) 湿式沈殿法からなる現代のベンガラ、の少なくとも7種類の名称や原材料、製法が異なるベンガラ顔料の存在である。これらは天然ベンガラ系顔料である (1) (2) (5) (6) と人造ベンガラ系顔料である (3) (4) (7) の二つに大別されるが、このうちの後者は基本的には近世以降に主流を占めるようになる。この点を考慮に入れて本試料を金属顕微鏡観察により顔料粒子の集合状況を観察すると、赤い色相が良好な比較的大きな赤い鉱物結晶の存在が認められた（写真 2-4）。そのため試料No.1 は、ベンガラ顔料のうちでも江戸時代の本草本が「破レバ堅クシテ、薄クヘゲルナリ」と指摘するような扁平な微薄片である六角板状型もしくは薄魚鱗状（薄板雲母状）を呈する天然赤鉄鉱を粉碎して磨り潰した良質な鉱物系顔料（岩絵具）である「赤土ベンガラ」と理解した。

次に、試料No.2 と試料No.3 に混在した状態で観察された緑色系顔料の構成無機元素をそれぞれ異なる蛍光X線分析装置で分析した結果、いずれも銅 (Cu) の特性X線が強く検出され、その他には鉄 (Fe) やカルシウム (Ca)、さらにはごく微量のシリカ (Si) やヒ素 (As) が見出された。しかし、同じ白緑色系の微細粉末を呈する塩基性塩化銅 ( $\text{CuCl}_2 \cdot 3\text{Cu}(\text{OH})_2$  もしくは  $\text{CuCl}_2 \cdot 3\text{Cu}(\text{OH})_2 \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ ：鉱物名は緑塩銅鉱：Atacamite) や塩化第一銅 ( $\text{CuCl}$ ：鉱物名はナントコ石) に由来する塩素 (Cl) 成分は見出されなかった（図 1-2,2-2）。一方、試料No.3 の青色系顔料からは、銅 (Cu) の特定X線が強く検出され、その他には鉄 (Fe) やカルシウム (Ca)、さらにはごく微量のシリカ (Si) が見出された（図 1-3,2-3）。このような微量成分のうち、カルシウム (Ca) やシリカ (Si) などは、本来の天然鉱物中にあらかじめ含まれている不純物というよりも、土中埋没中の土壤汚染に由来している部分が多いと考えられたため、本試料群はいずれも比較的高い純度の天然鉱物を原材料としているといえる。引き続きこれらのX線回折分析を行った結果、試料No.2 からは塩基性炭酸銅 ( $\text{CuCO}_3 \cdot \text{Cu}(\text{OH})_2$ ：鉱物名は孔雀石：Malachite) が、試料No.3 からは孔雀石と同じ塩基性炭酸銅であるが化学組成が若干異なる塩基性炭酸銅 ( $2\text{CuCO}_3 \cdot 3\text{Cu}(\text{OH})_2$ ：鉱物名は藍銅鉱：Azurite) が確認された（図 3-1,3-2,4-1,4-2）。そのため、試料No.2 は鉄系の緑土ではなく、緑色の孔雀石の天然鉱物を磨り潰して顔料とした通称名で岩緑青、また試料No.3 はシアン化合物（紺青）やラピスラズリ（群青）、さらには珪酸塩系の人造顔料であるウルトラマリンブルーではなく、濃青色の藍銅鉱の天然鉱物を磨り潰して顔料とした通称名で岩群青であり、いずれも古くから知られる伝統的な緑色や青色の鉱物系岩絵具であることがわかった。

そしてこれらの個々の顔料の粒子形態の観察を行った結果、試料No.2 は数  $\mu\text{m}$  以下の極めて微細粒子の集合体である薄く白味を帯びた緑色を呈する白緑（びやくろく）系顔料の中に、やや緑

色が強い数 10  $\mu$  m 程度の比較的粗い孔雀石（マラカイト）の天然鉱物を磨り潰した顔料粒子が混在した状態で確認された（写真 3）。これは、緑色の色併せ調整のために 2 種類の緑色の色相が異なる緑色系顔料をブレンドした結果である。

一方、試料No.3 はやや群青（藍）色が強い数 10  $\mu$  m 程度の比較的粗い藍銅鉱（アズライト）の天然鉱物を磨り潰した、粒度が均一な顔料粒子の集合体であった。そのため、これは水簸作業が丹念に行われた青色系顔料であると理解した（写真 4）。なお、この皿内面に付着残存した顔料自体の一部は、試料No.2 同様の岩緑青と試料No.3 の岩群青が混在している状態である点が明確に確認され、X線回折分析結果でもこの状況が追認された（写真 5、図 5,6）。

いずれにしても、本試料群は三者ともに純度が高い良好な品質の天然鉱物を原材料としており、それぞれ赤色、緑色と青色の色味を強く意識した結果、これを磨り潰してから水簸して粒度を揃えて作成された伝統的技法に則った赤色、緑色と青色の岩絵具顔料であることがわかった。このうち、とりわけ赤色顔料であるベンガラ顔料は、江戸時代の文献史料によると国産の天然赤鉄鉱は奥州津軽産や長崎大村産が代表的なものであるが、実際にはほとんど日本国内では産出せず、長崎交易により中国原産の天然赤鉄鉱を薬用として輸入したことが知られる。その意味では、本試料はそれ以前の鉱物系ベンガラ顔料である「赤土ベンガラ」の状況を理解する上で稀少な物的資料である。

さらに本試料群が付着した陶磁器の年代観から推定されるこれら各式材としての顔料の使用時期は、17 世紀前葉（元和～寛永期頃）に比定されている。この時期ははまだ桃山文化期の流れの真中にあり、京都市中でも数多くの金碧障壁画などが作成された時代でもある。すなわち、この時期には大量の絵具顔料がそれぞれ場で使用されていたと考えられる。その意味での本試料群は、稀少な当該年代の絵具顔料の「物的証拠」の一つであると位置づけられよう。

#### （引用文献）

北野信彦・肥塚隆保：近世におけるベンガラの製法に関する復元的実験、文化財保存修復学会誌、40、35-47、文化財保存修復学会（旧古文化財科学研究会）、（1996）

北野信彦・肥塚隆保：江戸時代における鉄丹ベンガラの製法に関する復元的実験、文化財保存修復学会誌、42、26-34、文化財保存修復学会、（1998）

北野信彦：丹土ベンガラの製法に関する基礎的調査、研究紀要、38-1、53-69、くらしき作陽大学、（2005）

北野信彦：古代木造建造物におけるベンガラ塗装の研究（Ⅰ）- 豊後国風土記に記された「赤湯泉（あかゆ）の温泉沈殿物に関する基礎的調査 -、考古学と自然科学、54、35-52、日本文化財科学会、（2006）

北野信彦：古代木造建造物のベンガラ塗装に関する研究（Ⅱ）- パイプ状ベンガラの生産と使用に関する基礎的調査 -、考古学と自然科学、56、41-63、日本文化財科学会、（2007）

北野信彦：古代木造建造物のベンガラ塗装に関する研究（Ⅲ）- 文献史料に記述がみられる「赤土」もしくは「代敷」の性格に関する基礎的調査 -、考古学と自然科学、日本文化財科学会、（投稿中）



写真 1-1 試料 1 の赤色系顔料の付着状況

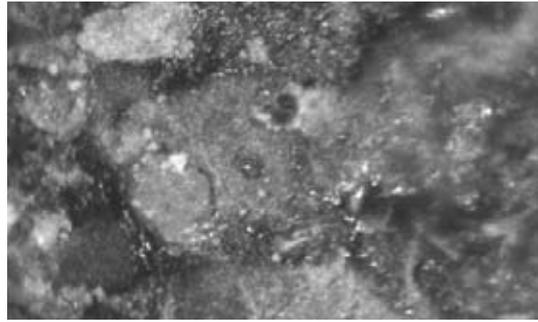


写真 2-3 同拡大 (2)



写真 1-2 試料 2 の緑色系顔料の付着状況

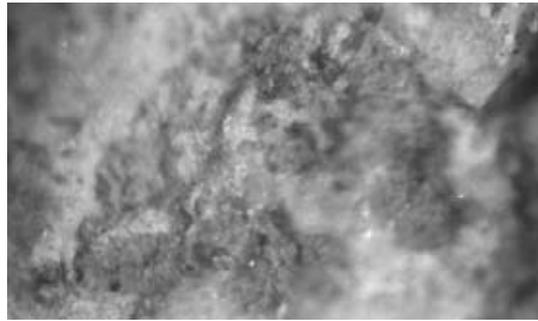


写真 2-4 試料 1 の赤色系顔料粒子の様子

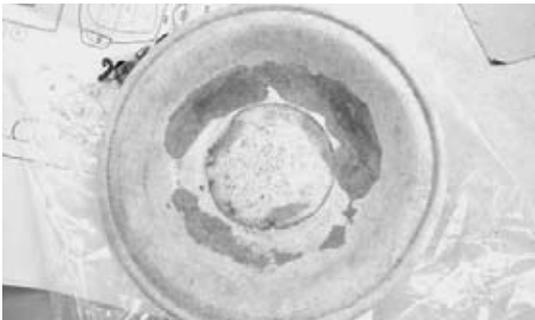


写真 1-3 試料 3 の青色系顔料の付着状況

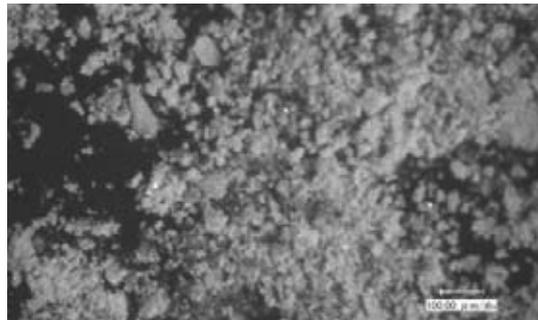


写真 3 試料 2 の緑色系顔料粒子の様子

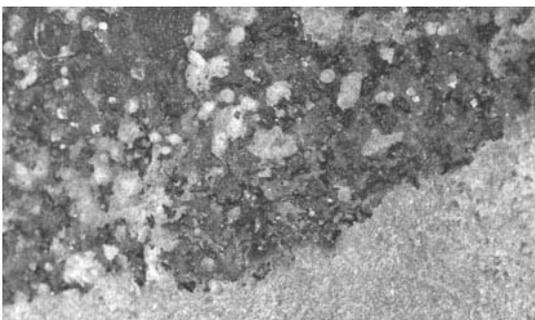


写真 2-1 試料 1 の赤色系顔料の痕跡

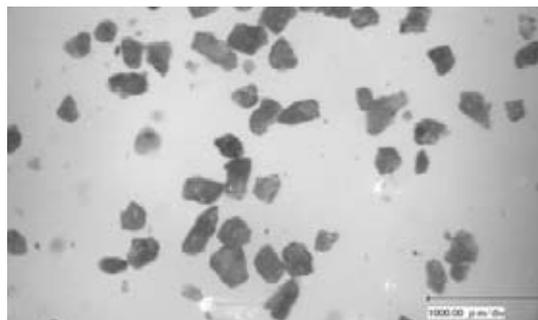


写真 4 試料 3 の青色系顔料粒子の様子



写真 2-2 同拡大 (1)

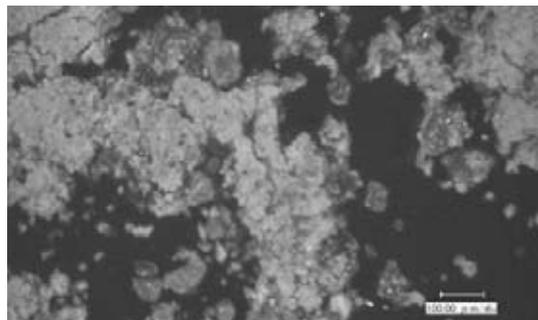


写真 5 試料 3 の緑色系顔料粒子と青色系顔料粒子の混在状況

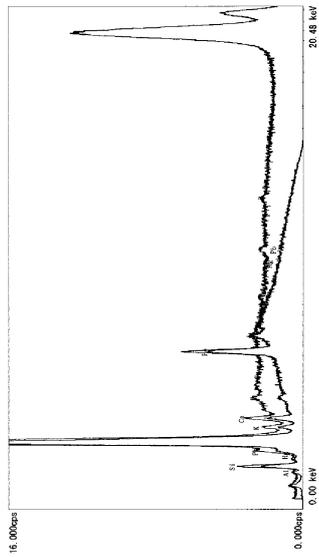


図1-1 試料1の赤色系顔料の蛍光X線分析結果(1)

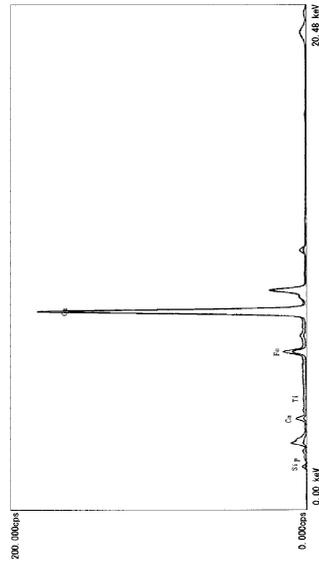


図1-2 試料2の緑色系顔料の蛍光X線分析結果(1)

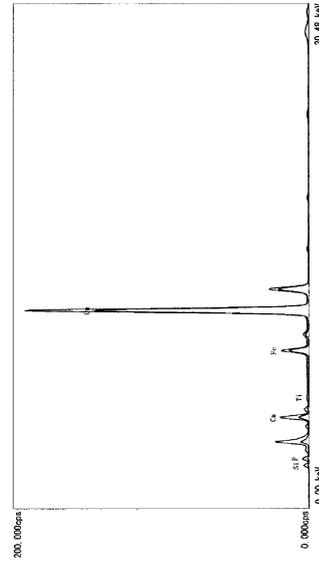


図1-3 試料3の青色系顔料の蛍光X線分析結果(1)

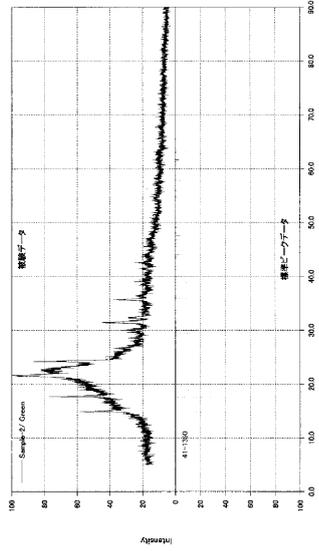


図3-1 試料2の緑色系顔料のX線回折分析結果

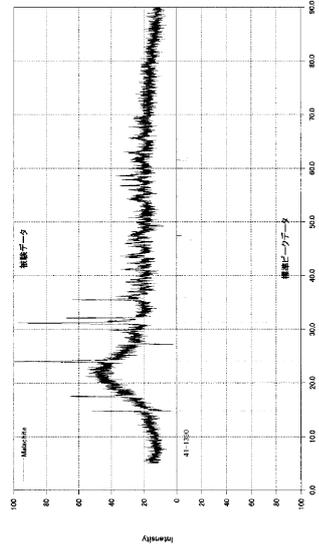


図3-2 マラカイトの標準試料のX線回折分析結果

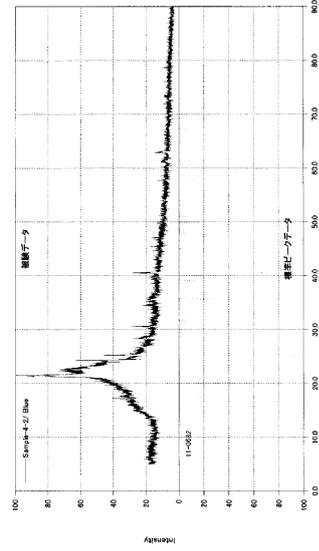


図4-1 試料3の青色系顔料のX線回折分析結果

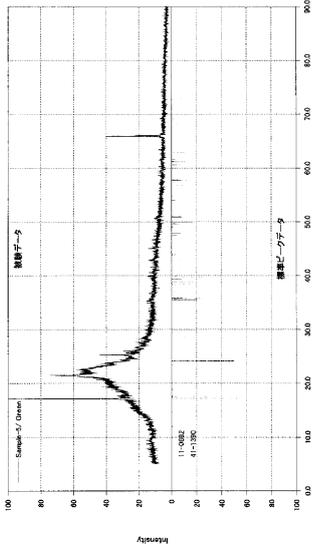


図4-2 アズライトの標準試料のX線回折分析結果

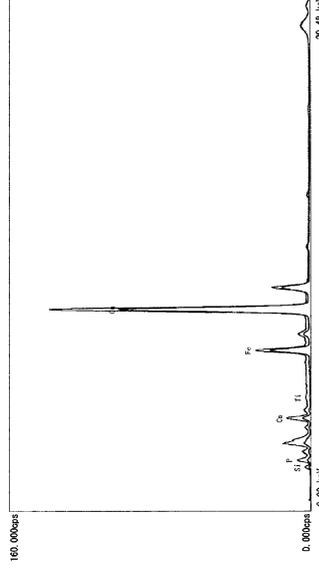


図5 試料3の緑色系顔料と青色系顔料の混合部分の蛍光X線分析結果

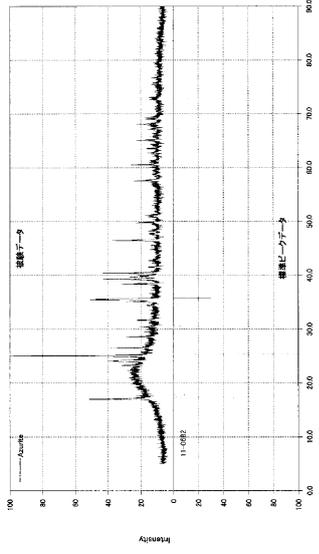


図6 試料3の緑色系顔料と青色系顔料の混合部分のX線回折分析結果

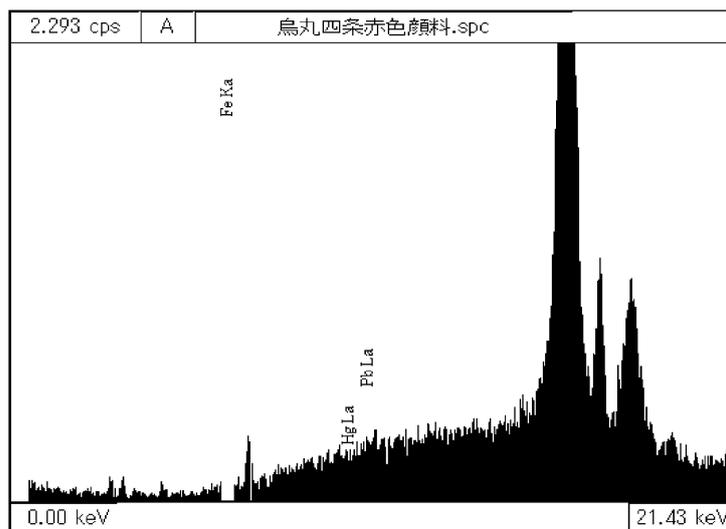


図2-1 試料1の赤色系顔料の蛍光X線分析結果(2)

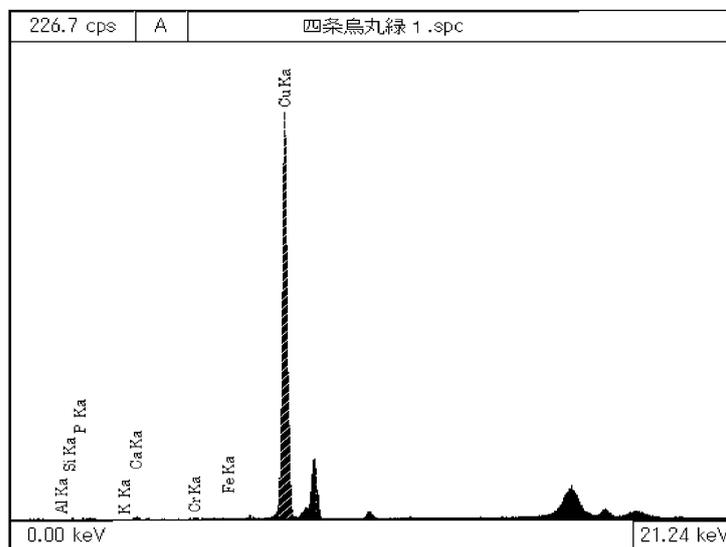


図2-2 試料2の緑色系顔料の蛍光X線分析結果(2)

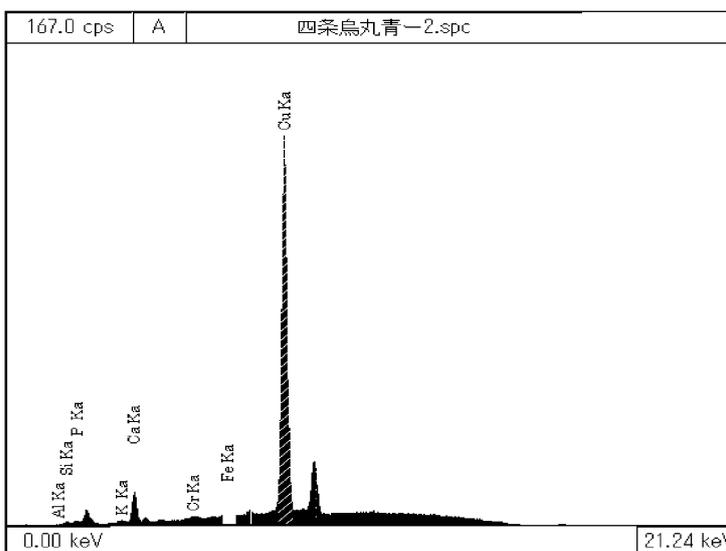


図2-3 試料3の青色系顔料の蛍光X線分析結果(2)

付表1-1 出土土器類一覽表-1

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
1	弥生土器 壺	SX1250	22.2				10YR7/2	
2	弥生土器 壺	SX1250	16.0				7.5YR8/3	
3	弥生土器 壺	SX1250	19.8				10YR7/1	
4	弥生土器 壺	SX1250	24.4				10YR8/2	
5	弥生土器 壺	SX1250					10YR8/3	
6	弥生土器 壺	SX1250	20.0				10YR6/3	
7	弥生土器 壺	SX1250	22.8				10YR7/3	
8	弥生土器 甕	SX1250	20.1				7.5YR6/2	
9	弥生土器 甕	SX1250	19.4				10YR6/1	
10	弥生土器 高杯	SX1250	17.2				10YR8/2	
11	弥生土器 鉢	SX1250	21.0				5YR7/4	
12	弥生土器 鉢	SX1250					7.5YR6/3	
13	弥生土器 壺	SX1250	9.3				10YR8/1	
14	弥生土器 壺	SX1250	11.9				10YR8/3	
15	弥生土器 甕	SX1250	14.8				7.5YR8/4	
16	弥生土器 甕	SX1250	23.2				7.5YR6/2	
17	弥生土器 甕	SX1250			5.4		10YR5/1	
18	弥生土器 甕	SX1250			7.6		10YR8/3	
19	弥生土器 壺	SX1250			7.4		10YR7/3	底部穿孔
20	弥生土器 壺	SX1250			6.8		10YR7/2	
21	弥生土器 甕	SX1250			1.6		10YR8/2	
22	弥生土器 甕	SX1250			4.1		7.5YR6/3	
23	弥生土器 壺	SB500					10YR6/1	
24	弥生土器 壺	SB500	15.3	24.6			10YR8/4	
25	弥生土器 壺	SB500			13.4		10YR6/1	
26	弥生土器 甕	SB500	17.7				7.5YR8/2	
27	弥生土器 甕	SB500			4.2		7.5YR7/2	
28	弥生土器 脚台	SB500			9.4		7.5YR8/4	
29	弥生土器 高杯	SB500					10YR7/2	
30	弥生土器 脚台	SB500			13.0		5YR6/4	
31	弥生土器 脚台	SB500			15.6		10YR7/3	
32	弥生土器 甕	SB1290	13.2				7.5YR7/3	
33	弥生土器 甕	SB1290	15.4				7.5YR6/4	
34	弥生土器 甕	SB1290	15.1				10YR5/2	
35	弥生土器 甕	SB1290	15.3				7.5YR6/3	
36	弥生土器 壺	SB1290			5.2		7.5YR7/2	
37	弥生土器 壺	SB1290			4.3		7.5YR6/3	
38	弥生土器 壺	SB1290			4.4		10YR8/2	
39	弥生土器 壺	SB1290			3.0		10YR8/2	
40	弥生土器 甕	SB1290	17.0				7.5YR8/3	
41	弥生土器 甕	SB1290	16.2				7.5YR8/3	
42	弥生土器 鉢	SB1290	12.0				10YR8/3	
43	弥生土器 有孔鉢	SB1290			5.0		10YR6/2	
44	弥生土器 有孔鉢	SB1290			1.9		7.5YR5/1	
45	弥生土器 有孔鉢	SB1290	15.8	9.8			5YR7/6	
46	弥生土器 鉢	SB1290	14.2	10.8			10YR7/2	
47	弥生土器 甕	SB1290	12.8				5YR5/6	
48	弥生土器 鉢	SB1290	19.8				10YR7/2	
49	弥生土器 壺	SB1290					7.5YR6/4	
50	弥生土器 壺	SB1290	10.7				5YR6/6	
51	弥生土器 壺	SB1290			3.8		10YR7/3	
52	弥生土器 壺	SB1290	15.7	27.0			7.5YR7/3	
53	弥生土器 壺	SB1290	12.9	23.0			7.5YR8/3	
54	弥生土器 台付鉢	SB1290	10.2				2.5Y8/2	
55	弥生土器 高杯	SB1290			9.5		7.5YR7/4	
56	弥生土器 高杯	SB1290	22.7				10YR7/3	
57	弥生土器 高杯	SB1290	28.0				10YR8/2	
58	弥生土器 高杯	SB1290	22.1	14.1	13.1		2.5Y8/2	
59	弥生土器 高杯	SB1290	17.3				5YR7/4	
60	弥生土器 高杯	SB1290			14.6		5YR8/3	

付表1-2 出土土器類一覧表-2

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
61	弥生土器 高杯	SB1290			9.4		5YR8/3	
62	弥生土器 器台	SB1290	18.0	11.8	15.4		7.5YR8/4	
63	弥生土器 器台	SB1290	18.7				10YR5/2	
64	弥生土器 壺	SK149	18.2				5YR6/6	
65	弥生土器 壺	SK792	19.0				7.5YR8/4	
66	弥生土器 壺	第1層	18.2				10YR8/2	
67	弥生土器 甕	SK149	23.5				7.5YR4/1	
68	弥生土器 器台	SK75	19.5				5YR7/2	
69	弥生土器 高杯	SK792	16.2				7.5YR8/2	
70	弥生土器 高杯	SK149	17.8				7.5YR8/3	
71	弥生土器 甕	SK149	24.3				7.5YR4/1	
72	土師器 甕	SK505					7.5YR7/3	
73	製塩土器	SK505					2.5Y4/1	
74	製塩土器	SK505					7.5YR6/1	
75	須恵器 高杯	包含層					5PB5/1	
76	須恵器 杯蓋	包含層					N6/0	
77	須恵器 杯蓋	包含層					N6/0	
78	須恵器 杯蓋	包含層					5PB5/1	
79	土師器 皿A	SD1274	13.8	1.8		15%	7.5Y8/2	
80	土師器 椀A	SD1274	14.3			15%	10YR8/2	
81	土師器 皿A	SX1371	16.3	2.5		95%	2.5YR6/4	
82	須恵器 瓶	SX1371			11.7	40%	2.5Y6/1	
83	緑釉陶器 皿	Pit511	13.7	2.7		30%	-	高台2Bb
84	土師器 皿N	SK846	14.3	2.8		25%	2.5Y8/3	
85	土師器 皿N	SK846	14.3	3.0		80%	2.5Y7/3	
86	土師器 皿N	SK846	14.5	2.7		25%	10YR8/2	
87	土師器 皿N	SK846	14.4	3.1		90%	2.5Y8/3	
88	土師器 皿N	SK846	9.3	1.8		100%	2.5Y8/3	
89	土師器 皿N	SK846	9.5	1.6		80%	2.5Y8/3	
90	土師器 皿N	SK846	9.4	1.7		100%	7.5YR8/3	
91	土師器 皿N	SK846	9.7	1.2		100%	10YR8/3	
92	土師器 皿N	SK846	9.8	1.4		70%	2.5Y8/2	
93	土師器 皿Ac	SK846	9.5	1.1		100%	10YR8/3	
94	土師器 皿X	SK846	8.0	1.3		100%	2.5Y8/2	底部ヘラ切り
95	土師器 皿N	SK387	9.0	1.4		60%	2.5Y8/4	
96	土師器 皿N	SK387	9.0	1.7		80%	5YR5/1	
97	土師器 皿N	SK387	9.1	1.7		50%	10YR7/3	
98	土師器 皿N	SK387	9.2	1.7		100%	7.5YR8/6	
99	土師器 皿N	SK387	9.2	1.8		60%	10YR8/4	
100	土師器 皿Nd	SK387	9.6	2.5		100%	10YR8/4	
101	土師器 皿Nd	SK387	10.0	2.2		25%	2.5Y8/3	
102	土師器 皿Nd	SK387	14.0	3.5		70%	7.5YR7/4	
103	土師器 皿Nd	SK387	14.2	3.0		25%	10YR7/4	
104	土師器 皿N	SK387	14.0	2.5		30%	2.5Y8/3	
105	土師器 皿N	SK387	14.1	2.5		25%	7.5YR7/4	
106	土師器 皿N	SK387	14.1	3.0		90%	2.5Y8/3	
107	土師器 皿N	SK387	14.2	2.5		80%	7.5YR7/6	
108	土師器 皿Ac	SK387	7.3			15%	2.5Y8/3	
109	土師器 皿Ac	SK387	9.6	1.0		100%	5Y5/1	
110	瓦器 椀	SK387					10Y4/1	
111	瓦器 椀	SK387			6.2		7.5Y3/1	
112	白色土器 高杯	SK387	11.4				7.5Y8/2	
113	白色土器 高杯	SK387	12.5				2.5Y8/1	
114	白色土器 高杯	SK387	13.0				2.5Y8/1	
115	白色土器 高杯	SK387			9.2		2.5Y8/3	
116	須恵器 盤	SK387	38.0	9.3			5Y5/1	東海系
117	須恵器 壺	SK387			11.8		5PB6/1	東海系
118	青磁 椀	SK387	16.1				-	
119	瓦器 火鉢	SK387	51.0	9.4			5Y6/1	
120	土師器 皿N	SK822	8.1	1.3		100%	2.5Y7/2	

付表1-3 出土土器類一覧表-3

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
121	土師器 ⅢN	SK822	8.6	1.3		100%	2.5Y7/2	
122	土師器 ⅢN	SK822	9.0	1.5		100%	10YR7/3	
123	土師器 ⅢN	SK822	8.8	1.4		100%	2.5Y8/2	
124	土師器 ⅢN	SK822	9.1	1.6		40%	7.5YR7/4	
125	土師器 ⅢN	SK822	9.0	1.7		100%	10YR7/3	
126	土師器 ⅢN	SK822	12.2	2.5		90%	2.5Y7/2	
127	土師器 ⅢN	SK822	11.8	2.0		80%	2.5Y7/3	
128	土師器 ⅢN	SK822	12.2	2.1		75%	10Y7/3	
129	土師器 ⅢN	SK822	11.9	2.3		50%	7.5Y7/4	
130	土師器 ⅢN	SK822	12.0	2.1		50%	2.5Y7/3	
131	土師器 ⅢN	SK822	12.0	2.1		40%	2.5Y7/3	
132	土師器 ⅢN	SK822	13.0	2.2		40%	10YR7/3	
133	土師器 ⅢN	SK822	13.4	2.3		70%	7.5YR7/4	
134	土師器 ⅢN	SK822	13.0	2.9		60%	10YR7/3	
135	土師器 ⅢN	SK822	13.7	2.2		25%	10YR7/3	
136	土師器 ⅢS	SK822	11.5	3.2		40%	2.5Y8/3	
137	須恵器 鉢	SK822	30.0				N5/0	
138	白磁 壺	SK822						釉10Y7/1
139	青白磁 合子蓋	SK822	7.7	1.8				釉5GY8/1
140	青磁 Ⅲ	SK822	10.2	2.1				釉7.5GY8/1
141	青磁 Ⅲ	SK822						釉5GY6/1
142	土師器 ⅢSc	SK239	5.0	1.1		30%	10YR8/2	
143	土師器 ⅢSc	SK239	5.6	0.9		20%	10YR8/1	
144	土師器 ⅢS	SK239	7.3	1.8		35%	10YR7/1	
145	土師器 ⅢS	SK239	7.7	2.0		100%	10YR8/1	
146	土師器 ⅢS	SK239	7.6	2.3		25%	10YR8/2	
147	土師器 ⅢS	SK239	8.1	2.2		55%	10YR8/1	
148	土師器 ⅢS	SK239	10.6	3.1		60%	2.5Y8/1	
149	土師器 ⅢS	SK239	10.9	3.0		95%	2.5Y8/1	
150	土師器 ⅢS	SK239	11.0	2.9		70%	2.5Y8/2	
151	土師器 ⅢS	SK239	12.4	3.1		35%	10YR8/1	
152	土師器 ⅢS	SK239	12.5	3.4		40%	2.5YR8/2	
153	土師器 ⅢS	SK239	12.7	3.5		40%	2.5Y8/1	
154	土師器 ⅢS	SK239	12.6	3.4		60%	2.5Y8/2	
155	土師器 ⅢS	SK239	12.8	3.4		100%	2.5Y8/1	
156	土師器 ⅢS	SK239	12.7	3.4		90%	2.5Y8/1	
157	土師器 ⅢS	SK239	13.0	3.3		60%	2.5Y8/1	
158	土師器 ⅢS	SK239	12.9	3.5		100%	10YR8/1	
159	土師器 ⅢS	SK239	12.8	3.3		50%	2.5Y8/2	
160	土師器 ⅢS	SK239	12.9	3.2		90%	2.5Y8/2	
161	土師器 ⅢS	SK239	13.0	3.3		100%	2.5Y8/1	
162	土師器 ⅢS	SK239	12.8	3.4		35%	2.5Y8/2	
163	土師器 ⅢS	SK239	13.0	3.5		100%	2.5Y8/2	
164	土師器 ⅢS	SK239	13.0	3.4		100%	2.5Y8/1	
165	土師器 ⅢS	SK239	13.1	3.3		55%	2.5Y8/1	
166	土師器 ⅢN	SK239	7.8	1.2		90%	7.5YR7/4	
167	土師器 ⅢN	SK239	8.2	1.2		80%	7.5YR7/3	
168	土師器 ⅢN	SK239	8.6	1.6		95%	10YR7/3	
169	土師器 ⅢN	SK239	8.5	1.4		80%	7.5YR7/4	
170	土師器 ⅢN	SK239	8.8	1.5		50%	7.5YR7/3	
171	土師器 ⅢN	SK239	11.4	2.2		90%	10YR8/3	
172	土師器 ⅢN	SK239	11.9	2.0		90%	7.5YR7/4	
173	土師器 ⅢN	SK239	12.4	2.4		90%	7.5YR7/4	外面底部に板の痕が残る
174	瓦器 羽釜	SK239	22.0			15%	N7/0	小片
175	山茶碗 鉢	SK239	32.7	14.1	13.4	30%	10Y7/1	
176	白磁 碗	SK239	11.9			15%	-	小片
177	白磁 Ⅲ	SK239	9.9	2.6	5.7	20%	N8/0	器表色は露胎部
178	青磁 碗	SK239	-				-	小片
179	土師器 ⅢS	SK141	10.3	2.8		100%	10YR8/1	
180	土師器 ⅢN	SK141	12.0	2.0		50%	5YR7/4	

付表1-4 出土土器類一覧表-4

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備 考
181	土師器 皿N	SK141	12.2	2.3		100%	5YR7/3	
182	常滑 甕	SK141	50.4	87.1			7.5YR4/3	埋め甕 肩部に灰かかる
183	土師器 皿Sh	SK1390	7.2	1.8		100%	2.5Y8/1	
184	土師器 皿S	SK1390	7.3	1.9		100%	2.5Y8/1	
185	土師器 皿S	SK1390	7.4	1.8		100%	2.5Y8/1	
186	土師器 皿Sh	SK1390	7.5	2.1		100%	2.5Y8/1	
187	土師器 皿S	SK1390	7.5	2.0		100%	2.5Y8/1	
188	土師器 皿S	SK1390	7.6	2.0		100%	2.5Y8/1	
189	土師器 皿S	SK1390	10.6	2.9		100%	2.5Y8/1	
190	土師器 皿S	SK1390	11.7	2.8		100%	2.5Y8/1	
191	土師器 皿S	SK1390	11.7	3.0		100%	2.5Y8/2	
192	土師器 皿S	SK1390	11.9	3.0		100%	2.5Y8/2	
193	土師器 皿S	SK1390	12.0	2.9		100%	2.5Y8/1	
194	土師器 皿S	SK1390	12.0	2.7		100%	2.5Y8/1	
195	土師器 皿S	SK1390	12.1	2.8		70%	2.5Y8/1	
196	土師器 皿S	SK1390	12.0	3.0		100%	2.5Y8/2	
197	土師器 皿S	SK1390	12.0	3.0		100%	2.5Y8/1	
198	土師器 皿S	SK1390	12.1	3.0		100%	2.5Y8/2	
199	土師器 皿N	SK1390	8.2	1.9		100%	2.5Y7/2	
200	土師器 皿N	SK1390	8.1	1.6		100%	2.5Y7/2	
201	土師器 皿N	SK1390	8.2	1.6		100%	2.5Y7/3	
202	土師器 皿N	SK1390	8.2	1.8		100%	2.5Y7/3	
203	土師器 皿N	SK1390	8.4	1.5		100%	2.5Y7/3	
204	土師器 皿N	SK1390	8.4	1.8		100%	2.5Y7/3	
205	土師器 皿S	SK1390	11.8	2.2		100%	2.5Y8/2	
206	土師器 皿N	SK1390	11.3	2.0		100%	2.5Y8/2	
207	土師器 皿N	SK1390	11.5	2.1		100%	10YR8/3	
208	土師器 皿N	SK1390	11.5	2.3		100%	2.5Y7/3	
209	土師器 皿N	SK1390	11.9	2.2		100%	2.5Y6/1	
210	土師器 皿N	SK1390	11.7	2.2		100%	2.5Y7/3	
211	土師器 皿N	SK1390	11.1	2.1		100%	10YR8/3	
212	土師器 皿N	SK1390	11.6	2.4		100%	10YR8/3	
213	土師器 皿N	SK1390	11.7	2.3		90%	10YR8/3	
214	土師器 皿N	SK1390	11.7	2.1		90%	2.5Y7/2	
215	瓦器 羽釜	SK1390					2.5Y4/1	
216	瓦器 鍋	SK1390					N5/0	
217	常滑 甕	SK1390					10YR4/2	
218	須恵器 鉢	SK1390	28.4				5Y6/1	
219	土師器 火鉢	SK1390					10YR5/1	
220	白磁 皿	SK1390					-	釉7.5YR2/2
221	青磁 椀	SK1390					-	釉7.5YR2/2
222	白磁 壺	SK1390					-	釉7.5YR2/2
223	土師器 皿S	SK250	8.2	1.5		25%	10YR8/2	
224	土師器 皿N	SK250	8.2	1.6		30%	7.5YR7/4	
225	土師器 皿N	SK250	8.3	1.5		100%	7.5YR7/4	
226	土師器 皿S	SK250	11.5	2.3		20%	10YR8/1	
227	土師器 皿N	SK250	12.1	2.2		25%	7.5YR7/4	
228	土師器 皿N	SK250	13.5	2.5		15%	7.5YR7/3	
229	土師器 皿Sc	SK250	4.6	1.0		50%	5Y8/1	
230	土師器 皿S	SK250	10.8	2.7		25%	2.5Y8/1	
231	土師器 皿S	SK250	11.0	2.6		20%	2.5Y8/1	
232	土師器 皿S	SK250	15.0	3.3		20%	2.5Y8/1	
233	土師器 ミニチュア羽釜	SK250	5.0	2.9			10YR8/3	
234	白色土器 皿	SK250	11.0				5Y8/1	
235	瓦器 椀	SK250	10.2	3.1			-	
236	瓦器 椀	SK250	12.6	4.5			-	
237	瓦器 椀	SK250	12.9	4.2		100%	-	
238	瓦器 椀	SK250	13.0	4.8		100%	-	
239	瓦器 椀	SK250	12.9	4.8			-	
240	瓦器 椀	SK250	13.2	4.1			-	

付表1-5 出土土器類一覧表-5

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
241	瓦器 椀	SK250	13.7	4.5			-	
242	瓦器 羽釜	SK250	17.9	8.2			-	
243	瓦器 羽釜	SK250	26.4				5Y7/1	
244	瓦器 鍋	SK250	20.8	7.5			2.5Y8/1	
245	瓦器 羽釜	SK250					2.5Y7/1	
246	須恵器 鉢	SK250	28.8	12.0			2.5Y5/1	
247	青磁 椀	SK250	15.2	7.7			-	
248	土師器 皿Sc	SE435	4.2	0.7		60%	2.5Y8/2	
249	土師器 皿Sc	SE435	4.6	0.8		100%	2.5Y8/1	
250	土師器 皿Sc	SE435	4.8	0.6		55%	2.5Y8/1	
251	土師器 皿Sc	SE435	5.1	0.9		60%	2.5Y8/1	
252	土師器 皿Sc	SE435	5.0	0.8		50%	2.5Y8/1	
253	土師器 皿S	SE435	7.0	2.0		60%	2.5Y8/2	
254	土師器 皿S	SE435	7.4	2.0		60%	2.5Y8/2	
255	土師器 皿S	SE435	7.4	2.1		70%	2.5Y8/1	
256	土師器 皿S	SE435	7.4	2.0		45%	2.5Y8/1	
257	土師器 皿S	SE435	7.4	2.0		25%	2.5Y8/1	
258	土師器 皿S	SE435	7.9	2.0		95%	2.5Y8/1	
259	土師器 皿S	SE435	7.7	2.1		40%	2.5Y8/1	底部中央に穿孔
260	土師器 皿S	SE435	10.0	1.8		75%	2.5Y8/1	灯明皿
261	土師器 皿S	SE435	10.6	2.8		25%	2.5Y8/2	
262	土師器 皿S	SE435	10.6	3.0		25%	2.5Y8/1	
263	土師器 皿S	SE435	11.6	3.2		100%	2.5Y8/1	
264	土師器 皿S	SE435	12.4	3.1		70%	2.5Y8/1	
265	土師器 皿S	SE435	13.0	3.1		30%	2.5Y8/1	
266	土師器 皿S	SE435	12.8	3.3		100%	2.5Y8/2	
267	土師器 皿S	SE435	13.2	-3.3		50%	2.5Y8/1	
268	土師器 皿N	SE435	7.8	1.4		100%	10YR8/3	
269	土師器 皿N	SE435	8.2	1.5		80%	7.5YR8/3	
270	土師器 皿N	SE435	8.1	1.3		100%	10YR8/4	
271	土師器 皿N	SE435	8.2	1.5		30%	2.5Y7/3	2方向合成測
272	土師器 皿N	SE435	8.2	1.3		90%	5YR8/4	
273	土師器 皿N	SE435	8.2	1.5		60%	2.5Y8/3	
274	土師器 皿N	SE435	8.1	1.3		50%	5YR7/4	
275	土師器 皿N	SE435	8.3	1.6		95%	5YR8/3	
276	土師器 皿N	SE435	8.4	1.4		90%	7.5YR7/4	
277	土師器 皿N	SE435	8.5	1.5		100%	10YR8/3	
278	土師器 皿N	SE435	8.6	1.1		70%	5YR8/4	
279	土師器 皿N	SE435	8.7	1.6		75%	10YR8/3	
280	土師器 皿N	SE435	11.6	2.2		60%	7.5YR8/4	
281	土師器 皿N	SE435	11.8	2.4		60%	7.5YR7/4	
282	土師器 皿N	SE435	12.2	2.1		90%	7.5YR7/4	
283	土師器 皿N	SE435	12.2	2.2		55%	7.5YR7/4	2方向合成測
284	土師器 皿N	SE435	12.1	2.0		50%	10YR8/3	
285	土師器 鉢	SE435	12.2				10YR7/3	
286	土師器 ミニチュア羽釜	SE435	5.4	2.6			7.5YR8/3	
287	瓦器 鉢	SE435	14.4				2.5Y8/3	
288	瓦器 鍋	SE435	20.7	9.2			10YR7/2	
289	瓦器 取手付き鍋	SE435	5.4	2.6			2.5Y8/1	
290	常滑 鉢	SE435	33.5				10R5/6	内面に刻印あり
291	常滑 甕	SE435					5YR5/4	
292	常滑 甕	SE435					2.5YR4/2	
293	常滑 甕	SE435					5YR4/4	
294	青磁 椀	SE435			3.4		-	
295	青磁 椀	SE435			5.3		-	
296	青磁 椀	SE435	16	6.5			-	
297	青磁 椀	SE435	10.6	4.3			-	釉10YR7/6
298	青磁 椀	SE435	5.4	2.6			-	釉7.5YR8/3
299	青磁 椀	SE435					-	
300	白磁 皿(口禿)	SE435	7.7	1.9			-	釉2.5GY7/1

付表1-6 出土土器類一覧表-6

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
301	白磁 皿(口禿)	SE435	10.2	2.7			-	釉7.5GY8/1
302	白磁 皿(口禿)	SE435	10.2	2.7			-	釉2.5GY7/1
303	白磁 皿(口禿)	SE435	11.0	2.8			-	釉10Y8/1
304	白磁 皿(口禿)	SE435	11.2	3.3			-	釉7.5GY8/1
305	白磁 皿(口禿)	SE435	11.6	3.2			-	釉7.5GY8/1
306	白磁 皿(口禿)	SE435	11.7	3.1			-	釉7.5GY8/1
307	白磁 皿(口禿)	SE435	11.5	3.7			-	釉2.5GY7/1
308	白磁 壺	SE435	14.8				-	釉7.5Y7/2
309	緑釉 盤	SE435					2.5Y6/4	
310	褐釉 盤	SE435					-	釉失透 灰白色
311	青白磁 壺	SE435					-	
312	白磁 皿	SE435					-	
313	土師器 皿Sh	SE324	7.1	2.0		100%	10YR8/2	
314	土師器 皿Sh	SE324	7.4	2.0		100%	10YR8/1	
315	土師器 皿Sh	SE324	7.4	1.8		100%	2.5Y8/2	
316	土師器 皿Sh	SE324	7.2	1.9		100%	2.5Y8/2	
317	土師器 皿Sh	SE324	7.1	1.8		90%	10YR8/2	
318	土師器 皿Sh	SE324	7.5	1.6		100%	2.5Y7/1	
319	土師器 皿S	SE324	7.2	2.0		100%	2.5Y8/2	
320	土師器 皿S	SE324	7.3	2.1		100%	2.5Y8/1	
321	土師器 皿S	SE324	7.4	2.0		100%	10YR8/2	
322	土師器 皿S	SE324	7.5	1.7		100%	2.5Y8/1	
323	土師器 皿S	SE324	7.2	1.9		100%	2.5Y8/1	内面に煤付着
324	土師器 皿S	SE324	7.6	1.8		100%	2.5Y8/2	
325	土師器 皿Sn	SE324	8.9	1.9		65%	2.5Y7/2	
326	土師器 皿Sn	SE324	9.4	1.9		60%	2.5Y8/1	
327	土師器 皿Sn	SE324	9.3	2.0		80%	2.5Y8/2	
328	土師器 皿Sn	SE324	9.7	1.9		100%	2.5Y8/2	口縁部に煤付着
329	土師器 皿Sn	SE324	9.6	1.9		100%	10YR8/2	口縁部に煤付着
330	土師器 皿Sn	SE324	9.5	2.2		90%	2.5Y8/2	
331	土師器 皿S	SE324	10.5	2.7		30%	2.5Y8/2	
332	土師器 皿S	SE324	10.5	2.6		40%	2.5Y8/2	
333	土師器 皿S	SE324	12.0	2.8		95%	2.5Y8/1	
334	土師器 皿S	SE324	12.0	2.8		61%	2.5Y8/2	
335	土師器 皿S	SE324	12.0	2.8		70%	2.5Y8/1	
336	土師器 皿S	SE324	12.0	3.0		85%	2.5Y8/3	
337	土師器 皿S	SE324	12.2	3.0		100%	10YR8/1	
338	土師器 皿S	SE324	12.0	2.8		75%	10YR8/3	
339	土師器 皿S	SE324	12.4	3.0		95%	10YR8/1	
340	土師器 皿S	SE324	12.5	3.0		95%	2.5Y8/1	
341	土師器 皿S	SE324	12.4	2.9		95%	2.5Y8/1	
342	土師器 皿S	SE324	12.5	2.8		75%	2.5Y8/1	
343	土師器 皿S	SE324	17.6	3.8		15%	2.5Y8/1	
344	土師器 皿N	SE324	8.3	1.3		100%	2.5Y7/2	
345	土師器 皿N	SE324	8.1	1.6		100%	2.5Y7/3	
346	土師器 皿N	SE324	8.2	1.5		100%	7.5YR7/4	
347	土師器 皿N	SE324	8.1	1.3		100%	7.5YR7/4	
348	土師器 皿N	SE324	8.3	1.7		100%	7.5YR7/6	
349	土師器 皿N	SE324	8.1	1.5		100%	2.5Y7/2	
350	土師器 皿N	SE324	8.3	1.4		100%	2.5Y8/2	
351	土師器 皿N	SE324	8.2	1.5		100%	2.5Y7/3	
352	土師器 皿N	SE324	10.9	2.0		60%	10YR8/3	
353	土師器 皿N	SE324	11.3	2.3		65%	10YR7/3	
354	土師器 皿N	SE324	11.0	2.4		60%	7.5YR7/4	
355	土師器 皿N	SE324	11.4	1.9		95%	7.5YR7/4	
356	土師器 皿N	SE324	11.3	2.1		100%	7.5YR7/4	
357	土師器 皿N	SE324	11.7	2.2		85%	2.5Y7/3	
358	土師器 皿N	SE324	11.3	2.0		95%	10YR7/4	
359	土師器 皿N	SE324	11.7	2.3		70%	7.5YR7/4	
360	土師器 皿N	SE324	11.2	2.1		100%	10YR7/4	

付表1-7 出土土器類一覽表-7

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
361	土師器 皿N	SE324	12.0	2.6		100%	10YR7/3	
362	土師器 ミニチュア鍋	SE324	5.0			25%	10YR8/3	
363	土師器 ミニチュア鍋	SE324	5.5	1.8		100%	10YR8/3	
364	土師器 ミニチュア鍋	SE324	6.2			50%	10YR8/3	
365	土師器 ミニチュア羽釜	SE324	4.8	2.4		100%	2.5Y8/3	
366	土師器 ミニチュア羽釜	SE324	5.4	1.6		25%	10YR7/3	
367	土師器 ミニチュア羽釜	SE324	5.6	2.3		30%	2.5Y8/3	
368	土師器 ミニチュア羽釜	SE324	8.2	3.0		50%	10YR8/3	
369	土師器 羽釜	SE324	13.5	6.3		45%	10YR8/4	
370	古瀬戸 小皿	SE324	7.6	3.1		70%	2.5Y8/3	
371	古瀬戸 小皿	SE324	7.8	2.0		25%	2.5Y7/2	無釉
372	瓦器 ミニチュア三足羽釜	SE324	3.5			30%	N4/0	
373	瓦器 鍋	SE324	20.5	8.0		25%	10YR4/1	
374	瓦器 羽釜	SE324	21.0			20%	N4/0	
375	瓦器 羽釜	SE324	25.6			20%	2.5Y6/1	
376	瓦器 椀	SE324	12.1			25%	5Y4/1	
377	瓦器 椀	SE324	12.5			25%	5Y4/1	
378	瓦器 鉢	SE324	14.0	4.7		40%	N4/0	
379	瓦器 鉢	SE324					2.5Y7/2	
380	瓦器 火鉢	SE324					2.5Y5/1	
381	瓦器 火鉢	SE324		14.6			N4/0	
382	青磁 椀	SE324	15.6			40%		釉7.5GY6/1
383	青白磁 皿	SE324	11.1			10%		
384	青白磁 皿	SE324	9.8			40%		釉7.5YR2/2
385	青白磁 小皿	SE324	5.4	1.1		30%		
386	青白磁 皿	SE324						
387	青白磁 水注	SE324						釉7.5YR2/2
388	青白磁 壺	SE324						
389	須恵器 鉢	SE324	28.5			15%	N5/0	
390	常滑 鉢	SE324					7.5YR4/3	391と同一個体か
391	常滑 鉢	SE324					7.5YR4/3	
392	須恵器 甕	SE324	32.0			15%	10YR6/1	
393	常滑 甕	SE324	48.0			15%	7.5YR4/4	
394	土師器 皿Sh	SK737	6.6	1.8		100%	7.5YR8/2	
395	土師器 皿Sh	SK737	6.6	1.8		100%	10YR8/2	
396	土師器 皿Sh	SK737	6.6	12.1		100%	7.5YR8/1	
397	土師器 皿Sh	SK737	6.6	2.0		100%	2.5Y8/1	
398	土師器 皿Sh	SK737	6.8	2.0		100%	7.5YR8/2	
399	土師器 皿Sh	SK737	6.7	2.0		100%	7.5YR8/3	
400	土師器 皿Sh	SK737	6.9	2.0		100%	2.5Y8/2	
401	土師器 皿Sh	SK737	6.9	1.9		100%	2.5Y8/1	
402	土師器 皿Sh	SK737	7.1	2.2		100%	7.5YR8/1	
403	土師器 皿Sh	SK737	7.0	1.8		100%	2.5YR/1	
404	土師器 皿Sh	SK737	7.0	2.2		100%	2.5Y8/1	
405	土師器 皿Sh	SK737	7.2	1.8		100%	2.5Y8/2	
406	土師器 皿Sh	SK737	6.4	1.9		100%	10YR8/1	
407	土師器 皿Sh	SK737	6.6	2.0		100%	7.5YR8/3	
408	土師器 皿S	SK737	7.6	2.3		100%	7.5YR8/4	
409	土師器 皿S	SK737	7.7	2.3		100%	7.5YR8/2	
410	土師器 皿S	SK737	7.8	2.4		100%	7.5YR8/4	
411	土師器 皿S	SK737	11.2	3.1		100%	7.5YR8/3	
412	土師器 皿S	SK737	11.5	3.0		80%	7.5YR8/3	
413	土師器 皿S	SK737	11.5	3.3		100%	7.5YR8/2	
414	土師器 皿S	SK737	11.6	2.9		100%	7.5YR8/1	
415	土師器 皿S	SK737	11.6	2.9		100%	7.5YR8/2	
416	土師器 皿S	SK737	11.6	3.2		100%	7.5YR8/2	
417	土師器 皿S	SK737	11.4	3.3		100%	7.5YR8/2	
418	土師器 皿S	SK737	11.5	3.0		100%	7.5YR8/2	
419	土師器 皿S	SK737	11.4	3.1		100%	7.5YR8/3	
420	土師器 皿S	SK737	11.6	3.4		100%	7.5YR8/2	

付表1-8 出土土器類一覧表-8

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
421	土師器 皿S	SK737	11.6	3.0		100%	7.5YR8/2	
422	土師器 皿S	SK737	11.8	3.2		100%	7.5YR8/2	
423	土師器 皿S	SK737	13.1	3.5		50%	2.5Y8/2	
424	土師器 皿S	SK737	13.1	3.7		50%	5YR8/3	
425	土師器 皿S	SK737	13.4	3.6		100%	5YR8/3	
426	土師器 皿S	SK737	13.2	4.0		50%	5YR8/4	
427	土師器 皿S	SK737	13.6	3.8		50%	2.5Y8/2	
428	土師器 皿S	SK737	13.7	3.5		50%	10YR8/3	
429	土師器 皿N	SK737	8.0	1.6		100%	5YR8/3	
430	土師器 皿N	SK737	9.7	1.8		100%	10YR8/3	
431	土師器 皿N	SK737	10.0	2.0		70%	7.5YR7/4	
432	土師器 皿N	SK737	9.9	2.0		50%	5YR8/4	
433	土師器 皿N	SK737	10.0	2.0		100%	7.5YR8/3	
434	土師器 皿N	SK737	9.8	1.9		90%	7.5YR7/4	
435	土師器 皿N	SK737	9.8	1.8		60%	7.5YR8/3	
436	土師器 皿N	SK737	10.0	2.1		100%	5YR8/4	
437	土師器 皿N	SK737	10.2	2.1		60%	10YR8/2	
438	土師器 皿N	SK737	10.2	2.5		90%	2.5Y8/2	
439	土師器 皿N	SK737	10.6	2.1		100%	5YR7/4	
440	土師器 皿N	SK737	11.0	2.8		100%	7.5YR8/4	
441	土師器 皿N	SK737	11.2	2.8		100%	7.5YR8/4	
442	土師器 皿X	SK737	7.6	2.3		15%	5YR6/6	ロクロ成形 底部ヘラ切り 他地域産土師器
443	土師器 皿X	SK737	13.7	3.5		25%	5YR6/6	ロクロ成形 底部糸切り 他地域産土師器
444	土師器 ミニチュア羽釜	SK737	6.7			-	10YR8/3	
445	古瀬戸 小皿	SK737	6.6	1.7		-		器表N7/0 底部糸切り
446	古瀬戸 灰釉卸目鉢	SK737	20.8			-		釉7.5Y6/2
447	須恵器 甕	SK737				-	N7/0	
448	須恵器 鉢	SK737				-		口径31.6前後
449	備前 搦鉢	SK737				-	2.5YR6/4	
450	瓦器 火鉢	SK737				-		内外面粗いミガキ
451	土師器 皿N	SK384	7.6	1.7		100%	10YR8/4	
452	土師器 皿N	SK384	7.8	1.5		80%	10YR7/4	
453	土師器 皿N	SK384	7.9	1.5		60%	10YR7/3	
454	土師器 皿N	SK384	7.6	1.6		55%	10YR7/4	
455	土師器 皿N	SK384	9.4	1.8		50%	7.5YR7/4	
456	土師器 皿N	SK384	9.1	1.9		30%	7.5YR7/3	
457	土師器 皿Sh	SK384	7.5	1.9		60%	7.5YR8/2	
458	土師器 皿Sh	SK384	7.5	2.0		70%	7.5YR8/2	
459	土師器 皿Sh	SK384	7.5	2.1		80%	7.5YR8/3	
460	土師器 皿S	SK384	8.2	2.2		15%	7.5Y8/3	
461	土師器 皿S	SK384	8.7	2.6		75%	5YR8/3	
462	土師器 皿S	SK384	12.6	3.2		55%	7.5YR8/2	
463	土師器 皿S	SK384	13.3			15%	7.5YR8/4	
464	土師器 皿S	SK384	14.5	3.5		15%	5YR8/4	
465	土師器 皿S	SK384	16.2			25%	10YR8/3	
466	古瀬戸 灰釉三足鉢	SK384			20.2	60%	10YR7/1	釉7.5YR2/2
467	土師器 皿Sh	SK769	7.2	1.7		40%	2.5Y8/2	
468	土師器 皿Sh	SK769	7.4	1.9		30%	10YR8/2	
469	土師器 皿N	SK769	7.5	1.8		100%	2.5Y7/2	
470	土師器 皿S	SK769	13.8	2.7		25%	7.5YR8/2	
471	土師器 皿S	SK769	14.0	2.7		25%	2.5Y8/2	
472	土師器 皿S	SK769	14.3	3.0		25%	2.5Y8/2	
473	土師器 皿S	SK769	15.6	3.0		70%	2.5Y8/2	
474	土師器 皿S	SK769	15.9	3.1		100%	2.5Y8/3	
475	土師器 皿S	SK769	16.2	3.2		100%	2.5Y8/1	
476	土師器 皿S	SK769	15.8	3.1		80%	5Y8/3	
477	土師器 皿S	SK769	16.5	3.3		100%	10YR8/3	
478	土師器 皿N	SK769	9.1	2.1		60%	2.5Y8/3	
479	土師器 皿N	SK769	8.6	1.8		100%	2.5Y7/2	
480	土師器 皿N	SK769	11.5	2.2		15%	7.5YR7/4	

付表1-9 出土土器類一覽表-9

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
481	古瀬戸 鉄釉鉢	SK769	18.2	6.2		25%	5Y8/1	釉7.5YR2/2
482	青磁 椀	SK769	15.2			15%	7.5Y7/1	釉7.5YR2/2 小片
483	青磁 椀	SK769			4.8	60%	7.5Y6/1	釉7.5YR2/2
484	土師器 ⅢSh	SK145	7.0	1.6		100%	7.5YR8/3	
485	土師器 ⅢSh	SK145	7.2	1.8		100%	7.5YR8/4	
486	土師器 ⅢSh	SK145	7.1	1.7		100%	7.5YR8/4	
487	土師器 ⅢSh	SK145	7.2	1.8		100%	7.5YR8/3	
488	土師器 ⅢSh	SK145	7.4	1.7		100%	7.5YR8/4	
489	土師器 ⅢSh	SK145	7.4	1.8		100%	7.5YR8/2	
490	土師器 ⅢS	SK145	8.0	1.9		100%	10YR8/4	
491	土師器 ⅢS	SK145	8.2	2.0		100%	10YR8/3	
492	土師器 ⅢS	SK145	8.4	1.9		100%	7.5YR8/4	
493	土師器 ⅢS	SK145	8.3	1.9		100%	7.5YR8/4	
494	土師器 ⅢS	SK145	8.5	1.9		100%	10YR8/3	
495	土師器 ⅢS	SK145	8.8	2.2		100%	7.5YR8/4	
496	土師器 ⅢS	SK145	11.6	2.6		100%	7.5YR8/4	
497	土師器 ⅢS	SK145	11.9	2.7		100%	7.5YR8/4	
498	土師器 ⅢS	SK145	12.1	2.7		100%	5YR8/4	
499	土師器 ⅢS	SK145	12.3	2.6		100%	10YR8/4	
500	土師器 ⅢS	SK145	12.4	2.8		100%	7.5YR8/4	
501	土師器 ⅢS	SK145	13.8	2.7		90%	10YR8/3	
502	土師器 ⅢS	SK145	14.0	2.6		100%	2.5Y8/3	
503	土師器 ⅢS	SK145	14.0	2.8		100%	2.5Y8/2	
504	土師器 ⅢS	SK145	13.8	2.9		100%	7.5YR8/4	
505	土師器 ⅢS	SK145	15.0	3.0		100%	7.5YR8/3	
506	土師器 ⅢS	SK145	15.2	3.1		100%	7.5YR8/4	
507	土師器 ⅢS	SK145	15.1	3.0		100%	7.5YR8/4	
508	土師器 ⅢN	SK145	11.3	2.1		100%	7.5YR7/4	
509	土師器 ⅢSh	SK752	6.6	1.4		75%	7.5YR8/4	
510	土師器 ⅢSh	SK752	6.6	1.5		100%	7.5YR7/4	
511	土師器 ⅢSh	SK752	6.7	1.8		95%	10YR8/4	
512	土師器 ⅢSh	SK752	6.9	1.7		100%	7.5YR8/4	
513	土師器 ⅢSh	SK752	6.8	1.5		100%	10YR8/2	
514	土師器 ⅢSh	SK752	7.2	1.6		70%	7.5YR8/4	
515	土師器 ⅢSb	SK752	8.8	2.0		65%	10YR8/3	
516	土師器 ⅢS	SK752	10.3	1.8		90%	10YR8/3	
517	土師器 ⅢS	SK752	11.5	2.1		90%	10YR8/3	
518	土師器 ⅢS	SK752	11.7	2.2		95%	10YR8/3	
519	土師器 ⅢS	SK752	12.0	2.4		35%	2.5Y8/3	
520	土師器 ⅢS	SK752	12.2	2.4		30%	7.5YR8/3	
521	土師器 ⅢS	SK752	13.0	2.6		40%	10YR8/3	
522	土師器 ⅢS	SK752	14.2	2.4		90%	10YR8/3	
523	土師器 ⅢS	SK752	14.3	2.6		65%	7.5YR8/3	
524	土師器 ⅢS	SK752	14.2	2.7		50%	10YR8/3	
525	土師器 ⅢS	SK752	14.5	2.6		40%	10YR8/3	
526	土師器 ⅢS	SK752	14.3	2.6		65%	10YR8/2	
527	土師器 ⅢS	SK752	14.4	2.5		100%	10YR8/3	
528	土師器 ⅢS	SK752	14.7	2.6		95%	10YR8/3	
529	土師器 ⅢS	SK752	14.7	2.6		95%	10YR8/3	
530	土師器 ⅢS	SK752	14.8	2.5		90%	2.5Y8/2	
531	土師器 ⅢS	SK752	16.7	2.6		100%	10YR8/3	
532	土師器 ⅢN	SK752	6.6	1.6		60%	10YR7/3	
533	土師器 ⅢN	SK752	6.5	1.4		55%	10YR7/3	
534	土師器 ⅢN	SK752	7.1	1.5		50%	10YR7/3	
535	土師器 ⅢN	SK752	7.3	1.7		75%	10YR7/3	
536	土師器 ⅢN	SK752	8.0	1.3		40%	10YR7/3	
537	土師器 ⅢN	SK752	8.3	1.9		100%	10YR8/2	
538	土師器 ⅢN	SK752	9.5	1.9		95%	10YR7/3	
539	瓦器 羽釜	SK752					N3/0	
540	瓦器 鍋	SK752					N3/0	

付表1-10 出土土器類一覧表-10

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
541	古瀬戸 天目椀	SK752					2.5Y8/3	釉7.5YR2/2
542	青磁 椀	SK752	16.5			15%	N8/0	
543	青磁 椀	SK752	12.4			15%		
544	青磁 椀	SK752					N7/0	釉7.5YR2/2
545	輸入 染付椀	SK752			5.0		-	
546	青磁 椀	SK752					-	釉7.5YR2/2
547	青磁 椀	SK752					-	釉7.5YR2/2
548	青磁 椀	SK752					5Y7/1	釉7.5YR2/2
549	輸入 天目椀	SK752					-	釉7.5YR2/2
550	土師器 皿N	SK752	8.0	1.3		45%	10YR7/2	下層出土
551	土師器 皿S	SK752	8.6	1.8		100%	2.5Y8/3	下層出土
552	土師器 皿N	SK752	8.4	1.5		90%	10YR8/3	下層出土
553	土師器 皿N	SK752	7.1	1.5		55%	2.5Y7/2	下層出土
554	土師器 皿S	SK752	8.2	2.3		55%	10YR8/4	下層出土
555	土師器 皿S	SK752	10.7	2.3		100%	7.5YR8/4	下層出土
556	土師器 皿S	SK752	15.6	2.8		80%	10YR8/3	下層出土
557	土師器 皿S	SK752	16.2	2.9		35%	10YR8/4	下層出土
558	古瀬戸 灰釉盤	SK752	35.0			10%		釉7.5YR2/2 下層出土
559	古瀬戸 灰釉椀	SK752			4.5	25%	2.5Y7/1	釉7.5YR2/2 下層出土
560	古瀬戸 天目椀	SK752			4.2	25%	5Y7/1	釉7.5YR2/2 下層出土
561	古瀬戸 灰釉皿	SK752	8.4	2.1		15%	2.5Y8/2	釉7.5YR2/2 下層出土
562	古瀬戸 灰釉卸目皿	SK752	11.5			15%	5Y7/1	釉7.5YR2/2 下層出土
563	古瀬戸 鉄釉卸目皿	SK752					10YR8/2	釉7.5YR2/2 下層出土
564	古瀬戸 灰釉卸目皿	SK752					5Y7/1	釉7.5YR2/2 下層出土
565	褐釉 壺	SK752						釉7.5YR2/2 下層出土
566	土師器 皿N	SX747	5.7	1.2		60%	10YR8/2	
567	土師器 皿N	SX747	6.0	0.9		30%	10YR7/3	
568	土師器 皿N	SX747	6.3	1.3		100%	10YR7/3	
569	土師器 皿N	SX747	8.0	1.3		30%	10YR7/3	
570	土師器 皿Sb	SX747	8.3	1.7		20%	10YR8/1	
571	土師器 皿S	SX747	10.2	1.7		15%	10YR7/3	
572	土師器 皿S	SX747	10.3	1.9		50%	10YR7/2	
573	土師器 皿S	SX747	10.5	2.2		15%	5Y8/2	
574	土師器 皿S	SX747	12.5	2.1		100%	10YR8/2	
575	土師器 鉢(どうき)	SX747	11.0				10YR7/4	
576	美濃 灰釉皿	SX747	8.4	1.9			10YR8/1	釉7.5YR2/2
577	備前 播鉢	SX747	24				5YR3/3	
578	信楽 播鉢	SX747	?				2.5YR5/6	
579	丹波 播鉢	SX747	22				10YR8/4	
580	備前 壺	SX747			15.2		10Y4/3	
581	土師器 皿Sb	SK176	8.8	2.0		80%	7.5YR7/4	
582	土師器 皿Sb	SK176	8.8	1.9		90%	7.5YR7/4	
583	土師器 皿Sb	SK176	8.8	1.8		50%	7.5YR7/4	
584	土師器 皿Sb	SK176	9.0	2.0		75%	7.5YR7/4	
585	土師器 皿Sb	SK176	9.4	2.0		100%	10YR7/3	
586	土師器 皿Sb	SK176	9.2	2.1		70%	10YR8/2	
587	土師器 皿Sb	SK176	9.2	1.8		70%	10YR8/3	
588	土師器 皿Sb	SK176	9.6	1.8		65%	7.5YR8/4	
589	土師器 皿Sb	SK176	9.2	2.0		100%	10YR7/3	
590	土師器 皿Sb	SK176	8.8	1.7		100%	10YR7/2	
591	土師器 皿Sb	SK176	8.9	1.8		100%	10YR6/2	
592	土師器 皿Sb	SK176	9.7	1.6		100%	7.5YR8/4	
593	土師器 皿Sb	SK176	9.5	2.0		100%	10YR8/4	
594	土師器 皿Sb	SK176	9.4	1.8		100%	7.5YR7/4	
595	土師器 皿Sb	SK176	9.4	1.9		100%	10YR7/4	
596	土師器 皿Sb	SK176	9.6	2.0		100%	7.5YR7/4	
597	土師器 皿Sb	SK176	9.8	1.9		100%	10YR8/4	
598	土師器 皿Sb	SK176	9.6	1.8		100%	10YR8/3	
599	土師器 皿S	SK176	10.4	2.1		100%	7.5YR7/4	
600	土師器 皿S	SK176	10.4	2.2		100%	10YR7/3	

付表 1-11 出土土器類一覽表-11

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
601	土師器 皿S	SK176	10.4	2.2		60%	10YR7/3	
602	土師器 皿S	SK176	10.5	2.1		100%	7.5YR8/4	
603	土師器 皿S	SK176	10.6	2.0		100%	5YR8/3	
604	土師器 皿S	SK176	10.6	2.0		70%	7.5YR7/3	
605	土師器 皿S	SK176	10.7	2.2		70%	7.5YR8/4	
606	土師器 皿S	SK176	10.6	1.9		50%	2.5Y7/3	
607	土師器 皿S	SK176	10.7	2.2		100%	10YR7/4	
608	土師器 皿S	SK176	11.2	2.2		90%	10YR8/3	
609	土師器 皿S	SK176	11.1	1.8		60%	10YR8/2	
610	土師器 皿S	SK176	12.4	2.2		100%	10YR8/3	
611	土師器 皿S	SK176	12.0	2.2		100%	10YR8/4	
612	土師器 皿S	SK176	12.7	2.1		100%	7.5YR7/4	
613	土師器 皿S	SK176	12.5	2.1		100%	10YR8/2	
614	土師器 皿S	SK176	12.3	2.0		70%	10YR7/3	
615	土師器 皿S	SK176	12.3	2.2		50%	10YR8/3	
616	土師器 皿S	SK176	12.5	2.2		40%	10YR8/4	
617	土師器 皿S	SK176	14.6	2.1		20%	10YR8/3	
618	土師器 皿S	SK176	15.1	2.1		25%	10YR7/3	
619	土師器 皿S	SK176	16.0	2.6		50%	10YR7/3	
620	土師器 皿S	SK176	16.0	2.8		30%	7.5YR7/4	
621	土師器 皿S	SK176	16.2	2.5		80%	10YR7/3	
622	土師器 皿S	SK176	16.3	2.6		40%	10YR7/2	
623	土師器 皿S	SK176	23.1	3.0		20%	10YR7/3	
624	土師器 皿S	SK176	20.2	3.3		30%	10YR7/2	
625	土師器 皿N	SK176	6.5	1.3		100%	10YR7/3	
626	土師器 皿N	SK176	6.8	1.4		100%	10YR7/4	
627	土師器 皿N	SK176	6.7	1.4		90%	10YR7/3	
628	土師器 皿N	SK176	6.7	1.3		100%	10YR7/3	
629	土師器 皿N	SK176	7.0	1.3		100%	10YR7/3	
630	土師器 塩壺蓋	SK176	5.2	1.6		50%	10YR8/4	
631	土師器 塩壺	SK176	3.7	6.9		100%	7.5YR7/5	
632	土師器 焙烙鍋	SK176	33.2			75%	7.5YR6/4	高12.2前後
633	土師器 取鍋	SK176	6.3	2.1		100%	2.5Y8/1	
634	土師器 取鍋	SK176	6.5	2.0		100%	2.5Y8/2	
635	土師器 取鍋	SK176	6.7	2.2		85%	2.5Y7/2	
636	土師器 取鍋	SK176	6.8	2.4		60%	2.5Y8/2	
637	土師器 取鍋	SK176	8.0	2.6		75%	2.5Y6/1	
638	土師器 取鍋	SK176	7.9	2.5		55%	2.5Y6/1	
639	土師器 取鍋	SK176	8.0	2.5		100%	2.5Y7/1	
640	土師器 取鍋	SK176	8.1	2.6		50%	2.5Y7/2	
641	土師器 取鍋	SK176	9.5	3.2		40%	N5/1	
642	土師器 取鍋	SK176	9.3	3.3		100%	2.5Y6/1	
643	韃羽口	SK176					2.5Y5/1	残長5.3
644	美濃 灰釉皿	SK176	8.3	1.8		15%	2.5Y8/2	釉7.5YR2/2
645	美濃 灰釉皿	SK176	10.2	2.3		90%	2.5Y8/2	釉7.5YR2/2
646	美濃 灰釉皿	SK176			5.8	100%	2.5Y8/2	釉7.5YR2/2
647	美濃 灰釉皿	SK176			5.1	55%	2.5Y5/1	釉7.5YR2/2
648	美濃 鉄釉椀	SK176	11.2				2.5Y6/1	釉7.5YR2/2 小片
649	美濃 天目椀	SK176	10.0				10YR7/3	釉7.5YR2/2 小片
650	信楽 壺	SK176					10YR7/1	小片
651	信楽 播鉢	SK176	29.4	12.5		25%	2.5YR5/6	
652	丹波 壺	SK176	12.0			40%	10YR6/1	
653	明 染付小皿	SK176	8.8	2.2		10%	-	
654	土師器 皿Sb	SK70	9.6	1.9		100%	5YR6/4	
655	土師器 皿Sb	SK70	9.7	2.1		100%	7.5YR6/7	
656	土師器 皿Sb	SK70	9.6	1.9		50%	7.5YR6/3	
657	土師器 皿Sb	SK70	9.8	2.1		90%	7.5YR7/4	
658	土師器 皿Sb	SK70	9.9	2.2		100%	5YR7/4	
659	土師器 皿Sb	SK70	10.3	2.2		75%	5YR7/4	
660	土師器 皿S	SK70	10.8	2.1		70%	7.5YR7/3	

付表1-12 出土土器類一覽表-12

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
661	土師器 皿S	SK70	11.3	2.0		70%	7.5YR7/4	
662	土師器 皿S	SK70	11.3	2.2		80%	10YR7/3	
663	土師器 皿S	SK70	11.4	2.1		100%	7.5YR6/4	
664	土師器 皿S	SK70	11.5	2.1		100%	7.5YR8/2	
665	土師器 皿S	SK70	11.5	2.0		100%	7.5YR7/2	
666	土師器 皿S	SK70	11.4	2.2		80%	5YR7/4	
667	土師器 皿S	SK70	13.0	2.0		60%	10YR7/3	
668	土師器 皿S	SK70	13.1	2.4		25%	7.5YR7/6	
669	土師器 皿S	SK70	16.5	2.4		50%	7.5YR6/4	
670	土師器 皿S	SK70	16.8	2.5		40%	5YR7/4	
671	土師器 皿S	SK70	18.8	2.5		15%	5YR7/4	
672	土師器 皿N	SK70	5.2	1.0		100%	10YR7/3	
673	土師器 皿N	SK70	5.4	1.2		100%	10YR7/3	
674	土師器 皿N	SK70	5.5	0.8		100%	10YR7/3	
675	土師器 皿N	SK70	7.0	1.3		80%	10YR7/4	
676	土師器 小壺	SK70	2.0	3.2			10YR7/3	
677	土師器 小壺	SK70	2.4	2.6			5YR6/4	
678	土師器 壺蓋	SK70	5.4	1.6			5YR6/4	
679	土師器 壺蓋	SK70	6.8	1.6			5YR7/6	
680	土師器 壺	SK70	5.1	8.7			5YR7/4	
681	瓦器 香炉	SK70	11.6	4.5			10YR6/1	
682	土師器 焙烙鍋	SK70	32.0	9.5			7.5YR7/4	
683	土師器 焙烙鍋	SK70	32.2	10.2			10YR7/4	
684	瓦器 壺蓋	SK70	19.8	2.0			10YR7/1	
685	瓦器 壺	SK70	17.4				7.5YR6/2	
686	土師器 鉢(灰器)	SK70					7.5YR7/6	
687	土師器 炉	SK70			18.2		10YR7/3	
688	美濃 灰釉皿	SK70	10.9	2.3			7.5YR7/4	釉5Y6/4
689	美濃 長石釉皿	SK70	11.2	2.7			10YR7/2	釉5Y8/1
690	美濃 灰釉皿	SK70	11.2	2.1			10YR7/3	釉5Y6/6
691	美濃 天目椀	SK70	11.1				7.5YR7/2	釉5YR4/6
692	美濃 天目椀	SK70	11.7	5.7			10YR7/4	釉5YR4/4
693	美濃 長石釉丸椀	SK70	10.9				7.5YR7/4	釉5Y8/1
694	美濃 長石釉丸椀	SK70	10.5				10YR8/2	釉10YR8/1
695	美濃 灰釉丸椀	SK70	11.9				10YR7/3	釉5Y6/6
696	美濃 黄瀬戸向付	SK70			5.4		10YR7/2	釉5Y6/3
697	美濃 黄瀬戸向付	SK70	11.3	6.4			10YR8/2	釉2.5Y8/4
698	美濃 黄瀬戸向付	SK70	12.6	7.1			2.5Y8/1	釉5Y7/3
699	美濃 志野向付	SK70	9.9	4.9			10YR8/4	釉10YR8/2
700	美濃 志野灯火器蓋	SK70	8.1	2.0			10YR8/1	釉2.5Y8/1
701	美濃 志野茶入蓋	SK70	4.4	1.4			10YR8/3	釉2.5Y8/1
702	美濃 瀬戸黒茶椀	SK70	14.5	8.5			2.5Y6/1	釉10YR1.7/1
703	唐津 灰釉皿	SK70	9.9	3.1			7.5YR7/3	釉10YR5/2
704	唐津 灰釉皿	SK70	11.3	2.9			10YR7/2	釉10YR6/2
705	唐津 灰釉皿	SK70	11.2	3.1			10YR6/2	釉2.5Y4/1
706	唐津 灰釉椀	SK70	11.2				10YR7/2	釉10YR6/2 一部白濁
707	唐津 灰釉椀	SK70	10.7	6.6			5YR6/6	釉2.5Y4/2
708	唐津 灰釉皿	SK70	11.6	3.4			2.5YR6/4	釉5YR5/2
709	唐津 灰釉皿	SK70	11.5	3.1			7.5YR6/3	釉5Y6/2
710	絵唐津 沓茶椀	SK70			7.5		5Y7/1	釉2.5Y6/2
711	軟質施釉陶器 茶椀	SK70	10.5				2.5Y2/1	釉5YR2/2
712	軟質施釉陶器 茶椀	SK70			5.9		2.5Y5/1	釉2.5Y3/2
713	信楽 擂鉢	SK70					2.5Y5/6	
714	丹波 擂鉢	SK70					5YR5/3	
715	備前 擂鉢	SK70	24.2	9.8			5YR5/3	
716	備前 擂鉢	SK70	34.0				5YR4/3	
717	明 白磁皿	SK70	11.1	2.7			-	
718	李朝 鉄釉茶椀	SK70					7.5YR5/3	釉10Y2/2
719	李朝 蕎麦茶椀	SK70	16.5	6.5			10YR7/1	釉5Y6/1~2 内面メアト6個
720	土師器 皿N	SK80	5.2	1.3		100%	7.5YR7/3	

付表1-13 出土土器類一覽表-13

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
721	土師器 皿N	SK80	5.5	1.3		100%	10YR7/3	
722	土師器 皿N	SK80	6.5	1.4		100%	7.5YR7/4	
723	土師器 皿Sb	SK80	9.7	2.2		100%	7.5YR7/4	
724	土師器 皿Sb	SK80	9.9	2.0		60%	7.5YR7/4	
725	土師器 皿Sb	SK80	9.8	1.9		100%	10YR7/3	
726	土師器 皿Sb	SK80	10.2	1.9		70%	7.5YR7/4	
727	土師器 皿S	SK80	10.5	2.0		40%	7.5YR7/3	
728	土師器 皿S	SK80	11.0	2.0		100%	5YR7/4	
729	土師器 皿S	SK80	10.9	2.2		100%	7.5YR7/3	
730	土師器 皿S	SK80	11.1	2.2		30%	7.5YR7/3	
731	土師器 皿S	SK80	11.2	2.1		40%	10YR7/3	
732	土師器 皿S	SK80	11.3	2.1		100%	7.5YR7/4	
733	土師器 皿S	SK80	15.3	2.2		25%	7.5YR7/4	
734	土師器 小壺	SK80	2.5	3.0			10YR7/2	
735	土師器 塩壺蓋	SK80	5.2	1.8			5YR7/6	
736	土師器 塩壺	SK80	3.0	6.6			5YR6/6	
737	土師器 塩壺蓋	SK80	7.0	2.0			7.5YR7/3	
738	土師器 塩壺	SK80	5.4	9.2			5YR6/6	
739	瓦器 ミニチュア風炉	SK80	7.8	5.5			7.5YR7/2	
740	美濃 長石釉小杯	SK80	5.5	3.0			2.5Y7/1	釉2.5Y7/2
741	美濃 鉄釉小杯	SK80	6.5	3.2			10YR8/2	釉7.5YR2/2 底部に「法尊」墨書
742	美濃 灰釉皿	SK80	9.4	2.1			10YR8/2	釉2.5Y6/3
743	美濃 灰釉皿	SK80	11.9	2.2			10YR6/1	釉5Y5/3
744	美濃 志野向付	SK80					10YR8/2	釉10YR8/1
745	美濃 絵志野皿	SK80	12.8	3.7			10YR8/2	釉2.5Y8/1
746	美濃 鉄釉灯火器	SK80	7.4	2.3			5YR5/1	釉7.5YR4/3
747	美濃 鉄釉香炉	SK80	8.6	5.6			5YR7/1	釉5YR4/4
748	美濃 織部椀	SK80	9.4				7.5YR6/1	釉10YR7/1
749	美濃 天目椀	SK80	11.9	6.5			10YR8/3	釉10YR2/2
750	美濃 瀬戸黒茶椀	SK80	12.0	7.3			2.5Y8/1	釉10YR3/1
751	唐津 灰釉小杯	SK80	7.0	4.1			10YR6/3	釉5Y4/3
752	唐津 灰釉皿	SK80	10.4	3.3			5YR7/6	釉2.5Y5/4
753	唐津 灰釉皿	SK80	10.6	3.4			5YR7/6	釉5Y4/3
754	唐津 灰釉椀	SK80	10.9	6.1			5YR4/6	釉5Y4/3 白濁
755	唐津 灰釉椀	SK80	13.0	6.6			5YR6/4	釉5Y5/3
756	唐津 灰釉椀	SK80					2.5Y6/1	釉5Y5/2
757	信楽 甕	SK80	23.3				5Y7/1	表面10YR3/2
758	信楽 擂鉢	SK80	24.0				7.5YR6/1	表面5YR4/2
759	美濃 鉄釉鉢	SK80	14.0				5YR7/6	釉7.5YR3/1 水指か
760	信楽 鉢	SK80	16.5	11.0			2.5Y6/1	口縁歪む 水指か
761	丹波 擂鉢	SK80					2.5Y6/6	表面5YR3/3
762	備前 灯火器	SK80	12.1	5.0			5P4/1	
763	備前 擂鉢	SK80	17.0	6.9			N4/0	表面5YR2/3
764	明 青磁椀	SK80						小片 外面に線刻
765	明 白磁皿	SK80	11.4	2.9				
766	明 染付椀	SK80			5.0			
767	李朝 蕎麦茶椀	SK80	15.2				7.5YR7/4	釉2.5Y6/1
768	土師器 皿N	SK146	5.6	1.3		100%	10YR7/4	
769	土師器 皿N	SK146	5.8	1.2		100%	10YR5/2	
770	土師器 皿N	SK146	6.3	1.5		100%	7.5YR7/4	
771	土師器 皿N	SK146	7.1	1.6		100%	2.5Y4/1	
772	土師器 皿N	SK146	7.2	1.7		100%	10YR7/3	
773	土師器 皿Sb	SK146	10.0	2.1		55%	7.5YR7/6	
774	土師器 皿Sb	SK146	10.0	2.2		100%	10YR7/6	
775	土師器 皿Sb	SK146	10.0	2.3		55%	7.5YR7/6	
776	土師器 皿Sb	SK146	10.2	2.2		100%	7.5YR7/4	
777	土師器 皿Sb	SK146	10.2	2.0		50%	7.5YR7/6	
778	土師器 皿Sb	SK146	9.8	2.1		80%	7.5YR7/6	
779	土師器 皿Sb	SK146	9.9	2.2		100%	7.5YR7/6	
780	土師器 皿Sb	SK146	9.8	2.2		60%	7.5YR7/6	

付表1-14 出土土器類一覽表-14

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
781	土師器 皿Sb	SK146	10.1	2.3		65%	7.5YR7/6	
782	土師器 皿Sb	SK146	10.1	2.1		55%	7.5YR7/6	
783	土師器 皿S	SK146	10.6	2.1		50%	7.5YR8/4	
784	土師器 皿S	SK146	11.0	2.1		30%	7.5YR7/4	
785	土師器 皿S	SK146	11.0	2.3		75%	10YR7/3	
786	土師器 皿S	SK146	11.0	2.7		50%	7.5YR7/4	
787	土師器 皿S	SK146	11.0	2.1		40%	7.5YR8/4	
788	土師器 皿S	SK146	11.4	2.6		65%	10YR7/4	
789	土師器 皿S	SK146	11.0	2.2		30%	7.5YR7/4	
790	土師器 皿S	SK146	11.6	2.3		75%	7.5YR7/4	
791	土師器 皿S	SK146	12.0	2.1		45%	7.5YR7/4	
792	土師器 皿S	SK146	12.0	2.4		30%	10YR7/3	
793	土師器 皿S	SK146	12.4	2.2		40%	7.5YR7/4	
794	土師器 皿S	SK146	12.6	2.2		45%	7.5YR7/4	
795	土師器 皿S	SK146	12.8	2.3		30%	7.5YR7/4	
796	土師器 皿S	SK146	13.0	2.3		25%	7.5YR7/4	
797	土師器 皿S	SK146	15.0	2.0		15%	10YR7/3	
798	土師器 皿S	SK146	21.0	2.8		10%	10YR8/3	
799	土師器 塩壺蓋	SK146	6.9	2.1		45%	7.5YR7/4	
800	土師器 塩壺	SK146	2.8	4.2		50%	10YR8/4	
801	土師器 焙烙鍋	SK146	34.0			15%	10YR8/3	
802	土師器 焙烙鍋	SK146	30.5	8.8		15%	10YR5/2	
803	土師器 羽釜	SK146	22.0			10%	10YR6/3	
804	瓦器 香炉	SK146	16.5	3.6		30%	N4/0	
805	土師器 蓋	SK146	18.0	2.4		35%	2.5Y4/1	
806	瓦器 火桶	SK146	22.4			15%	5Y2/1	
807	瓦器 火桶	SK146			25.0	15%	5Y2/1	806の底部か
808	瓦器 鉢	SK146	40.5	17.3		10%	7.5Y6/1	
809	軟質施釉陶器 椀	SK146	8.9	7.1		55%		釉7.5YR2/2 黒釉 白化粧掻き落とし して花文
810	美濃 長石釉皿	SK146	11.2	2.4		25%		釉7.5YR2/2
811	美濃 長石釉皿	SK146	11.4	2.6		20%	2.5Y7/2	釉7.5YR2/2
812	美濃 長石釉椀	SK146	10.6	4.4		15%	2.5Y8/1	釉7.5YR2/2
813	美濃 黄瀬戸鉢	SK146	14.4			10%		釉7.5YR2/2
814	美濃 絵志野皿	SK146	12.1	2.1		15%		釉7.5YR2/2
815	美濃 長石釉椀	SK146	12.3	7.4		10%	2.5Y8/3	釉7.5YR2/2
816	美濃 天目椀	SK146	11.2	7.3		45%	2.5Y8/2	釉7.5YR2/2
817	美濃 織部皿	SK146	13.7	3.2		50%		釉7.5YR2/2
818	美濃 鉄釉香炉	SK146			6.5	40%	2.5Y8/3	釉7.5YR2/2
819	美濃 長石釉菊皿	SK146	11.9	2.5		80%		釉7.5YR2/2
820	美濃 志野皿	SK146	16.1	2.7		45%		釉7.5YR2/2
821	唐津 灰釉皿	SK146	11.6	3.4		85%	10YR7/3	釉7.5YR2/2
822	唐津 灰釉皿	SK146	13.0	4.0		40%	10YR7/3	釉7.5YR2/2
823	唐津 灰釉皿	SK146	14.5	6.5		25%	2.5Y7/3	釉7.5YR2/2
824	絵唐津 灰釉向付	SK146	12.8	3.7		35%	7.5YR6/3	釉7.5YR2/2
825	絵唐津 灰釉向付	SK146	12.4	4.3		90%	5YR5/4	釉7.5YR2/2
826	唐津 小杯	SK146	7.8	4.0		35%	2.5Y7/3	釉7.5YR2/2
827	唐津 灰釉椀	SK146	10.4	5.1		90%	10YR8/4	釉7.5YR2/2
828	唐津 灰釉椀	SK146	10.7	6.3		30%	5YR5/4	釉7.5YR2/2
829	唐津 鉢	SK146	9.2	6.5		25%	5YR4/4	釉7.5YR2/2 片口か
830	唐津 灰釉椀	SK146					2.5Y8/2	釉7.5YR2/2 小片
831	唐津 灰釉椀	SK146	11.3	6.2		15%	7.5YR6/3	釉7.5YR2/2
832	唐津 鉢	SK146			8.6	45%	7.5YR5/4	釉7.5YR2/2
833	伊万里 白磁皿	SK146	15.4			20%		釉7.5YR2/2
834	明 染付椀	SK146						
835	明 染付椀	SK146	12.4					
836	明 染付椀	SK146			6.1			
837	明 白磁椀	SK146						釉7.5YR2/2
838	明 染付椀	SK146	10.9	5.4				
839	明 染付大皿	SK146					2.5Y8/2	釉7.5YR2/2 小片

付表 1-15 出土土器類一覽表-15

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
840	明 白磁皿	SK146	12.1	3.0				
841	李朝 刷毛目皿	SK146	10.9	3.2				釉7.5YR2/2 貝目
842	信楽 壺	SK146					2.5Y8/2	釉7.5YR2/2 小片
843	信楽 搗鉢	SK146	25.0				5YR6/6	
844	信楽 搗鉢	SK146	25.0				10R4/2	
845	伊賀 水指	SK146	16.4				5Y8/1	
846	伊賀 水指	SK146			18.0		5Y8/1	内面に漆を塗布
847	伊賀 水指	SK146			18.0		5Y7/1	
848	信楽 搗鉢	SK146					10R4/2	
849	信楽 甕	SK146					2.5YR5/4	
850	丹波 搗鉢	SK146	35.7	15.0			5YR4/4	
851	丹波 搗鉢	SK146					2.5YR4/4	
852	土師器 皿S	SK1378	10.6	2.3		100%	5YR8/4	
853	土師器 皿S	SK1378	10.6	2.3		95%	7.5YR8/6	
854	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.3		100%	7.5YR8/6	
855	土師器 皿S	SK1378	10.8	2.0		100%	5YR8/3	
856	土師器 皿S	SK1378	10.9	2.3		90%	10YR8/4	
857	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.2		100%	5YR8/4	
858	土師器 皿S	SK1378	11.1	2.5		95%	5YR8/4	
859	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.2		100%	7.5YR7/4	
860	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.2		100%	7.5YR8/3	
861	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.2		100%	7.5YR8/4	
862	土師器 皿S	SK1378	11.1	2.3		100%	7.5YR8/6	
863	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.1		100%	7.5YR8/6	
864	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.2		100%	7.5YR7/6	
865	土師器 皿S	SK1378	11.0	2.3		100%	7.5YR7/6	
866	土師器 皿S	SK1378	11.1	2.2		100%	7.5YR8/3	
867	土師器 皿S	SK1378	11.2	2.1		100%	7.5YR8/2	
868	土師器 皿S	SK1378	11.2	2.2		100%	7.5YR8/4	
869	土師器 皿S	SK1378	11.2	2.3		100%	7.5YR7/6	
870	土師器 皿S	SK1378	11.8	2.2		100%	7.5YR7/4	
871	土師器 皿S	SK1378	12.4	2.5		40%	5YR7/4	
872	土師器 皿Sb	SK1378	9.6	2.0		50%	7.5YR7/4	
873	土師器 皿Sb	SK1378	9.8	2.2		100%	7.5YR8/4	
874	土師器 皿Sb	SK1378	10.0	2.3		90%	7.5YR7/4	
875	土師器 皿Sb	SK1378	9.8	2.1		70%	7.5YR8/4	
876	土師器 皿Sb	SK1378	9.8	2.2		100%	7.5YR8/4	
877	土師器 皿Sb	SK1378	9.7	2.3		95%	7.5YR8/4	
878	土師器 皿Sb	SK1378	9.8	2.3		100%	7.5YR7/4	
879	土師器 皿Sb	SK1378	10.0	2.0		100%	7.5YR8/4	
880	土師器 皿Sb	SK1378	10.0	2.2		100%	7.5YR7/5	
881	土師器 皿Sb	SK1378	9.9	2.3		100%	7.5YR8/4	
882	土師器 皿Sb	SK1378	10.0	2.3		100%	7.5YR7/4	
883	土師器 皿Sb	SK1378	10.0	2.1		80%	7.5YR8/3	
884	土師器 皿N	SK1378	5.3	1.3		100%	7.5YR7/3	
885	土師器 皿N	SK1378	5.4	1.2		100%	7.5YR7/4	
886	土師器 皿N	SK1378	5.8	1.4		100%	7.5YR7/4	
887	土師器 皿N	SK1378	7.3	1.7		100%	10YR7/3	
888	土師器 小壺	SK1378	2.5	2.5			2.5Y8/1	
889	土師器 塩壺蓋	SK1378	6.7	1.5			5YR7/4	
890	土師器 塩壺蓋	SK1378	6.7	1.8			5YR7/4	
891	土師器 塩壺	SK1378	5.7	8.6			2.5YR7/6	
892	土師器 塩壺	SK1378	5.7	8.9			5YR7/4	
893	土師器 鉢	SK1378	8.5	4.5			2.5Y8/1	
894	土師器 焙烙鍋	SK1378	29.6	8.3			7.5YR7/4	内面ハケメ
895	土師器 焙烙鍋	SK1378	30.9	8.6			10YR8/4	
896	土師器 焙烙鍋	SK1378	29.4	9.4			5YR7/4	内面ハケメ
897	土師器 焙烙鍋	SK1378	31.6				5YR6/3	
898	瓦器 火桶蓋	SK1378	24.3				7.5YR6/3	外面密にミガキ 黒色
899	美濃 長石釉椀	SK1378	11.0	7.0			2.5Y8/2	釉2.5Y7/2

付表1-16 出土土器類一覧表-16

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備 考
900	美濃 鉄釉丸椀	SK1378	10.4	7.3			2.5Y8/1	釉5YR4/8
901	美濃 長石釉皿	SK1378	14.4	3.0			10YR8/2	釉5YR3/4
902	美濃 黒織部茶椀	SK1378	11.4	7.0			2.5Y8/1	釉5YR2/1 文様部 釉を掻き取り長石釉を施す
903	美濃 長石釉鉢	SK1378	10.6	4.4			2.5Y8/2	釉2.5Y8/2
904	美濃 鉄釉壺	SK1378	11.6				10YR8/2	釉7.5YR2/2
905	美濃 白天目椀	SK1378					N8/1	釉5Y7/2
906	美濃 黄瀬戸水滴	SK1378	1.2	4.0			2.5Y8/3	釉5Y7/3
907	唐津 灰釉皿	SK1378	11.6	3.0			2.5YR6/6	釉5Y4/1 砂目
908	唐津 灰釉皿	SK1378	12.0	3.7			7.5YR7/3	釉10YR6/2 胎土目
909	唐津 灰釉皿	SK1378	11.2	3.3			7.5YR5/1	釉7.5YR5/2 胎土目
910	唐津 灰釉皿	SK1378	13.5	3.6			5YR7/4	釉5Y5/2
911	唐津 灰釉皿	SK1378	12.6	3.8			7.5YR6/1	釉2.5Y7/2 胎土目
912	唐津 灰釉皿	SK1378	12.5	3.9			7.5YR7/6	釉5YR6/4
913	絵唐津 向付	SK1378	13.0	4.3			7.5YR6/3	釉5YR7/4 砂目
914	唐津 灰釉椀	SK1378	11.1				7.5YR7/4	釉5Y6/1
915	唐津 灰釉椀	SK1378	10.8	8.0			7.5YR5/3	釉7.5Y7/1
916	唐津? 藁灰釉椀	SK1378	9.9	9.9			10YR7/2	高台下端面に貝目 高取 萩の可能性もある
917	唐津 鉄釉椀	SK1378	10.2	6.9			7.5YR5/3	釉5Y3/2
918	唐津 天目椀	SK1378	11.2				2.5Y8/3	釉10YR2/1
919	唐津 灰釉鉢	SK1378	15.8				7.5YR6/4	釉7.5YR6/2
920	唐津 灰釉皿	SK1378	26.6				7.5YR6/2	釉10YR7/1
921	唐津 壺	SK1378	5.8				5YR6/3	朝鮮唐津 上部藁灰釉 下部鉛釉
922	絵唐津 盤	SK1378	30.7	7.2			7.5YR7/2	釉7.5YR2/2 底部外面貝目5箇所
923	丹波 灯火器	SK1378	11.0				2.5YR4/2	
924	信楽 甕	SK1378					10YR6/2	
925	丹波 盤	SK1378	28.9	6.9			5YR6/8	
926	丹波 挿鉢	SK1378	38.0				5YR5/4	スリ目の単位8本 内面片口脇にヘラ記号
927	華南三彩 魚形水滴	SK1378						
928	明 染付椀	SK1378	11.6	6.0				
929	明 染付椀	SK1378				5.2		
930	明 染付椀	SK1378				4.2		
931	明 染付皿	SK1378	11.4	2.6				
932	明 白磁鉢	SK1378						
933	明 染付鉢	SK1378	9.6					
934	明 染付椀	SK1378						
935	明 染付小杯	SK1378	6.2	4.4				
936	李朝 灰釉壺	SK1378					2.5Y7/2	釉7.5YR2/2 器表に御本
937	李朝 白磁椀	SK1378	13.3	6.7				
938	土師器 皿N	SK83	5.7	1.1		100%	7.5YR7/3	
939	土師器 皿N	SK83	5.8	1.2		100%	7.5YR7/4	
940	土師器 皿N	SK83	5.8	1.1		100%	7.5YR7/6	
941	土師器 皿N	SK83	6.6	1.5		100%	7.5YR7/4	
942	土師器 皿N	SK83	7.1	1.6		100%	7.5YR7/4	
943	土師器 皿N	SK83	7.1	1.4		100%	7.5YR7/6	
944	土師器 皿N	SK83	7.4	1.7		100%	10YR8/3	
945	土師器 皿Sb	SK83	7.5	1.8		35%	7.5YR7/4	
946	土師器 皿Sb	SK83	7.7	1.7		70%	7.5YR7/4	
947	土師器 皿Sb	SK83	7.7	1.8		100%	7.5YR7/3	
948	土師器 皿Sb	SK83	7.8	1.7		100%	7.5YR7/4	
949	土師器 皿Sb	SK83	9.5	2.2		100%	7.5YR7/4	
950	土師器 皿Sb	SK83	9.7	2.2		100%	7.5YR7/4	
951	土師器 皿Sb	SK83	9.8	2.0		100%	7.5YR7/4	
952	土師器 皿Sb	SK83	9.8	2.2		100%	7.5YR7/4	
953	土師器 皿Sb	SK83	10.0	2.3		100%	7.5YR7/4	
954	土師器 皿Sb	SK83	9.9	2.1		90%	7.5YR7/4	
955	土師器 皿Sb	SK83	10.0	2.1		100%	7.5YR7/6	
956	土師器 皿Sb	SK83	10.1	2.1		100%	7.5YR7/4	
957	土師器 皿S	SK83	11.0	2.2		100%	7.5YR7/6	

付表 1-17 出土土器類一覽表-17

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
958	土師器 皿S	SK83	10.9	2.1		100%	7.5YR7/6	
959	土師器 皿S	SK83	10.8	2.3		100%	7.5YR7/6	
960	土師器 皿S	SK83	11.1	2.1		100%	7.5YR7/4	
961	土師器 皿S	SK83	11.0	2.1		100%	7.5YR7/6	
962	土師器 皿S	SK83	10.9	2.0		100%	7.5YR7/3	
963	土師器 皿S	SK83	11.0	2.2		100%	7.5YR7/6	
964	土師器 皿S	SK83	11.3	2.2		100%	10YR7/4	
965	土師器 皿S	SK83	11.8	2.3		95%	7.5YR7/6	
966	土師器 皿S	SK83	12.2	2.2		60%	7.5YR7/4	
967	土師器 皿S	SK83	12.0	2.4		90%	7.5YR7/4	
968	土師器 皿S	SK83	14.0	2.5		30%	7.5YR7/3	
969	土師器 皿S	SK83	14.5	2.5		30%	7.5YR7/4	
970	土師器 皿S	SK83	16.2	2.3		25%	7.5YR7/4	
971	土師器 鉢	SK83	5.4			30%	10YR8/1	
972	土師器 鉢	SK83	9.4	5.5		95%	10YR8/1	
973	土師器 小壺	SK83	2.1	2.4		100%	10YR8/2	
974	土師器 小壺	SK83	2.5	2.7		100%	2.5Y7/2	
975	土師器 塩壺蓋	SK83	6.1	2.2		90%	7.5YR7/6	
976	土師器 塩壺蓋	SK83	6.5	2.1		90%	2.5YR7/4	
977	土師器 塩壺蓋	SK83	6.8	2.4		100%	5YR6/4	
978	土師器 塩壺	SK83	5.4	8.5		100%	2.5YR6/6	
979	土師器 塩壺	SK83	5.5	9.3		100%	2.5YR6/6	
980	土師器 羽釜	SK83	15.3	8.0			7.5YR7/2	
981	土師器 焙烙鍋	SK83	30.6				7.5YR6/2	
982	土師器 焙烙鍋	SK83	29.0				5YR6/4	
983	土師器 焙烙鍋	SK83	31.5	6.5			10YR7/3	
984	土師器 焙烙鍋	SK83	31.5				5YR5/3	
985	土師器 焙烙鍋	SK83	33.0				7.5YR7/3	
986	土師器 土鈴	SK83		4.4			2.5Y8/2	
987	土師器 ミニチュア擂鉢	SK83	7.2	2.3			10YR8/2	
988	瓦器 火桶蓋	SK83	25.2	12.0			10YR8/2	
989	瓦器 火桶	SK83	22.5	15.5			10YR6/2	
990	瓦器 香炉	SK83	12.0	5.4			10YR6/3	
991	瓦器 火鉢	SK83	36.0	11.1			10YR7/1	
992	瓦器 瓦灯	SK83	16.6				5YR7/4	
993	瓦器 瓦灯	SK83	16.0				7.5YR6/1	
994	唐津 灰釉皿	SK83	8.8	2.5			2.5Y6/1	釉7.5YR2/2
995	唐津 灰釉皿	SK83	10.4	3.8			5YR5/2	釉7.5YR2/2
996	唐津 灰釉皿	SK83	10.9	3.0			7.5Y6/4	釉7.5YR2/2
997	絵唐津 皿	SK83	12.7	3.9			10YR6/3	釉7.5YR2/2
998	絵唐津 皿	SK83	12.1	3.7			7.5YR6/4	釉7.5YR2/2
999	唐津 灰釉皿	SK83	11.7	4.3			2.5YR5/3	釉7.5YR2/2
1000	唐津 灰釉皿	SK83	12.0	3.4			10YR7/2	釉7.5YR2/2
1001	唐津 灰釉皿	SK83	12.0	3.8			7.5YR6/4	釉7.5YR2/2
1002	唐津 灰釉皿	SK83	12.1	3.7			2.5YR2/3	釉7.5YR2/2
1003	唐津 灰釉皿	SK83	13.1	4.6			7.5Y6/1	釉7.5YR2/2
1004	唐津 灰釉皿	SK83	13.0	4.2			7.5YR7/6	釉7.5YR2/2
1005	唐津 灰釉皿	SK83	12.1	3.3			2.5Y6/2	釉7.5YR2/2
1006	唐津 灰釉皿	SK83	13.1	4.3			10YR2/3	釉7.5YR2/2
1007	唐津 灰釉皿	SK83	12.4	2.8			5P7/1	釉7.5YR2/2
1008	唐津 灰釉皿	SK83	12.9	4.2			5Y7/2	釉7.5YR2/2
1009	絵唐津 灰釉向付	SK83	12.4	4.7			10YR6/1	釉7.5YR2/2
1010	絵唐津 灰釉向付	SK83	12.9	5.1			5YR5/3	釉7.5YR2/2
1011	唐津 灰釉椀	SK83	10.2	5.8			10YR4/1	釉7.5YR2/2
1012	唐津 灰釉椀	SK83	10.2	6.4			2.5Y7/1	釉7.5YR2/2
1013	唐津 灰釉椀	SK83	12.0	8.3			10YR7/2	釉7.5YR2/2
1014	唐津 灰釉椀	SK83	10.3	7.5			10YR6/2	釉7.5YR2/2
1015	唐津 灰釉椀	SK83	11.3	6.8			10YR6/3	釉7.5YR2/2
1016	唐津 灰釉椀	SK83	11.9				10YR7/4	釉7.5YR2/2
1017	唐津 灰釉椀	SK83	10.2	6.1			7.5Y7/1	釉7.5YR2/2

付表1-18 出土土器類一覧表-18

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
1018	唐津 灰釉椀	SK83	11.2	7.0			7.5YR6/2	釉7.5YR2/2
1019	唐津 天目椀	SK83	12.7	7.0			2.5Y5/1	釉7.5YR2/2
1020	唐津 灰釉椀	SK83	13.0				5YR6/4	釉7.5YR2/2
1021	唐津 灰釉小杯	SK83	6.7	3.4			5YR6/1	釉7.5YR2/2
1022	唐津 灰釉香炉	SK83	7.2	6.1			2.5Y7/1	釉7.5YR2/2
1023	唐津 刷毛目香炉	SK83	14.7				7.5YR6/2	釉7.5YR2/2
1024	絵唐津 灰釉向付	SK83	13.5	6.3			10YR7/4	釉7.5YR2/2
1025	絵唐津 鉢	SK83	12.6				10YR6/3	釉7.5YR2/2
1026	唐津 灰釉鉢	SK83	11.8				10YR6/2	釉7.5YR2/2
1027	唐津 灰釉鉢	SK83	17.0				2.5Y6/1	釉7.5YR2/2
1028	唐津 灰釉鉢	SK83	17.2				7.5YR6/2	釉7.5YR2/2
1029	唐津 灰釉壺	SK83	16.3				2.5Y5/1	釉7.5YR2/2
1030	唐津 水指蓋	SK83	12.6	2.8			10YR6/1	釉7.5YR2/2
1031	唐津 壺	SK83	15.4				10R4/6	釉7.5YR2/2
1032	唐津 壺	SK83			9.4		2.5YR4/1	釉7.5YR2/2
1033	絵唐津 大皿	SK83	38.9	10.4			10YR7/4	釉10YR6/1
1034	唐津 銅緑釉大鉢	SK83	35.8				10YR6/2	
1035	絵唐津 大皿	SK83	39.6	10.6			10YR6/1	釉7.5YR6/2 一部白濁
1036	伊万里 染付壺	SK83	4.0	18.8	6.8			
1037	伊万里 染付壺	SK83			5.7			内面型による竹文
1038	伊万里 色絵皿	SK83	-					古九谷様式
1039	伊万里 青磁仏飯器	SK83	9.0	7.0				
1040	伊万里 青磁香炉	SK83	9.9	8.0				
1041	伊万里 青磁皿	SK83	19.1	5.5				
1042	伊万里 青磁輪花皿	SK83	20.5	5.9				
1043	伊万里 染付蓋	SK83	4.6	2.1				
1044	伊万里 染付小杯	SK83	5.3	4.2				
1045	伊万里 染付小杯	SK83	6.2	3.7				
1046	伊万里 染付皿	SK83	14.2	3.2				内面型による竹文
1047	伊万里 染付椀	SK83	9.0	5.6				
1048	伊万里 染付椀	SK83	9.9	4.6				
1049	伊万里 染付椀	SK83	10.4	5.5				
1050	伊万里 染付椀	SK83	11.0	5.1				
1051	伊万里 染付椀	SK83	10.9	6.0				
1052	伊万里 染付椀	SK83	10.7	7.2				
1053	伊万里 染付椀	SK83	11.5					
1054	伊万里 染付椀	SK83	11.7	5.9				
1055	伊万里 染付椀	SK83	12.6	6.5				
1056	伊万里 染付椀	SK83	12.2	6.2				
1057	伊万里 白磁皿	SK83	14.2	3.4				内面型による竹文
1058	美濃 天目椀	SK83	11.7	6.9			7.5YR8/3	釉7.5YR2/2
1059	美濃 天目椀	SK83	11.7	6.9			2.5Y8/2	釉7.5YR2/2
1060	美濃 天目椀	SK83	11.5	7.3			10YR8/2	釉7.5YR2/2
1061	美濃 白天目椀	SK83	11.3	7.2			5Y8/1	釉7.5YR2/2
1062	美濃 鉄釉小杯	SK83	7.6	3.8			2.5Y7/2	釉7.5YR2/2
1063	美濃 鉄釉椀	SK83	9.0	5.0			10YR8/1	釉7.5YR2/2
1064	美濃 長石釉丸椀	SK83	10.3	5.7			2.5Y8/3	釉7.5YR2/2
1065	美濃 織部水注	SK83			10.7		10YR8/2	割れ口を調製 再利用
1066	美濃 長石釉皿	SK83	16.2	4.5			10YR7/3	釉2.5Y7/1
1067	美濃 鉄釉茶入	SK83	3.8				2.5Y7/1	釉7.5YR3/2
1068	美濃 鉄釉茶入	SK83			3.5		2.5Y7/2	釉7.5YR2/2
1069	美濃 志野向付	SK83					10YR6/1	釉2.5Y8/1
1070	美濃 志野向付	SK83					7.5YR7/4	1069と同一個体か
1071	美濃 黄瀬戸向付	SK83	7.4	6.6			5PB7/1	釉7.5YR2/2
1072	美濃 鉄釉壺	SK83			5.3		2.5Y8/3	釉10YR2/2
1073	美濃 織部壺	SK83			7.6		2.5Y8/1	釉2.5Y7/1
1074	美濃 絵志野皿	SK83	11.6	2.7			2.5Y7/2	釉2.5Y8/2
1075	美濃 鉄釉灯火器蓋	SK83	6.6	2.0			2.5Y8/3	釉7.5YR2/2
1076	美濃 織部向付	SK83	13.9× 11.2	4.5			2.5Y8/2	釉2.5Y8/2

付表1-19 出土土器類一覧表-19

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
1077	京焼 椀	SK83	9.0				2.5Y6/2	釉10YR3/1 鉄釉
1078	京焼 椀	SK83	13.0				2.5Y8/1	釉2.5Y8/2
1079	京焼 椀	SK83	13.1	4.7			7.5YR6/4	釉7.5YR4/3 伊羅保風の釉薬
1080	軟質施釉陶器 灯明皿	SK83	11.4	2.0			10YR6/1	釉10YR4/3
1081	明 染付小杯	SK83	6.6					
1082	明 染付小杯	SK83	6.8	4.2				
1083	明 染付椀	SK83	11.0					
1084	明 染付椀	SK83	11.1	5.8				
1085	明 染付椀	SK83	11.7	6.2				
1086	明 染付椀	SK83			6.4			
1087	明 染付椀	SK83			6.7			
1088	明 染付椀	SK83			4.5			
1089	明 染付皿	SK83	13.2	3.0				
1090	明 染付皿	SK83	17.6	3.0				
1091	明 染付椀	SK83	15.0					
1092	明 染付鉢	SK83	20.2					
1093	明 染付皿	SK83	24.1					
1094	輸入 阿蘭陀色絵壺	SK83	-				10YR7/4	割れ口を整形 蓋置きに再利用?
1095	輸入 安南染付椀	SK83	-				2.5Y7/2	
1096	李朝 刷毛目皿	SK83	11.1	2.9			N3/0	
1097	輸入 赤絵皿	SK83	-					
1098	備前 播鉢	SK83	19.3	4.8			5PB3/0	表面5YR5/4
1099	備前 播鉢	SK83	14.4	5.8			N5/0	表面5YR3/3
1100	備前 灯明皿	SK83	10.5	2.1			2.5YR4/4	表面2.5YR4/4
1101	丹波 盤	SK83	25.2	4.2			2.5Y6/2	表面10YR4/3
1102	丹波 盤	SK83	30.4				5YR5/6	表面5YR4/6
1103	丹波 盤	SK83	40.5	7.0			10YR6/1	表面5YR4/3
1104	丹波 灯火器	SK83	10.4				7.5YR5/1	表面5YR3/3
1105	丹波 灯火器	SK83			11.5		5YR5/6	表面5YR4/3
1106	丹波 灯火器	SK83	13.1	6.8			5YR5/1	表面5YR3/3
1107	丹波 播鉢	SK83	20.3	9.2			5YR7/1	表面10YR5/2
1108	信楽 播鉢	SK83	26.2	12.8			2.5YR5/3	表面2.5YR5/4
1109	備前 建水	SK83	11.2				5YR5/6	表面2.5YR5/3
1110	信楽 火入れ	SK83	11.8	9.7			2.5YR5/3	表面2.5YR5/3
1111	丹波 播鉢	SK83	43.5	17.5			10YR6/2	表面10YR6/4
1112	土師器 皿Sb	SK23	7.8	1.6		100%	5YR7/4	
1113	土師器 皿Sb	SK23	8.8	1.9		100%	10YR8/3	
1114	土師器 皿Sb	SK23	8.9	2.0		100%	7.5YR8/4	
1115	土師器 皿Sb	SK23	8.9	1.8		100%	2.5Y8/3	
1116	土師器 皿Sb	SK23	9.3	1.9		100%	7.5YR8/3	
1117	土師器 皿Sb	SK23	9.1	1.8		100%	7.5YR7/3	
1118	土師器 皿Sb	SK23	8.9	2.1		100%	10YR8/3	
1119	土師器 皿Sb	SK23	9.1	1.9		80%	10YR8/2	
1120	土師器 皿Sb	SK23	9.2	1.8		80%	7.5YR8/3	
1121	土師器 皿S	SK23	10.3	2.1		100%	7.5YR7/3	
1122	土師器 皿S	SK23	10.5	1.9		60%	10YR7/3	
1123	土師器 皿S	SK23	10.4	2.0		100%	10YR8/3	
1124	土師器 皿S	SK23	10.4	2.2		100%	2.5Y8/2	
1125	土師器 皿S	SK23	10.6	2.1		70%	7.5YR7/4	
1126	土師器 皿S	SK23	10.5	1.9		100%	10YR5/1	煤付着
1127	土師器 皿S	SK23	10.6	1.9		100%	10YR8/3	
1128	土師器 皿S	SK23	10.6	2.2		40%	10YR8/2	
1129	土師器 皿S	SK23	10.6	2.2		100%	10YR8/4	
1130	土師器 皿S	SK23	10.6	2.1		100%	10YR7/3	
1131	土師器 皿S	SK23	10.3	1.9		20%	10YR6/1	底部に小孔
1132	土師器 皿S	SK23	10.5	1.9		40%	2.5Y7/1	底部に小孔
1133	土師器 皿S	SK23	12.2	2.2		100%	5Y7/4	一部黒灰色に変色
1134	土師器 皿S	SK23	12.4	2.1		50%	7.5YR2/1	全体に炭化物付着
1135	土師器 皿S	SK23	12.3	2.1		50%	7.5YR8/3	
1136	土師器 皿S	SK23	12.1	2.2		40%	10YR8/3	

付表1-20 出土土器類一覽表-20

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
1137	土師器 皿S	SK23	12.4	2.1		40%	10YR8/3	
1138	土師器 皿N	SK23	5.5	1.3		100%	10YR8/4	
1139	土師器 皿N	SK23	5.8	1.3		100%	7.5YR8/4	
1140	土師器 皿N	SK23	6.1	1.4		100%	7.5YR7/4	
1141	土師器 皿N	SK23	6.2	1.4		100%	7.5YR7/3	
1142	土師器 鉢	SK23	8.0				10YR8/3	
1143	土師器 鉢	SK23	13.5	5.0			10YR8/3	
1144	土師器 炉	SK23	15.8	21.2			7.5YR7/4	
1145	土師器 焙烙鍋	SK23	24.4				5YR6/4	
1146	土師器 焙烙鍋	SK23	29.6				10YR7/4	
1147	土師器 塩壺蓋	SK23	7.9	2.1			5YR7/4	
1148	土師器 塩壺蓋	SK23	7.8	2.4			7.5YR8/3	
1149	土師器 塩壺	SK23	7.8	2.3			10YR8/3	
1150	土師器 塩壺	SK23	6.6	10.7			5YR7/6	
1151	土師器 塩壺	SK23	6.4	10.6			7.5YR7/4	
1152	土師器 塩壺蓋	SK23	6.9	1.0			5YR7/3	
1153	土師器 塩壺蓋	SK23	7.7	1.4			7.5YR7/3	
1154	土師器 塩壺蓋	SK23	7.5	1.3			7.5YR8/3	
1155	土師器 塩壺蓋	SK23	7.0	1.0			10YR8/3	
1156	土師器 塩壺	SK23	5.7	3.6			7.5YR7/4	
1157	土師器 塩壺	SK23	6.7	4.9			10YR8/2	
1158	土師器 塩壺	SK23	7.0	5.7			10YR8/2	表面赤変
1159	土師器 塩壺	SK23	5.6	3.5			7.5YR7/4	
1160	土師器 炉	SK23	16.7× 24.2	13.5			7.5YR6/4	
1161	土師器 蓋	SK23	24.6	3.7			7.5Y7/4	
1162	土師器 蓋	SK23	15.0	3.0			10YR7/2	
1163	土師器 壺	SK23	28.0				7.5YR6/6	
1164	土師器 瓦灯	SK23	16.4	12.7			5YR5/4	
1165	土師器 鉢(灰器)	SK23					10YR8/4	
1166	信楽 播鉢	SK23	42.0	15.6			10YR7/4	表面5YR2/3 鉄化粧
1167	備前 播鉢	SK23	43.0	16.7			2.5YR5/8	表面10R4/6 外面緋襷
1168	備前 灯明皿	SK23	11.1	2.2			5YR5/4	表面2.5Y3/1
1169	備前 灯明皿	SK23	9.1	2.2			2.5YR5/4	表面2.5YR3/3
1170	焼締陶器 急須蓋	SK23	6.8				2.5YR5/2	表面2.5YR5/4
1171	瓦器 瓦灯	SK23	10.2				10YR5/1	表面黒色
1172	瓦器 火鉢	SK23	24.0				10YR7/1	表面黒色
1173	京焼 錆絵染付椀	SK23	13.0	4.8			7.5Y7/1	釉7.5Y6/1
1174	京焼 灰釉椀	SK23	13.4	4.8			2.5Y7/2	釉7.5Y7/1
1175	京焼 灰釉鉢	SK23	12.0	5.9			2.5Y7/2	釉5Y7/1
1176	京焼 鉢(向付)	SK23	11.3				10YR8/2	釉2.5Y8/3
1177	京焼 馬上杯	SK23	7.2	6.2	3.8		2.5Y8/2	釉2.5Y8/3
1178	軟質施釉陶器 鬘盞	SK23	13.0× 5.8	3.2			10YR7/3	釉10YR7/8
1179	唐津 銅緑釉皿	SK23	13.0	3.5			2.5Y7/1	釉10GY6/1
1180	肥前 灰釉椀	SK23	13.4	5.2			2.5Y7/1	釉2.5Y7/3
1181	肥前 灰釉椀	SK23			4.6		10YR8/1	釉10YR7/4
1182	伊万里 白磁色絵壺	SK23	1.5		7.5			
1183	伊万里 白磁色絵椀	SK23	8.7	4.7				
1184	伊万里 白磁色絵椀	SK23	9.6	5.4				
1185	伊万里 白磁小杯	SK23	6.5	3.0				
1186	伊万里 白磁小杯	SK23	6.4	4.4				
1187	伊万里 白磁小杯	SK23	6.9	4.3				
1188	伊万里 染付小杯	SK23	7.2	5.0				
1189	伊万里 染付小杯	SK23	6.8	3.8				
1190	伊万里 染付小椀	SK23	8.5	4.8				
1191	伊万里 染付仏飯器	SK23	6.5	7.2	4.1			
1192	伊万里 染付椀	SK23	10.1	5.6				
1193	伊万里 染付椀	SK23	10.1	5.7				
1194	伊万里 染付椀	SK23	10.0	5.7				

付表 1-21 出土土器類一覽表-21

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
1195	伊万里 染付椀	SK23	10.1	5.4				
1196	伊万里 染付椀	SK23	9.8	5.6				
1197	伊万里 染付椀	SK23	10.7	6.2				
1198	伊万里 染付椀	SK23	9.6					
1199	伊万里 染付椀	SK23	10.2	6.2				
1200	伊万里 染付椀	SK23	10.4	6.0				
1201	伊万里 染付蕎麦猪口	SK23	8.0	6.0				
1202	伊万里 染付蕎麦猪口	SK23	9.2	6.1				
1203	伊万里 染付椀	SK23	10.2	6.1				
1204	伊万里 染付皿	SK23	21.6	5.1				
1205	伊万里 染付皿	SK23	20.4	3.8				
1206	明～清 白磁菊皿	SK23	10.1	2.8				
1207	明 染付皿	SK23	10.1	2.4				
1208	明 染付椀	SK23	10.0	5.0				
1209	土師器 皿Sb	SE660	8.3	1.5		40%	7.5YR7/4	
1210	土師器 皿Sb	SE660	8.4	1.9		25%	5YR7/4	
1211	土師器 皿Sb	SE660	8.8	1.8		30%	7.5YR7/4	
1212	土師器 皿S	SE660	10.3	2.0		80%	10YR7/3	
1213	土師器 皿S	SE660	10.4	1.9		100%	7.5YR8/4	
1214	土師器 皿S	SE660	10.2	1.9		60%	5YR7/6	
1215	土師器 皿S	SE660	10.2	1.8		60%	5YR7/4	
1216	土師器 皿S	SE660	10.4	1.9		40%	5YR7/6	
1217	土師器 皿S	SE660	12.4	2.0		25%	5YR8/4	
1218	土師器 皿S	SE660	12.6	2.0		90%	7.5YR8/4	
1219	土師器 皿N	SE660	5.7	1.3		100%	7.5YR7/4	
1220	土師器 皿N	SE660	5.6	1.1		100%	10YR6/3	
1221	土師器 皿N	SE660	6.1	1.3		100%	10YR8/3	
1222	土師器 小壺	SE660	2.2	2.1			2.5Y8/3	
1223	土師器 小壺	SE660	2.6	2.4			2.5Y8/2	
1224	土師器 鉢	SE660	6.2	1.9			7.5YR8/3	
1225	土師器 鉢	SE660	9.0	3.1			2.5Y8/1	
1226	土師器 焙烙鍋	SE660	27.0				5YR6/4	
1227	土師器 蓋	SE660	21.0	4.3			7.5YR8/4	
1228	土師器 蓋	SE660	15.6	3.2			7.5YR7/4	
1229	土師器 蓋	SE660	14.0				5YR7/4	
1230	土師器 壺	SE660	16.5	18.2			7.5YR7/6	
1231	土師器 壺	SE660	13.0	9.5			7.5YR8/3	
1232	土師器 火鉢	SE660	28.0	12.0			5YR7/4	
1233	瓦器 火鉢	SE660		13.8				方形 長・幅不明
1234	美濃 (御深井)小皿	SE660	7.1× 5.3	2.0			5PB7/1	釉7.5YR2/2
1235	美濃 鉄釉茶入	SE660	3.0	6.4				
1236	美濃 鉄釉椀	SE660	10.6					釉7.5YR2/2
1237	信楽 火入れ	SE660	12.2	7.3				釉7.5YR2/2 底部糸切り
1238	肥前 刷毛目皿	SE660	13.4	3.4			7.5YR6/4	釉7.5YR2/2
1239	唐津 皿	SE660	11.6	3.5				内面 藁灰釉 斑状に緑釉 外面 灰釉
1240	肥前 刷毛目香炉	SE660	9.0	5.3			7.5YR7/4	釉7.5YR2/2
1241	唐津 刷毛目椀	SE660	10.7	7.2			10R5/4	釉7.5YR2/2 外面白化粧部に錆絵
1242	唐津 三島鉢	SE660	27.0	8.0			2.5Y4/4	釉7.5YR2/2
1243	備前 播鉢	SE660	18.8	5.9			2.5YR5/6	
1244	備前 播鉢	SE660	34.8				2.5YR6/8	
1245	軟質施釉陶器 灯明皿	SE660	8.1	1.5				釉葉変質して白色
1246	軟質施釉陶器 灯明皿	SE660	10.0	1.8				釉7.5YR2/2
1247	備前 灯明皿	SE660	12.0	2.2			2.5YR5/6	全面に赤化粧土
1248	軟質陶器 灯明皿	SE660	13.1	2.5			2.5Y3/1	無釉だが素地や成形・調製は軟質施釉陶器と同質
1249	伊万里 染付椀	SE660	9.9	5.0				
1250	伊万里 染付椀	SE660	10.0	5.4				
1251	伊万里 染付椀	SE660	9.9	5.0				
1252	伊万里 染付椀	SE660	10.0	4.9				

付表 1-22 出土土器類一覽表-22

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備 考
1253	伊万里 染付椀	SE660	10.2	5.4				
1254	伊万里 染付椀	SE660	10.8	5.8				
1255	伊万里 染付椀	SE660	10.6	6.1				
1256	伊万里 染付椀	SE660	10.8	5.7				
1257	伊万里 染付椀	SE660	8.3	4.6				
1258	伊万里 染付椀	SE660	8.2	4.4				
1259	伊万里 染付椀	SE660	7.9	4.5				
1260	伊万里 染付椀	SE660	8.5	4.0				
1261	伊万里 染付椀	SE660	8.3	4.5				
1262	伊万里 仏飯器	SE660	7.8	5.2				
1263	伊万里 染付皿	SE660	12.5	3.5				
1264	伊万里 染付皿	SE660	13.2	3.3				
1265	伊万里 染付小杯	SE660	5.7	2.5				
1266	伊万里 染付小杯	SE660	7.2	4.9				
1267	伊万里 染付小杯	SE660	7.8	6.2				
1268	伊万里 染付小杯	SE660	5.7	4.3				
1269	伊万里 染付小杯	SE660	6.4	3.5				
1270	伊万里 染付小杯	SE660	6.4	5.8				
1271	伊万里 染付蓋	SE660	6.6					
1272	伊万里 染付合子身	SE660	6.9	5.2				
1273	伊万里 染付合子身	SE660	7.6	4.3				
1274	伊万里 染付鉢	SE660	20.4	9.0				
1275	伊万里 白磁蓋	SE660	8.2	3.2				
1276	伊万里 白磁蓋	SE660	9.4	3.1				
1277	伊万里 白磁小杯	SE660	5.5	3.4				
1278	伊万里 白磁皿	SE660	9.2	2.2				
1279	伊万里 白磁椀	SE660	8.9	4.8				
1280	肥前 白磁椀	SE660	15.4	8.0				
1281	肥前 色絵磁器椀	SE660	15.8	6.5				柿右衛門様式
1282	肥前 色絵磁器椀	SE660	9.6					
1283	伊万里 白磁色絵蓋	SE660	8.6	2.6				
1284	伊万里 白磁色絵合子蓋	SE660	4.3					
1285	伊万里 白磁色絵合子身	SE660	5.0	3.4				
1286	肥前 椀	SE660	11.7	4.8			2.5Y8/2	釉7.5YR2/2 底外「小松久」印
1287	肥前 椀	SE660	12.6	4.5			5Y8/3	釉7.5YR2/2
1288	肥前 椀	SE660	11.7	4.8			5Y8/2	釉7.5YR2/2 底外「小倉」印
1289	肥前 椀	SE660			4.5		5Y8/2	釉7.5YR2/2 底外「木下弥」印
1290	肥前 椀	SE660			4.9		7.5Y8/1	釉7.5YR2/2 底外「？」印
1291	京焼 皿	SE660	9.6	2.0			10YR8/4	釉7.5YR2/2
1292	京焼 椀	SE660	8.0	4.8			10YR8/4	釉7.5YR2/2
1293	京焼 鉄釉椀	SE660	9.5	5.1			2.5Y8/1	釉7.5YR2/2
1294	京焼 椀	SE660	9.4	5.4			5Y8/2	釉7.5YR2/2
1295	京焼 椀	SE660	9.5	5.6			10YR8/4	釉7.5YR2/2
1296	京焼 椀	SE660	9.3	5.4			2.5Y8/2	釉7.5YR2/2
1297	京焼 椀	SE660	9.7	6.1			2.5Y8/4	釉7.5YR2/2
1298	明 染付皿	SE660	13.7	3.3				
1299	丹波 甕	SK634	34.0	32.5			2.5Y6/1	表面2.5YR3/6
1300	丹波 甕	SK634	37.8	40.8			2.5Y6/1	表面2.5YR3/4
1301	土師器 皿N	SK48	4.8	1.1		60%	10YR7/3	
1302	土師器 皿N	SK48	6.1	1.4		40%	10YR7/4	
1303	土師器 皿S	SK48	9.7	1.8		20%	10YR8/3	
1304	土師器 皿S	SK48	9.9	1.7		10%	10YR8/3	
1305	土師器 皿S	SK48	18.2	2.3		15%	10YR7/4	
1306	軟質陶器 灯明皿	SK48	11.9	2.0			7.5YR7/6	
1307	土師器 鉢(灰器)	SK48	-				10YR7/3	
1308	瓦器 鉢(火鉢か炉)	SK48	-				10YR5/1	表面黒色
1309	土師器 鉢(灰器)	SK48	26				2.5Y8/1	表面鉄化粧 黒色
1310	軟質施釉陶器 向付	SK48	-				2.5YR5/6	赤楽 百合向付 釉5YR4/4
1311	軟質施釉陶器 向付	SK48	-				2.5YR5/6	赤楽 百合向付

付表 1-23 出土土器類一覽表-23

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備 考
1312	軟質施釉陶器 向付	SK48				5.4	2.5YR5/6	赤楽 百合向付 「楽」印あり(長入) 表面白色に変色
1313	軟質施釉陶器 香炉	SK48	12.2	10.3			5YR7/4	白釉 「楽」印あり(得入)
1314	軟質施釉陶器 角鉢	SK48	-				10YR7/2	白釉
1315	軟質施釉陶器 灯明皿	SK48	10.8	1.9			10YR8/2	釉2.5Y7/4
1316	軟質施釉陶器 菊皿	SK48	14.9				7.5YR6/2	赤楽 釉10R4/6
1317	軟質施釉陶器 大鉢	SK48	29.0				2.5YR5/4	赤楽 釉2.5YR4/3
1318	京焼 色絵鉢(乾山)	SK48	-				10YR7/2	乾山 透かし鉢 釉2.5Y7/2
1319	京焼 呉須絵角鉢	SK48		4.7			10YR7/2	釉2.5Y8/2
1320	京焼 椀	SK48	10.6				2.5Y7/1	釉2.5Y7/2
1321	京焼 椀	SK48			4.2		2.5Y7/1	釉2.5Y7/2
1322	伊万里 染付椀	SK48	7.0	5.0				
1323	伊万里 染付椀	SK48	7.2	5.1				
1324	伊万里 染付椀	SK48	7.4	5.8				
1325	伊万里 染付椀	SK48	9.1	4.0				
1326	伊万里 染付椀	SK48	9.2					
1327	伊万里 染付椀	SK48	9.7					
1328	伊万里 染付椀	SK48	9.8	4.8				
1329	伊万里 染付椀	SK48	10.4	4.8				
1330	伊万里 染付椀	SK48			3.6			
1331	伊万里 染付椀	SK48	8.0	6.1				
1332	伊万里 染付椀	SK48	10.3					
1333	伊万里 染付椀	SK48	10.3					
1334	伊万里 染付椀	SK48	10.1					
1335	伊万里 染付椀	SK48	11.2					
1336	伊万里 染付蓋	SK48	10.6					
1337	伊万里 染付椀	SK48	10.4	4.5				
1338	伊万里 染付蓋	SK48	8.9	2.6				
1339	伊万里 染付椀	SK48	9.0					
1340	伊万里 染付蓋	SK48	10.0					
1341	伊万里 染付椀	SK48	10.2					
1342	伊万里 染付椀	SK48			1.9			
1343	伊万里 染付椀	SK48			4.8			
1344	伊万里 染付蓋	SK48	10.1					
1345	伊万里 染付椀	SK48	9.1					
1346	伊万里 染付蓋	SK48	10.4	2.5				
1347	伊万里 染付椀	SK48	11.2	6.0				
1348	伊万里 染付椀	SK48	8.5	6.6				
1349	伊万里 染付蓋	SK48	13.1	2.6				
1350	伊万里 染付椀	SK48	11.7	6.1				
1351	伊万里 染付蓋	SK48	11.1					
1352	伊万里 染付椀	SK48	10.5	2.8				
1353	伊万里 染付椀	SK48	13.0	5.4				
1354	伊万里 染付皿	SK48	10.2	2.3				
1355	伊万里 染付皿	SK48	10.2	2.5				
1356	伊万里 染付皿	SK48	10.6	2.4				
1357	伊万里 染付皿	SK48	10.6	2.4				
1358	伊万里 染付皿	SK48	10.6	2.3				
1359	伊万里 染付皿	SK48	14.9	2.9				
1360	伊万里 染付皿	SK48	12.0	2.5				
1361	伊万里 染付皿	SK48	10.6	1.7				
1362	伊万里 染付皿	SK48	14.7	2.9				
1363	伊万里 染付皿	SK48	18.1	2.5				
1364	伊万里 染付皿	SK48			9.0			
1365	伊万里 染付皿	SK48	22.0	3.3				
1366	伊万里 染付鉢	SK48			4.7			
1367	伊万里 染付鉢	SK48	10.8	7.8				
1368	伊万里 染付鉢	SK48	9.4	6.3				
1369	伊万里 染付鉢	SK48	14.5	5.3				
1370	伊万里 染付鉢	SK48	12.9	4.5				

付表1-24 出土土器類一覽表-24

番号	器種器形	遺構名	口径	器高	底径	残存	胎土色調	備考
1371	伊万里 染付蓋	SK48	11.3					
1372	伊万里 染付鉢	SK48			7.8			
1373	伊万里 染付鉢	SK48	11.8					
1374	伊万里 染付鉢	SK48	13.9	6.2				
1375	伊万里 白磁壺	SK48	6.8					
1376	輸入 染付皿	SK48	14.2	2.7				
1377	輸入 染付皿	SK48	18.2	3.6				
1378	輸入 染付椀	SK48	6.0	4.0				
1379	輸入 染付椀	SK48	-					
1380	輸入 染付椀	SK48	16	6.7				
1381	輸入 染付椀	SK48			5.6			
1382	輸入 染付皿	SK48			9.3			
1383	輸入 染付鉢	SK48	14.6					
1384	輸入 染付皿	SK48	20.2	3.0				
1385	輸入 染付皿	SK48	21.1	4.0				
1386	輸入 染付皿	SK48	16.4	2.8				
1387	輸入 染付皿	SK48			9.6			
1388	輸入 染付皿	SK48			2.8			
1389	明・清 染付火入れ	SK48	12.6	10.2				
1390	輸入 染付水注	SK48			8.2			仙餐瓶
1391	輸入 染付水指	SK48		17.5				菱馬
1392	輸入 染付大皿	SK48	39.0					
1393	輸入 染付壺	SK48						
1394	輸入 染付壺	SK48			6.0			
1395	輸入 藍釉鉢	SK48	20.2					
1396	輸入 赤絵椀	SK48	12.2					
1397	輸入 赤絵椀	SK48	12.1					
1398	輸入 色絵小杯	SK48	6.8					
1399	輸入 色絵小杯	SK48			3.4			
1400	輸入 色絵小杯	SK48	7.8					
1401	輸入 色絵鉢	SK48		5.0				
1402	輸入 青磁壺	SK48	6.0					
1403	輸入 青磁壺	SK48						
1404	輸入 青磁壺	SK48	7.5					



# 版 图



# 報告書抄録

ふりがな	へいあんきょうさきょうしじょうさんぼうじゅうにちょうあと							
書名	平安京左京四条三坊十二町跡							
シリーズ名	京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告							
シリーズ番号	2006-26							
編著者名	平尾政幸							
編集機関	財団法人 京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265番地の1							
発行所	財団法人 京都市埋蔵文化財研究所							
発行年月日	西暦2007年3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
へいあんきょうさきょう 平安京左京 しじょうさんぼう 四条三坊 じゅうにちょうあと 十二町跡	きょうとししもぎょうく 京都市下京区 しじょうどおりむろまち 四条通室町 ひがしいるかんこぼこちょう 東入函谷鉾町 ほかちない 他地内	26100		35度 00分 48秒	135度 45分 33秒	2006年8月 28日～2007 年1月30日	649.7m <sup>2</sup>	(仮称) 四条烏丸 計画
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平安京左京 四条三坊 十二町跡	都城跡	弥生時代	方形周溝墓、竪穴 住居、溝	弥生土器、石器				
		古墳時代	土壇	土師器、須恵器、製塩 土器				
		平安時代	ピット、土壇、溝	土師器、黒色土器、瓦 器、須恵器、緑釉陶器、 白色土器、輸入陶磁器、 瓦、金属製品、石製品				
		鎌倉時代 ～室町時代	土壇、埋め喪遺構、 井戸、石室	土師器、瓦器、白色土 器、須恵器、焼締陶器、 施釉陶器、輸入陶磁器、 銭貨、金属製品、石製 品				
		桃山時代 ～江戸時代	土壇、井戸、石組 み遺構	土師器、瓦器、焼締陶 器、国産陶磁器、輸入 陶磁器、土製品、銭貨、 金属製品、石製品、貝 ・骨製品、ガラス製品				

京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2006-26  
平安京左京四条三坊十二町跡

発行日 2007年3月30日

編集 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所  
発行

住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1

〒 602-8435 TEL 075-415-0521

<http://www.kyoto-arc.or.jp/>

印刷 三星商事印刷株式会社

住所 京都市中京区新町通竹屋町下る弁財天町 298 番地

〒 604-0093 TEL 075-256-0961